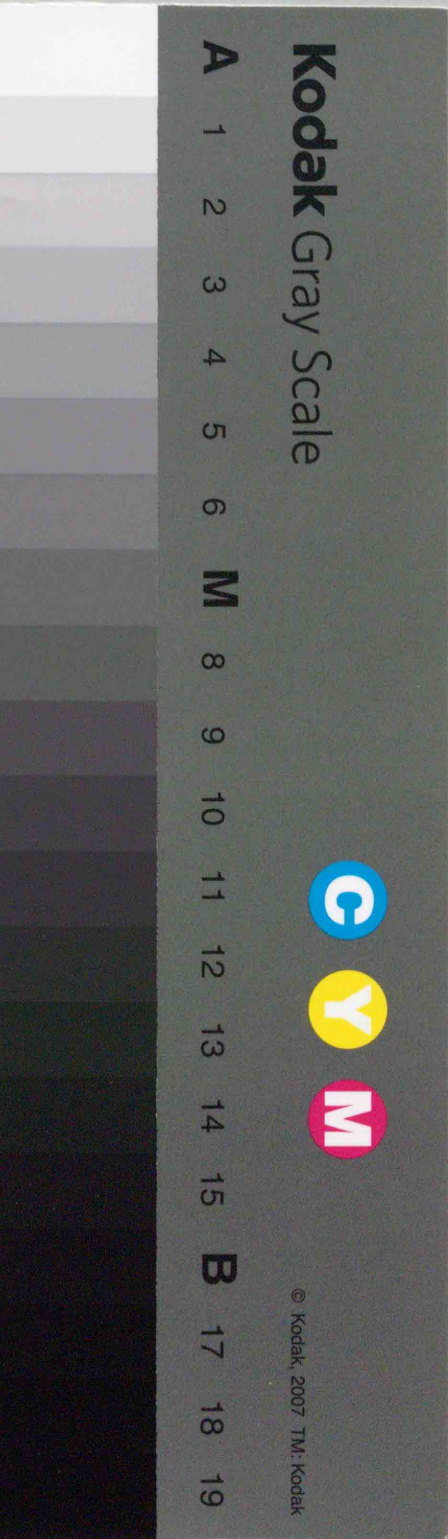
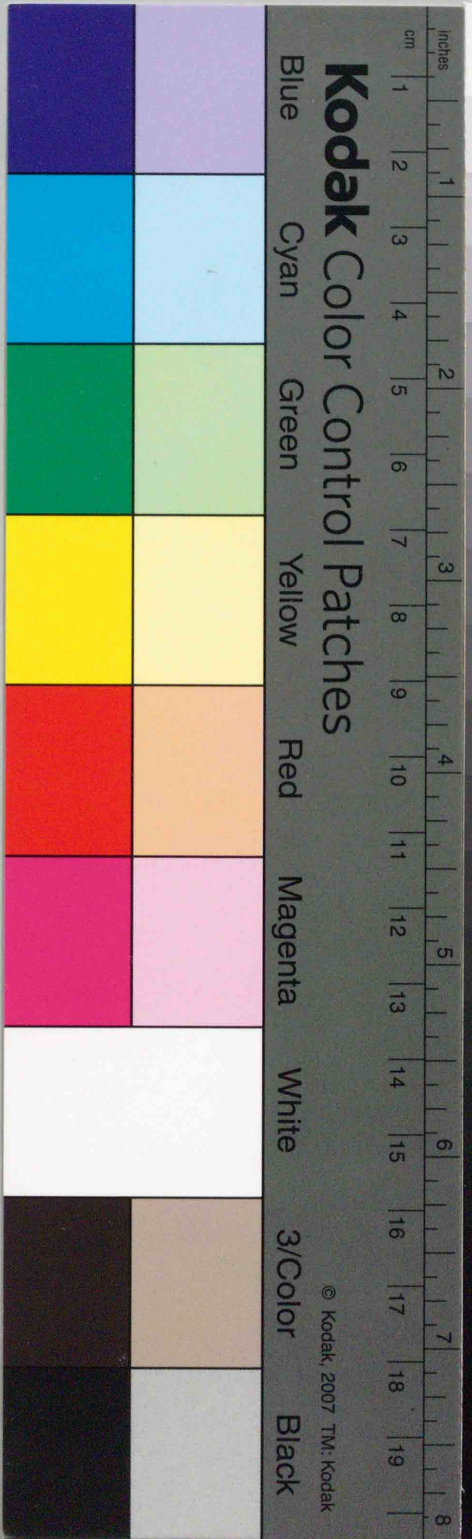


著雄美荒屋守
據準令新
地理學新學
篇國外

4
20



42891

教科書文庫

f.
293.
42-1938
20000
40712

100





例言

一地理學は、吾人の居住する世界についての實際的知識を興へるのみならず、また國家思想・國民精神の作興に資すべき重大なる使命を有する。而して今や世界を擧げて、政治的に、經濟的に、將た又民族的に、前古未曾有の難局に際會しつゝある。

この時に當り著者は、我が國內外の情勢と地理教育の現状とに鑑み、更に著者の有する地理學と地理教育との信念に基き、地理教授革新の要あるを痛感して、昨年、従來の教科書に一大改修を斷行した。

一然るに今回、圖らずも新教授要目が制定せられた。其の趣旨たるや、國體を一層明徴ならしめ、又國民精神の作興に資するにある。これは著者の平素抱ける信念と一致するもので、誠に欣快措く能はず、邦家教育の爲、寔に大慶の至りに堪えざる次第である。

一こゝに於てか著者は、昨年大改修を決行したにも拘らず、更に新令に準據し、再検討を加へて、爰に此の新教科書を著述した次第である。今左に、本書の

編纂に當りて特に留意した諸點を列擧する。

- 1 祖國日本を正確に認識せしめ、日本精神の涵養に努めたこと 外國地理は、日本地理の延長たりの根本精神に立脚して我が國と關係の深い地方及び事項を詳述し、且日本を比較の基礎となし、以て我が國の特性及び世界に於ける地位を正確に認識せしめて、國民的自覺を喚起し、日本精神の啓發を期した。
- 2 人文的方面を重視したこと 地理學は、人文地理を本體とするといふ著者の年來の主張に基き、自然地理は、人類生活の自然環境として比較的關係の深い事項のみに止めた。勿論自然と人文との交互依存の指導原理に就ては、十二分に留意した。
- 3 地域的に景觀的に総合的に記述したこと 地理區の自然地理的事象と人文地理的事象との綜合觀に立つて、世界の各地域の特性を確實に認識せしめるやうに、地理的項目(地形、氣候、産業、都市等)を別々に切離して叙述せず、各地の地形、氣候、産業及び都市等の自然、人文の諸景相を、因果的に有機的に景觀的にしかも総合的に記述して、大

- 4 海外發展の精神涵養に努めたこと 在外同胞の活動狀況を出来る限り詳述し、これに關する斬新な挿繪、挿圖をも豊富にして、大いに海外發展の思想鼓吹に資するやうに努めた。
- 5 國際情勢を知らしむるやうに努めたこと 現下の國際情勢たる經濟プロックの結成、或は國家主義の強調の時代思潮を明確に認識せしめる様に記述した。
- 6 教材の選擇と排列とは格別の注意を拂つたこと 教材の排列は、簡より繁に進む方針により、オセアニア、アフリカ、南アメリカ、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアの順にしたが、教官各位の意見に依りて、各洲の順序を如何に變更するも支障なきやうに努めた。又教材の選擇については、模式的教授を行ふに便ならしめ、主要教材を中心として、地理的能力の練磨に資するやうに努めた。
- 7 地理的價值の大なる寫眞、挿繪、挿圖の豊富なること 極度に餘白を利用して、斬新にして特色

- 8 産業その他の統計に留意したこと 統計は、最新正確なる資料を用ひ、生徒の學習心理を考慮して最も適切なるグラフにて明示し、又我が國の主要統計を附して、學習中常に祖國日本と比較して、躍進日本の世界的地位を明確に把握せしめるやうに努めた。
- 9 特色ある生活様式を簡單に記述してあること 人類の生活活動が、如何に環境に依存するかを明かにして、特色ある生活様式は、簡單にこれ

- 10 文章を平易明快にして、難解な地理的用語を除いたこと 文章の理解に餘計な勞苦を費さざるやうに、この點にも注意を拂つて、平易にして流暢明快、親しみ易い讀物たらしめた。又最後に地理的用語の解説を附して、自學自習の出来るやうに努めた。
- 11 女子と關係の深い生活、風俗等を記述したこと 女子の實際生活に即せしむる爲に、衣食住等の家事的方面を考慮し、又女子の地方風俗に關して記述し、挿繪等に於いても、この方面について特別の注意を拂つた。

一 終りに臨み、本書の編著に當り多大の援助を與へられた諸賢に對して、滿腔の謝意を表する次第である。

昭和十二年初夏

著者識

目次

緒論

第一編 オセアニア洲附南極地方

第一章 序説

第二章 太平洋諸島

第三章 オーストラリア聯邦

第四章 總括

第五章 南極地方

第二編 アフリカ洲

第一章 序説

第二章 北部アフリカ

第三章 東部アフリカ

第四章 南部アフリカ

第五章 中部アフリカ

第六章 總括

第三編 南アメリカ洲

第一章 序説

第二章 ブラジル

第三章 南部地方

第四章 西部地方

第五章 北部地方

第六章 總括

第四編 北アメリカ洲附北極地方

第一章 序説

第二章 西印度諸島

第三章 南部地方

第四章 アメリカ合衆國

第五章 北部地方

第六章 總括

第七章 北極地方

第五編 ヨーロッパ洲附大西洋

第一章 序説

第二章 西部ヨーロッパ

第三章 南部ヨーロッパ

第四章 中部ヨーロッパ

第五章 北部ヨーロッパ

第六章 東部ヨーロッパ

第七章 總括

第八章 大西洋

第六編 アジア洲附印度洋太平洋

第一章 序説

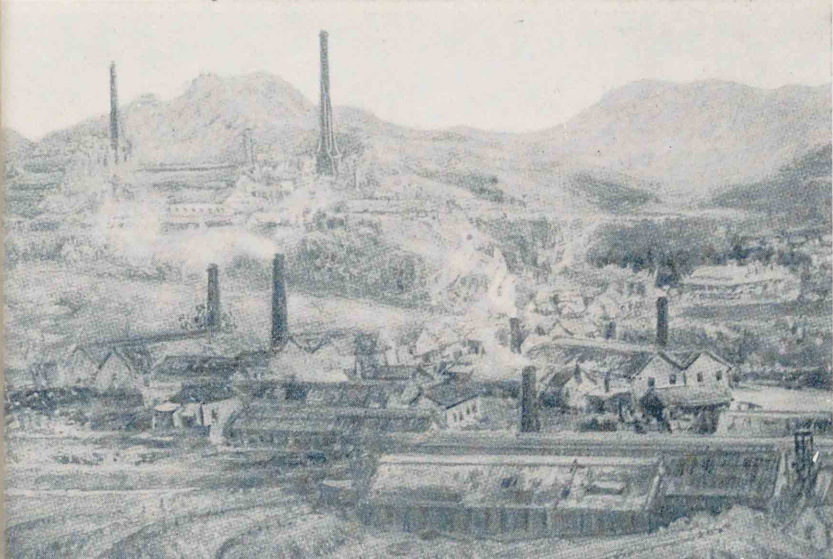
第二章 北部アジア

第三章 西部アジア

第四章 南西アジア



シドニーの羊毛 濠洲は自然的・人為的に牧羊に適し世界第一の羊毛産地である 主に東南諸港から輸出する 中にもシドニーは倫敦と共に世界第一の羊毛市場である



モルガンの金山 濠洲ロックハンプトンの東南四〇
 軒にある大鑛山で金・銅を産する

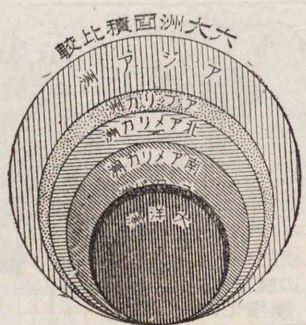


濠洲の大農場 濠洲の中央平原は極めて廣く次第に開發され世界第一の牧羊場で小麦の産も多い 其の耕作法は圖のやうな大規模なものが多い

新令一子女新選地理 外國篇

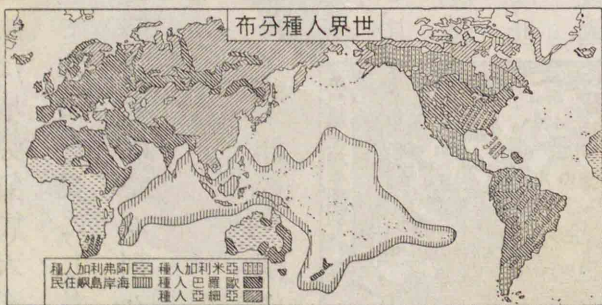
緒論

陸地は面積が一億五千萬方呎で、六

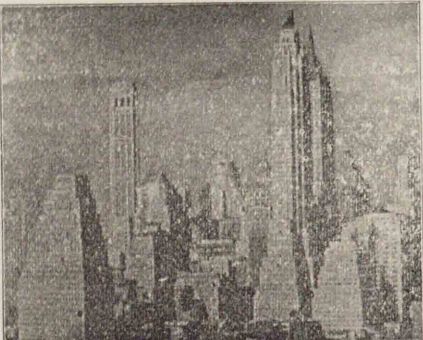


大洲(南極洲を加)に分けられ、海洋は、其の三倍で、三大洋に分けられる。

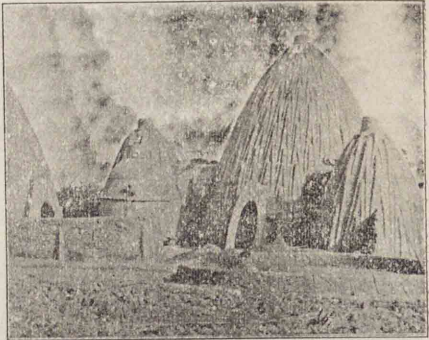
世界の人類は、二十億人で、海岸島嶼住民とアフリカ、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの四人種とに分れ、種族的・歴史的に結合して、六十餘國を作つてゐる



種人加利弗阿 種人加利米亞
 種人巴羅亞 種人亞細亞
 種人亞細亞 種人亞細亞



(聞天摩のクーヨーユニ)屋家の人明文



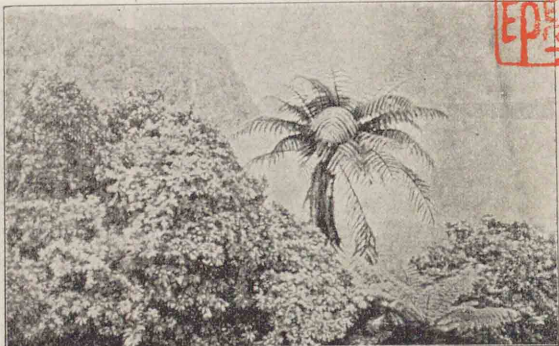
屋家の人開未部内カリファ

緒論



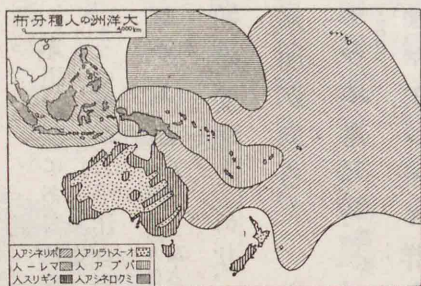
オセアニア洲
序説

クック者探検

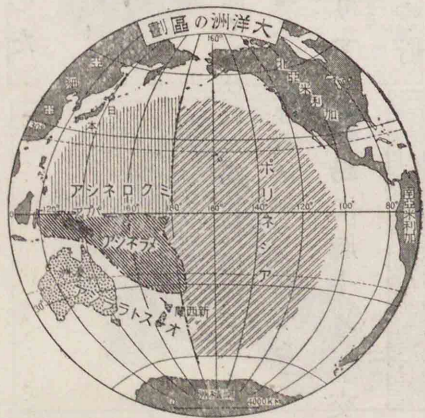


岸海のドンラージュニ

クックの探検を動機とし、十八世紀以後白人の渡来が多く、土人が急減して、土地の大部分は英



主に南半球に位し、オーストラリア大陸と太平洋中に散在する無数の島嶼とから成る。海岸島嶼住民（オーストラリア族、ポリネシア族、ミクロネシア族等）の住地で、開發が最も後れたが、英人



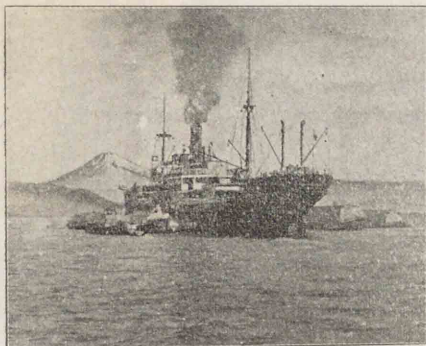
第一章 序説

第一編 オセアニア(大洋洲)

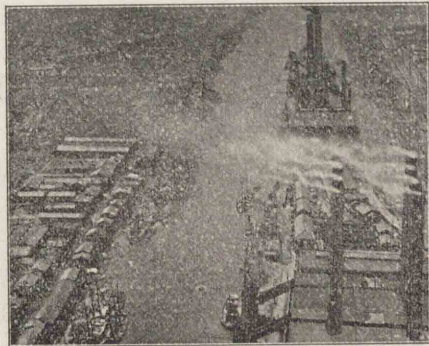
Oceania

面積 八千六百萬方
人口 九百萬

附 南極地方
Antarctic Regions



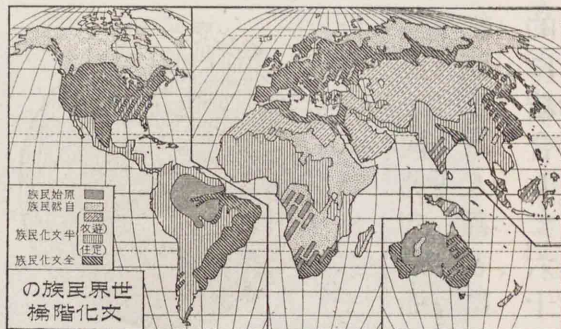
(港水清)船出輸米對の茶製が我



帶地業工阪大

緒論

界到る處に躍進してゐる。加之今後、國際間の中心舞臺たらんとする太平洋に直面してゐるから、我が帝國の國民は、眞劍に外國地理を研究考察して、祖國の進運に貢獻しなければならぬ。



の族民界世
橋階化文

る。そして各民族は、地勢氣候天産等の如何に依つて文化を異にし、其の優劣による優勝劣敗は、時々刻々に行はれてゐる。

我が大日本帝國は、太平洋の一隅に起り、今や世界三大強國の一として、其の國際的活動が著しく、其の商品は、世



本邦輸出相手國別

面積一〇
國萬千一
國萬百は位單の字數

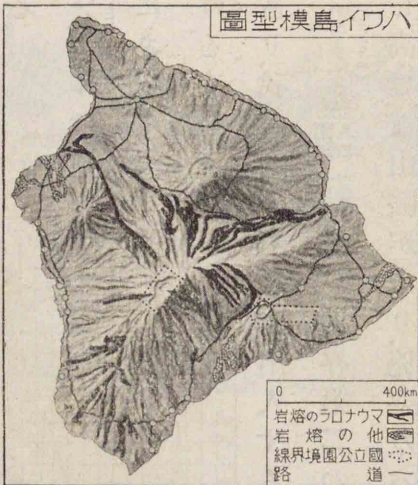


畑ルブツナイバのイワハ



き搦芋ロタの人土イワハ

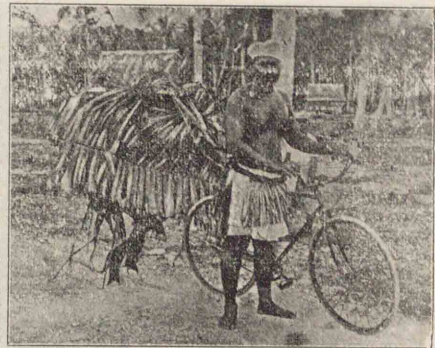
砂糖を輸出する。バナナ、鳳梨、タロ芋(土人食物)



人(フィリピン、支那、ポルトガル人)が多く、土人(カナ)は、僅かに三萬人である。全部火山島で、ハワイ島には、ロアケアの二火山が峙ち、又キラウエア(ロアの側火山)山頂の熔岩湖は、凄愴を極める。熱帯海洋性氣候で、甘蔗の栽培に適し、移住同胞の多くが之に従事し、ヒロは、



り乗波の岸海イワハ



(るす有所を車轉自各)人土の島ルウナ

領、其の他は米佛日の領土となつた。

第二章 太平洋諸島

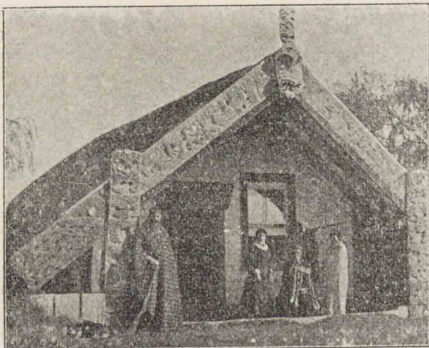
赤道以北にある舊獨領はグアム島を除く外は、我が委任統治地である。その他の太平洋の島々は英米佛の領地、又は委任統治地となつてゐる。グアム島(面積 五〇方里、人口 二萬人)は、米領で、マリアナ群島に屬する。交通の要地に當り、また米國海軍の貯炭所がある。

ナウル島(英、豪、ニュージーランド)面積 二、〇〇方里、人口 〇、三萬人は、マーシャル群島に屬する。大洋島(英領)人口 二萬人と共に珊瑚礁で、燐礦を産する。ハワイ(米領)諸島(面積 一七〇萬方里、人口 一五萬人)米領で北回歸線附近の洋心に位し、米國の太平洋に於ける生長尖端で、オアフ島のパール灣に、堅固な要塞がある。邦人十五萬(全人口の四割)の外、外來





ホノルル市街



マオリの家(彫刻清巧)

を産する。

首府ホノルルは、主島

Honolulu

オアフにある。太平洋

に於ける交通通信

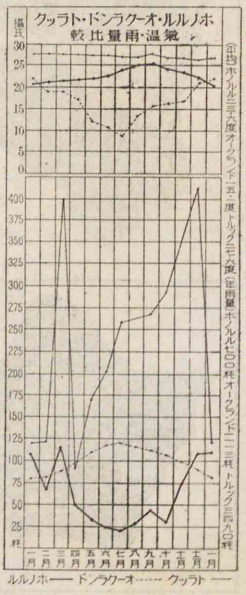
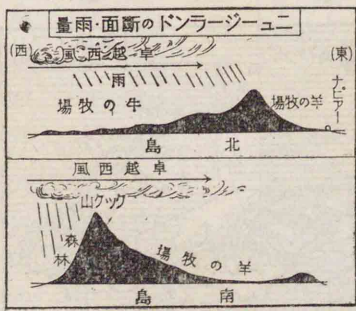
の衝に當り、我が國の汽船が出入する。

パプア(ニューギニア)島面積九萬方人、人口九萬方人、世界第二の大島で、英・蘭・濠(委任統治)に分屬し、高峻な山脈が走り、兇惡なパプア族がある。椰子・バナナ・極樂鳥を産し、有望な熱帯栽培地である。

ニュージーランド(新西)面積七萬方人、人口二萬五千人、英國の自治領で、住民は、英人系が大部を占める。土人マオリは、進歩してゐるが漸減する。

ニュージーランド(新西)面積七萬方人、人口二萬五千人、英國の自治領で、住民は、英人系が大部を占める。土人マオリは、進歩してゐるが漸減する。

ニュージーランド(新西)面積七萬方人、人口二萬五千人、英國の自治領で、住民は、英人系が大部を占める。土人マオリは、進歩してゐるが漸減する。

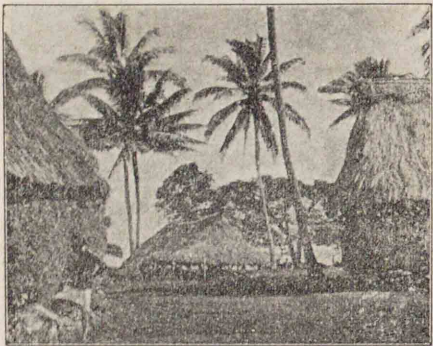


ハワイの人種 ハワイは人種の熔鑪爐といはれ廣告にも英語・日本語・支那語等を一緒に並べてある (1)ハワイ人 (2)日本人(内地人) (3)支那人 (4)日本人(朝鮮人) (5)日本人(ロシア人) (6)ロシア人 (7)フィリピン人 (8)葡萄牙人 外は多く雜種である



ニューギニア ニューギニアは未開暗黒の大島で人喰人種が住み探検家で蕃人に食はれた者もある 圖はニューギニア海岸の代表的な風景の一つである

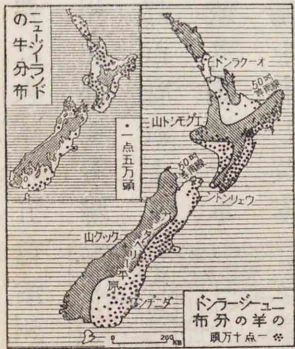
ブリーニ山脈 ブリーニ山脈は東南海岸と内陸とを遮断するが處々に斷層谷があつてよい通路となる 圖はシドニー・パサースト間のもので峯・傾斜・溝・ユーカリ樹等ブリーニ山脈の代表的風景である



落部人士の島諸ージオフ



ントンリエウ



府ウエリントン及び最大都オークランドは、全貿易の半を取引する。
Wellington 一府 Auckland 二府

南島には山脈が高く連り、北島には火山温泉が多い。多雨の西岸は、玉蜀黍・牛(島北)を産し、寡雨の東岸は羊が多い。羊毛・酪製品・小麦を輸出し、織物・機械を輸入する。首

其の他の諸島 ニューカレドニア(領佛)は、ニッケルを産出し、之を採掘する同胞がある。
New Caledonia
フィジー諸島(領英)は、コブラ砂糖を産し、良港のスヴァアがある。
Fiji
サモア諸島は、米・ニュージランド(委任統治)に分属する。
Samoa
右の外、南洋の楽園と言はれるソシエテ諸島(領佛)・ファンニング島(領英)等がある。
Society(Society) Fanning



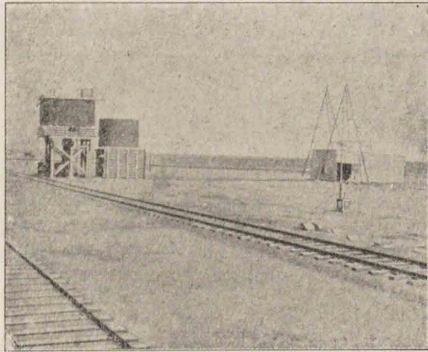
ホノルルの落陽 市は布哇群島の首府 太平洋航路の中心に當る 氣候良好太平洋の樂園と稱せられる 圖はワイキキ海岸である



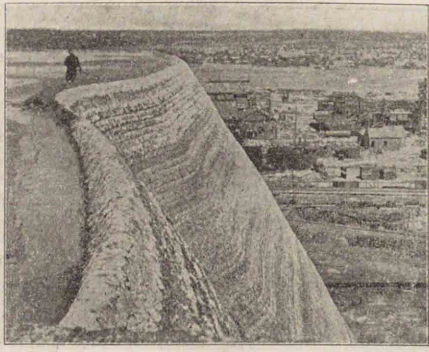
バプア島の土人部落 人喰人種バプア土人にも開化したものがある フライ河沿岸のテオリ族は草屋根の長屋に住む 家屋は地上・樹上・水上の三様式があり 圖は陸上家屋である



サモア諸島のバゴバゴ 米領サモアの一都市 峽灣狀の港は火口港で兩岸壁立し樹木茂り港内深く南洋無二の良港で米國の軍艦碇泊所・貯炭港である

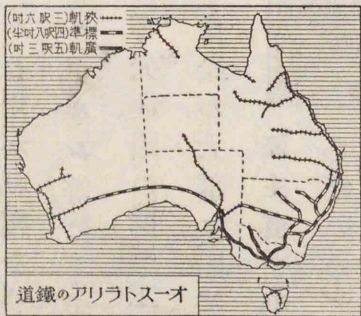


道鐵斷横アリラトスーオ



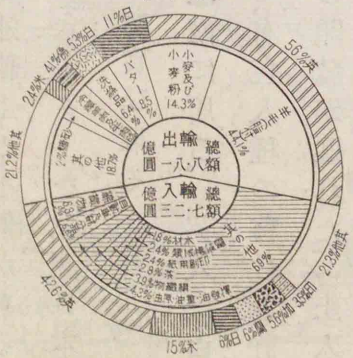
場捨洋鏡選のーリルーグルカ

拓鐵道は、早
とを結ぶ開
陸の産業地
又海岸と内
してゐる。
斷線が開通

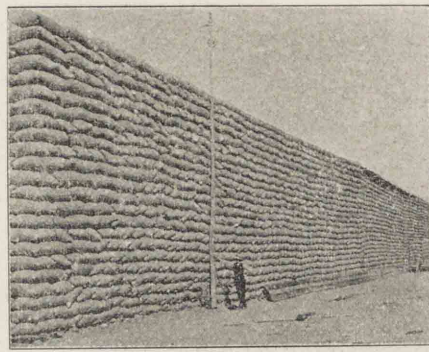


道鐵のアリラトスーオ

易貿のアリラトスーオ
(年十和昭)



産に富み、**カルグーリ**、**リール**、**クール**、**ガルデー**等の鑛山市
(草原中)がある。南西の三角地は、稍雨があるので、農産地
帯が出来、**パース**が其の中心である。
タスマニア 面積六、八萬方軒 人口三、三萬人 氣候が溫和で、果物を産出し、鑛産も多い。**ホバ**
トは良港である。
特有生物 本大陸は、早く舊大陸と分離し、**ユーカリ**、**アカシア**、**カンガルー**、
鴨嘴獸、**エミュー**、**食火雞**等の珍奇な動物植物が多い。
Darwin、**Finn Cassowary**
交通商業 鐵道は、南東部に最も發達し、南部には、東西横
斷線が開通
してゐる。
又海岸と内
陸の産業地
とを結ぶ開
拓鐵道は、早



山の麥小のドーレデア



井鑛大の地盆央中

ある。首府**カンベラ**は、
高燥で山紫水明である。
中央低地 東西に山地
がある爲、概して雨量が
少く、東部の稍雨量のあ
る地方には、小麥が作ら
れる。其の他は、廣い草
原で、**大鑛井盆地**では、地下水を利用し、又**マレー**流域で
は、堰堤を築いて、牧羊地
農耕地を作つてゐる。
アデレードは、其の門戶
で小麥を輸出する。
西部高原 卓狀地で沙
漠性の草原が多いが、金

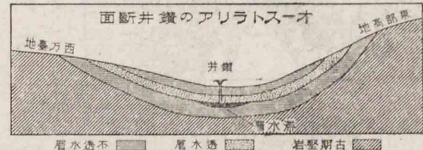
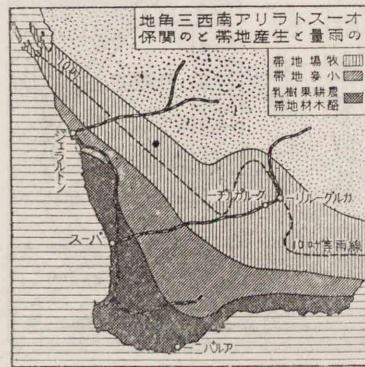
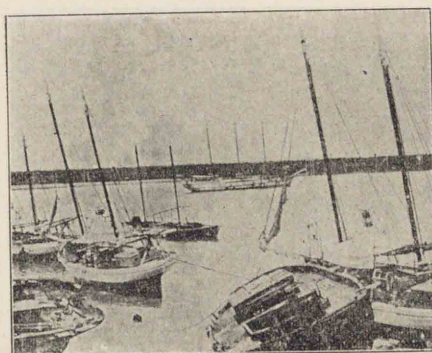
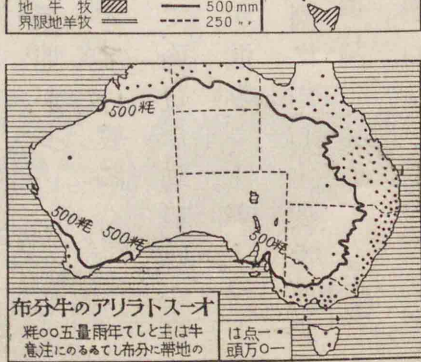
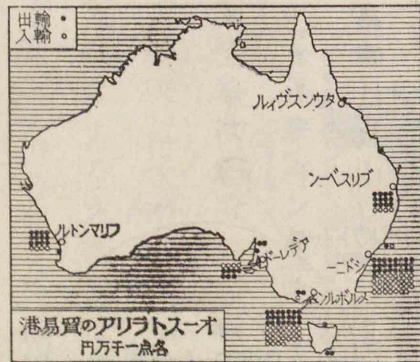
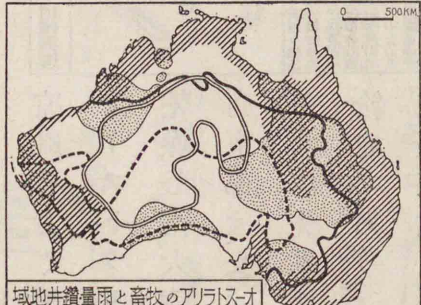
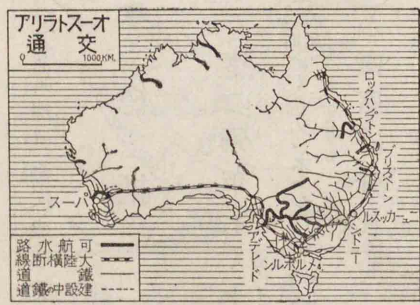
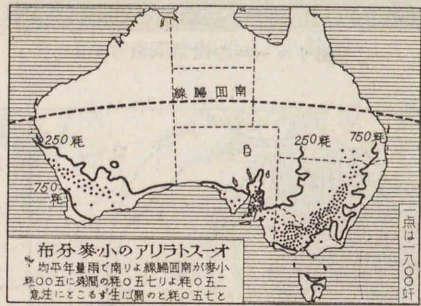
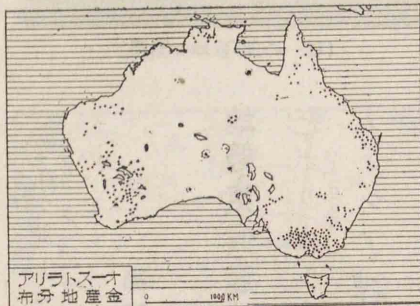
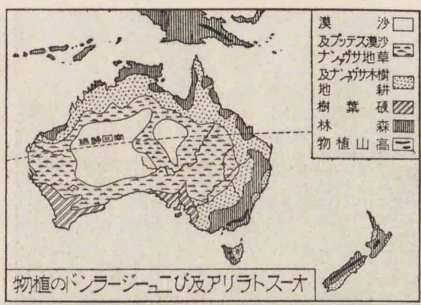
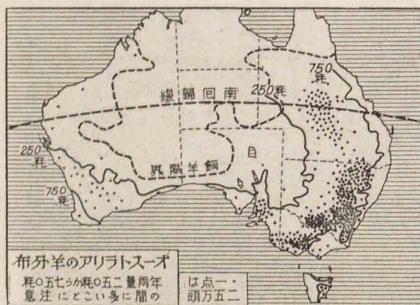


Table with 5 columns: Sheep count (2000, 4000, 6000, 8000, 10000) and various statistics for Alice Springs and the Murray Basin.



(島曜木)船取採貝珠眞の邦人

群大の羊

オセアニア洲

オーストラリア聯邦

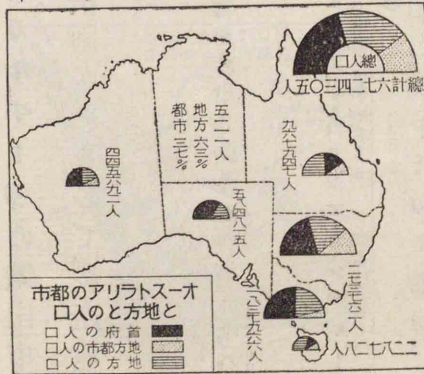
三



易額は、我が國の數倍である。
 日本との關係 地理的條件がよい上に、四季の變化が相反するので、政治貿易の關係が密接である。在留同胞四千人は、主に木

易額は、我が國の數倍である。

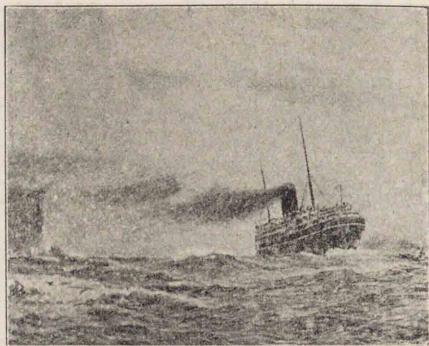
文化生括 住民の大部は、回歸線以南に居る。英人は白
 濠主義を唱へて、有色人種の移住を許
 さないので、その開發が遅れた。土人
 の貧困なのに反し、白人は、天與の富源
 を壟斷して、豊
 かな生活を營
 み、一人當り貿



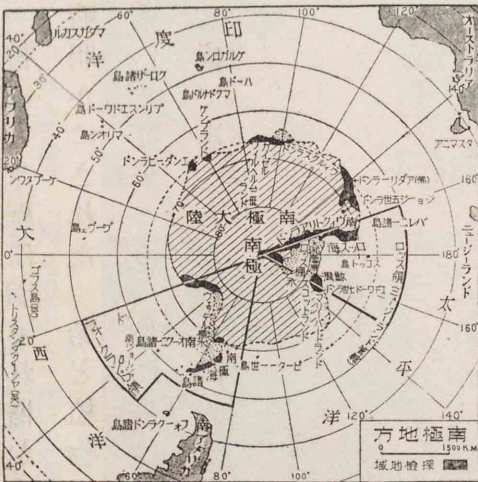
く發達したが、各州が軌幅を異にし、連絡上の不便がある。
 シドニー・メルボルン等は、羊毛・小麥・金・バターを歐洲日本
 に送り、これ等先進國の機械・工業品を買ひ取る。
 英人は白
 濠主義を唱へて、有色人種の移住を許
 さないので、その開發が遅れた。土人
 の貧困なのに反し、白人は、天與の富源
 を壟斷して、豊
 かな生活を營
 み、一人當り貿



定測位置の極南のンゼンムア



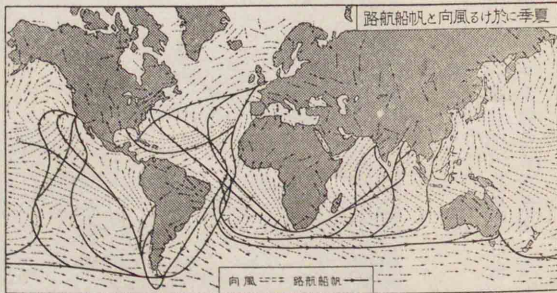
(外港ーードシ)船巨の路航濠歐



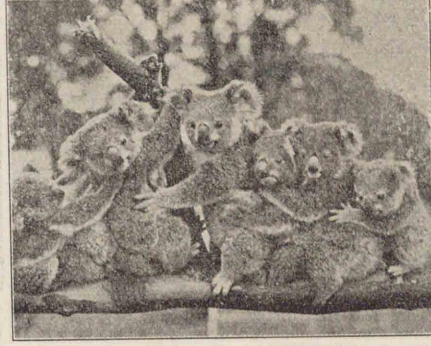
運は、割合に發達してゐる。特に南西風を利用する歐洲よりの帆船航路は、世に有名なものである。

第五章 南極地方
Antarctic Regions
面積三〇〇萬方軒

南極の神秘を究める事業は、十九世紀後半から盛となり、一九一一年アマンゼン(ノースウット)等は、相次いで南極を究め、又近くバード(人)は、飛行機による大規模な探検を試みた。かくて南極



樹リカーユの産原洲濠

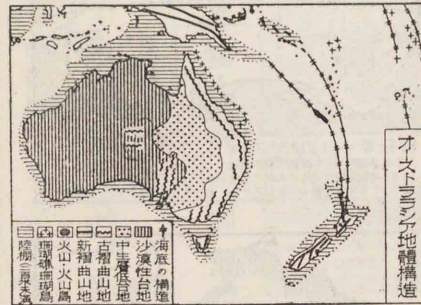


(種一の熊)獸珍の洲濠

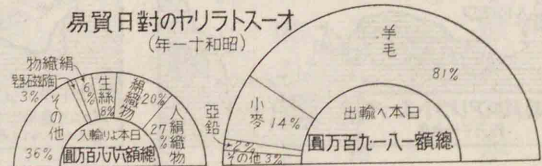
曜島ブルーム附近で眞珠貝を採取してゐる。
Thursday Broom

第四章 總括

地勢・氣候・産業 陸の分布上、ミクロネシア(小島のポリネシア(多島)メラネシア(黑人島)オーストラシア(南大陸)の四區に分れる。島嶼は火山島が多く、珊瑚島もある。熱帯海洋性氣候で、涼風そよぐ樂天地が多い。オーストラリアは、一般に乾燥した大陸で、珍奇な動植物が多く、南東部は、交通が進み、ニュージールランドと共に、先進諸國に對し、主要な原料供給地である。



交通商業 海洋中に散在するので、海

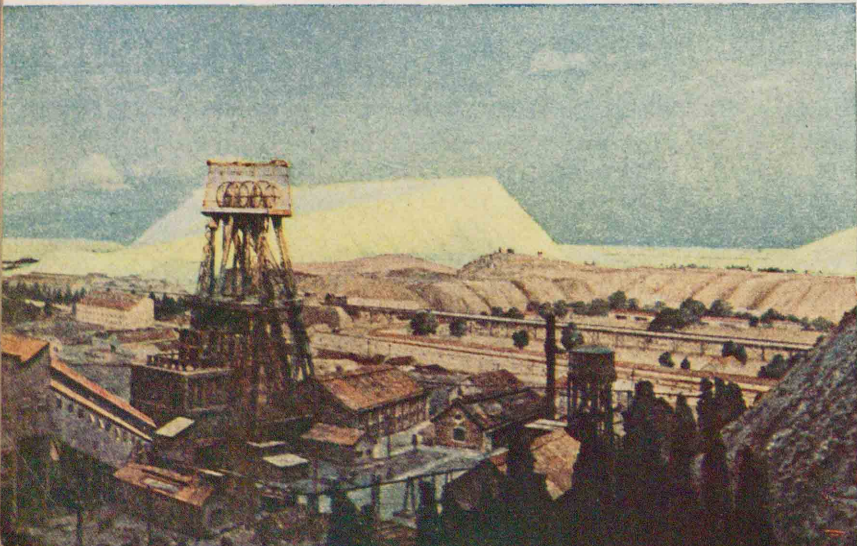




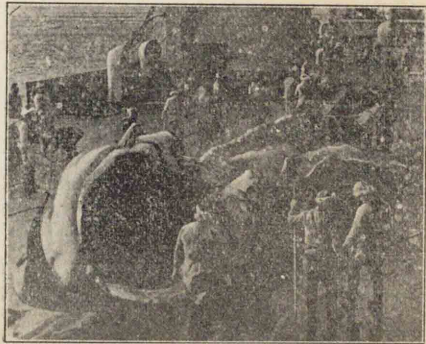
サハラ沙漠のオアシス 荒涼たる砂海の所々にはオアシスがあつて椰子が生え作物も作られる 沙漠の舟は之を尋ねて商ひ又憩ふ オアシスは沙漠中の文化島である



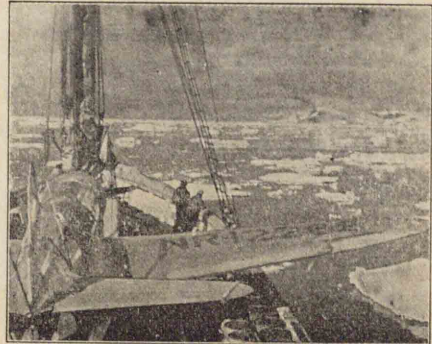
ケープ・カイロ鐵道 この交通路のもつ政治・軍事・經濟價値は大きいものである 今や鐵道の大部は完成し之と河舟や自動車との連絡もよく航空路も完成した 圖はケープ州に於ける一交通景である



ウイットウオースランド金山 南阿聯邦トランスワール州西南部高臺地方の總稱で金の大産地 金の中心はヨハネスブルグである



極南に於ける捕鯨船の活躍



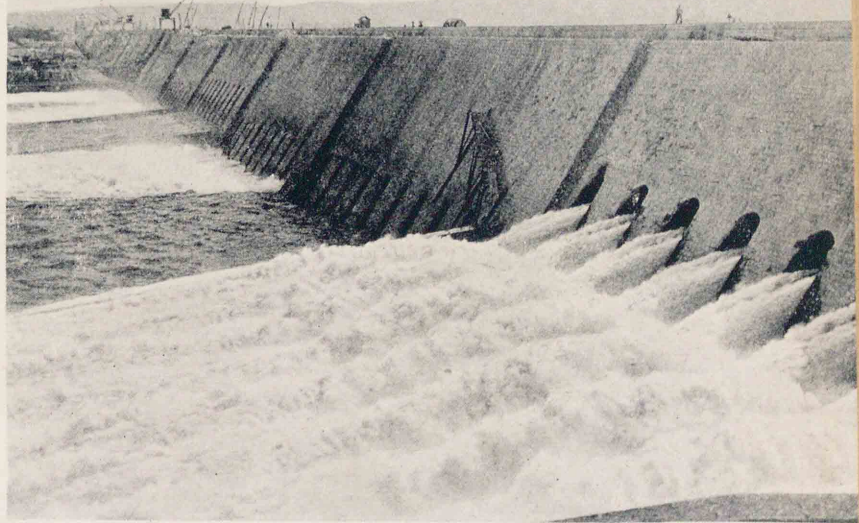
氷流を分け進む探検船

一帯は、大氷壁に圍まれ、概ね高原狀(餘^三米)大陸たることが、略明かにされた。殆ど植物がなく、ペンギン・鯨・膾膾たる^{Penguin}が、多し。從來、この一帯に於ける捕鯨業は、諾威人の獨占する處であつたが、近年、邦人が著しく活躍するやうになつた。

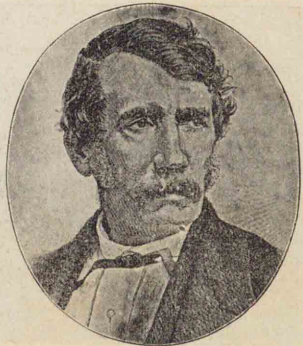
スフィンクスとピラミッド ギゼーにあるもので凡てが神秘そのものである。數千年前のナイル文明の残りて沙漠を行く駱駝と共にアフリカを象徴する



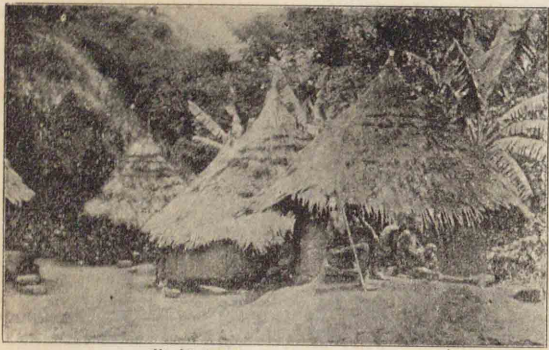
アスワンの大堰堤 世界第一の大堰堤で古代人の築いたピラミッドやスフィンクスとよい對照をなしてゐる。これによつてエジプト文明の母ナイルは一層その力を發揮する



ポートサイド港 スエズ運河の開通は世界交通に一大變化を與へポートサイドを發達せしめた。ポートサイドとは運河開鑿に功のあつた當時の埃及實權者の名を記念するものである。圖は港の光景で右は運河開鑿者レセップス氏の像である



ントスグンイゾリ



落部の人土カリファ

アフリカ洲序説

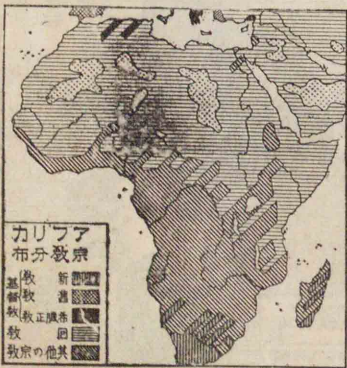
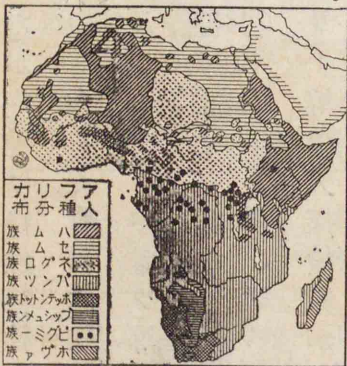
第二編 アフリカ (利加非) 洲

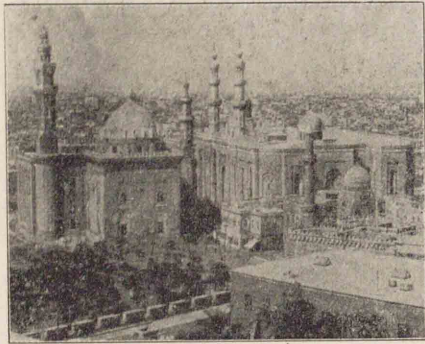
面積 三千万方軒
人口 一億三千万人

第一章 序説

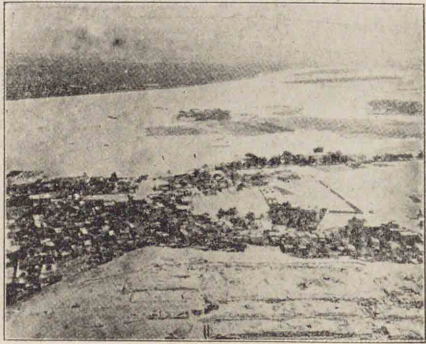
アフリカ洲は、東半球の南西部を占め、世界第二の大陸で、赤道が其の中央部を東西に走つてゐる。アジア洲と僅かにスエズ地峽で連り、ヨーロッパ洲と地中海を隔て、相對してゐる。

北部は、セム族 (主徒に回)・ハム族 (主徒に回) によつて、夙に燦爛たる

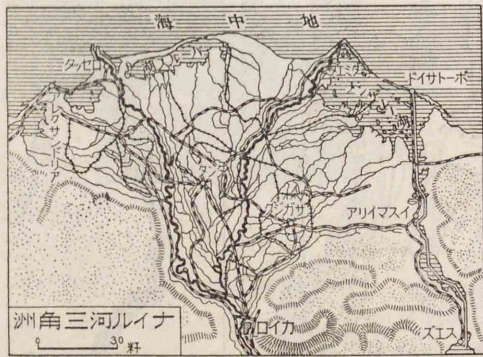




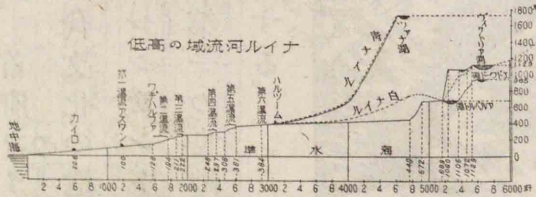
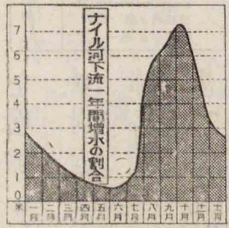
ロイカ



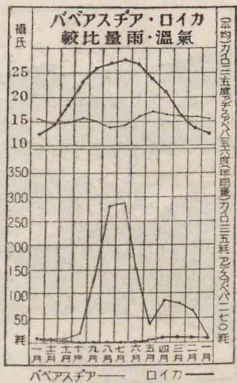
濫氾の河ルイナ



及の古文明は、實に此の「ナイル」の賜である。近年アスワンに大堰堤を築いて河水を調節し、耕地



となつたが、尙英國の優越權が著しい。乾燥氣候地帯であるが、南から北に流れる「ナイル」河は、夏季の定期氾濫により、下流に、絶好の農耕地たる大三角洲を作つて、棉・煙草・甘蔗・小麥・玉蜀黍などを産する。又天與の交通路ともなり、埃及の古文明は、實に此の「ナイル」の賜である。近年アスワンに大堰堤を築いて



觀景の河ルイナ



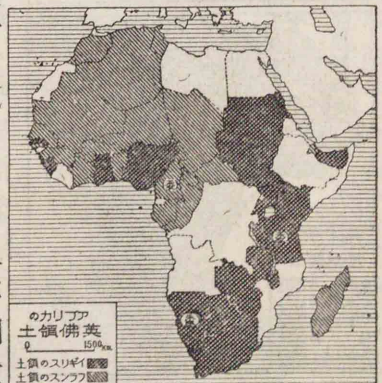
ーリンダス

本洲の北東部に位し、交通の要地である。大戦後立憲王國

第二章 北部アフリカ

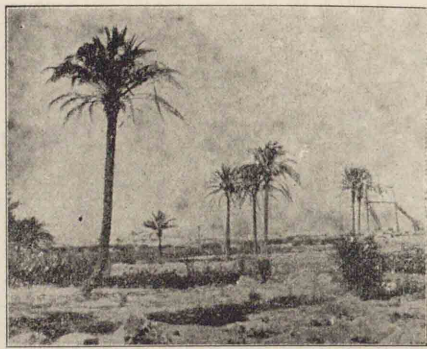
第一節 エジプト(埃及) 面積 先萬方人 人口 一五三萬

文明が開けたが、内地は自然條件が文化を峻拒し、久しく暗黒大陸として、野獸及びネグロ・バントゥ等の黒人の彷徨に委せられた。然るに一八七〇年頃にリヴィンダス・トンスタニリー等の大探検家が内陸の事情を明かにして以來、遠征を試みる白人が相次ぎ、今やこの大陸は、ヨーロッパ各國の勢力圏となり、國勢が振はぬ二三の獨立國を除いては全くの植民大陸となり、英・佛の領有が最も多い。





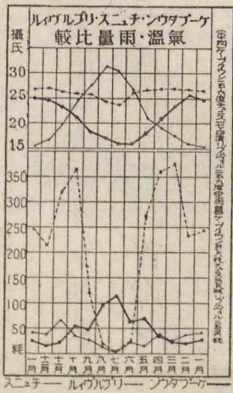
— エジリア



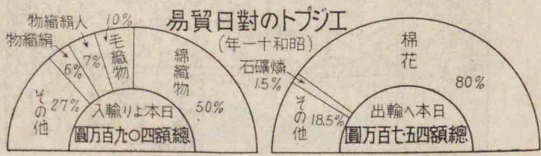
観景の岸海アビリ



アルジェリア 面積三〇〇萬方人
佛本國の一部で、葡萄
オリーブ、アルファ草、棗
椰子を産する。首府



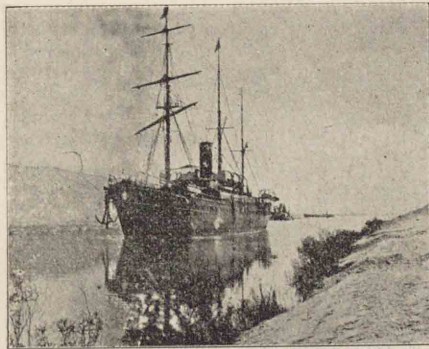
チュニス(フランス保護領) 面積三萬方人
は首府で、ビゼルトは軍港である。



地中海式氣候で、アトラス山脈は、東西に走つてゐる。
リビア(領伊) 面積一〇〇萬方人
不毛の沙漠が多く、海岸
の沃地は、果實を産する。

第二節 バルバリ諸國

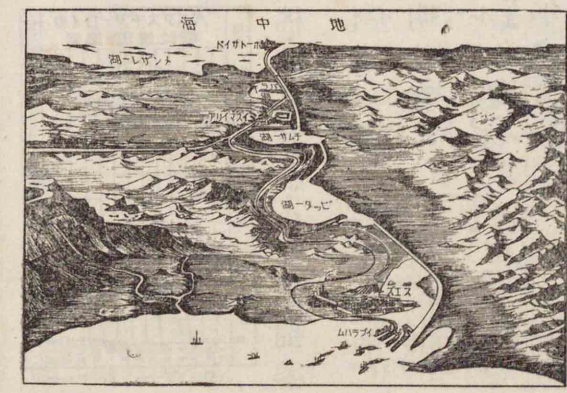
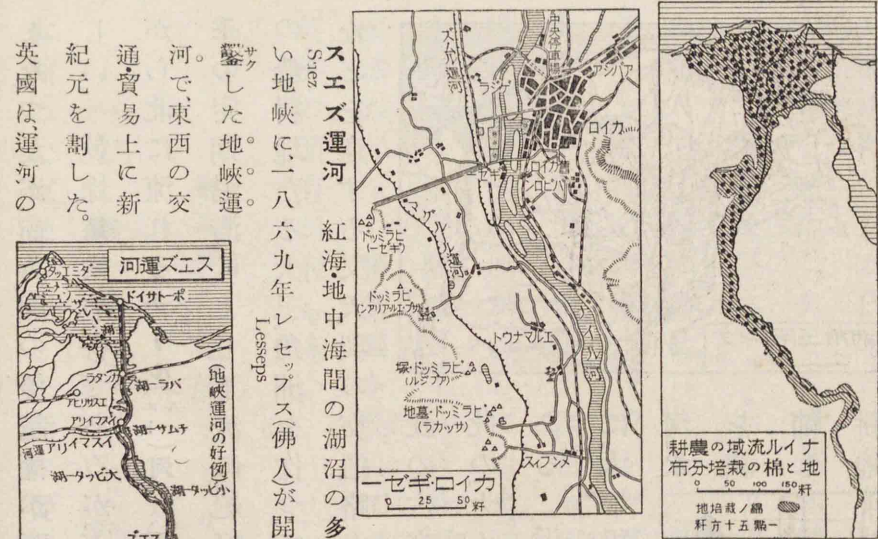
實權を握り又埃及を勢力圏としてゐる。
日本との關係 我が汽船は、スエズ・ポートサイド・アレク
サンドリアに寄航して、綿製品、毛織物、絹織物を齎し、棉
を持ち歸る、



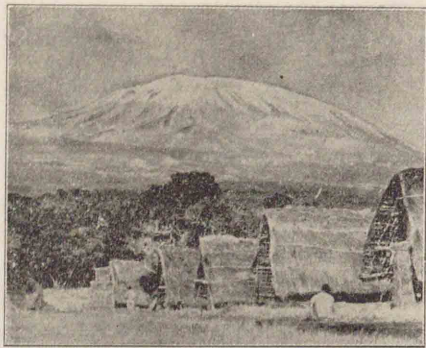
河運ズエス



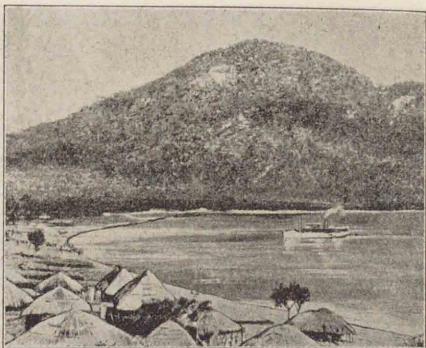
アリドンサクレア



を増加した。首府カイロ
附近は、古代文化の遺
跡に富み、アレクサンド
リアは、國內第一の良港
で、棉を輸出する。



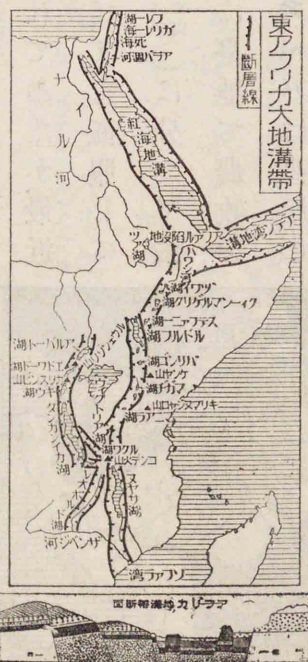
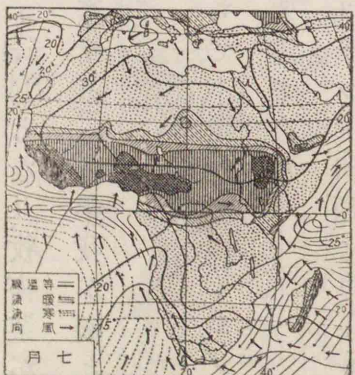
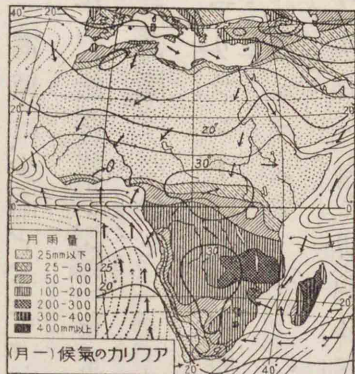
落部のログネと山火ロジャヌマリキ



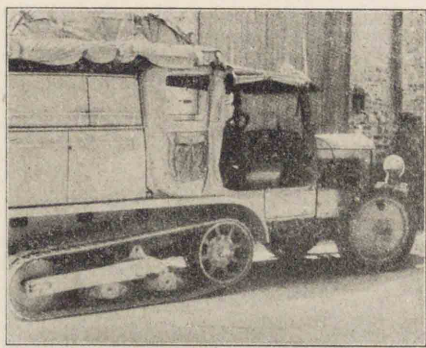
灣一キンモの端南湖サヤヌ

煙草 砂糖
ム珈琲 棉
椰子油
ゴ
で、コブラ
帯性氣候
海岸は熱

概説 北はソマ
リランド半島か
ら、南はザンベジ
河下流に及ぶ地
域で、西部には、東
アフリカ大地溝帯が縦走して、湖沼火山が甚だ多い。



第三章 東部アフリカ



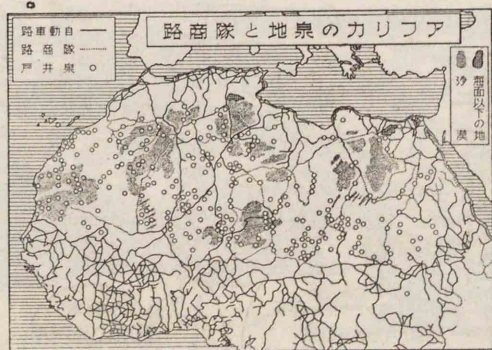
車動自の斷横漠沙



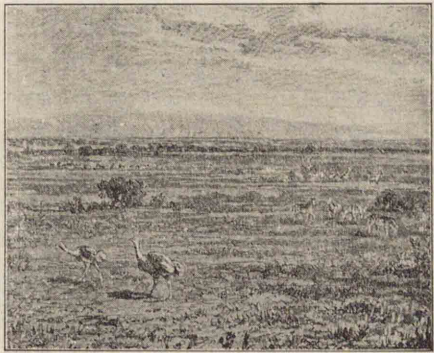
觀景の街市ルエジンタのコロモ

大部は、佛國の勢力圏である。高臺性の内陸で、純大陸性氣候をなし、世界第一の大沙漠である。諸所に散在する泉地は、棗椰子を産し、隊商の要地であるが、今は自動車
が通行し、又鐵道敷設の計畫もある。

第三節 サハラ



アルジェーは貿易が盛である。
Algeria 二五・七
モロッコ 面積 五五萬方
人口 六六萬 人 北部はスペイン、南の大部はフランスの保護領で、モロッコ革・フェズ帽(羊毛製)を産出する。首府ラバトは、門戸である。
Morocco Fez
Rabat



原草のカリファ部東



(局便郵は端右)バベアスチア

を産する。高原は、少雨で、サヴァンナ(草野)となり、牧畜業が行はれ、象牙・天然曹達(マガチ湖に産する)をも産する。近年我が國と、通商關係が密接になつた。

英佛領ソマリランド 共に山勝ちで不毛地が多く、ジブチ(佛領)は、バブエルマンデブ(涙の門)の要港である。

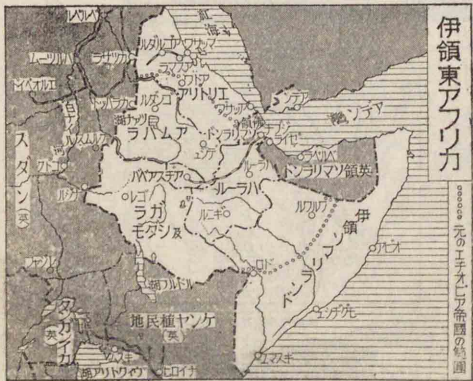
伊領東アフリカ もと伊領ソマリランド・伊領エリトリア

ア・獨立國エチオピア(アビシニアともいひ、面積九〇萬方軒、人口一五〇萬人、)に分れてゐたが、最近

伊太利がエチオピアを征服して、今五州一區(バチスア)に分つて治

めてゐる。一般に臺地で、農牧を主業とし、アヂスアベバは高原の中心に位する政治都市である。

英領東アフリカ ケンヤ植民地、



伊領東アフリカ

東部のアフリカ

ウガンダ保護領タンガンイカ委任統治地ヌヤサランド

保護領に分れ、シサル麻を産し、我が國に棉を送る。ザン

ジバル(保)は、丁子の産が多く、ザンジバル港から輸出する。

ダルエスサラームは、アフリカ横斷路の東起點である。

葡領東アフリカ ザンベジ河の下流地方である。デラ

ゴア灣岸の首府ロレンソマルケスは、ベイラと共に、内陸

への門戸である。

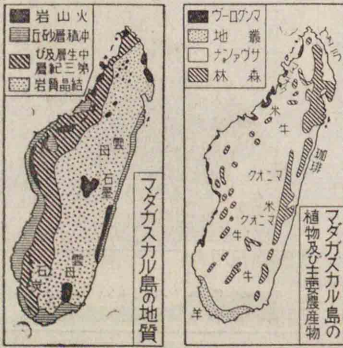
マダガスカル島 面積三萬方軒、人口三萬、佛領の

大島で、アフリカ大陸に見ない擬猴類、ホヴァ族(海岸島)が棲み、旅人木がある。

首府をタナナリヴァといふ。

佛領レユニオン・英領モーリシアス・英領セイ

シルの三島は、何れも印度洋交通の要地で、多く砂糖を産出する。

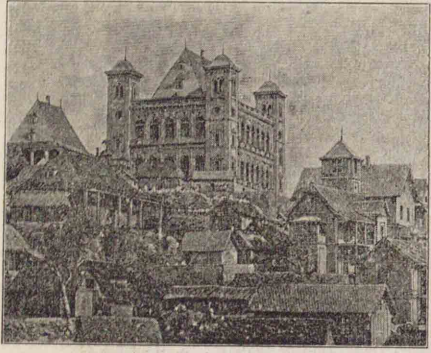


マダガスカル島の地質

マダガスカル島の植物及び主要産物



ルバジンザ

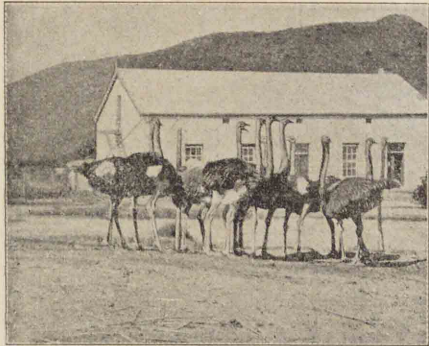


オヴリナナタ

第四章 南部アフリカ



ケープタウンの聯邦議事堂

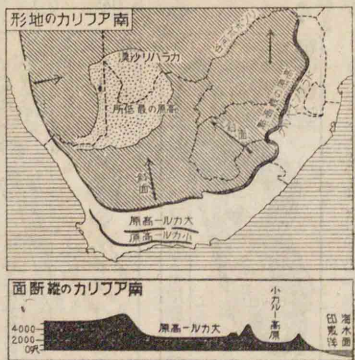
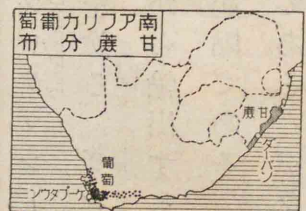
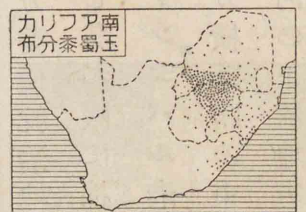
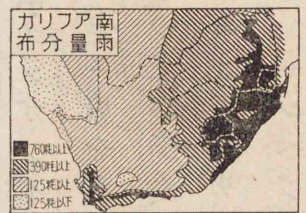


駝鳥の飼育

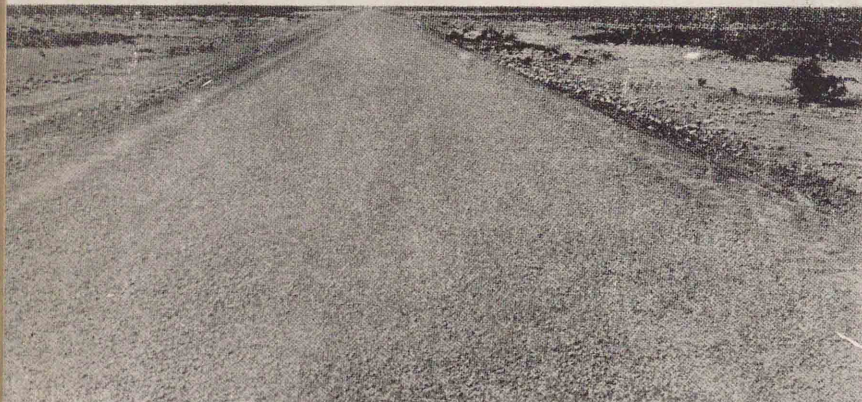
大陸の最南端を占め、ブリア人(Boers)が黒人に代り、更に英人が之を驅逐してその勢力圏を確立した。今は、ケープ・ナタール・トランスヴァール・オレンジ自由の四州が、英國の自治領たる南アフリカ聯邦(Union of South Africa)を組織し、政府を

レトリアに、議會をケープタウンに設けてゐる。面積三萬方人、人口八萬、を組織し、政府を

概して温帯氣候で、多雨の海岸地は、甘蔗・玉蜀黍を産し、それより小麥・葡萄の産地



エジプト・チュニス間の大道路 約二三〇年に及ぶ海岸道路で軍事・開發上の價値が大きい 沙漠の大平原に於ける道路景を如實に示してゐる

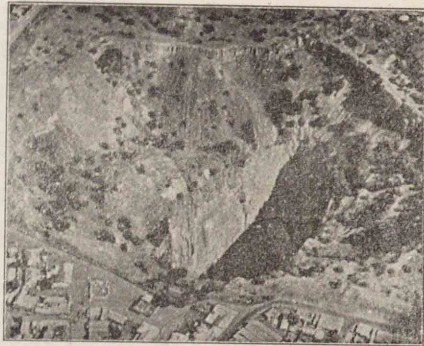


リビアの大鑽井 伊領リビアは廣大な割合に荒地が廣く經濟的價値が少い 荒地の開發は灌漑を第一の要件とし近時政府は處々に圖のやうな大鑽井を掘鑿してゐる



アトラス山脈 北西アフリカの海岸を走りアベニン山脈に續く山脈で處々で斷絶する 東半部は低く高原をなす處もあるが西半部は高峻である 圖は西半部即ちモロッコのアトラス山脈である



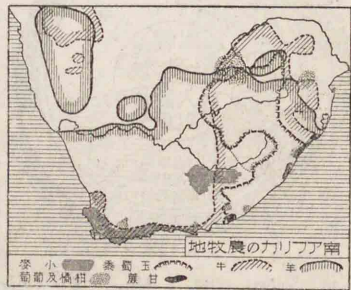


山鑛石剛金ーリーバンキ



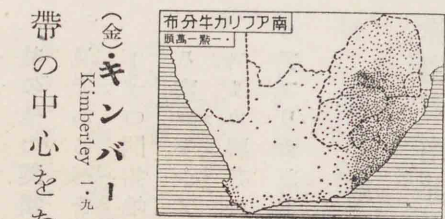
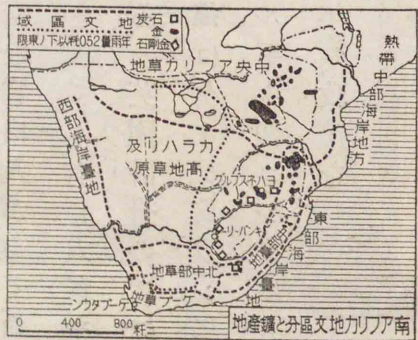
山鑛金のグルブスネハヨ

文化生活
活気が白
候が、移
人の適
住に農
し、且



邦産カリブ南	100	200	300	400	32%
邦産トエヴ					20%
ダナカ					10%
邦産合カリブ					10%
本 日					4%
アラブスオ					3%
アンデーロ					2%

額産総界世 1105 吨
金
年一十和昭



（金）キンバリー (Kimberley) は、此の鑛業地帯の中心をなし、ケープタウンは、重要な貿易港である。



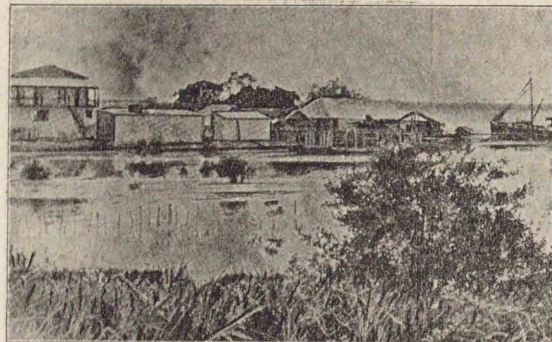
ヨハネスブルグ 南阿金産の中心 氣候温暖な健康地 有名なウイトウォーターダースランド鑛山に近い金山町で市街は街路廣く真直で美しい現代都市である



沙漠地方の風 沙漠地方にはよく旋風が起つて砂を移動させる 隊商の最も恐れるもので砂に埋められることがある 圖はエジプトの沙漠の風である



キニア海岸の棉積出し アフリカの各地には歐羅巴人の指導によつて棉を産する 圖は佛領赤道アフリカの海岸に於ける土人の棉積出しの有様である。

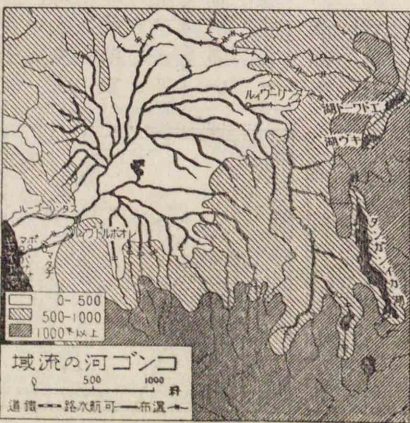


港 ナ ナ バ

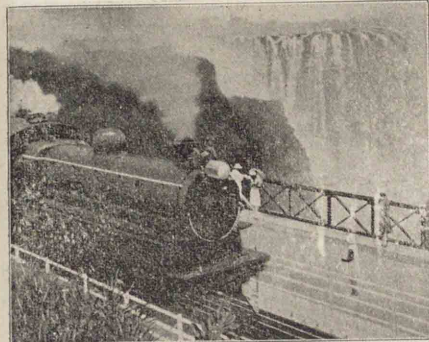


ー ミ グ ビ

盆地の周囲は、サヴァンナを形成し、草食獣や肉食獣の群棲を見る。下ギネア地方には、葡領西アフリカ（葡領アンゴラ）と白領コンゴとの二区域がある。東部スタン（英、埃、Sudan）は、



中央にある多雨のコンゴ盆地は熱帯原生林に掩はれ、ツツエ蠅・睡眠病などの爲、白人の居住に適しない。類人猿及び黒人のネグロ・ピグミー等がある。コンゴ河は大弓形を描いて此の盆地を流れ支那本部に等しい流域を有する。瀑流部は鐵道があるので、ダルエスサラームから鐵道及び船を五回づつ利用すれば、二旬にして河口のバナナに出られる。



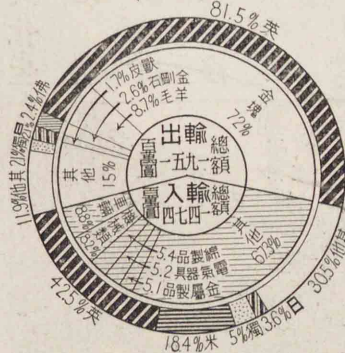
布瀑アリトクィヴ



羊牧の州プーケ

易貿の邦聯阿南

(年一十和昭)

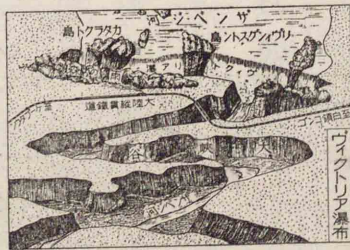


完成實現せんとしてゐる。

其の他の英領 大部分は、カラハリ沙漠であるベチアナランドや、セシルロツの開拓地で、ヴィクトリア瀑布のある南ロデシア及び北ロデシアや、南アフリカ聯邦の委任統治地である南西アフリカなどがある。

第五章 中部アフリカ

赤道の南北各十數度に跨り、本洲の最濕熱部で、



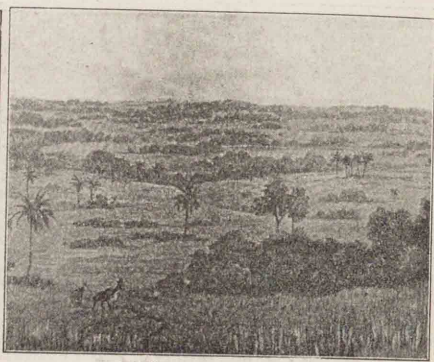
面斷横カリフアるけに道赤

地盆ゴンゴ 原高カリフア東 山ロシマカワ 野平原盆

收・鑛産が豊富な爲、白人が多く、白人南阿主義を樹て、有色人種を排斥してゐる。英國計畫の 아프리카縦貫鐵道は、ケープタウンに起り、今やベルギー領コンゴに入りて、英國多年の政策を



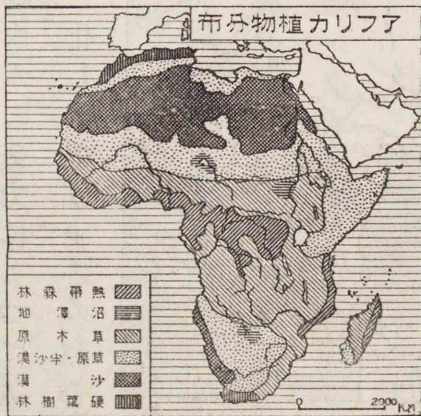
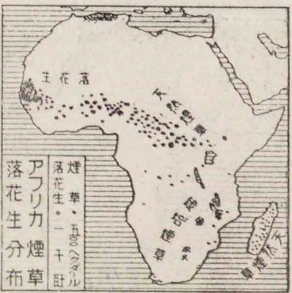
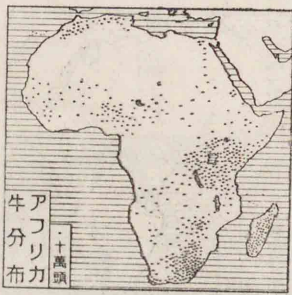
(ヤンケ) 馬河



原草のカリファ東道赤

地勢 高原大陸で、山脈を繞らし、多く海洋の恩恵を受けない。海岸に急斜する爲、河流は、急湍瀑布をなすものが多く、水運を妨げることが少くない。

氣候・産業 赤道は、大陸の中央を通過し、大部分が熱帯で、原生林が密生してゐる。南北の廣大な兩地域は、大陸的氣候で、沙漠をなし、それよりサヴァンナ・ステップ



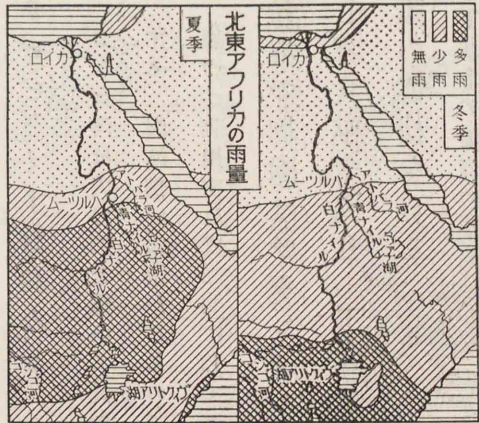
第六章 總括



地流配の Nile

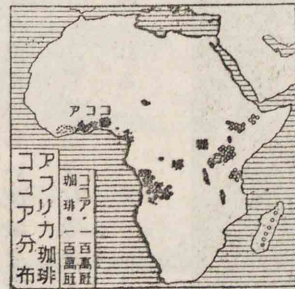


作耕棉のンダス



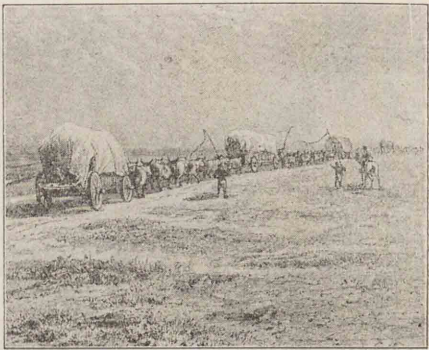
大陸の西方海中には略大陸を圍む弧線上に、數多の諸島が散在してゐる。中にもセントヘレナ島は英雄ナポレオンの配流地として知られてゐる。

Anglo-Egyptian Sudan の大盆地で、近年堰堤の築造により、棉の大生産地となつた。中部スダンはチャード湖の盆地で、英佛の勢力圏内にある。西部スダンは上ギネア (Upper Guinea) は、雨量の多い農業地域で、ココアの産額が世界の首位を占め、珈琲等の産も多く、英佛の領土の外に米國の開放奴隷の建てた獨立國リベリア (Liberia) がある。



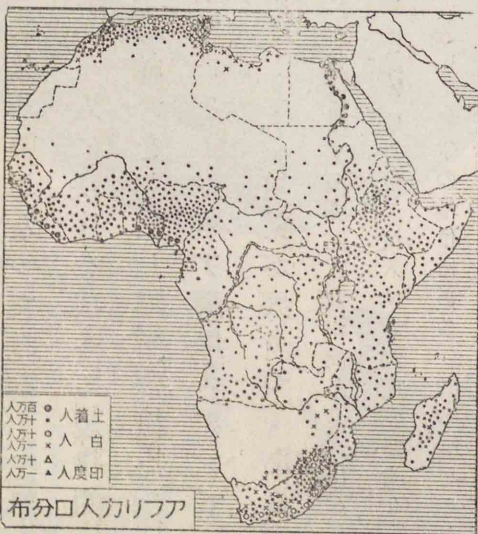
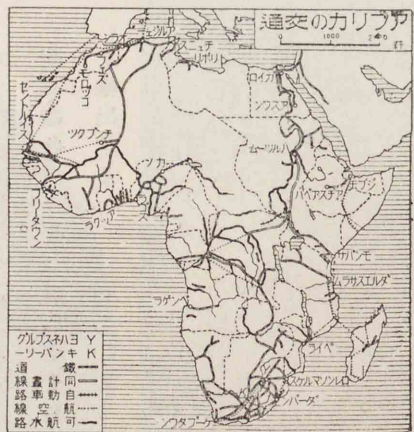


搬運上頭のカリファ部東



(ルーヴスラト) 車牛の阿南

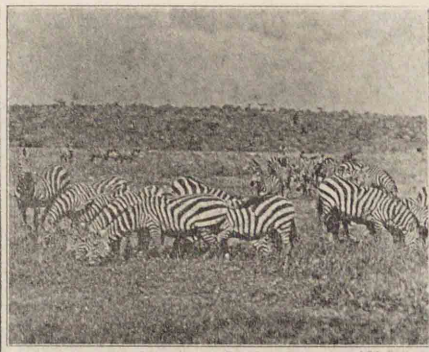
盆地・南アフリカ等に設けられ、また南北縦貫航空路も開拓されて、イギリス本國と連絡してゐる。
文化生活 經濟的價値は、地中海岸と南阿とが大で、此の兩地方は、南北相對し



て英國のアフリカ縦斷鐵道、佛國のサハラ横斷鐵道の計畫、バナナ・ダルエス・サラーム間の東西横斷交通路は、頗る注目に値する。又近年航空路も次第に發達して、コンゴ

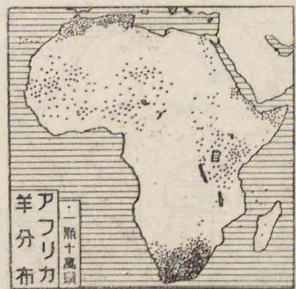
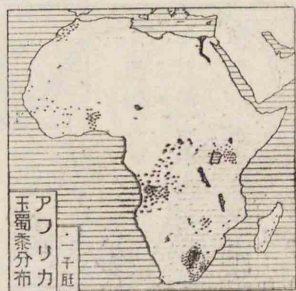
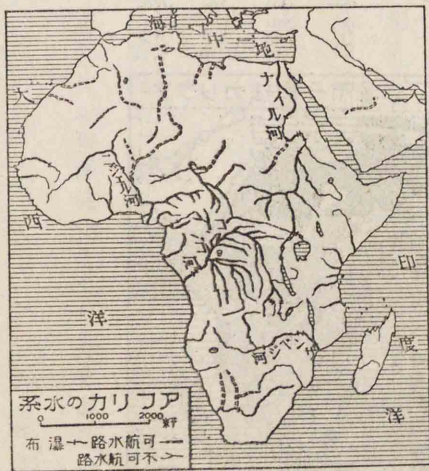


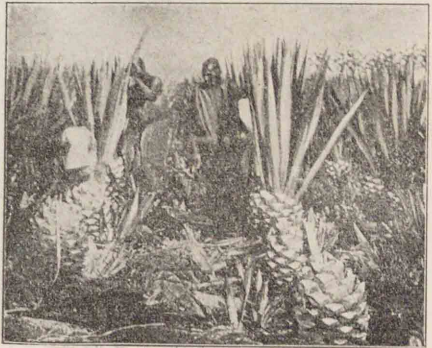
灌溉工人の方地流上河ルイナ



馬 斑

に漸移してゐる。動物は、氣候の制約を受け、巨大なもの、獷猛なものが多く、獅子・象・大蛇・鱷・河馬、斑馬・駝鳥等は最も著しい。近時白人の努力によつて、人工灌溉が行届き、寡雨地も耕地と化して、棉・椰子等の熱帶性産物を増加しつつある。
交通・商業 諸種の地理的條件が不良で、交通の障礙が多い。南部は牛車、北部は駱駝中部は土人の頭上によつて、物貨を運び、歐洲の貨物と物々交換をする。かゝる間に於





取採麻ルサシのカインガンダ



(ダンガウ) し出買の棉

て人口を吸集し、本大陸の文化地帯となつてゐる。中部は、白人の居住に適しないが、土人に秩序を與へて、規律的に労働に従事せしめ、草原・疎林野を開拓して、熱帯植物を植付ける事業は、將來有望である。ギネア灣岸・スダンては、現に大規模の開拓に着手して、栽培業が興りつゝある。

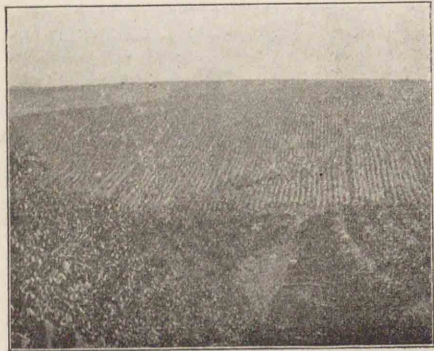
日本との關係 本洲は、土人の生活が漸進すると共に、我が商品の進出が多く、近年既に外國商人又は我が同胞の手を経て流入する國産が激増した。併し英國の商品と各市場に於いて競争の地位にある。我が國から絹布織物・メリヤス・雜貨等を輸入し、我が國へは少量の棉・天然曹達・羊毛等を輸出する。

アンデスの峠 圖は南米最高峰アコンカグアの僅か南に位する海拔三八七六米 チリ・アルジェンチン兩國を劃するウス巴拉タ峠 一名クンブレ(西語)の有望でアンデス横斷鐵道はこの下の隧道を通過する 峠の國境には大キリスト像がある



(右) チチカカ湖と葦舟 チチカカ湖は海拔三九四〇米で、海のないボリヴェアの高地に碧潭を湛へる。住民信仰の的となり、湖中の太陽島・太陰島はインカ帝國始祖の生地だと言はれる。葦舟はトルトラといふ大蒲で作るとき々乾して使ふ。

(上) チリの火山 比較的新しい地質時代に崛起したアンデスは地殼の擾亂部で世界最高の活火山コトバクシを始め火山が多い。圖はグアルデグイア東方のオンソノ火山で在留邦人はチリ富士と稱する。

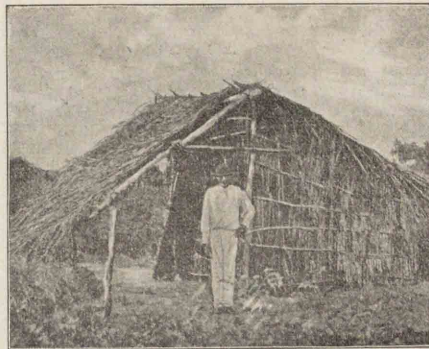
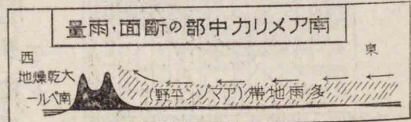
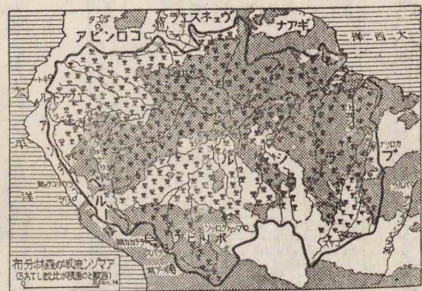
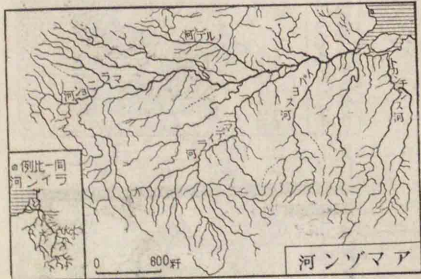


園珈珈の州ロウバンサ



スアヴルセ

河流域は、炎熱多雨で、晝尙暗
きセルヴァス(密林)となり、ゴム、
椰子油、木材、染料、薬材が無盡
藏で、我が事業家も着目する
やうになつた。アマゾン河
は、この地帯の大動脈で、マナ
オス・パラ(Manaos Para)は、林産物の集
散地として世に名高い。
ブラジル高地 南東部の波状地には、
珈琲の栽培が盛に行はれ、南部のサン
パウロ州は、その中心で、産額が世界第
一である。サンパウロは、珈琲栽培の
中心で、サントスは、その大輸出港であ
る。東岸地方は、亞熱帯性農産の玉蜀



屋家の人土ルジラブ



種一の人土米南
(人ナグナグ)



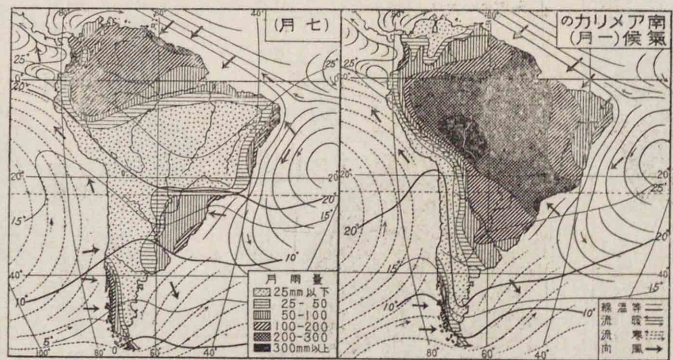
種一の人土米南
(人ドークトボ)

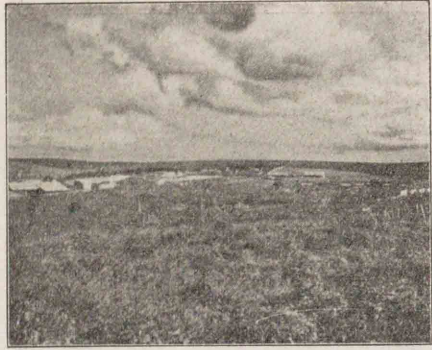
概説 大部は熱帯に位し、本洲第一の大國
で面積は我が國の約十三倍である。共和
國で葡人の子孫が多い。地形上アマゾン
平野(中部低地)東部山地に分れる。
アマゾン平野 本洲五分の二の
地積を占め、赤道直下のアマゾン

第二章
ブラジル(西爾刺)

面積 八五二萬方
人口 四三三萬人

チン・ブラジル・チリの三國以外は、何れも國勢が振はない。
米國は汎米主義を唱へて、本大陸に勢力を扶植しつつ、あ
る。白人の数が少く、又土人は薄弱無力であるから、歐・日
の移民を歓迎する(最近二三の國は、移民を制限した)。
又四季の變化が、日本と相反するから、貿易の相手國としてよい。

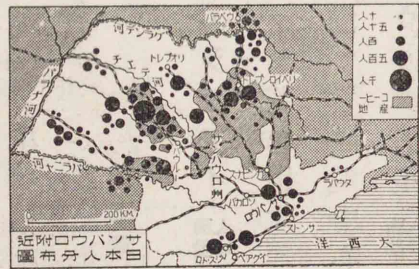




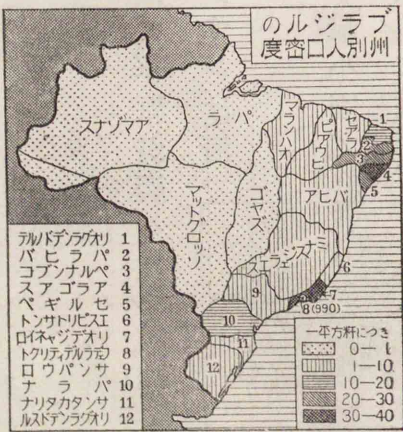
邦人の移住部落



ブラジルの小規模農産物

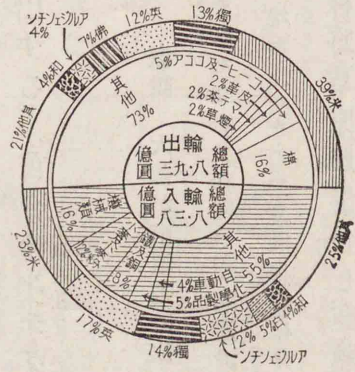


日本との関係 現在、在留邦人が十七萬に達し、主に珈琲栽培に従事し、成功者が多い。我が政府は、海外興業會社と連絡して家族移民の渡航移住につき、種々便宜を與へてゐる。然るにブラジル政府は、最

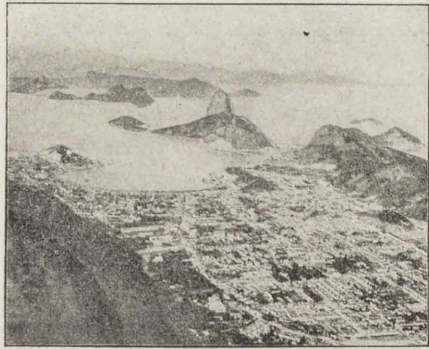


貿易文化生活 貿易は、歐米との間に盛で、主に食料品・原料品を輸出し、小麦機械類・石油を輸入する。人口は、南東岸に集まり、文化の重心も此處にある。

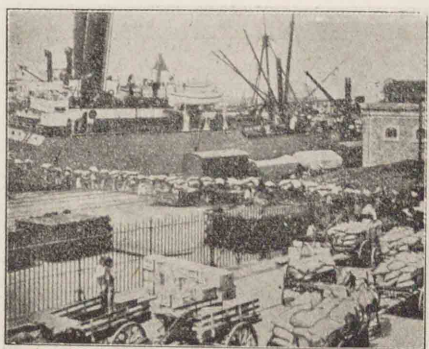
ブラジルの貿易



ブラジル政府の調節落暴價珈琲を全額買上りて却たし



リオデジャネイロ

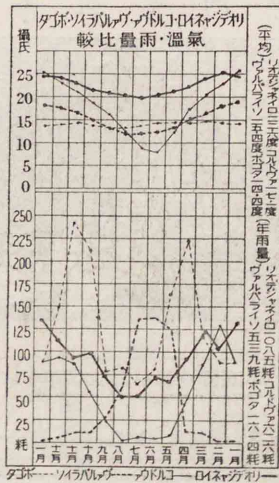


サンタスの珈琲積出港

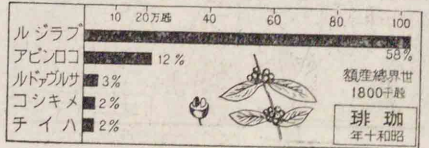


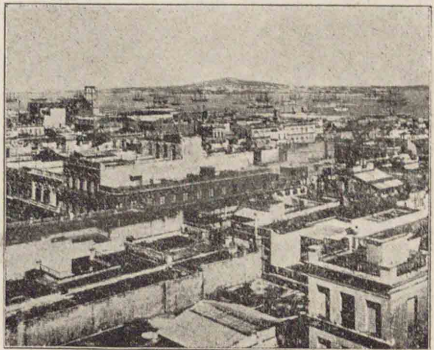
ブラジルの生糸産地

黍・甘蔗 煙草・棉 ココア マテ茶 を産し、ペルナンブコ・バイアは、その中心地である。その他、鐵・金剛石・金・マンガンの産地及び牛・豚・羊の畜産も少くない。首府リオデジャネイロは、天然の良港で、

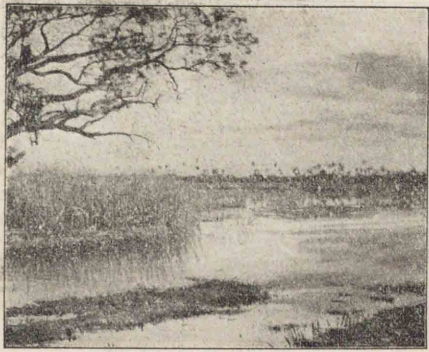


Rio de Janeiro





オディヴテンモ



地澤沼のコヤチンラグ

近我が移民の入國數に對し相當の制限を加へるやうになつた。

第三章 南部地方

パラグアイ 面積 四萬方秊 人口 七〇萬 内陸國で、草原が廣く牧牛が榮え、

マテ茶を出す。首府 **アスンシオン** は、河

港で當國の中心である。

ウルグアイ 面積 一〇九萬方秊 人口 一〇〇萬 本洲の最小國で、

又人口最密國である。牧牛・牧羊が盛で、

肉類・肉精・罐詰・羊毛・皮革を輸出する。首府 **モンテヴィデオ**

は、當國第一の貿易港である。

アルゼンチン (然丁) 面積 二〇〇萬方秊 人口 三〇〇萬 概説 大部が南温帯に位し廣大

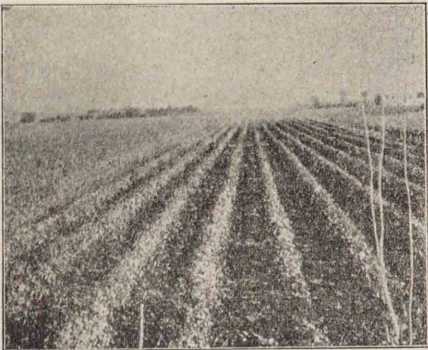
な平原を占めるなど、自然條件に恵まれた立憲共和國で、交通産業の發達に伴ひ、近年急速に發展しつゝある。地形上、次ぎの三景觀地域に分れる。

グランチャコ 排水不良の疎林野草原が混合し、亞熱帶性



茶マテ

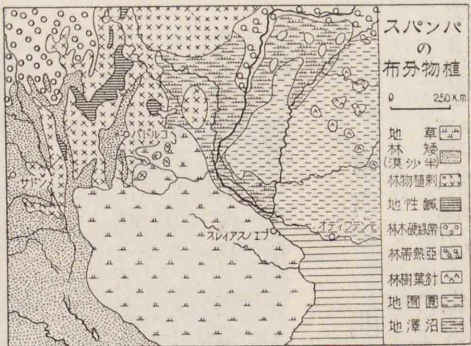
Montevideo 六六六



園葡萄のンチンエジルア



牛牧のspanpa



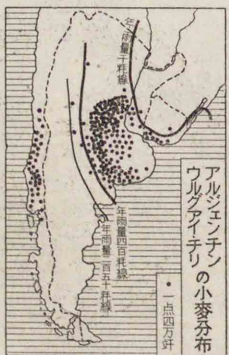
氣候で、ケブラチヨ(靴皮用のタン)の産出で名がある。

パンパス

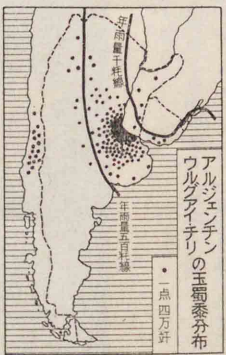
この國の主要産業地域をなし、小麥の

産が夥しく、玉蜀黍・燕麥

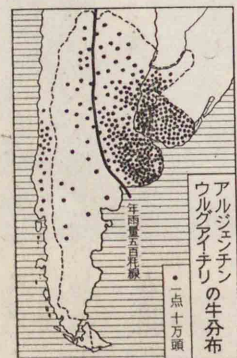
亞麻を産する。羊・牛・馬の牧畜が盛で、羊毛(輸出額は世界の第二位)肉類・バター・皮革の産が甚だ多い。寡雨



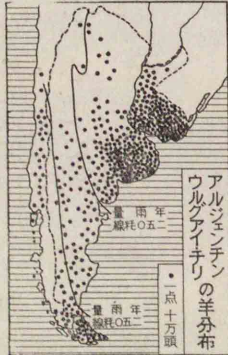
アルゼンチンの小麥分布



アルゼンチンの玉蜀黍・燕麥分布



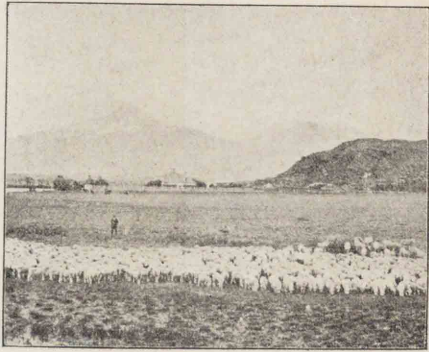
アルゼンチンの羊毛分布



アルゼンチンの羊分布



スレイアスノエ



羊牧のアニゴタパ

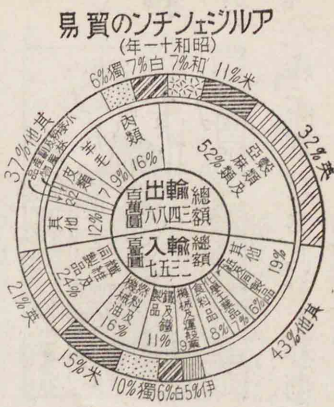
葡果實を出す。首府ブエノスアイレスは、ラプラタ河口に近く、南半球の最大都て、貿易の大中心地である。パタゴニア 不毛地であるが、近年開發の緒につき、小麥耕作・牧羊が行はれる。

貿易日本との關係 大農牧國で人口が少いから、歐米諸國に對して、盛に食料品原料品を輸出し、精製品を輸入する。我が汽船は、ブエノスアイレスに寄航し、絹綿の織物を送つて羊毛を齎し、我が國の南米諸國に對する貿易中で、其の額が最も多く、實に好市場である。

フークランド諸島 英領で牧畜が行はれ、同じ英領の南ジョージアと共に、捕鯨の根據地である。

第四章 西部地方

チリ(智) 面積 七四萬方軒 概説 太平洋岸に位し、世界の最狹長國で、南北約四
人口 四七〇萬 人



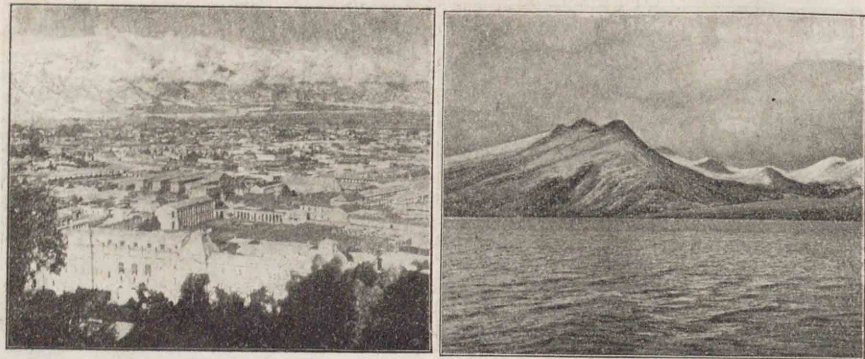
リオデジャネイロ 良好な氣候と秀麗な山水とは新世界の人士からリオと愛稱せられる。圖はリオブランコ通りで、廣い道路は公園式で美しく舗装され、遠く花崗岩の尖峰、シュガール・トップが見える。



パラ(ペレン) 北ブラジルの主要商業市で、航空路・航路の中樞をなし、アマゾン流域開拓の根據地で、我が移民宿泊所があり、附近のアカラには邦人の植民地がある。されば我が國はこゝに領事を派遣して邦人の發展に資してゐる。

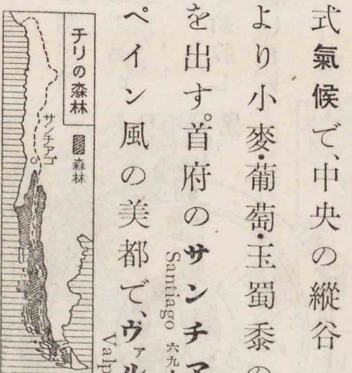
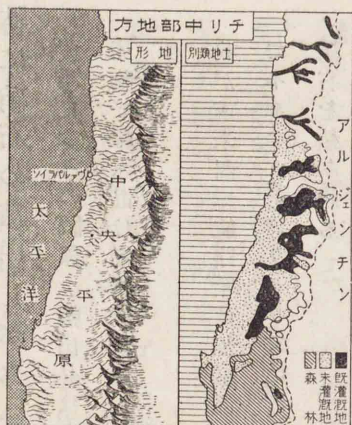
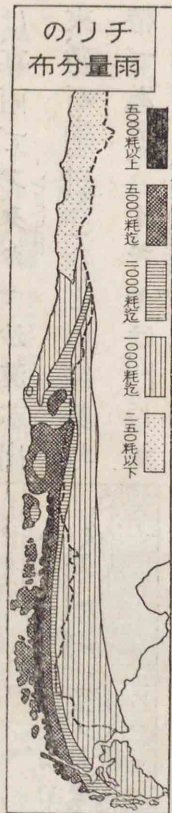


イグアス瀑布 パラナ河の流域我が移民の發展地から河下に下るとアルゼンチン國境を流れる支流のイグアス河にこの瀧がある。雨期には幅三・六軒高さ五五米となる。



市ゴアチンサ

(島ゴエフ)端山の脈山スデンア

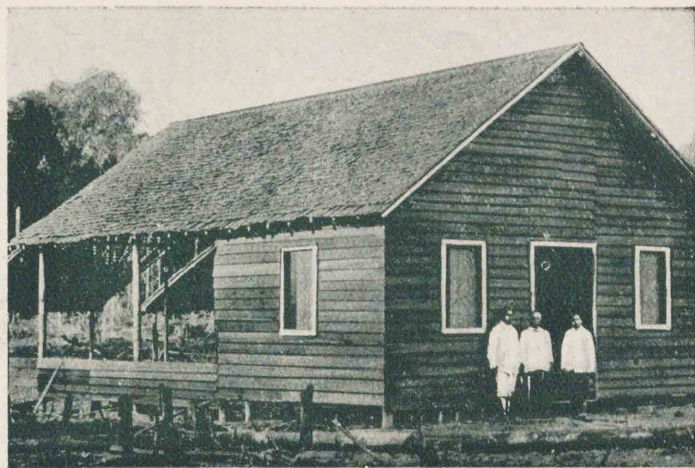


南部は、多雨で森林地帯をなす。中部は、地中海式氣候で、中央の縦谷より小麥・葡萄・玉蜀黍の農産物を出す。首府のサンチアゴは、スペイン風の美都で、バルパライ



ソは、當國第一の良港である。北部

アカラの邦人移民家屋 我が南米拓殖會社はパラ州に百萬町歩の土地を得て邦人移民を送つてゐる。パラ州附近のアカラには既に百數十家族の移民があり、學校・病院・試験場の設備もよく整つてゐる。

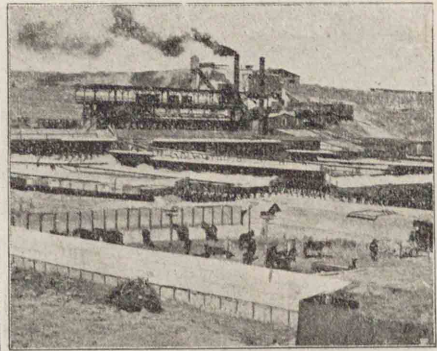


邦人の珈琲園開拓 珈琲園に適する土地は最も肥沃である事を要する。肥沃な土地は例外なく密林で蔽はれる。移民は此の密林を焼き拂ひ巨木を切り倒して珈琲を植付ける。圖はサンパウロ州に於ける我が移民がかうして珈琲を植付けた有様である。



珈琲 茜草科の樹木花は純白開花期には美觀を呈するアラビア種(世界最良の稱あるモカ珈琲はこれ)。リベリア種・ロブスタ種の三種があるがロブスタ種は成長が速で植付後二年から實が採られる。ブラジルののは此の種類である。





チリの硝石工場



ボリビア

は、寡雨でアタカマ沙漠が出來、硝石・銅(世界第二位)などの鑛業地帯である。イキタは、門戸で、特に硝石の積出しが多い。

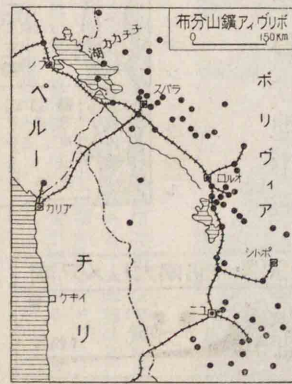
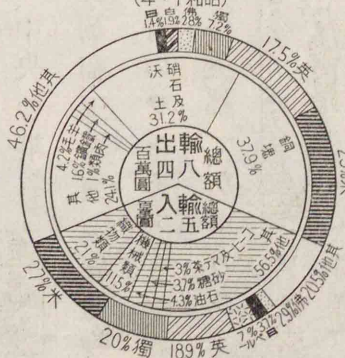
貿易日本との關係 輸出品は七割が鑛産物で、輸入品は織物・機械等の加工品が多い。

我が南米西岸航路船は、綿製品を船載してイキケ・バルパライソ等に寄港し、チリ硝石を積み歸る。

ボリヴィア 面積二二萬方キロ、人口八〇〇萬人、内陸國である。アンデス高原は羊駝を飼養し、又銀・錫・銅・蒼鉛・水銀に富み、首府ラパス、鑛山市スケレポトシがある。東部はセルヴァスで木材、規那珈琲を



チリ硝石産地



グアノの採掘と袋詰 マリヤ市

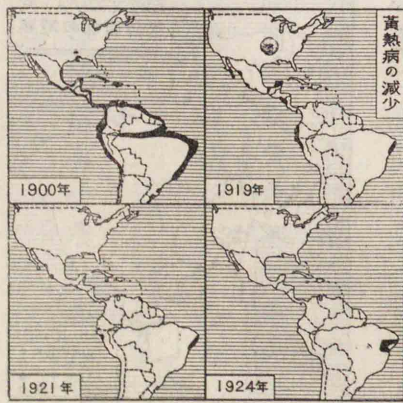
産出する。

ペルー(秘) 面積一三〇萬方キロ、人口七〇〇萬人、西岸は、少雨の爲沙漠が多く、鳥糞(グアノ)の特産がある。又人工灌漑によつて甘蔗・棉を栽培し、重要な經濟地域をなしてゐる。高原では、駱馬・羊駝を飼養し、銅・金・銀を産出する。首府のリマは、カリヤオ

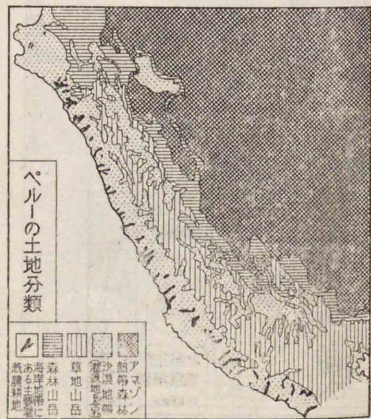
を前港としてゐる。東部のセルヴァスは、ゴム・規那・ココアを産し、アマゾンの河港イキトスで集散する。

我が移民は主として農業に従事し、その數今や二萬を算する。

エクアドル 面積四五萬方キロ、人口二〇〇萬人、赤道直



黄熱病の減少



ペルーの土地分類



造製の帽マナパ



社油石の畔河ナレダグマ

下に位し、ココア・甘蔗の産が多い。我が野口英世博士が黄熱病原を発見し、萬世不朽の業績を残した地である。首府キトは、三千米の高地に位し、常春の樂園で、パナマ帽を産し、グアヤキルを外港としてゐる。

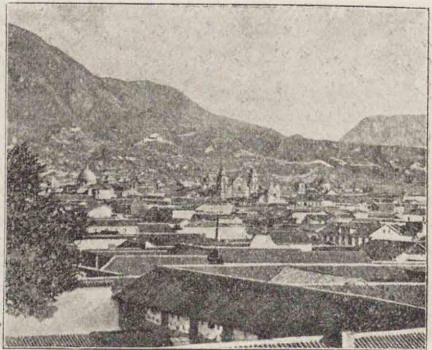
カラバコス諸島 人口二千を有し、七十七個の火山島より成つてゐる。パナマ運河防備の要地で、米國が之を經營してゐる。

第五章 北部地方

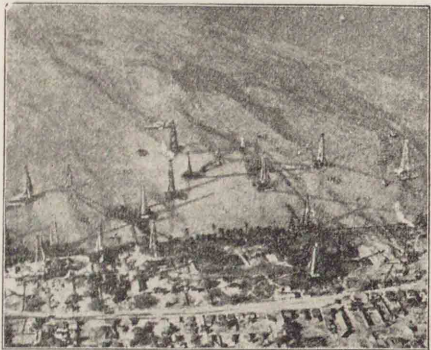
コロンビア (比亞倫) 面積二千萬方呎 人口五三萬方人 アンデス山脈が掌狀に分岐し、谿谷の沃地に農業(珈琲)が行はれ、山地には、金・白金・石油の産が豊か



の部北カリメア南 地産珈琲・アココ 珈琲 アココ



市タゴボ



田油の近附ボイカラマ

である。首府のボゴタは高原上にある。マグダレナ河の河口に近い商業市、バランキリヤは、その外港である。



グッロア形地のアピンココ

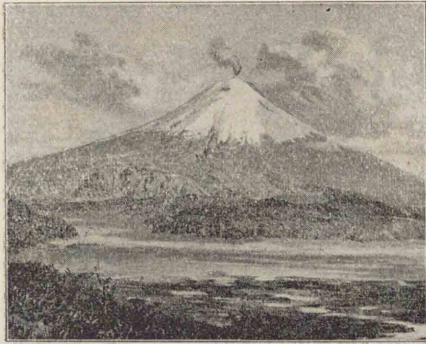


ヴェネズエラ 面積九一萬方呎 人口三三萬方人 オリノコ河谷(リヤノス平原)は、牧畜地帯で、海岸地方は、英米人によつて世界屈指の採油地帯となつた。首府は、高地のカラカスで、その外

港ラグアイラとは、過度の迂曲鐵道で連絡されてゐる。ギアナ イギリス・オランダ・フランスの三國に分屬してゐる。氣候が炎熱多雨で白人の移住に適せないから、今も尙開拓が十分でない。



金採のナアギ



シクパトコ

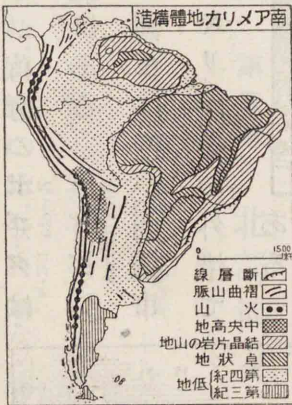
第六章 總括

地勢・氣候・産業 單調な海岸に圍まれた三角形の大陸で、地形上、三部に分けられる。

東部 北にギアナ山地、南にブラジル高原があるが共に千米以下の準平原である。Brazili
地は、晝暑く夜涼しい高原氣候で、主要なる農業地帯をなし、こゝに活躍する日本人が多い。

西部 高峻なアンデス山脈が南北に連り、又火山脈を伴

ひ世界
最高の
活火山
コトパ
クシ南



米の最高峯アコンカグア等が噴出してゐる。

この山地は、氣候の垂直的變化が著しく、高山文

化の發達を見る。リマ・アルパカ・コンドル・蜂雀

等の特有動物が棲み、石油・金・白金・銅・銀・錫の産が

多い。海岸地

方は、著しく乾

燥して、鳥糞礦

硝石の産があ

る。南部は、峽

灣地形をなし、雨量が

多くて針葉樹林が能

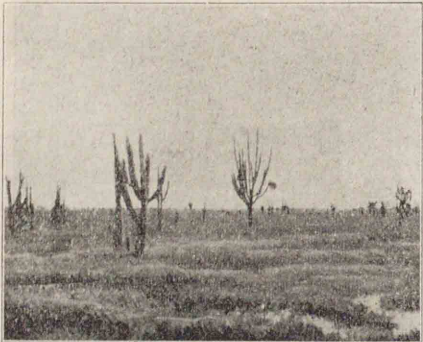
く發達してゐる。

中部 オリノコアマゾン・ラ

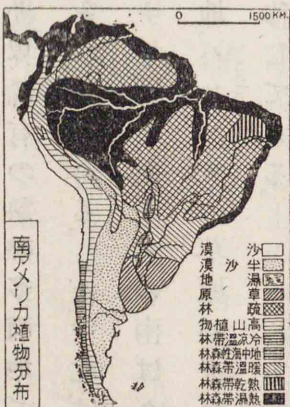
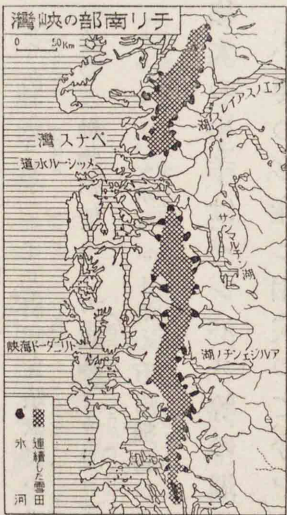
ラタ三大流域の大平原を占め、

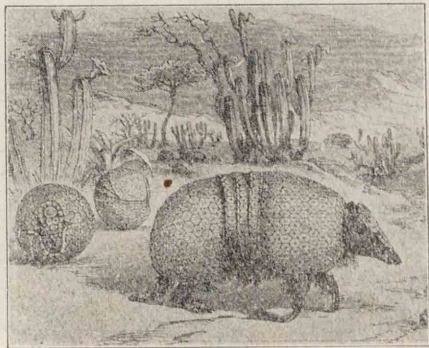


雀 蜂

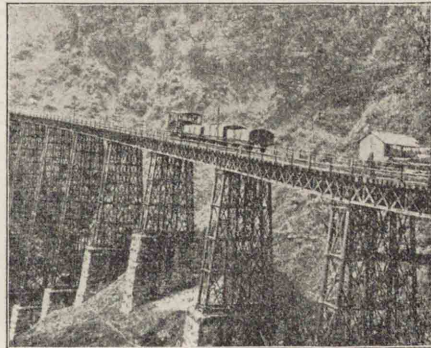


ス ノ ャ リ





ロヂマールア



道鐵と崖層斷の間ロウパンサ・ストンサ

世界稀有の熱帯多雨地で、セルヴァスの密林をなしてゐる。その北は、リャノスのサヴァンナ地域となり、其の南は、グランチャコの濕叢地、パンパスの草原、パタゴニアの荒地と漸移してゐる。

ジャガー、ピューマ、タピア、^{ナマケモノ}樹懶、食蟻獸、アルマデロ、鸚鵡等の珍奇な動物が棲み、ゴム、規那、ココ、ココア、パラグアイ茶、ケブラチ、マホガニー等の有用植物が多い。

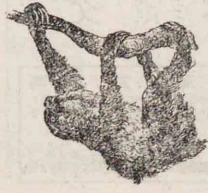
移入の牛羊は、パンパス等の温帯部に繁殖し、小麥の多産と相俟つて、今や本洲は、歐米諸國の食糧庫となつてゐる。
交通・商業 地理的條件の不良により、交通は今尙不便である。河川は、重要な内陸水路となり、特にラプラタ河は、最も利用され、



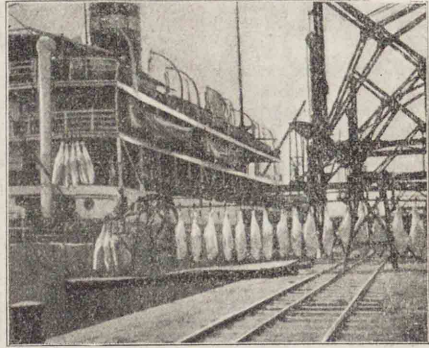
ジャガー



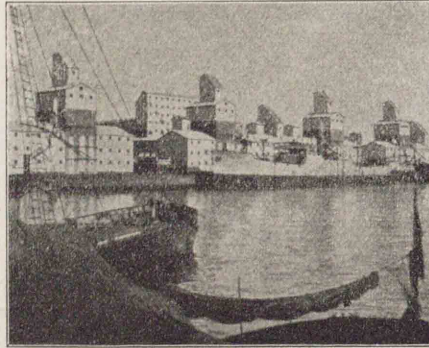
ピューマ



樹懶



(ンチンエジリア) 出輸の肉冷



倉穀のスレイアスノエブ

鐵道も此の附近に發達してゐる。大陸横斷鐵道二條の外に、短距離の鐵道が多い。

近年米人は、縦走の汎米鐵道を計畫して、ラテンアメリカを糾合せんとしてゐる。

海運は、他大陸との間に、汽船の往來が次第に繁くなり、殊にパナマ運河の開通以來、太平洋岸の諸港は俄に活氣を呈した。航空路も、次第に開け歐米と連絡するものの外に、東岸及び西岸に沿つて南北を連ね、又サンパウロとアリカ及びモンテヴィデオとサンチャゴを結ぶ横斷線もある。我が南米航路の汽船は、南阿を経て東岸に來るものと、アメリカ合衆國を経て西岸の諸港に



系水カリメア南



交通カリメア南
1500km
鐵道 航空
汽船 航路
水陸 航路
(或陸路) 航路

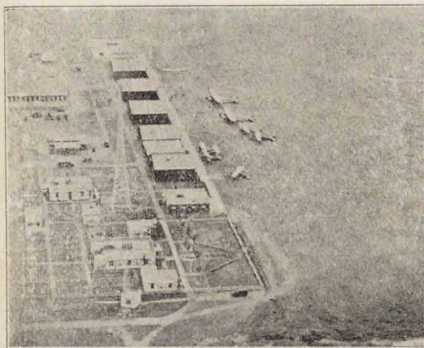


ニューヨーク中央公園 マンハッタン島の中央にあり
 摩天閣に囲まれた公園である 自由平等の國弗の
 國合衆國は凡てが實用的で市街建物も直角的なもの
 である 圖の背後の摩天閣は多くホテルで弧形の橋
 とよい對照をなしてゐる

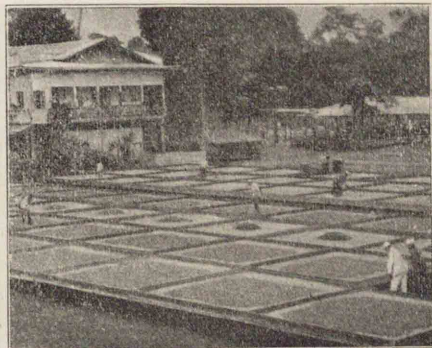


ハリウッド映畫製作所 石油の都ロスアンゼルス
 は又「天女の町」といはれ南國的な周年花の囀る遊
 暑・遊樂地で映畫の都としても名高い 圖は西北郊
 サンタモニカ山麓の映畫の都ハリウッドの映畫製作
 所である

合衆國の農業景 合衆國は國土尨大・地味豊饒・氣
 候良好で世界第一の農業國である 殊に中央平原は
 大生産地帯である 大農法で機械力を用ひ世界の二
 二位を占める農産物が多い



マリマの飛行場



ココアの乾燥場

南アメリカ洲

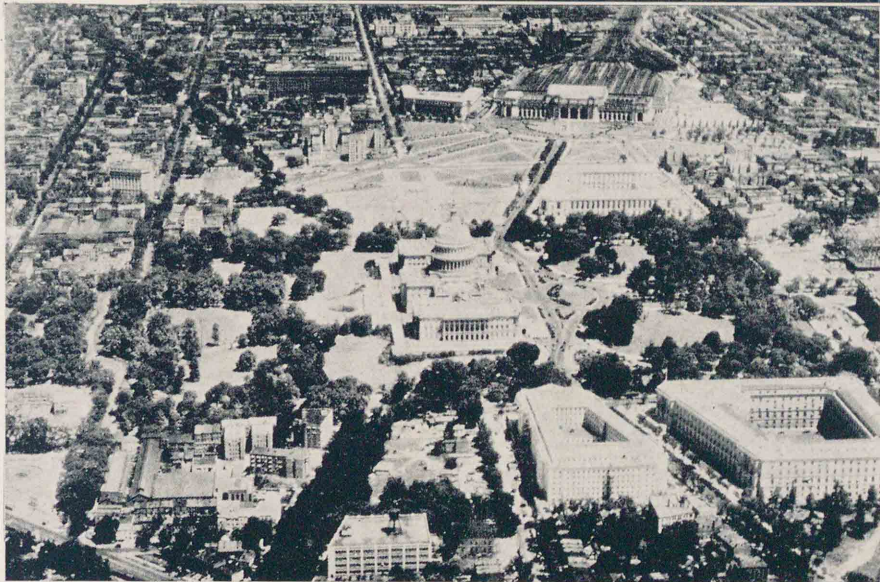
總括

來るものがある。貿易は、これ等の海運に依つて、主として歐米諸國との間に行はれ、原料品、食料品を輸出して、精製品を輸入する。

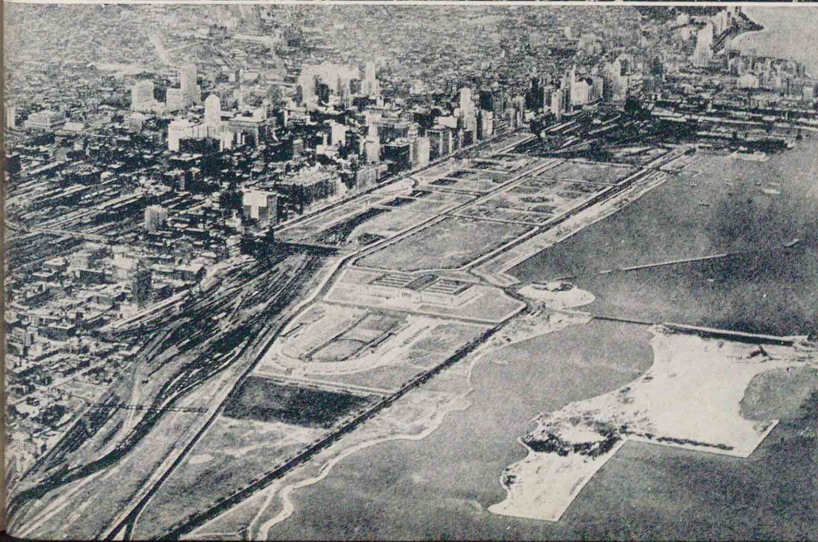
日本との關係 本洲は、移民地、投資地として好適で、我が移住同胞は、既にサンパウロ州アルゼンチンに於て成功し、又南米の熱谷たるアマゾン平野に入つても、無事に定住してゐるものがある。然し近年、アメリカ合衆國の排日影響と、國內の不況との爲に、有色人種排斥の聲の起つた國がある。我が移民たる者は、須らく速かに參政權を得て、禍根を一掃すべきである。



ニューヨーク大観 ロンドンに對する西半球第一の大都會 世界第一の大港 世界經濟の中心である 大陸の連絡がよく合衆國の玄関をなし高層建築の發達が著しい 圖の中央はマンハッタン島で左がハドソン河右がイースト河である



ワシントン ドルの國合衆國の首府として大規模な都市計畫をなし實行しつゝある 圖の中央の壯麗な



シカゴ ミシガン湖岸の沼澤地に發達したもので合衆國中央平原の一大經濟中心をなし商工業が極めて盛である 合衆國鐵道の中心をなし操車場一二〇貨物驛一八四を數へ湖港としても完備し水陸交通の大中心である 圖は湖岸のシカゴである



スブンココ



長酋のンアヂンイの粹純

第四編 北アメリカ洲

North America

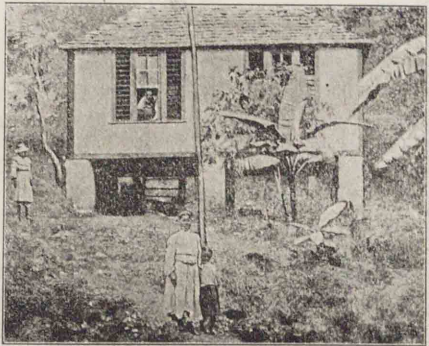
面積 二四九萬方呎
人口 一七〇〇萬人

附 北極地方
Arctic Regions

第一章 序説

新大陸の北半を占め、元エスキモ！アメリカインディアンの住地であつたが、コロンブスの新大陸發見以來、西・蘭・英・佛の移民が來り、アフリカ黑人を移して開拓したので、固有土人は日を追うて減衰し、或は混血してメステゾ (印+) 等となつた。其の後英國は、佛蘭の勢力を奪つたが、其の植民の一半とスペインの植民とは獨立して、今は十一個の共和國となつてゐる。





屋家の島諸度印西



礁珊瑚起陸の島諸マハバ

第二章 西印度諸島

West Indies

概説 西班牙の移民は、黒人を輸入して諸島を開発したが、今は米國の後

援下に、スペイン移民の

建てたキューバ、黒人の建

てたハイチ、ドミニカの

三共和國と英米佛の領

土になつてゐる。

地勢氣候産業 メキシコ灣

口より南東に連る大アンチ

ル列島・小アンチル列島は、山

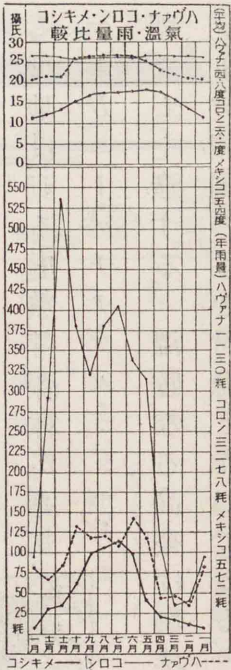
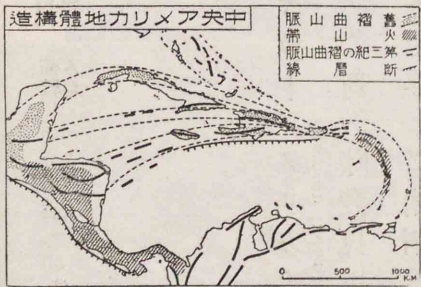
勝ちて火山が多く噴出し、屢

地震が起る。バハマ諸島は、

大陸棚に發達した珊瑚礁で

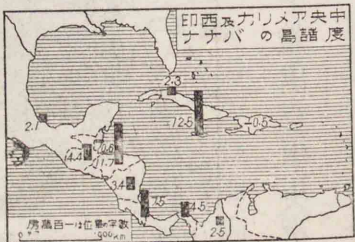
ある。高温多雨、土地肥沃で、

西印度諸島の獨立國			
區劃	面積	人口	首府
キューバ	三萬方軒	三九六萬人	ハバナ
ハイチ	二・六萬方軒	三二五萬人	ポートオープリンス
ドミニカ	五萬方軒	二六萬人	シウダードトルヒーヨ
ドミニカ			Sancti Spiritus



主島のキューバは、砂糖(世界)珈琲、煙草、バナナを多く産して、之を首府のハバナから、無限の消費地アメリカに送る。

Havana 五四・七



無限の消費地アメリカに送る。

ベルムダ諸島 世界最北の珊瑚島で、英國に屬

し海軍根據地がある。氣候が良く、保養に適し、

果實を多く産する。

果實を多く産する。

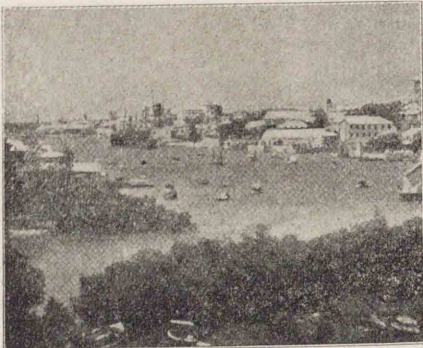
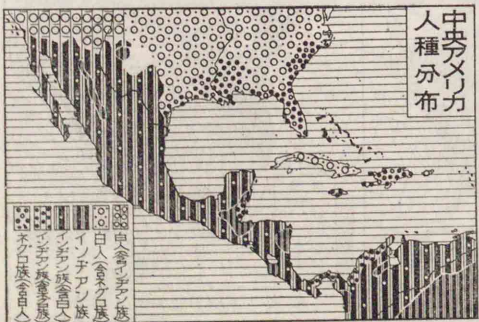
第三章 南部地方

面積 三五〇萬方軒
人口 三五〇萬人

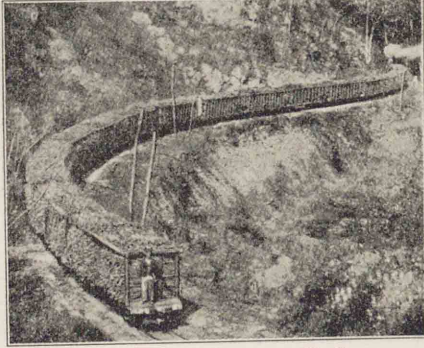
概説 兩米間の陸橋部で、インディアン文化は、

スペイン人に覆へされ、今はラテン人、メスチゾ

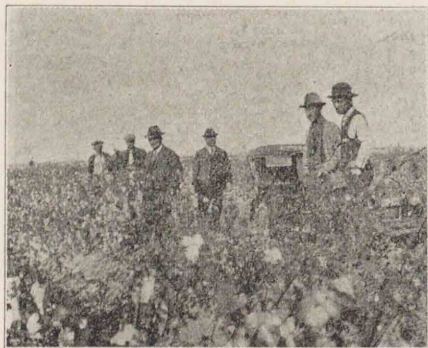
族等の七獨立國と一英領となつてゐる。



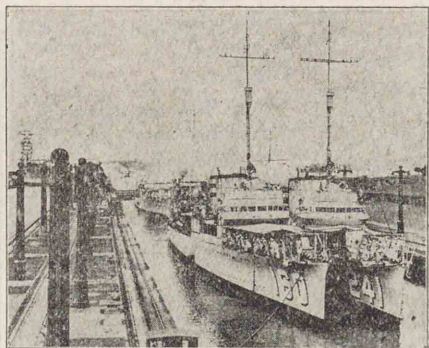
港軍ントルミハの島諸ダムルマ



(バーク)搬運の蔗甘



培農棉の人邦るけ於にコシキメ



門 閘 の 湖 ツ ガ



(割切ラブレク) 河 運 マ ナ バ



市 コ シ キ メ

北
ア
メ
リ
カ
洲

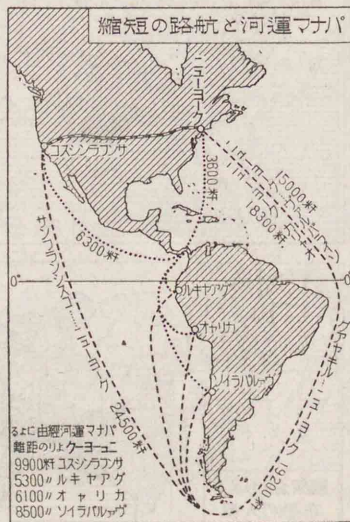
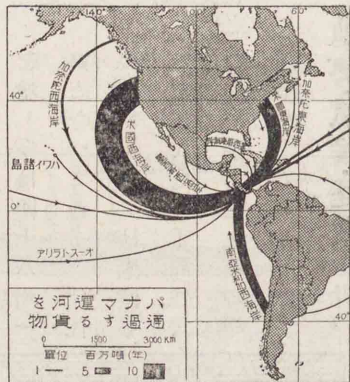
南
部
地
方

北
ア
メ
リ
カ
洲

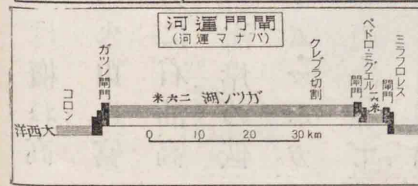
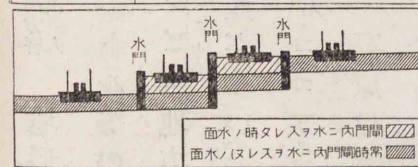
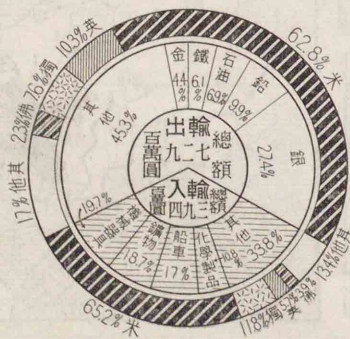
南
部
地
方

貿易相手國は米國を主とし、英國が之に次いでゐる。

文化生活、日本との關係 稍開化せるメ
ステヅが大多數であるが、その覺醒と共に支配的地位にある白人との融和を缺き、爲に政情が不安定である。之に乗じて米國の勢力が侵入し、今は政治的にも經濟的にも米國の支配下にある。在留邦人は約四千人で、主に南部メキシコで農業に従事してゐる。



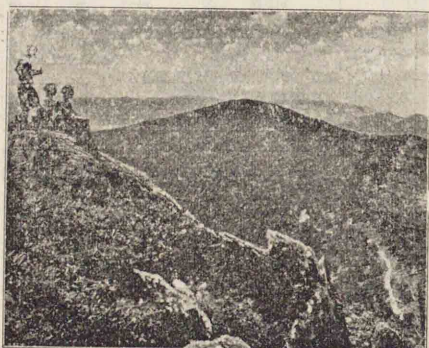
易 貿 の コ シ キ メ
(年十和昭)



人口の一半を占めてゐる。
交通・商業 パナマ運河は、世界の大交通路であるが、近年交通量の激増に鑑み、更にニカラグア運河の計畫がある。
Panama
バナマ運河 米國の經營にかゝり、太平洋・大西洋の航路が著しく短縮され、世界の政治經濟等に劃期的な變動を與へた。艦船は七個の閘門を過ぎ、海抜二十六米のガツン湖を越え七時間で
Catin



市クーヨーユニ

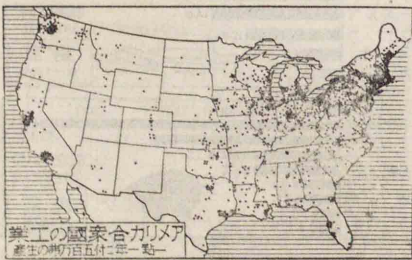
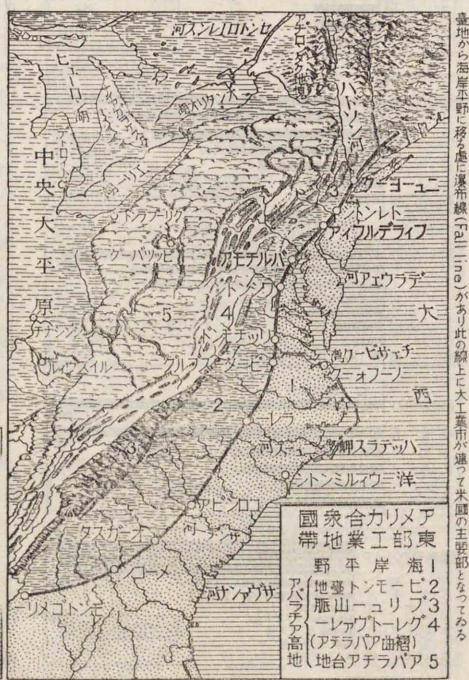


脈山アチラバア

國は、地形上東部の西部の三區に分けられる。

東部は、 Appalachian 山脈が連つて、其の東側の細長い海岸平野に移る處に、瀑布線が出来て發電に適し、幾多の工業都市が起つてゐる。海岸は、地理的好條件によつて、多くの大港市を起し、工業貿易が殷盛を極め、世界有数の文化地帯となつてゐる。就中ニューヨーク

東部



(取採棉)者働勞人黒の部南國米



堂事議の國衆合カリメア

第四章

アメリカ合衆國

衆國 (U.S.A.)

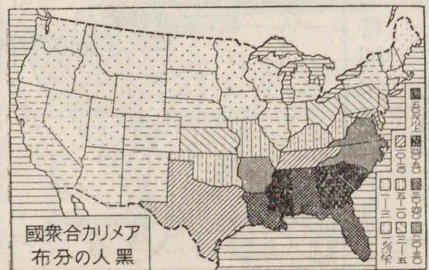
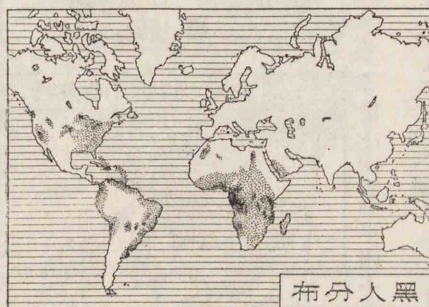
面積 九百九十九萬方人

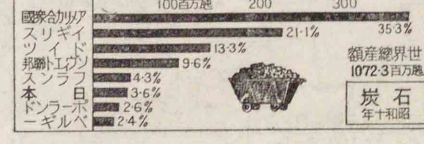
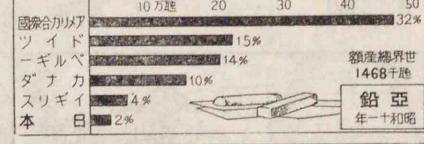
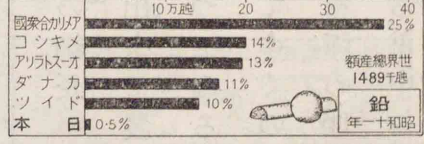
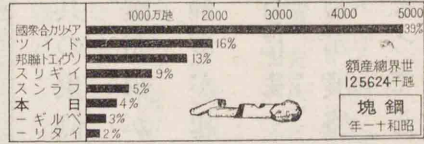
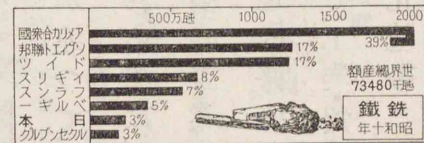
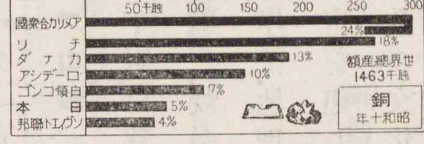
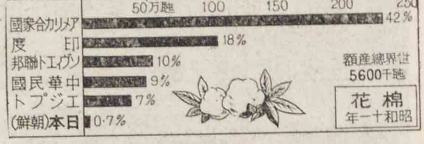
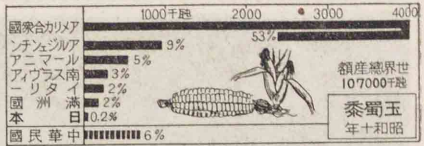
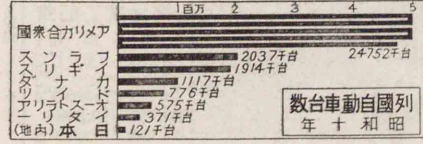
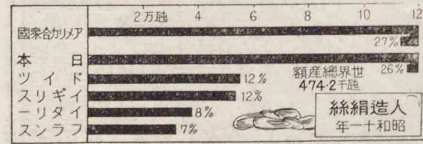
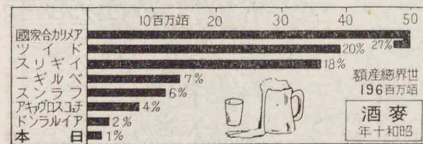
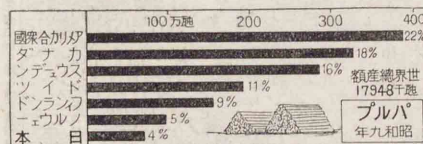
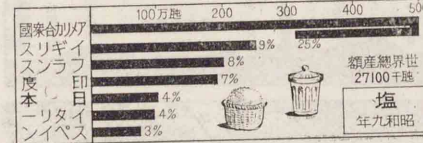
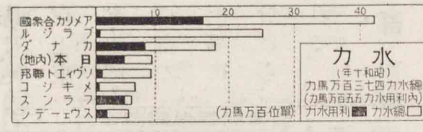
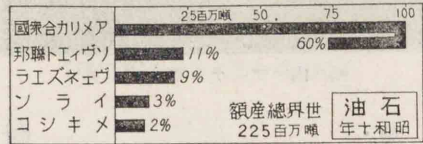
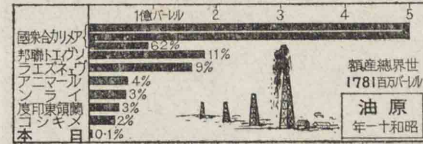
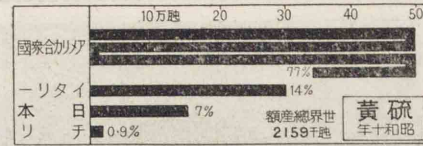
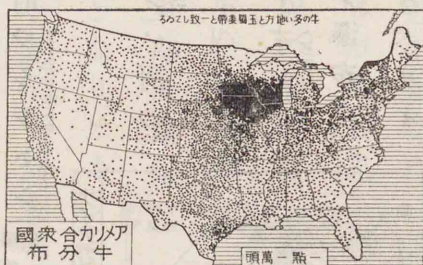
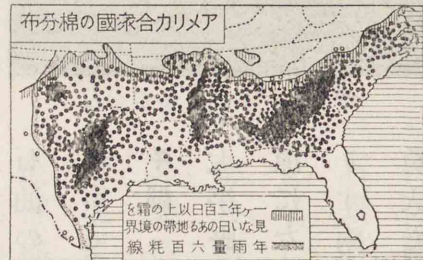
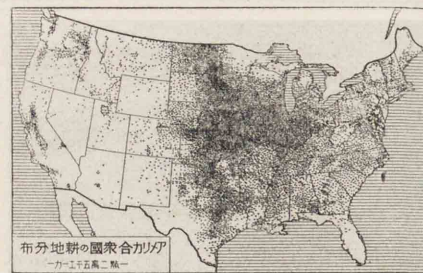
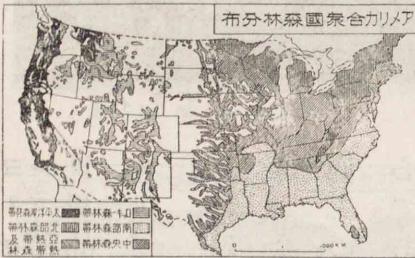
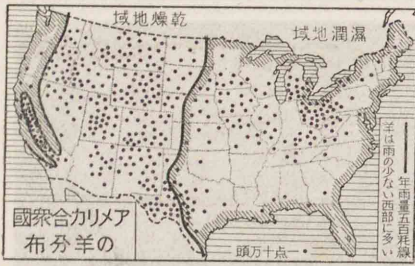
人口 三億七千萬

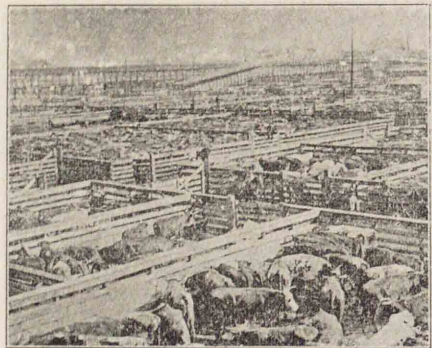
地勢氣候産業

此の

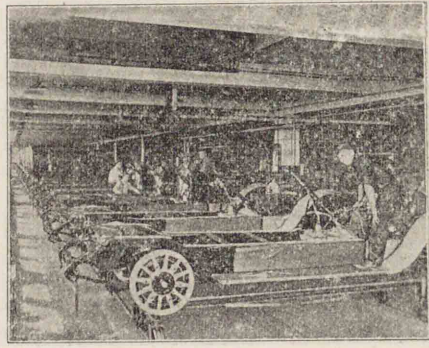
概説 新世界中最も經濟價値の高い處である。英國は初め東部を開拓し、中部のフランス植民地を奪つたが、一七七六年英國植民地は獨立して立憲共和國を樹てた。爾來、其の國運が榮えて領土を増し今は四十八州、一區となつてゐる。原住民のインデアンは漸減したが、黒人は、一千萬住民の約一割を超え、その増加率が大である。



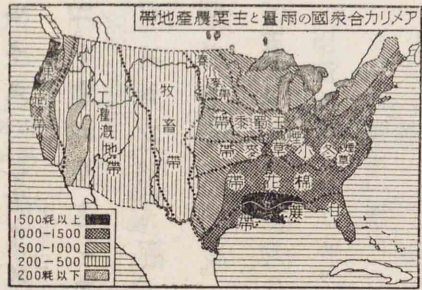




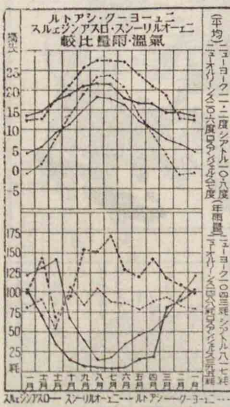
場畜屠のゴカシ



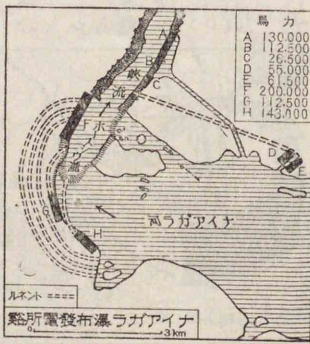
場工車動自のトイロトデ



ミネアポリ
Minneapolis 四六四
ス(の製粉地)シ
カゴ(市肉類)の
Chicago 三三三
大集地セント
St. Louis 八〇一



ル湖畔は、鐵産が多く、附近の豊富な石炭・石油と相俟つて幾多の大工業を起し、ピッツバーグは、世界の製鐵首都と稱せられ、デトロイトは自動車製造が盛である。南東部は多雨で、北に進むにつれ寡雨となり、メキシコ灣岸から、順次甘蔗帯・棉花帯・煙草及び冬小麦帯・玉蜀黍帯・春小麦帯に漸移して、棉・小麦・玉蜀黍は、世界第一位の産額である。プレーリー草原は、大牧場であるが、近年農耕地に化しつつある。



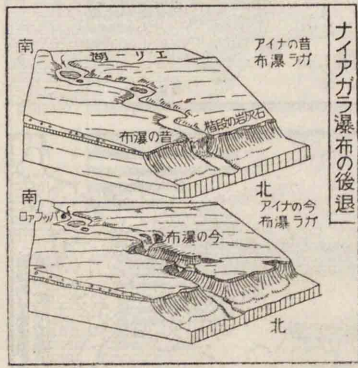
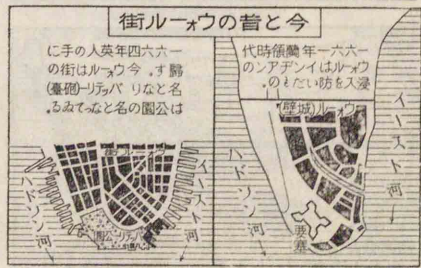
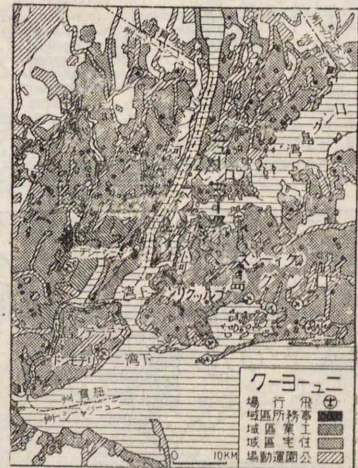
布瀑ラガアイナ

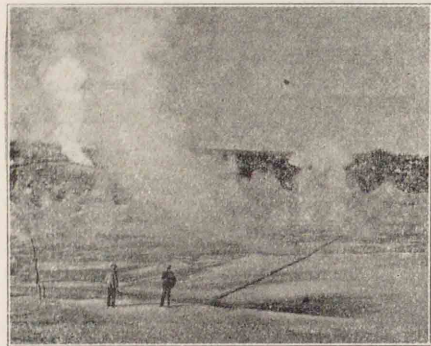


アイフルデライフ

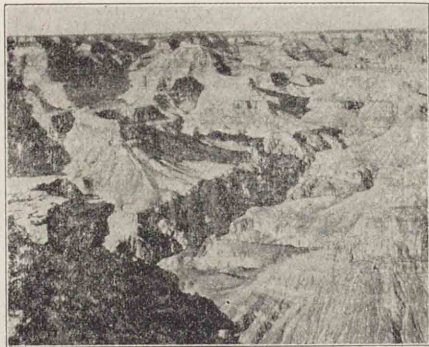
石油の輸出も多い。首府ワシントン都市である。中部 五大湖及びミシシッピ河の大平野で、北西部は、プレーリー草原になつてゐる。エリー・オンタリオ・ナイアガラ瀑布は、莫大な電力を供する。スペリオ

Philadelphia 一九五一
Washington 四八七
ワシントン(頓華盛)は、清麗な政治



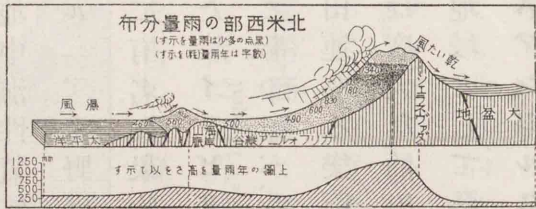


泉歇間の園公ントスーロエイ

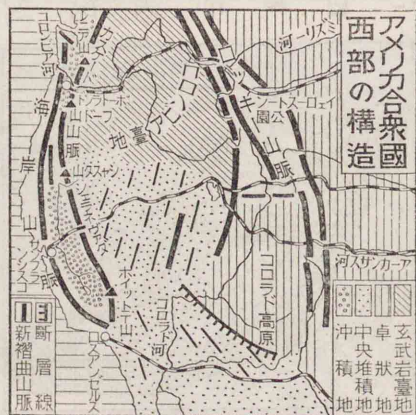
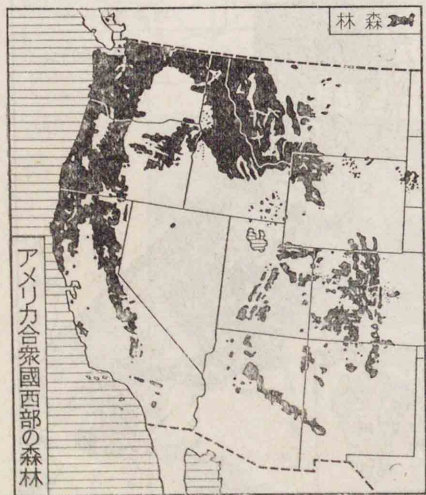


谷 峽 ド ラ ロ コ

偉觀である。海岸山脈の内側に、カリフォルニア、ジェトサウンド等の細長い陥没灣がある。金銀銅の産が多く、又南部海岸に、大



ラネヴァダ兩山脈との間は、大高原をなし、中にコロラド峽谷や大鹹湖がある。火山の活動も著しく、イエローストン公園の間歇泉は、山中の一



(湖スイルは水) 脈山ーキッロ

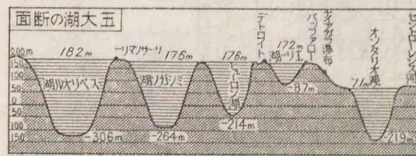


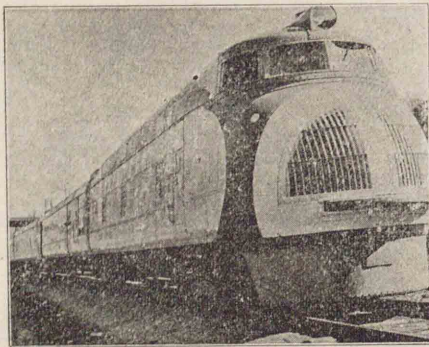
出輸の棉のスーリルオーユニ

ルイス(穀内)ルイスビル(世界最大市場) ニューオーリンズ(世界最大出港) ガルヴェストン(米棉輸)はこの大産業地帯の中心である。

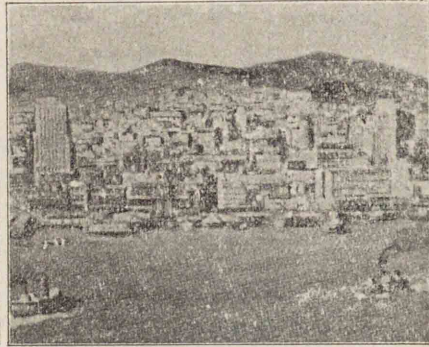
五大湖 氷河湖で、エリー、オンタリオ、両湖間のナイアガラ瀑布は雄大壯絶を極め、湖邊一帯は、天産が豊富な大生産地帯であるから、回避運河を作つて航路を通じてゐる。カナダのセントロイールまでは、航洋船が湖航し、吃水四米までの船は、更に河口から三千六百餘軒のポートアーサーまで漕る。デトロイトの通過貨物のみでも、ニューヨーク、リヴァプール、倫敦の貿易總貨物より多く、淡水地中海の稱がある。シカゴは、此の大自然に、唯まれ鐵道三十餘條の交叉線上に立ち、實に米國の交通文化の華である。

西部 コロゲレラ山系の幅の最も廣い所で、ロッキー山脈とカスケード、シエラ





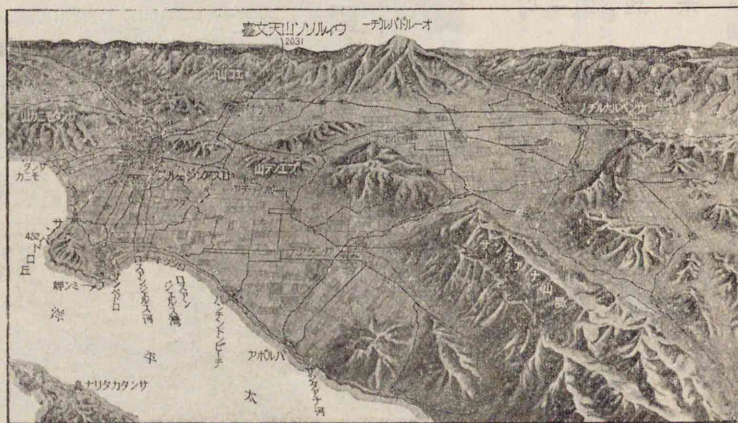
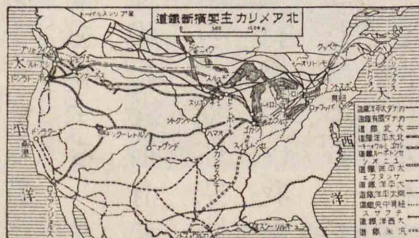
車關機型線流の道鐵洋平太ノオニユ



コ ス シ ン ラ フ ン サ



網道鐵國衆合カリア



よつて、太平・大西兩洋を
連絡してゐる。自動車

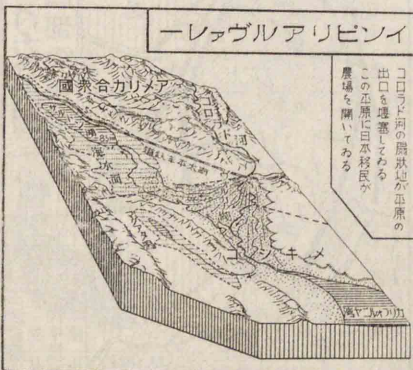


田油の近附スルエジニアスロ



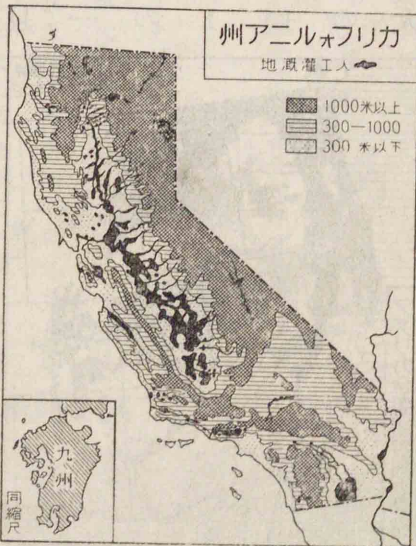
ル ト ア シ

油田がある。海岸の北半は、温暖多雨で森林が深く、ポートランド・シアトルは、林業の中心、交通の要地である。南半は、地中海性氣候で、カリフォルニア平野は、灌漑工事で有名な果物(葡萄・桃・梨)産地となつた。インピリアルヴァレーは、沙漠であつたが、我が移民によつて、美田連なる樂園となつた。南西部は廣大な油田がある爲、漸次工業地域として發展の氣運にある。ロスアンゼルスは、之が爲に急激に



ーレヴァグルアリピンイ

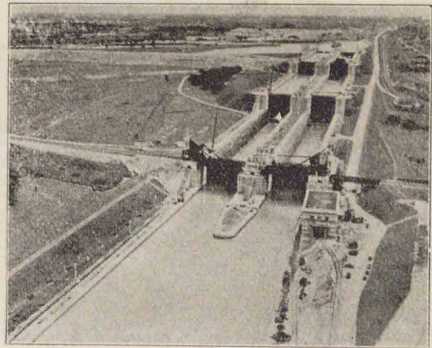
コロラドの山脈が中央の出口を堵塞して、この正照に太平洋の風を閉じてゐる。



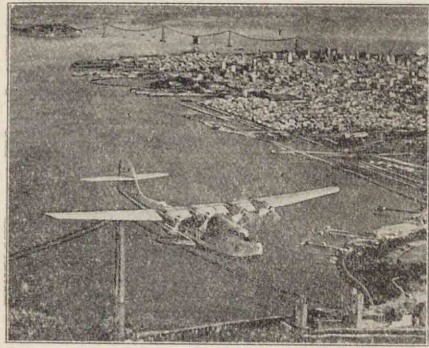
州アニルオフリカ

地取灌工入

1000米以上
300-1000
300米以下



河運避回の布澤ラガアイナ



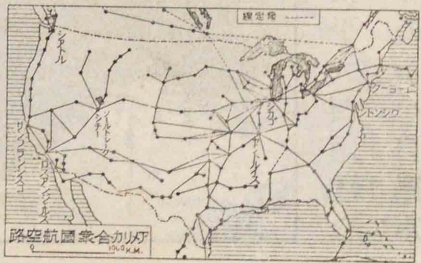
ーパツリクナイヤチ

は、發達が世界第一で、その數、實に二千六百萬臺を算する。又航空路もよく普及し、近年南米及び太平洋横斷の定期航空路も開かれ、民間飛行機數は、我が國の七十倍に達してゐる。五大湖及びミシシッピ河は、水利が多い。商船噸數、貿易額は、共に英國に次いで世界の第二位を占め、日本の貿易額の三倍に當る。

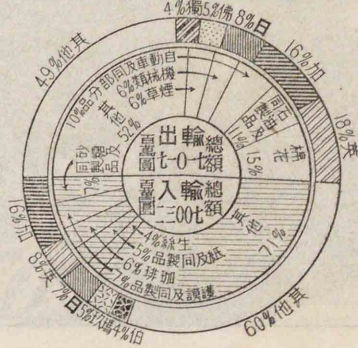
文化生活 米人は、自由平等を主義とし、新文化を開き、金權實益を重んじ、氣宇廣潤、何事についても、**世界第一**を以て理想とする。元モンロー主義を唱へて、汎米主義を大成したが、今は進んで、太平洋亞細亞方面にも、次第に進出して日

本主義を大成したが、今は進んで、太平洋亞細亞方面にも、次第に進出して日

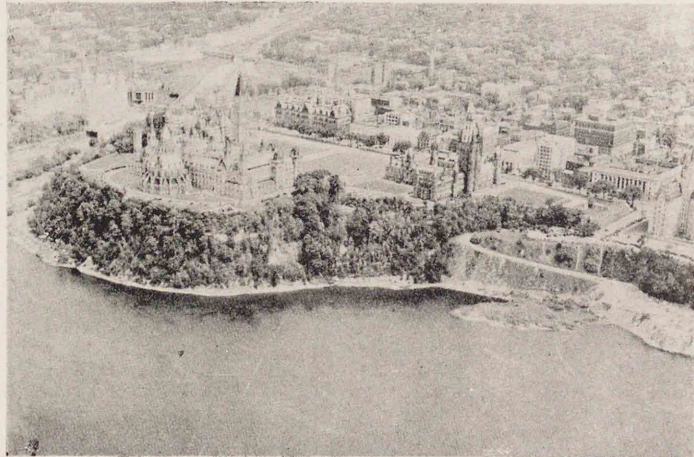
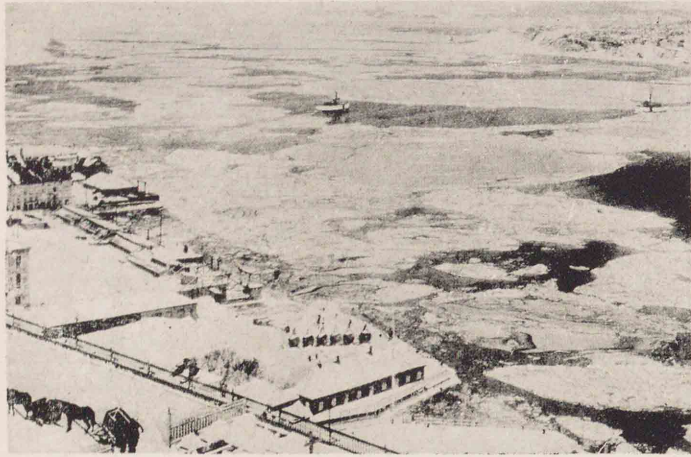
國家合カリメ	航空間民の國列 離距行飛期定 年十和昭
イギリス	15130
ドイツ	13459
フランス	11196
日本	7146
アメリカ	4807
イタリア	1980
ベルギー	1874



易貿の國衆合カリメ



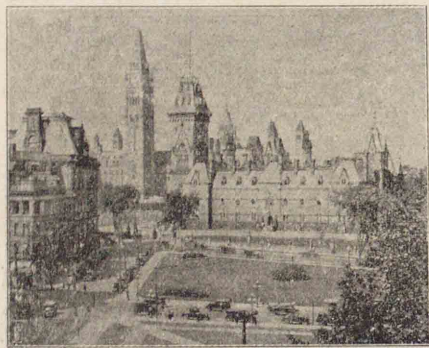
セントローレンス河 センルイス河を上流とし五大湖の水を集めセントローレンス灣に入る。モントリオールまで航洋汽船が溯航しケベック以下は洋々たる大河となり加奈陀の大動脈となつてゐる。圖はケベック附近で冬は氷結する。



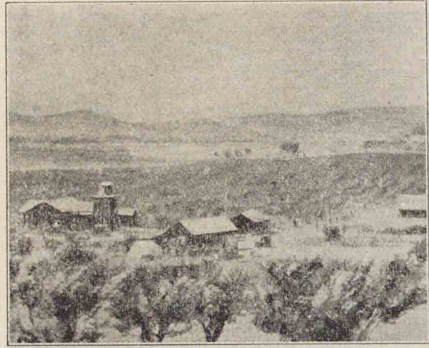
オタワ オタワ河の右岸リドゥ河との合流點にあり加奈陀太平洋鐵道に沿ひオタワ河の水運を有し木材の大集散地・大製材地である。加奈陀の首府で河岸に政廳・議事堂・公會堂等の大建築が多く立並んでゐる。

加奈陀の森林 加奈陀はツンドラ以南に世界的大森林帯がある。針葉樹が多く次第に伐採されつゝあり木材・パルプ・紙の産が多い。圖はオンタリオ州東部オタワ河の一支流の林業景觀である。





カナダの議事堂



アリゾナ州の農園

北アメリカ洲

北部地方(カナダ)

概説

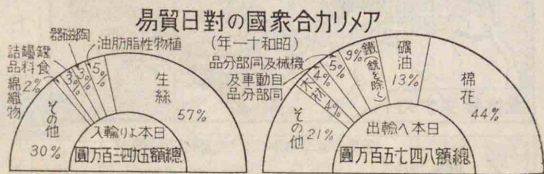
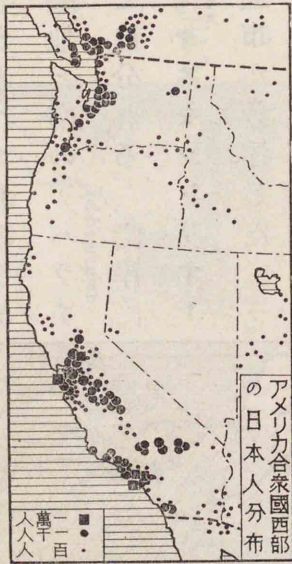
本洲の北半を占め面積は我が國の十四倍に當る。元佛國の植民地

第一節

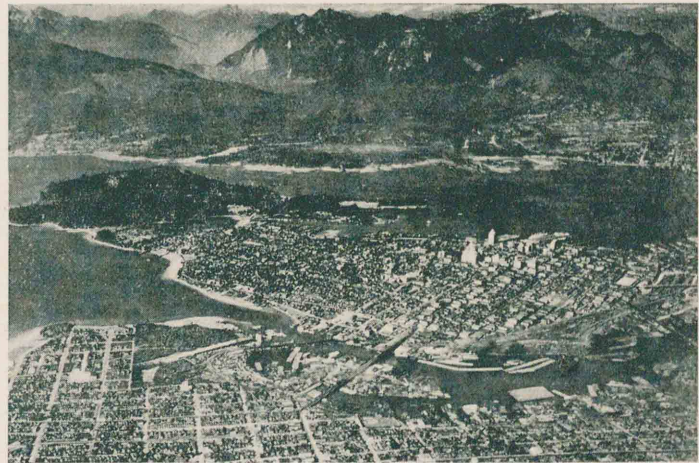
カナダ
面積 九百七十万方呎
人口 二八四萬人

第五章 北部地方

本の關心を促しつつある。
日本との關係
ペリー渡來後、彼の關係が接近し、現に我が貿易額の四割は、此の國との取引で、在留同胞十二萬に達し、互に大使を交換して居る。然るに我が國近時の進展は、東亞に於ける彼の進出と相容れず、又彼の領土内に於て、我が勞働移民の入國土地の買収租借を禁じたので、我が國民の感情を害してゐるのは遺憾である。



ローガン山
カナダに在りアラスカに近く、時ち海拔五九四八米。北アメリカ洲第二の高峰である。雪線が低く大氷河が發達してゐる。



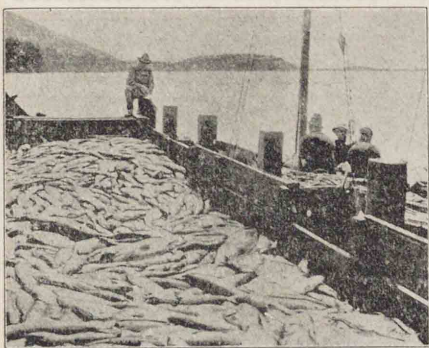
ヴァンクーヴァー
加奈陀の西門ヴァンクーヴァーは加奈陀太平洋鐵道の終點に當り世界交通の要地である。圖は市から北東方を望んだもので中央の島はスタンレー公園になつてゐる。



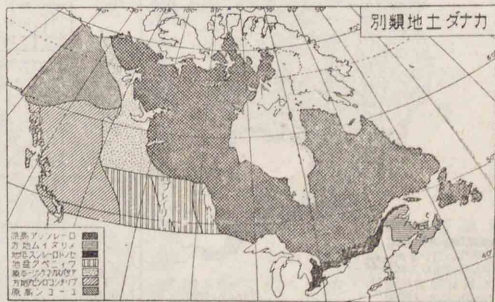
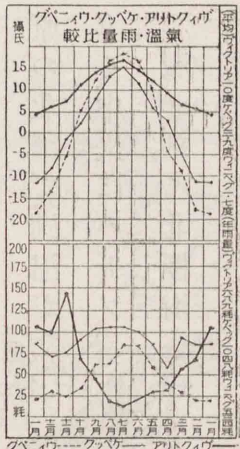
ケベック
セントローレンス河の左岸河口から六五〇呎に位する交通の要地である。木材・麥類・牛肉等を輸出し製紙・製皮・綿紡績が盛である。



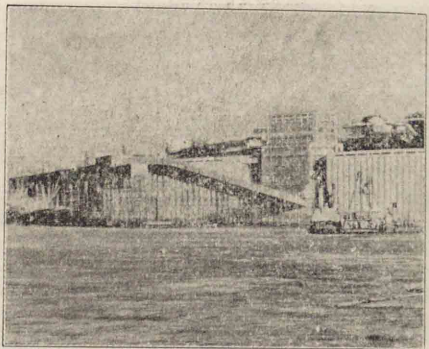
グベニイウ



鮭の漁獲



に、ニッケル(第一世界)・金・銅・鐵の産が多い。西部のプレーリー大平原は、植物の成育期が長いので、小麦・燕麥・牛豚の大寶庫で、ウニペグは、これ等を集散する。西部・コルデラ山系の北部で、鑛産が多い。海岸は、多くの峽灣を形成し、河川に鮭が多く、邦人が活躍してゐる。交通・商業 廣大な内陸の開発と、政治上の必要とから、カナダ國有(ハリファクス・セント・ジョンズ)の二鐵道が完成し、世界交通の主要幹線となつてゐる。東西兩端の



庫倉麥小のヴァンクーヴァー

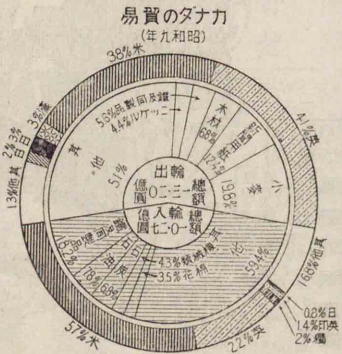


ノユジ

交通市ハリファクス・ヴァンクーヴァー、スペリオル湖畔のポートアーサーは、重要貿易港である。貿易は、米・英・日との間が盛で、小麦・紙・木材を輸出し、石油・石炭・棉を輸入する。日本との關係 公使を交換し、交通貿易が稍盛である。在留同胞は、二萬を超えて、西岸に多く、漁業・林業に従事するが、排日の傾向がある。

第二節 アラスカ・グリーンランド

アラスカ(面積一五萬方軒、人口六萬人) 本洲北西部の大半島で、米國が露國から買収した處である。寒氣が強く、今やユーコン河の砂金採取は衰へたが、プリビロフ島の臘肭獸は名高く、首府シノイは、鮭魚の中心である。アリューシャン列島は、軍事上重要で、ダッチハーバールの軍港がある。





布澤階段の流河一部東



羊牧のーリーレブ

グリーンランド(州)面積 三三萬方呎 人口 三萬人 世界の最大島で、大部は氷河の掩うた高臺である。ニスキモーは、南西岸に住んで漁獵に従事し丁抹の支配を受けてゐる。

第六章 總括

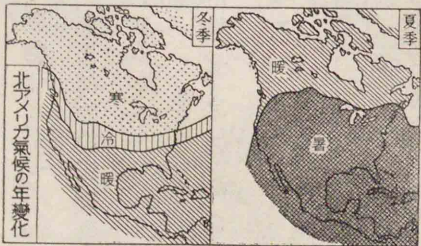
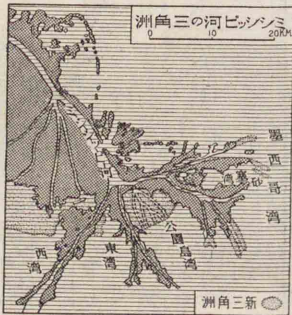
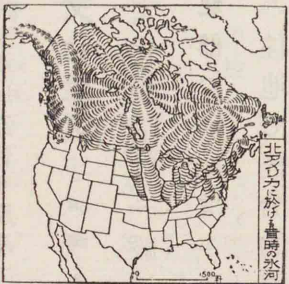
地勢・氣候・産業

北米大陸は、ハドソン灣を圍む古い土地と、準平原の古いアパラチア山地と、新しいコルデレラ褶曲山系とに依つて形成され、地上、三區に分けられる。

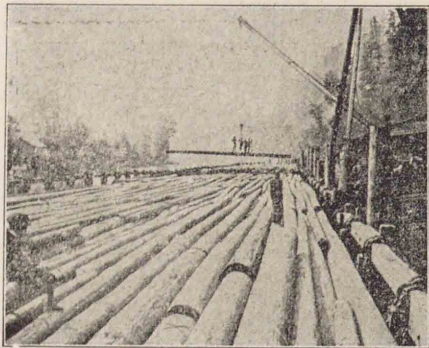
東部 ラブラドル・アパラチア兩高地の地域で、沿岸に良港が多く、山麓の瀑布線に、幾多の工業都が起り、最も文化の進んだ地帯である。

中部 ミシシッピ流域平

原からハドソン灣に至る低地で、南部は、鳥趾狀三角洲や低濕な海岸平野を形成し、北部は、ハドソン灣の溺谷及び北極海諸島となつてゐる。此處は、高濕多雨の重要な農業地帯である。西部は、プレーリーの大平原で、鑛・農・牧産が多く、數多の氷河湖が湛へ、特に五大湖は、重要水路となつてゐる。



西部 アリゾーション列島を起して東したコルデレラ山系は、幾多の火山を伴ひ、急に南下して數條に分岐し、その間に熔岩臺地・盆地・溺谷(サンフランシスコ灣・ピュージェットサウンド)を挟んで南米に入る。域内は、鑛産・林産が多



筏大の材木



羊牧のーリーレブ



煙草栽培



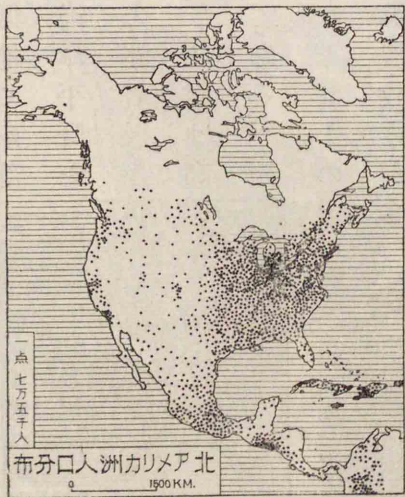
エスキモの生活

く、良港に富み、大都市が相繼いで起り、正に太平洋文明時代の待望してゐる。

生物 本洲特有の植物は、マホガニー、仙人掌、龍舌蘭で、動物は、ピューマ(アメリカ)、獅子、海狸、ブレイリー、犬野牛、七面鳥、蜂、響尾蛇である。有用植物の玉蜀黍(Indian Corn)、馬鈴薯は原産で、棉、甘蔗、珈琲、米は移植されたものである。

文化生活 メキシコ以南は、ラテン族の住地であるから、文化生活は、一般に南歐の系統を引いてゐる。

北部の寒地は、エスキモの住地で、経済的價値が少く、文明の發達が望まれない。中央部は、温帯内の最高能率地帯で、最も進歩的なチエトン族が住み、僅々數百年で、數千年の歴史を

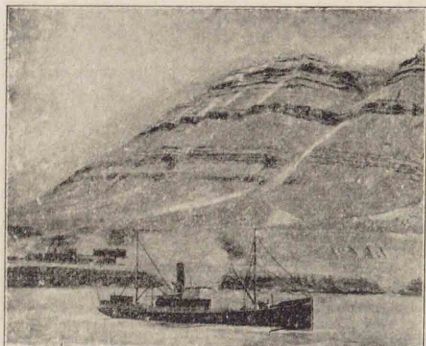
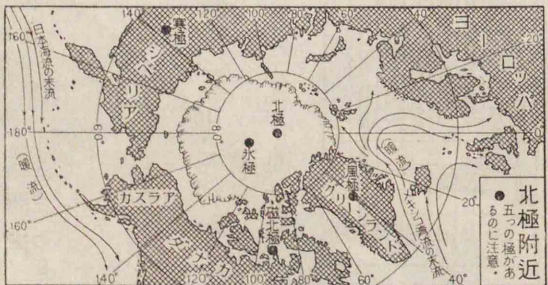


誇る舊大陸の文化を凌ぎつゝある。特にアメリカ合衆國は、その粹を集め、更に勢を南方のラテンアメリカ諸國に伸張してゐる。この富強國を對岸に控へた我が國は、その國際的壓力の影響を受ける事が頗る大である。

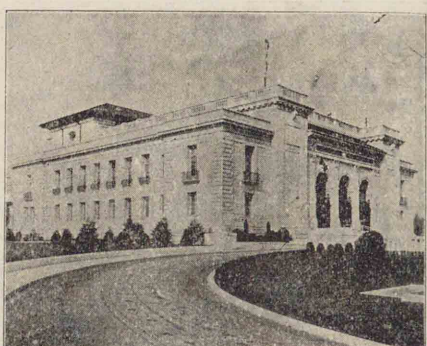
第七章 北極地方

Arctic Regions

探検 一九〇九年、ピアリー(Pearry)の北極到着を、始め、アムンゼン(Amundsen)、バード(Bird)等の航空機による探検が進み、次第にその地理が明かになつた。北極海が、その大部を占め、凍結した深海(毛800米)である。新大陸側に北極諸島(英領)舊大陸側にスピツベルゲン(Svalbard)等の諸島がある。スピツベルゲンは、石炭を産する。各地に、極熊、極狐、馴鹿、鯨、海豹が多く棲息し、夏季には狩獵船が活躍する。



ベツピエの露炭田

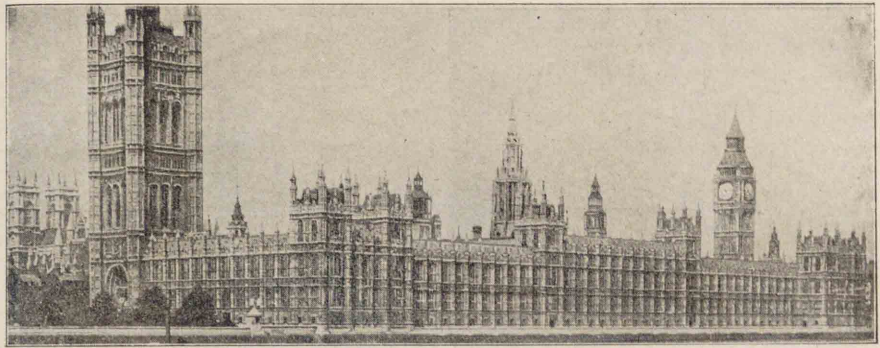


汎米同盟會館(ワントン)

第五編 ヨーロッパ (歐羅巴) 洲 面積 二億四千萬方呎 人口 五億二千萬人 附 大西洋 Atlantic Ocean

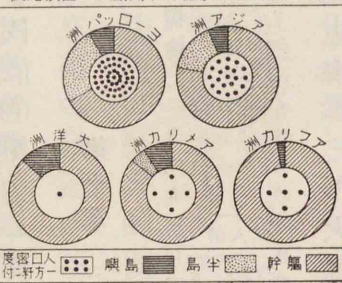
第一章 序説

北緯五十度を中心として、南北各二十度に互り、ユーラシア大陸の一半島である。地文・人文 Eurasia



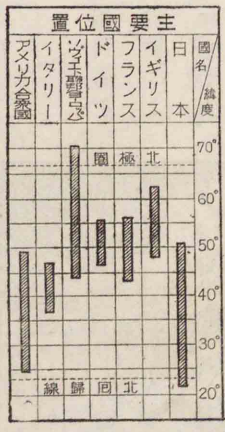
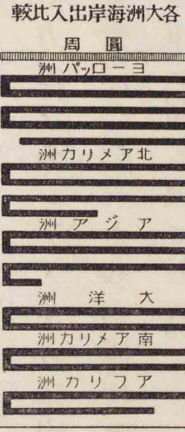
(シドンロ) 堂事議國會國の國英

較比積面の嶼島半幹軀及度密口人の洲各

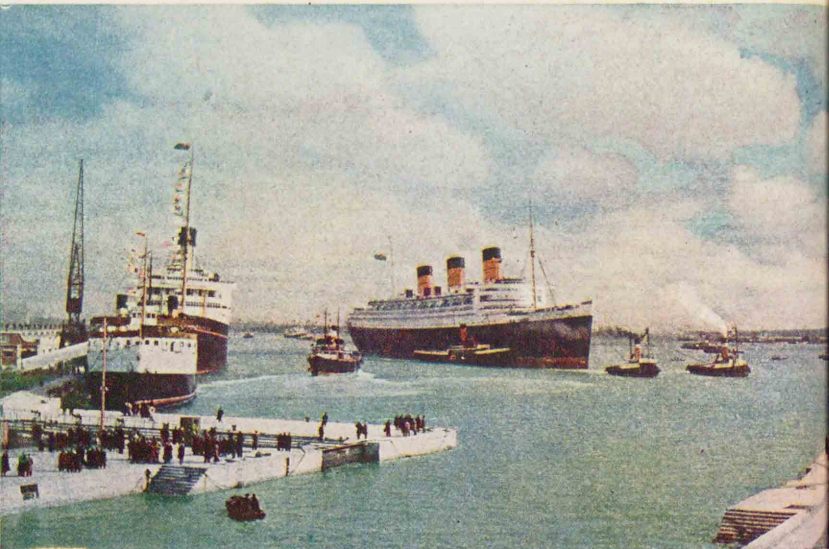


地中海を渡り、南歐諸國に傳はつたエジプトの古文明は、更に北上して今日の歐洲文明

の好條件に恵まれて、好交通の地



リヴァプール マーシー河口に在る英國第二の貿易港で英國黒郷の支關をなし棉花を輸入しランカシャーの綿織物を輸出する 百に近い船渠を有し其の延長十軒に近く船の碇泊に便してゐる 圖は埠頭で右下は浮棧橋である

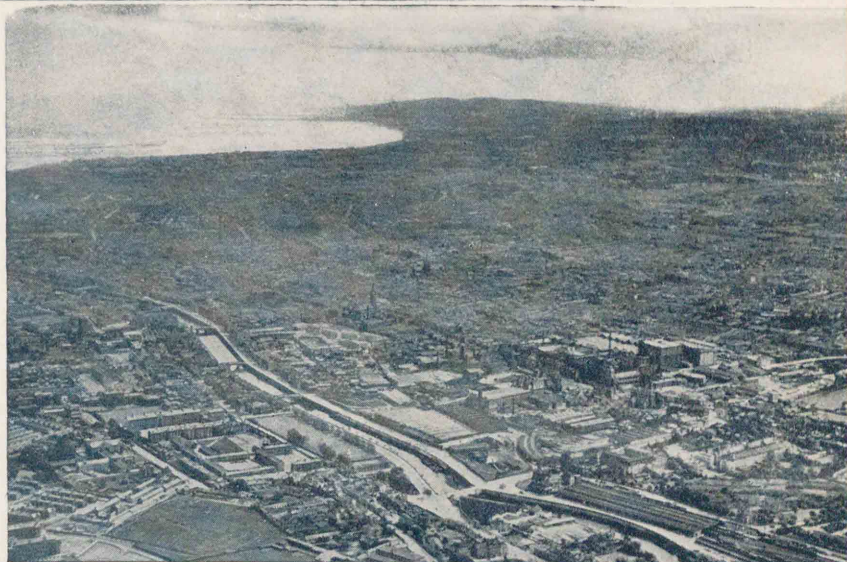
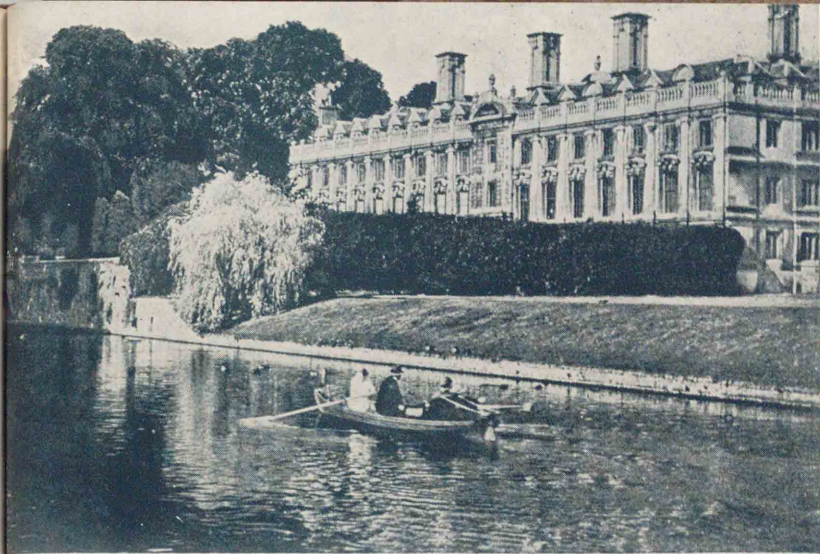


サザンブトン港とクイーンメリー號 サザンブトンはイギリス海峡に臨む英國屈指の大商港で對米航路の起點をなし港としての設備がよい 圖の中央の大船は世界第一の巨船クイーンメリー號(八〇七七三噸)の雄姿である



ロンドン ロンドン盆地の中央テムス河に跨りニューヨークと並び稱せられる大都である 大英帝國の首府で世界の交通・金融・商業の大中心である 圖は壯麗なトラファルガー廣場で右はネルソンの紀念碑で高さ約五十一米である

ケンブリッジ大學 オックスフォード大學と並び稱せられる英國の有名な大學で學生約五千人ゐる英國一般の學校と同じく紳士教育に重きを置いてゐるがバロウ・ニュートン等の自然科学者をも輩出した



空から見たダブリン アイルランド自由國の首府・第一の大都である 南にウラクロイの雄大な山脈を控へダブリン灣に臨み市街も美しい 圖は西から東を望んだもので左下の河はリッファイ河である

大ヤーマス漁港 北海は世界三大漁場の一部をなしドッガーバンクは有名な漁場で沿岸一帯は漁業が盛である 英吉利ではハル・アバーチン・大ヤーマス等が名高い



となつた。今や本洲には三十有餘の獨立國が現出し、其の中には富強並びない國もあつて、世界文化の中心となり、進んで廣く世界に勢力を伸ばしてゐる。

第二章 西部ヨーロッパ

第一節 イギリス

(英吉) 面積 二萬萬方呎
人口 四千萬人

概説 主に大ブリテン・アイルランドの二大島から成り、面積は、我が内地の二分の一よりも小さい。原住民ケルト族は、今は西又は北に逃れて舊教を奉じ、従來のアングロサクソン民族(チュエ)は、新教を奉じてゐる。國號は大ブリテン・北アイルランド聯合王國で、夙に議會政治が發達し、憲政の運用が世界の模範と言はれてゐる。

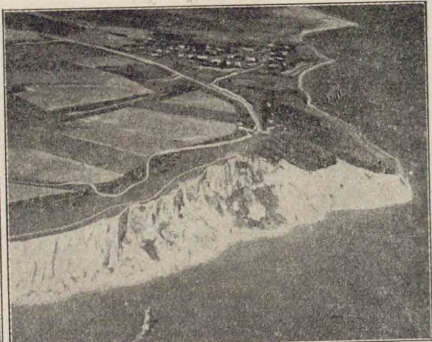


地勢氣候産業 北海・イギリス海峽の沈降によつて残つた陸島で、四部に分けられる。

イングランド(英) 北にペニン山脈が走り、南にイングラ



跡林森底海の岸沿國英



(よせ意注に達發の層聖白) 峽海スリギイ

ヨーロッパ

西部ヨーロッパ(イギリス)

England

ペニ

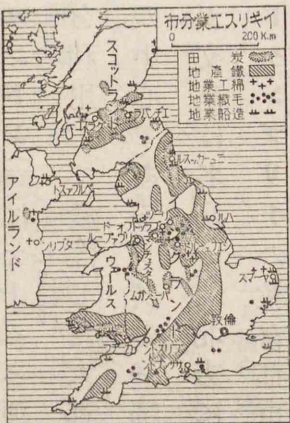


街心中業商のロンドン



出織布綿のーマスエチンマ

が行はれる。ペニン山麓は、石炭、鐵の産が多くて、重要な工業地帯をなしてゐる。マンチェスターを中心とするランカシャーの綿紡織は、世界的名聲がある。大貿易港リヴァプールは、マンチェスターと運河等で連絡されてゐる。リーズを中心とするヨークシャーは、毛織物で世に名高い。バーミンガムを中心とする黒郷地方は、製鐵又物兵器の製造が著しい。

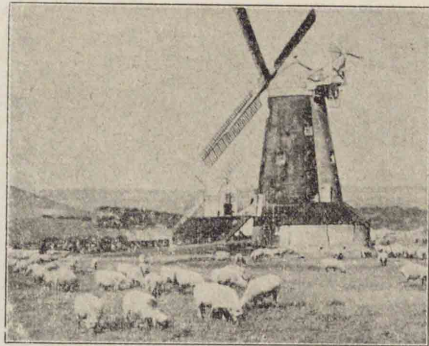
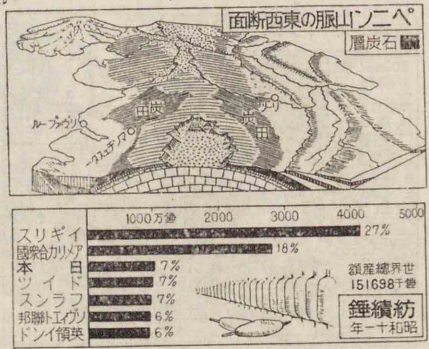


イギリスの雨量分布

(全年)

625以下
625-750
750-1000
1000-1500
1500-2000
2000以上

イギリスの雨量分布

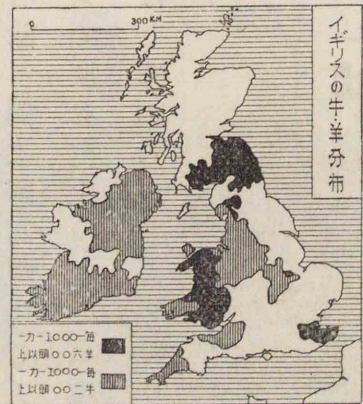
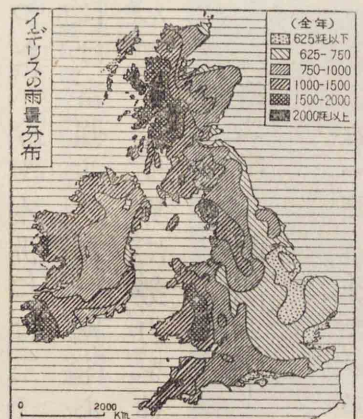


観景の場農南東ドンラゲンイ

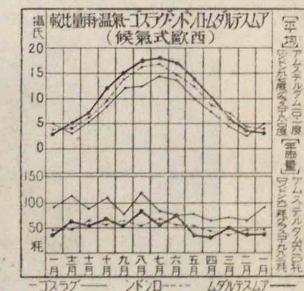


夫漁の岸海北ドンラゲンイ

牧羊 雨は 岸に 牛東 は 牧

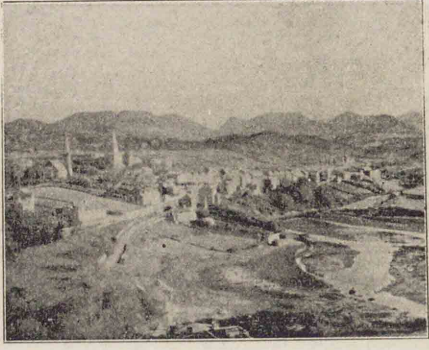


の主要農耕地區で、又暖流が北上し、ドーガールバンクは好漁場である。氣候は、灣流の影響で、高緯度の割合には温暖で、西海岸に雨量が多い。濃霧の多いことは、農耕を妨げるが、紡織業には好適である。又西岸に





家田のドンラレイア



観景の地山ドンラレイア

海運は世界第一で、全商船の約三割を占め、航路を世界各

交通商業 此の國は、世界の交通商業の一大中心をなし、

ベルファストの造船業地を控へてゐる。

にし、全アイルランドの五分の四の富を占めて、今も英本國の一部となり、

北部アイルランドは、これと人種風俗を異

建設して、内治外交の自由を獲得した。但し

近年、ダブリンを首府とする愛蘭自由國を

去百年間に其の人口が半減した。かくて

よつて、生活が困難を極め、移住などの爲過

ケルト族は、瘠地と英本國地主の搾取とに

ト族の牧場となつてゐる。

る。農耕に適しないので、住民ケル

地で、内部は湖沼の多い低原であ

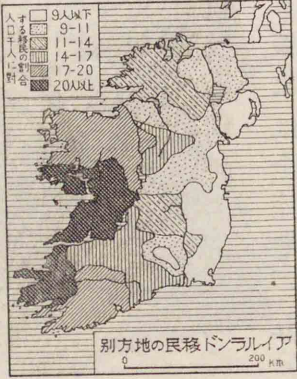
アイルランド(愛蘭) 周囲は低い山

デンバラが、こゝに發達してゐる。

Edinburgh 四六一



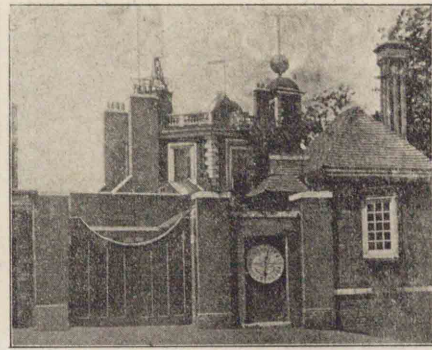
度密口人のドンラレイア



別方地の民移ドンラレイア



(湖ドンモロ)湖河水のドンラトッコス



臺文天チニリグ

首府ロンドン(教倫)は、テムズ河の三角

河口を利用して發達した大都で、政治

經濟の中心である。其の一部グリニ

チの天文臺は名高い。北方にオクス

フォード・ケンブリヂの教育都市がある。

ウ・カールス・Cambridge 七四

炭の大積出港である。

スコットランド(蘇格蘭) 氷河湖が多く、

中央部の大地溝は、石炭・鐵の鑛産に

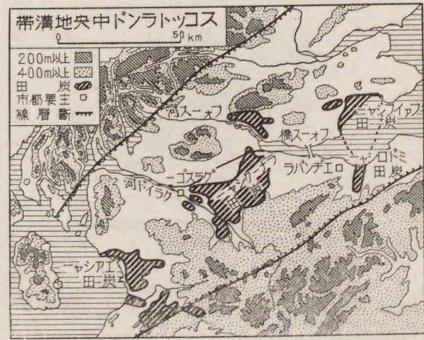
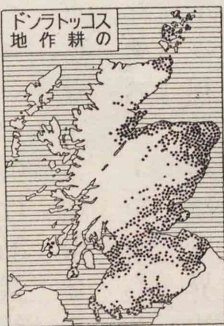
富み、且東西横斷の水陸兩路に利用

される。造船

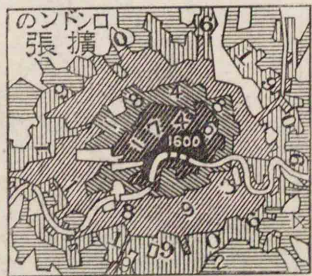
業地のグラス

ゴ、學術文藝

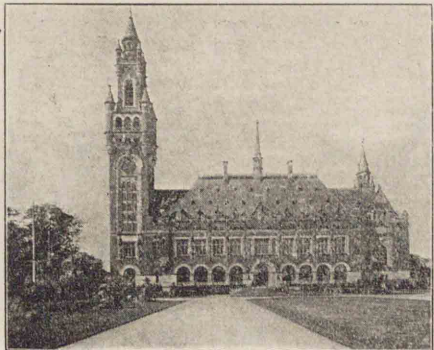
中心の舊都エ



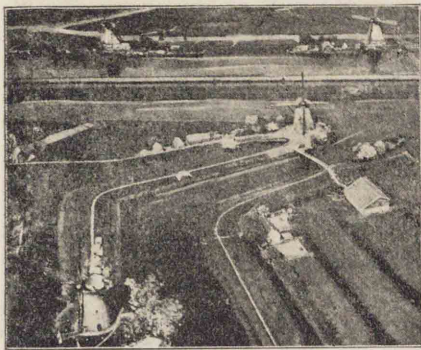
帯溝地央中ドンラトッコス



のンドンロ張擴



(殿和平)所判裁裁仲際國のグーハ



ーダルボのダンラオ

又英國領土が我が移民を閉鎖するなどの關係から、彼我の利害が相反する場合が少くない。

第二節

オランダ(和)
Netherlands (Holland)
面積 三、四萬方尺
人口 八、五萬人

概説 ベルギーと提携して、スペインより獨立したが、兩國は、民族宗教等が異つて融和せず、今は別々の立憲王國となつてゐる。

概ねライン河の三角洲で、國土の四分の一は、海面以下の低地である。併し種々の人工的設備を加へて、埋立地を造り、ゾイデルゼー(海)の如き、

Vaier Zee

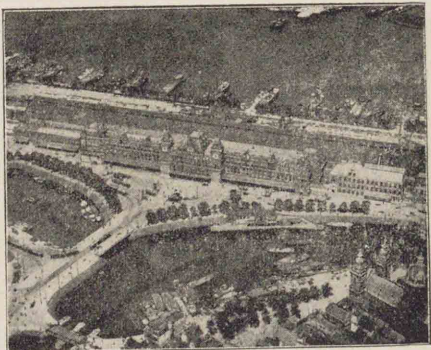
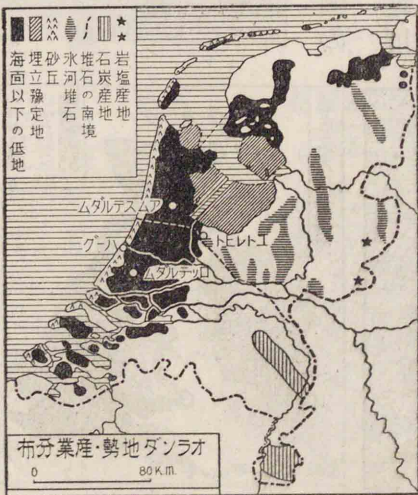
昔の陸地を取返し、之を良好な牧牛場となし、牛酪乾酪を重要輸出品としてゐる。

Bitter Cheese

花卉園藝が盛で、ハーレムがその中心である。

Haarlem

交通、商業 鐵道の密度は世界



ムダルテスマア



港空のムダルテッロ

屈指で、縦横に通ずる運河と相俟つて舟運の便が大である。近年蘭領

印度との間に、定期航空路が開かれた。また國民は古來海上に雄飛し、

嘗ては、歐洲商船の四分の三を擁し、世界海上の覇者であつた。而して

今尙、本國に六十二倍する海外領土を有してゐる。商業に長じ、特に地理上、通過貿易が盛である。一人當り

貿易額は世界の第一位を占め、アムステルダム(盛である)ロッテルダムは、當國主要の貿易港である。

Amsterdam 七八二

Rotterdam 五九八

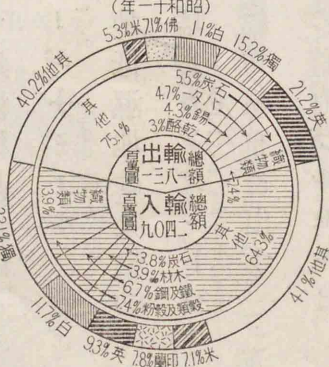
日本との關係 我が國の鎖國時代には、支那以外の唯一の貿易國で、實に西洋文化の傳達者であつた。今も蘭領東印度は我が國と密接な關係があり、又首府ハーグ(海)には、國際司法裁判所があるから、彼我の關係は、必ずしも淺くはない。

The Hague

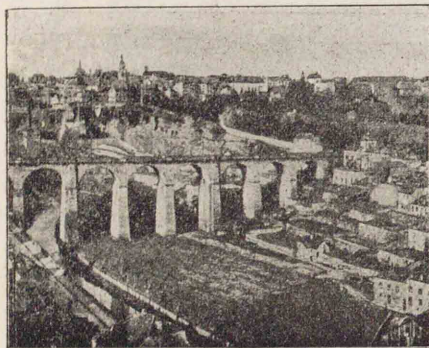
第三節

ベルギー(白耳)
Belgium
面積 三萬方尺
人口 六、五萬人
附ルクセンブルグ
Luxemburg

貿易のダンラオ



品名	割合
羊毛	55%
炭石	47%
タール	43%
銅	3%
砂糖	3%
胡椒	3%
香料	3%
皮革	3%
布	3%
紙	3%
その他	4%



市グルブンセクル



ルセッルブ

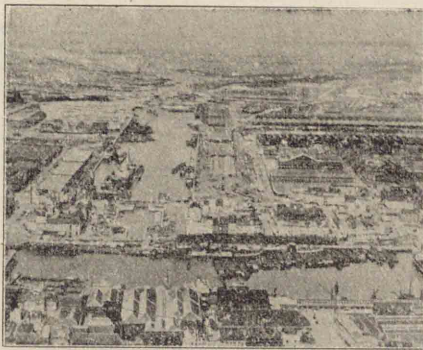
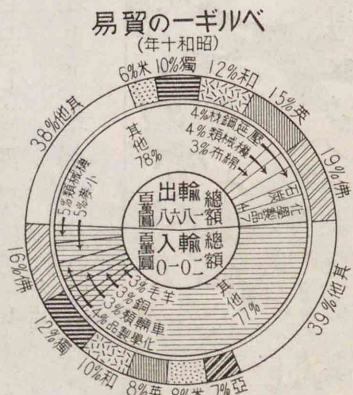
介在してゐるから通過貿易が盛で、シエルトの三角河口のアントワープは、出入船舶が甚だ多い。国民は、古より勇敢で、海外領土は、本國の八十餘倍の多きに達してゐる。

ルクセンブルグ 面積 三六〇方軒 人口 三萬人 獨白佛の三國に挟まれた大公國で、同名の首府がある。鐵鑛の産出が多く、ベルギーとの關係が深い。



スの産で名高い。**交通商業** 土地が低平で、運河が縦横に通じ、鐵道もよく發達して

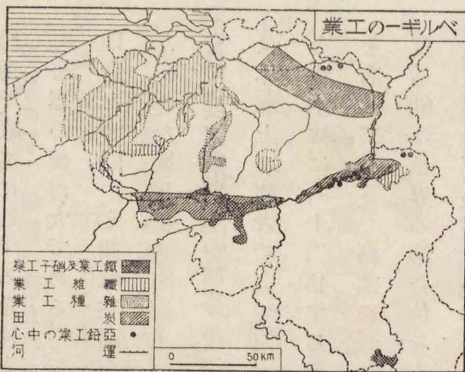
富強なる。國に



アールアントワープ



エジエリ

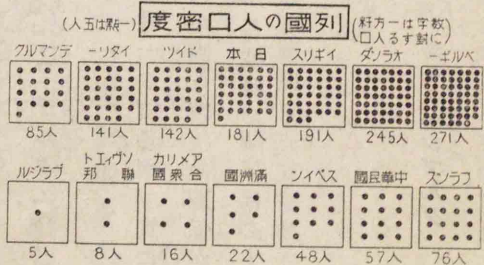


地帯中心の首府**ブルッセル**は、**レー**

がある。ルクセンブルグの鐵鑛をも入れて、鐵機械兵器硝子の工業が、**リエージュ**、**ナミュール**に盛である。丘陵地低濕地は、集約的に麥亞麻を栽培し、**カンアントワープ** (Chartreuse Antwerp) は、綿布麻布を出す。この

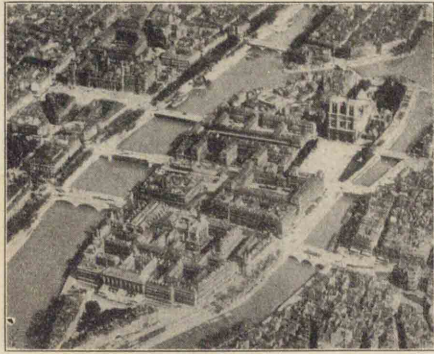
概説 民族の漸移地帯にあつて、北部にフレンディング人(チユートン) 南部にワロン人(ラテン)が住み、人口密度は、實に世界第一である。

地勢産業 南方から**アルダヌ**高臺丘陵地低濕地と漸移し、**マース**・**シエルト**二河が、右三區の境をなし、**マース**流域に炭田





場牧の地山-ネレピ



(岐分のメイセルよに島中川)リバ

第四節

フランス(西佛蘭) 面積 五五萬方呎 人口 四〇〇萬方人

概説 西歐の中部にある要地で、面積は、我が國より稍小である。舊教徒のラテン族が原住民のケルト族(ブルターニュ)を追うて占居した。五世紀末の建國以來、屢々王朝が興廢したが、大革命以後、立憲共和制となり、軍備は世界第一流に位してゐる。

地勢氣候産業

輪廓が六角形を呈し、南西部にピレネー

山脈、南東部にアルプ山脈が相連り、北東部の丘陵と共に、

Alps

Pyrenees

良好な自然的國境をなしてゐる。國の中央から稍南に中央

高地があつて、セイヌ・ロアール

Seine Loire

ガロンヌ・ローヌ等の諸河は、源

Caronne Rhone

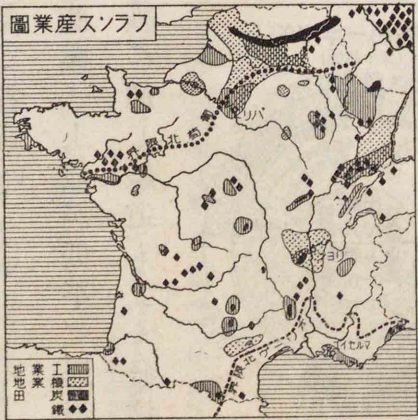
をこゝに發して、パリ盆地、ロア

Paris

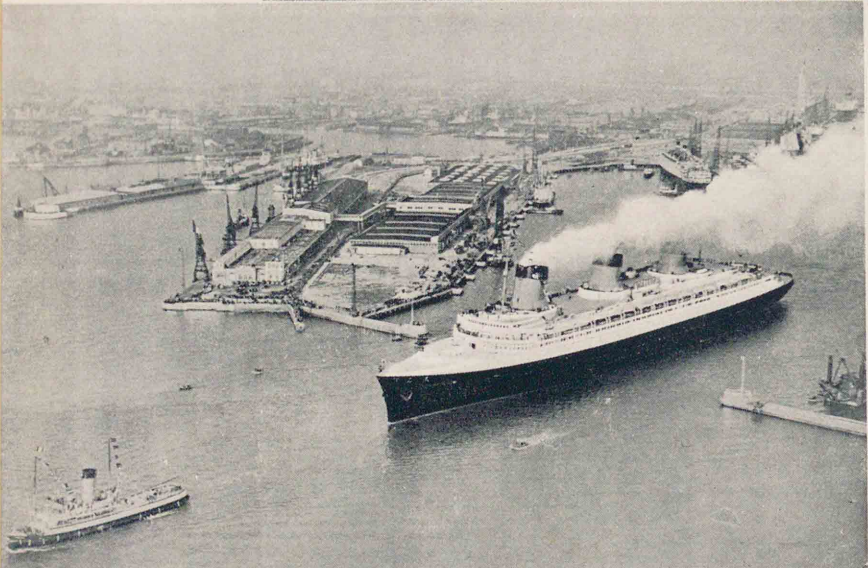
ール盆地、アキテーヌ盆地等の

Aquitaine

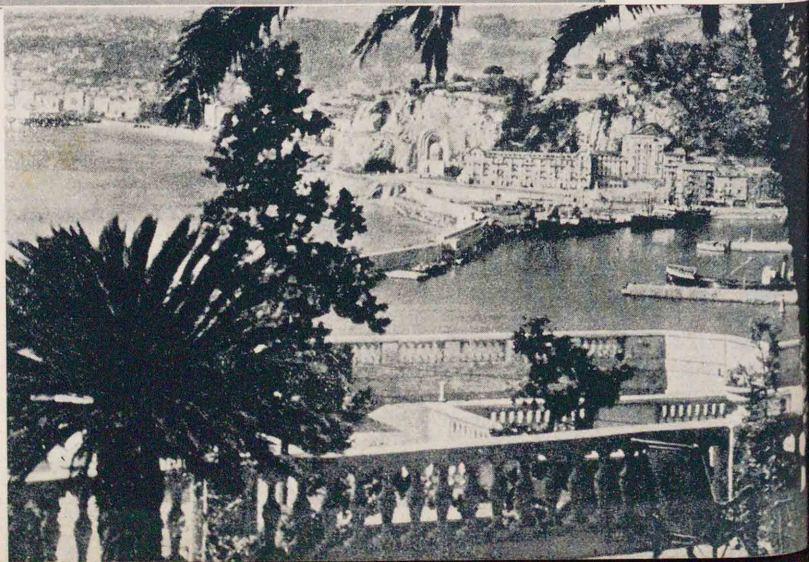
沃野がよく開けてゐる。地形



ベルギーの炭坑 獨逸ルール炭田は更に西南に延び、ベルギーのサンブル・マース兩河谷一帯に及んでゐる。鐵鑛と接近しリエージュを中心とした製鐵・製鋼業等の黒郷を現出させた。圖はシャルロアの黒郷で白人の女が炭車を押してゐる。



ルアーヴル港 パリの外港佛蘭西第二の貿易港である。大西洋航路の起點をなし、對英貿易が盛んで、棉・珈琲の輸入が多い。港は一時に五百隻の船を收容することが出来る。岡中の巨船は佛蘭西の誇り、ルマンデー號(七九三〇〇噸)である。

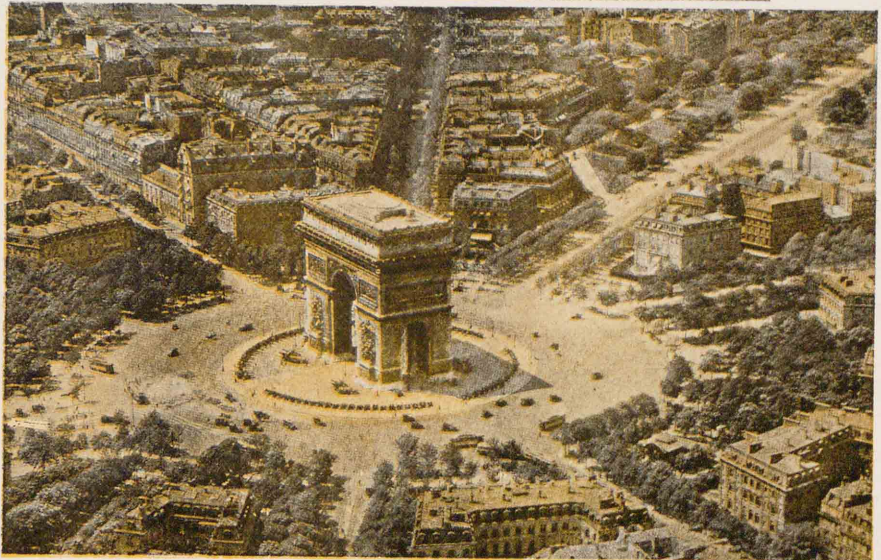


ニース 佛蘭西南東海岸に在る港市。北にアルプ山脈を控へ、南は海に臨むリヴィエラ海岸の一中心をなし、温暖晴朗な氣候と山水草木の美とを備へ、避暑地として餘りに名高く、東隣りにモナコがある。

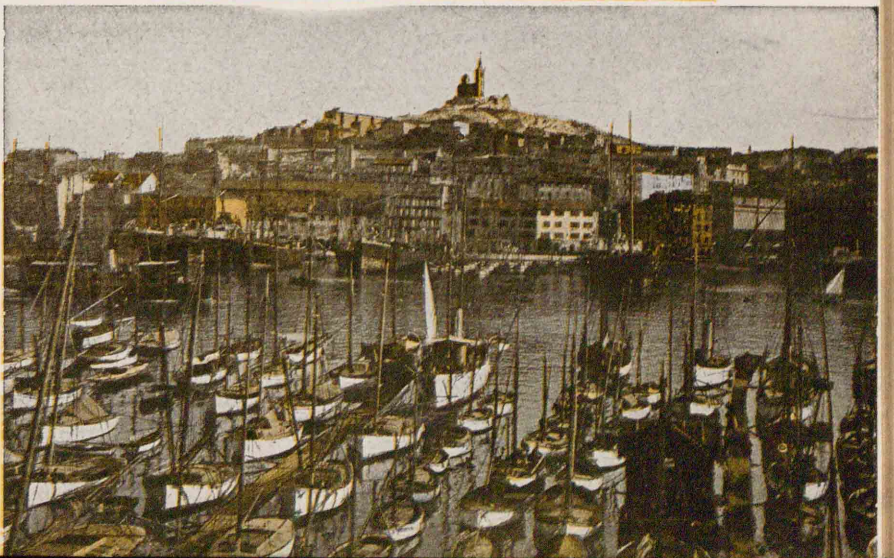
モンブラン アルプの最高峰(四八一〇米)で山頂は花崗岩からなり雪線は二六〇〇—三〇〇〇米であるから山頂は萬年雪に覆はれてゐる 毎年盛夏の候には登山する者が多い



パリ市 佛蘭西の政治・經濟・文化の大中心 世界第一の藝術・娛樂市として流行の本源となつてゐる 圖の中央はナポレオン一世の建設した華麗な凱旋門で街路が放射してゐる



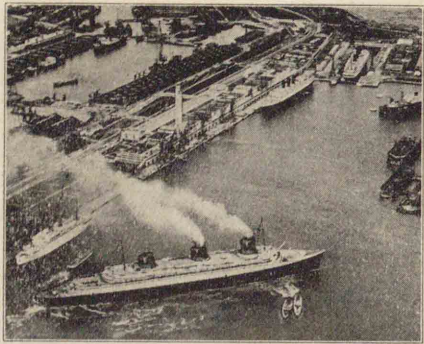
マルセイユ 佛領アフリカに近くスエズ運河の開通によつて發展し地中海岸第一の貿易港となつた 新港は貿易場で多數の巨船が同時に碇泊し得るに對し舊港は漁港となり三角帆のボートが走る 圖は舊港である



水噴の前殿宮ニイサルエヴ



ループルエシ



上三部に分れ、北部は西歐式、南部は地中海式氣候である。

北佛 白佛炭田が連り、ローレンは鐵鑛を産する。平野は、小

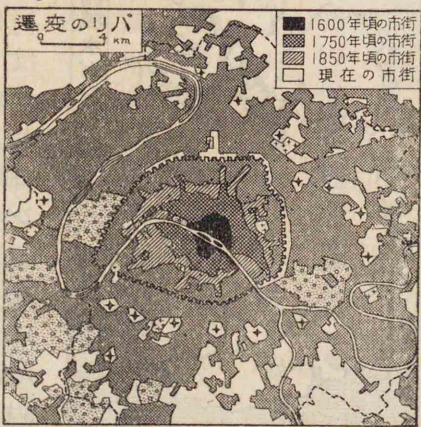
麥馬鈴薯・甜菜・葡萄を産し、ナン

シー(鐵製)ランス(葡萄酒)リール(毛織)ノアン(毛織)の工業市が發達した。

パリ(里巴)は、パリ盆地の中心、建國以來の首都で、歴史的建築、美術品に富み、または世界流行の中心として、パリ小間物(化粧品)の名が高く、南西に、ヴェルサイユ宮殿がある。セイ

又河口のルアーヴルは其の門戸で、ストラスブルと共に、貿易地として名高い。シルブール・ブレストは、イギリス海峽方面に於ける重要な軍港である。

西佛 小麥・玉蜀黍・葡萄・馬鈴薯の主要農産地である。ナン





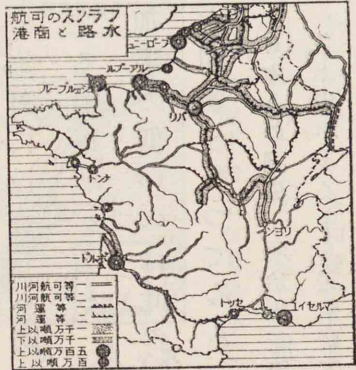
農村の一風景



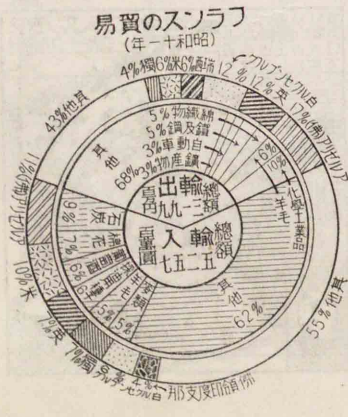
リヴィエラ（モンカ）の風景

西部ヨーロッパ（フランス）

に上り、主に工業品、養澤品を輸出



リカ植民



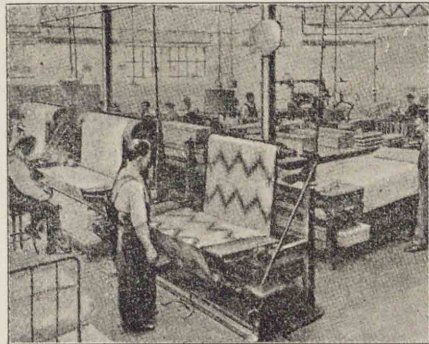
五九

ツローンは、地中海の重要軍港である。その東方のリヴィエラ地方は、ニースを始め、世界的の保養地が多い。

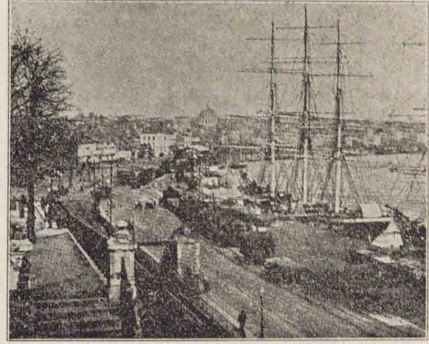
交通商業 分水界が低いので、運河網の發達が著しく、海上の交通も亦頗る便利である。

西部ヨーロッパ（フランス）

九四



リヨンの工業工場



ナント

第一の貿易港である。

トは糖業地で、ホルドールは葡萄酒産地、メドックの門戸である。

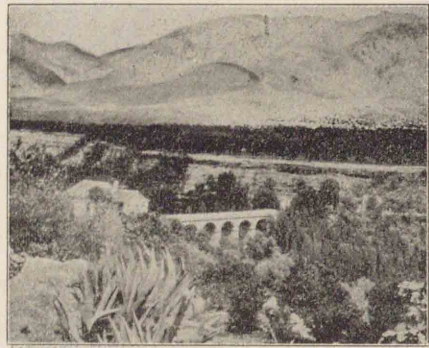


ローヌ河流域水力分布圖

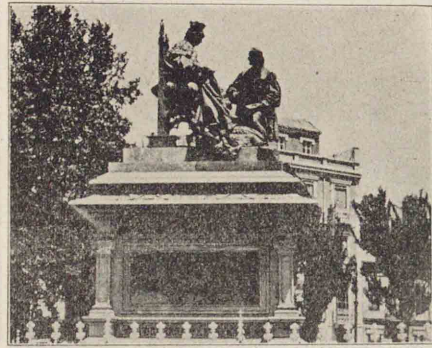
LYONS 五八〇



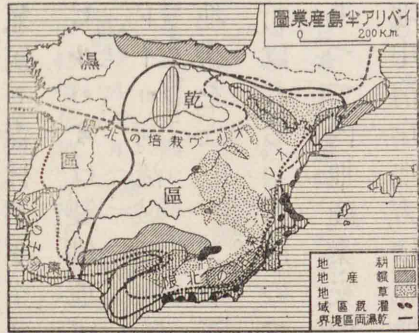
スラフ	20	40	60
リタイ	13.6%	33.6%	
アリエジリア	9.7%		
ソニバス	9.1%		
アニマル	3.6%		
酒葡萄 223百萬石 年九和昭			



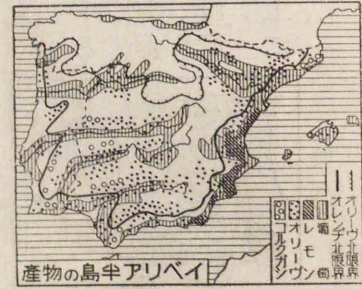
ダアヴネラエシ



(スブンロコと王女ラベライ) 者朝の上海



Spain 地形は、高原状である。河川は、概ね東西に走り、急流をなすものが多い。北西部は、西歐式

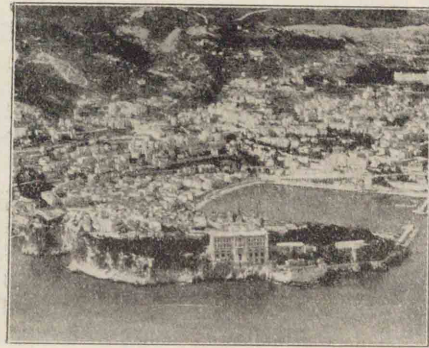


産物の島半アリベ

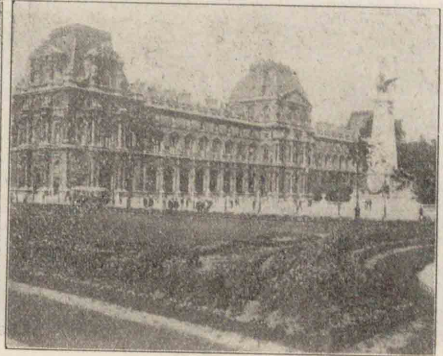


概説 アフリカに渡る陸橋で面積は、我が國より小である。一千餘年前、既にアラブ族の世界的文化が開け、今は西葡の二共和國がある。現住民ラテン族(舊教)は、四百年前には、世界海上の覇者であつたが、植民政策を誤つて、海外領土の大部分を失つた。

第三章 南部ヨーロッパ 第一節 イベリア二國 Iberian Two States



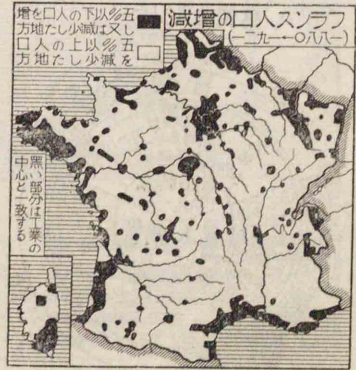
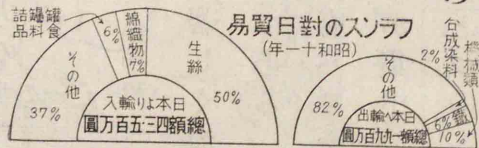
コ ナ モ

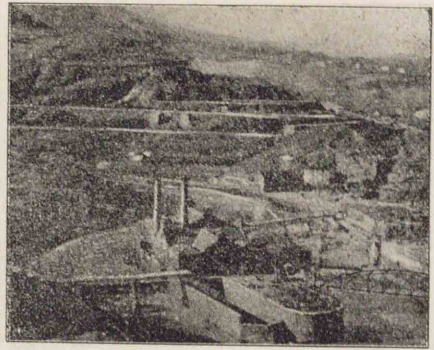


館物博ルザール

し、原料品を輸入する。文化生活 國民は、愛國の熱情に富み、典雅で社交に長じてゐる。また勤儉貯蓄の美風を有して、よく海外に投資し、本國に二十三倍する植民地がある。併し人口増加率の低いのは、此の國の一大脅威で、爲政者の大問題となつてゐる。

日本との關係 明治維新後の我が軍事學藝法律は、佛國に負ふ處が多く、今も美術研究の留學生が多い。又佛國は、國際聯盟の中心勢力で、外交上、輕視出来ない國である。又彼の貿易額は多くないが、我が國から生絲、綿織物、罐頭詰食料品を仰ぎ、我が國へ機械類、鐵、染料等を送る。モナコ 面積一五方呎、人口二・三萬人、リヴィエラの代表的地帯で、世界各國よりの遊覽者が多く、名高い海洋博物館がある。





山鐵のオバルピ



ナロセルバ

氣候で森林が多く、又石炭・鐵鑛を産する。
ビルバオは、製鐵地で又鐵鑛をも輸出する。
 Bilbao 一七、六
 ドイロ河流域は、大陸的氣候で重要な小麥
 Douro(Douro)
 地帯をなし、グアデアナ河流域には、牧畜が
 行はれる。首府の**マドリド**は、高原上に
 Madrid 一〇、八
 あつて、内地商業・交通の中心である。
 地中海沿岸地方は、乾燥して灌漑が必要であ
 る。段丘状丘陵の果樹(葡萄・オリーブ)
 や櫛樹が多く、河口の低地は、米
 産が著れてゐる。**バルセロナ**
 Barcelona 一四、八
 は、當國第一の貿易港で、コルク
 Cork
 を輸出し、マルセイユと競争す
 る工業地(縮毛織)である。

ポルトガル(葡) 面積 九萬方
 Portugal 人口 七、八萬人 國の大



部は雨が多くて玉蜀黍小麦を産し、又牧牛が行はれる。

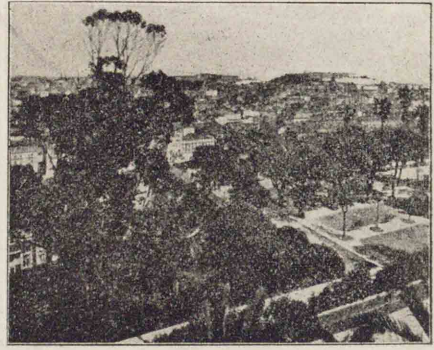
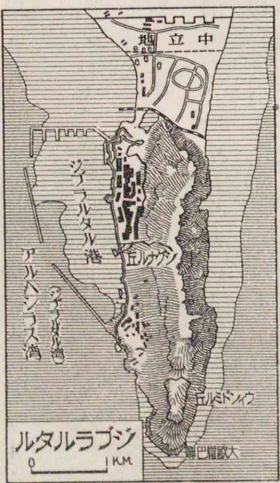
葡萄その他の果物に富み、**オポルト**港は葡萄酒を輸出す
 Oporto 一三、二
 る。首府の**リスボン**は、古より良港である。

Lisbon 五、九

交通商業 交通が不便で、鐵道は外人の經營である。鑛石葡萄酒・オリ
 ヴ・コルクを輸出し、棉機械を輸入する。

文化・生活 兩國民とも、勇氣や自制に缺け、産業を怠り、闘牛に耽り、過半は
 無教育である。教會が廣大な土地を有して、貧しい農民が多い。最近内
 亂が絶えず、列強の乗ずる所となり、益々、ヨーロッパ政局を複雑ならしめて
 ゐる。

日本との關係 西、葡二國とも、早く我が國に來航して文物を傳へたので、
 兩國語で我が國語になつたものが
 少くない。然し兩國の國勢不振の
 爲、今は我が國と關係が薄い。
ジブラルタル(英領) 面積 五、五方
 Gibraltar 人口 二萬人 英國
 の直轄植民地で、地中海の西口を扼
 し、堅固な要塞貯炭所がある。



ンボスリ



場牛闘



人 ク ス バ



(湖ダルガ)湖河水の脈山プルア

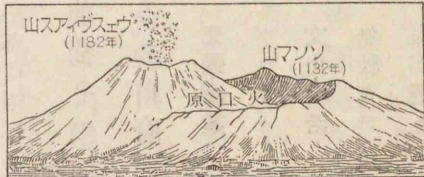
アンドラ 面積 望方 方 人 口 〇五 人 Basques

第二節 イタリア(利太)

Italy

面積 三萬方 人 口 四三萬 人

概説 地中海の中部にある長靴形の大半島で面積は、我が本州より稍大である。ラテン族は、嘗てローマ帝國を建設して、ヨーロッパ文明の中心をなしたが其の後、小國に分裂し、現王家が之を統一して、立憲王國を建てた。世界大戰に、聯合國側に與して、北方の地を獲得し、又最近、エチオピアを征服した。かくて國際間に重きをなしてゐる。



地勢・氣候・産業

アペニン山脈は、半島を縦走してシシリ島に至る。



西岸に沿うて火山帯があり、ヴェスヴィアス(ヴェス・エトナ等の火山が多く、風光秀麗である。

マドリド 一五六〇年フィリップ二世の帝都となつて以來急に發展し今や歐洲一流の大都となりスペインのバリだといはれてゐる。前景の街路はアルカラ街路 左の大建築はイスパニア銀行である



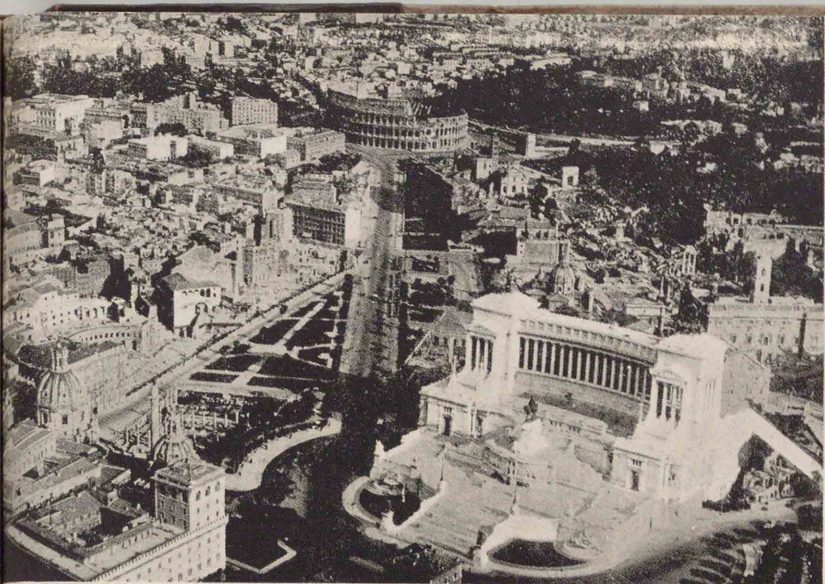
ジブラルタル 十三軒を隔て、アフリカに對し地中海の玄關番・用心棒といはれスペインにありながら英吉利の領土となり堅固な砲臺がある。圖は南方から見たものでレヴァントと呼ぶ東風によつて生じた怪奇な雲が漂つてゐる



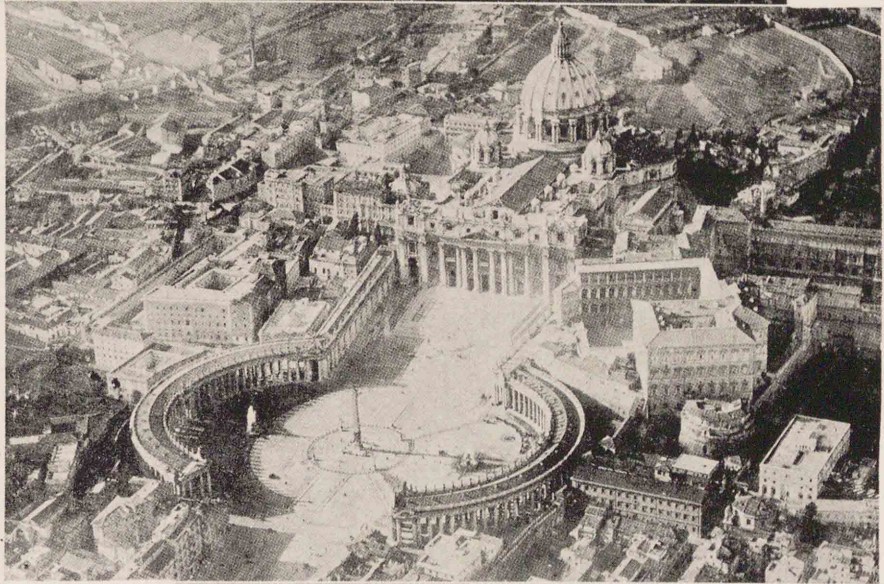
グアドルキヴィル河とセヴィリヤ 河はアンドルシア平原の動脈をなし河口一九軒まで潮汐を感じる。八七軒上流の右岸にある平原の中心セヴィリヤは水運の便があり回教時代の建物が多い



ローマ 伊大半島の中央的位置を占めタイバー河に跨る永久の都ローマは世界人士の憧れの都である。圖は都心から南方を望んだローマで右下方はエマヌエル記念館 右上方暗部はフォロ・ロマーノ(廢墟)で新舊混然たるローマの一部である。



セントペトロ寺とヴァチカン宮殿 ローマの中に一獨立國法王領がある。圖は其の一部で上方兜形の建物が基督傳教總本山セントペトロ寺 右方はヴァチカン宮殿で廣場と共に世界的宏壯美麗な建物である。



パレルモ シシリー島の首邑で同名の灣に臨む。綠蔭深い棕櫚。丈餘もある龍舌蘭・サボテンさては碧空等地中海風景を多分にもつ。葡萄酒・オレンジ・硫黄・オリブ油等を輸出する。



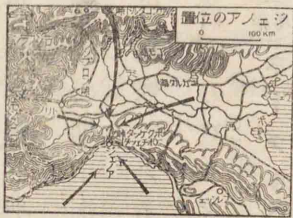
ミラノ



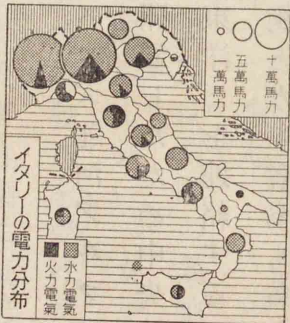
スニエヴ都水

ヨーロッパ洲

南部ヨーロッパ(イタリー)



北境にはアルプ山脈が連り、その麓に、ポー河流域の廣大なロンバルデー平原がある。

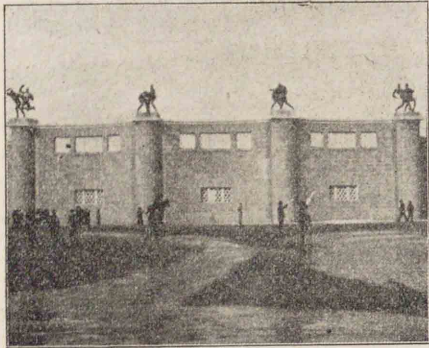


礦産は、硫黄(火山)大理石(カララ等)が著しい。

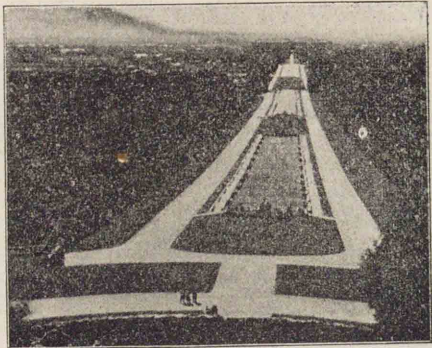
Cararra 五三

北部 稍大陸的氣候で、アルプは莫大な水力を供給し、人絹毛織・生絲・絹布等の工業が起り、麥作・米作・養蠶も榮え、國內第一の生産地域で、全國人口の過半を占めてゐる。

絹織地ミラン(Milano)自動車製造地チエーリン(Turin) (トリ)は平野の中心で、ジェノヴァ(ジェノ)水都ヴェニス(Venice)は平野の門戸である。



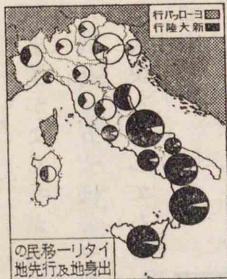
場技競トスシアフ立國



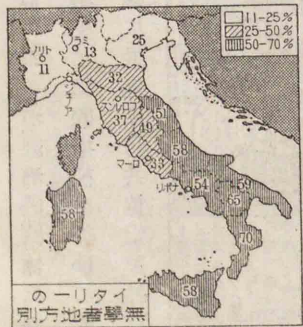
路道車動自的代近のーリタイ

南部ヨーロッパ(イタリア)

雄飛しようとし
てゐる。
し、益々國際間に
上の不況を克服
運動で國民を鼓舞、
漸次、經濟

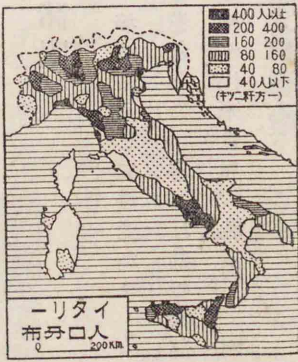


の民移ーリタイ
地先行及地身出

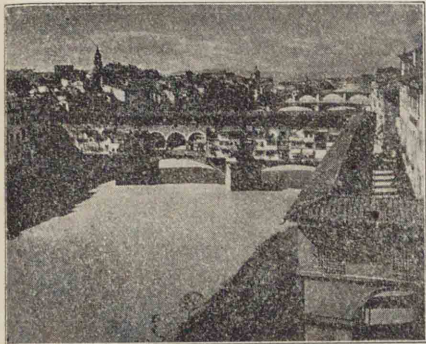


のーリタイ
別方地者學無

益活潑になつて來た。
文化生活 國民は、南歐の熱血兒
で、愛國心が極めて強い。女子は、
良妻賢母主義の教育を受けてゐ
る。古來、文學、美術、音樂に長じ、傑
作が多い。人口が極めて稠密で(密
然資源が貧弱であるから、生活程度が低くて、海外へ移住
する者が多く、その數六百餘萬に及び、世界的移民國の一
である。併し今や農業國より工業國に進み、またファッシ
運動で國民を鼓舞、激勵し、漸次、經濟
上の不況を克服
し、益々國際間に
雄飛しようとし
てゐる。



ーリタイ
布丹口人



スンレロフ都の術美

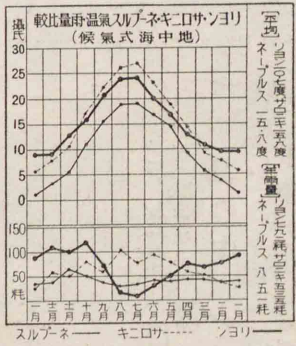


マ ー ロ

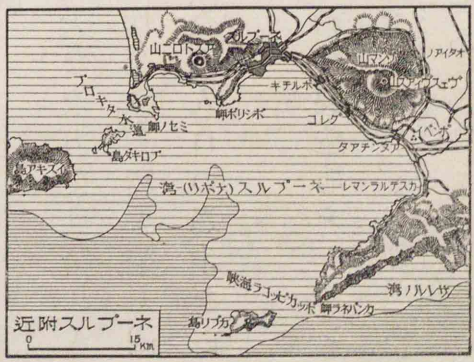
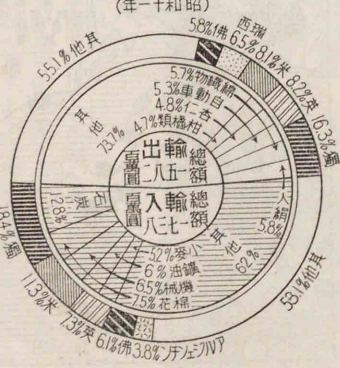
南部ヨーロッパ(イタリア)

交通・商業 スエズ運河アルプ
横断鐵道が開通したため、中央
ヨーロッパと東洋とを連絡する
交通路の要衝となり、貿易も益
鍊する。
エルバ島 本島は、鐵鑛を産し、對岸で製
錬する。

半島・島嶼 典
型的の地中海
性氣候である。
首府のローマ
首府のローマ
馬・ネーブルス
羅馬(Naples)ハセバ
(リボ)は、史蹟・風光を訪ねて杖を曳
く者が多い。シシリ島のパレ
ルモはオレンジの輸出港である。
Stely
Palermo

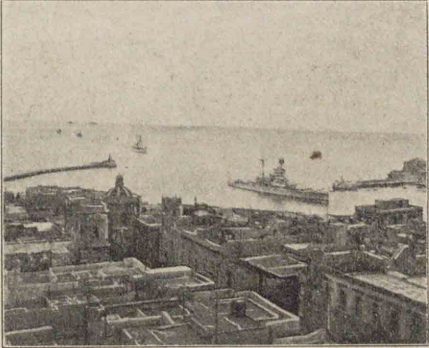


易貿のーリタイ





作耕のノリマンサ



港軍タツレアヴ

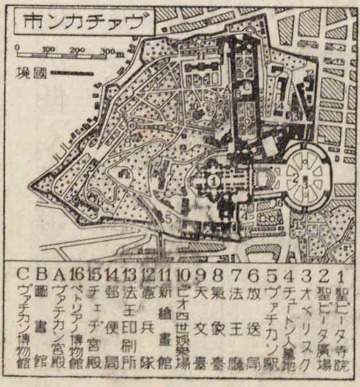
日本との關係 地理的事情がよく我が國に似てゐるが、經濟的關係は餘り密接でない。併し彼我共に五大國の一の事として國際場裡に於ける政治的關係が密接で、互に大使を交してゐる。殊に最近は防共協定を結び、國交は益々親善を加へて來た。

サンマリノ 面積六方呎 人口二萬人 アペニン山脈中に位する歐洲最古の小共和國である。

ヴァチカン市 面積〇・四四方呎 人口〇・四四萬人 ローマ法王を主權者とする世界最小の獨立國で、ヴァチカン宮殿・聖ペトロ寺等を領域とする。

マルタ島 シリリー島の南に位する小島

である。其の港市ヴァレタは英國地中海艦隊の根據地である。



第三節 バルカン(巴爾)諸國

Balkan States

概説 歐亞間の陸橋部で、古より文化民族の接觸點として幾度かヨーロッパ列強間の政治問題の原因となり、戦亂をも惹起した。嘗ては其の大部分がトルコ領であつたが、其の後數個の獨立國が出來、世界大戰後、更に國境に大變化を來し、今は四王國・二共和國の獨立國がある。

地勢・氣候・産業

トランシル

ヴァニアアルプ・バルカン・チナ

ルアルプ・ピンドスの諸山脈

が、分走せるため、山地が多く、

ダルマチア海岸

Dalmatia

は、複雑な水平肢

節をなしてゐる。

ダニエーブ河の流

Danube(Donau)

域は、主な通路で又主要生産地帯である。氣候は、沿海は地中海式、内陸は大陸的である。



ユーゴスラヴィア

面積二五萬方呎 人口四三〇萬人

スラヴの諸族(希臘)

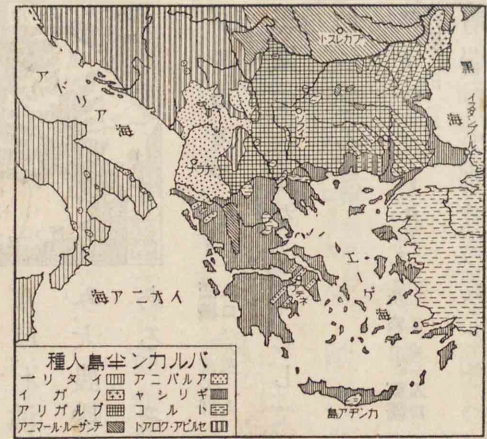
大戦後、セルビアを始め南

首府ベルグラードは、形勝の位置を占め、

バルカンの鍵の名がある。

名がある。

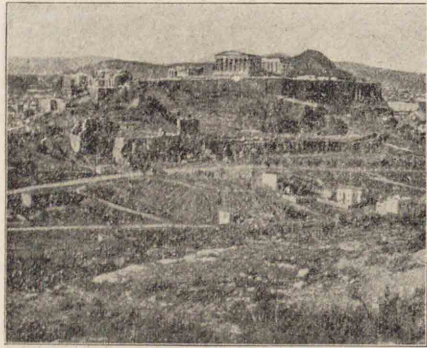
Key of Balkan



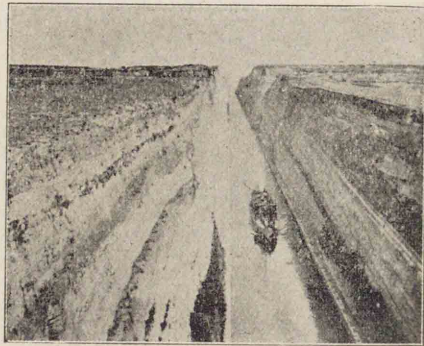
觀景のブルアルナチ

ボエイラサ





スリポロクアのネテア

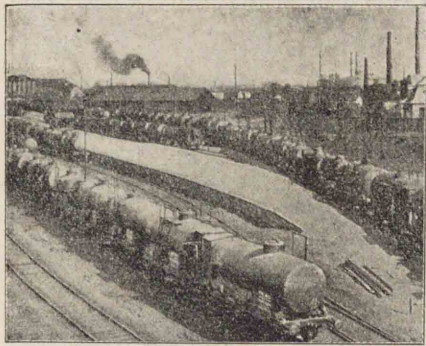
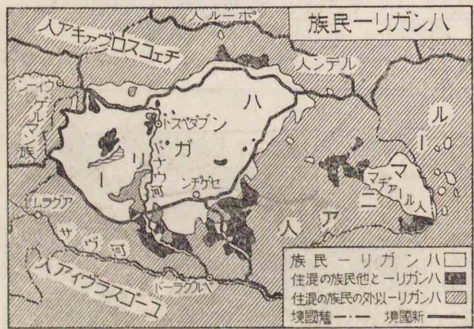


河運 トン リ コ

マジャール族(アジヤ種)の小王国で、現在は

面積 九萬方軒
人口 八九〇萬 人

第四章 中部ヨーロッパ
第一節 ハンガリー(利洪牙)
Hungary

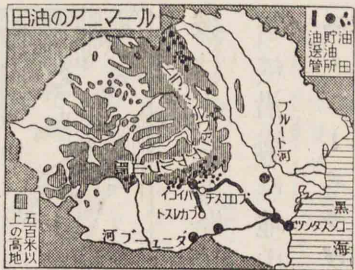


田油のアニマール



畜牧の原平アニマール

ルーマニア(羅馬)面積 三〇萬方軒
人口 九〇〇萬 人
ラテン族(徒舊教)の樹てた立憲王國で、大戦の結果、近隣の同民族の住地を併合した。トランシルヴァニア地方は、牧畜が盛である。其の以東は、石油の産に富み、大農耕地帯でもある。そこに首府のブカレストがある。



ブルガリア(利勃牙)面積 二〇萬方軒
人口 六〇〇萬 人
南スラブ族(教徒)の樹てた立憲王國で、牧畜を主業としてゐる。首府ソフィアは、交通の要地である。



ギリシア(希臘)面積 三〇萬方軒
人口 六〇〇萬 人
歐洲文化を先導したギリシア族(教徒)の王國で、首府アテネには史蹟が多い。コリント地峽には、同名の運河がある。オリイヴ・葡萄・無花果・煙草(草が名高い)を産し、またトルコ毛氈は、古より聲價が高い。

アルバニア(希臘)面積 三萬方軒
人口 一〇〇萬 人
アルバニア族の小王國で、對岸にある伊國の勢力が強い。首府は、チラナである。

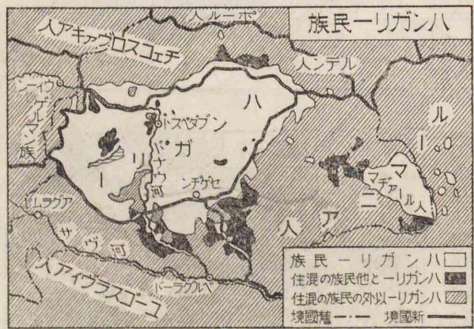
ギリシア(希臘)面積 三〇萬方軒
人口 六〇〇萬 人
歐洲文化を先導したギリシア族(教徒)の王國で、首府アテネには史蹟が多い。コリント地峽には、同名の運河がある。オリイヴ・葡萄・無花果・煙草(草が名高い)を産し、またトルコ毛氈は、古より聲價が高い。

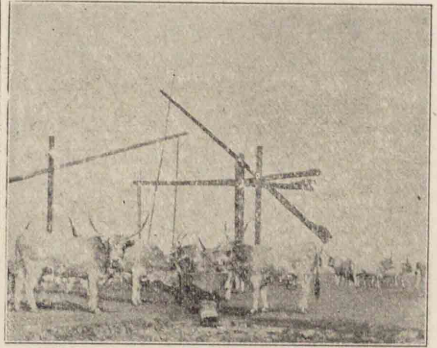
アルバニア(希臘)面積 三萬方軒
人口 一〇〇萬 人
アルバニア族の小王國で、對岸にある伊國の勢力が強い。首府は、チラナである。

第四章 中部ヨーロッパ
第一節 ハンガリー(利洪牙)
Hungary

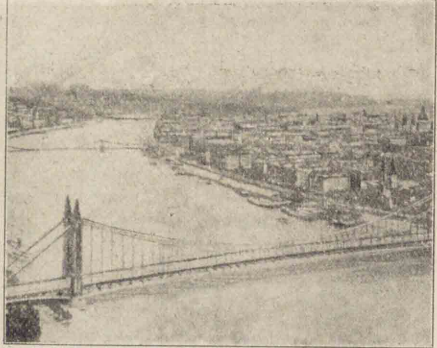
マジャール族(アジヤ種)の小王国で、現在は

面積 九萬方軒
人口 八九〇萬 人





ブダペスト

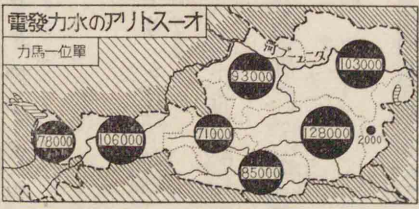
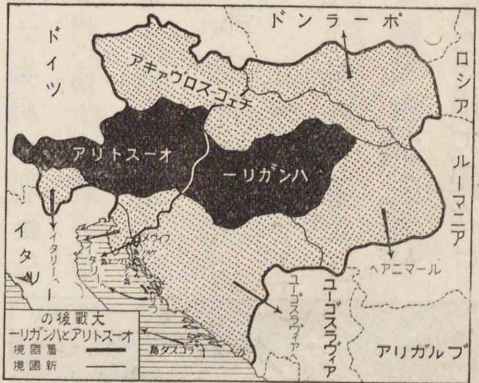


ブダペスト

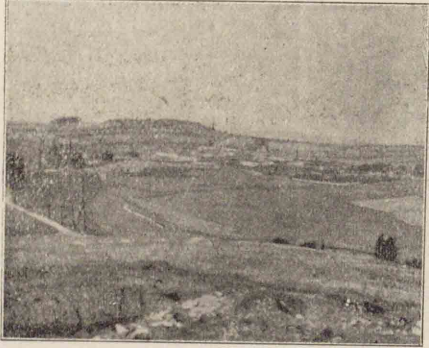
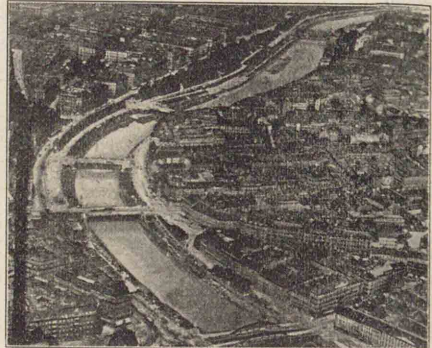
王がなく、攝政が置かれてゐる。大部は、ハンガリー平原で雨量が少ないが、夏季に雷雨が多いから、小麦・玉蜀黍・甜菜・馬鈴薯・葡萄を産する。又草原は、牧畜が盛大で、肉類・酪製品を産出する。首府のブダペストは、交通の中心で、製粉業・屠畜業が隆盛に行はれる。

第二節

オーストリア(奥地)面積八四萬方呎、人口七六〇萬人(派、舊教徒)の共和国である。嘗ては歐洲に雄飛したが、今では國家の存



美の都ウィーン



エチオスロヴァキアの礦物地帯

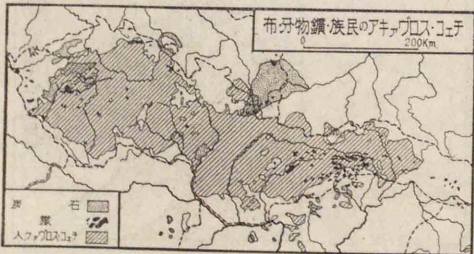
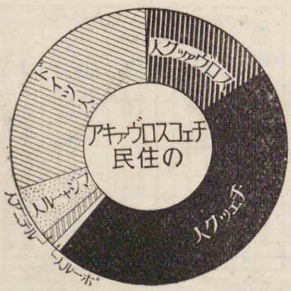
立さへ困難な實情にある。ウィーン盆地の外生産地域が狭く、國民の三分の一は、精巧な機械・電氣器具等の工業(輸出の七%)に従事し、常に輸入超過である。首府ウィーン(維也納)は、工業・商業の中心で、市街が麗しく、美術工藝に名高い。リヒテンシュタイン(面積二萬方呎、人口一萬人)ドイツ人の建てた小公國で、境瑞の二國間に位してゐる。

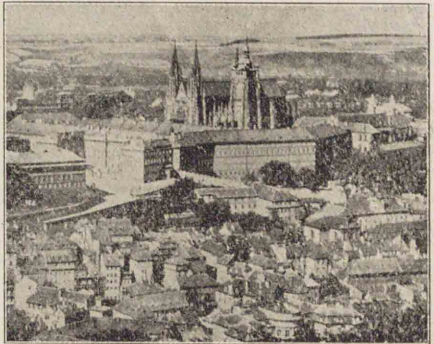
第三節

チェコスロヴァキア(須)面積一四萬方呎、人口二五〇六萬人。概説 チェク・スロヴァック・ルテニア(共にスラヴ族、舊教徒)の三族が、大戦後に建設した共和国である。中央ヨーロッパに位して、國勢が稍旺盛である。

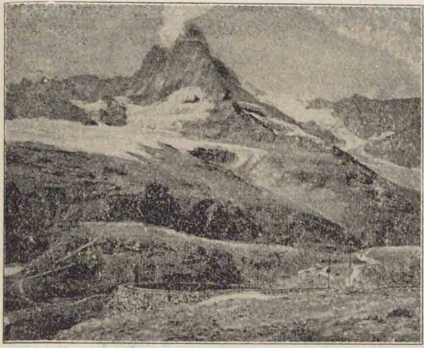
主要部のボヘミア

地は、農・林・鑛産及び工業(製鐵・機械・製紙・製糖)に富み、首府プラハは、その中心である。スロ





グーラプ



ンルホルテッマ

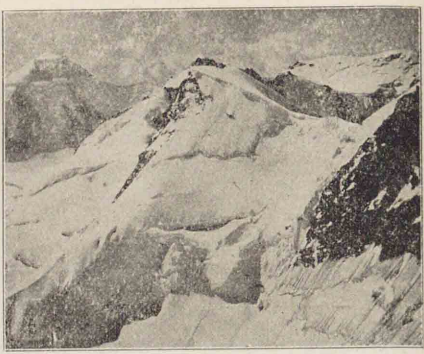
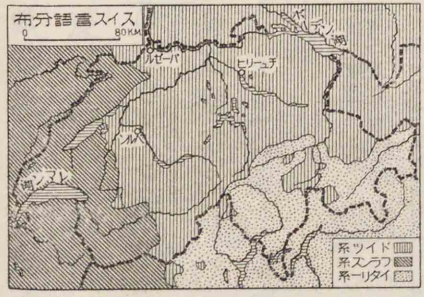
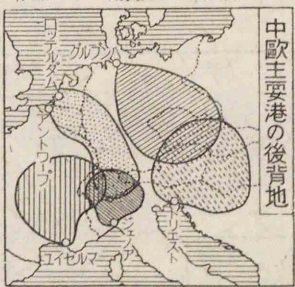
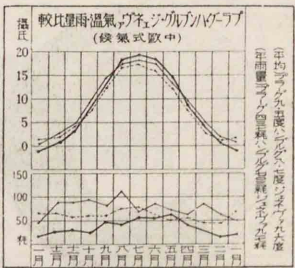
ヴァキアは、概ね山地で、農牧が主業である。内陸國であるが、國際河川(オードル・エル)によつて外洋に通じ、また年々貿易が出超で新興國中、最も前途が有望である。

第四節 スイス(西瑞) 面積 44万平方人 Switzerland (Suisse)

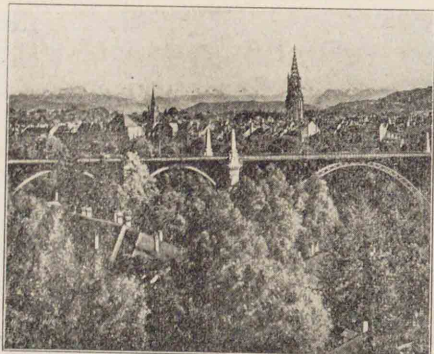
概説 「ヨーロッパの屋根」と稱せられて、獨・佛・伊三強國間の緩衝地帯をなし、永世局外中立國である。各河谷は、民族の侵入路となり、獨(三分の二)・佛・伊(以上三分の一)の三民族が住み、その三國語が、何れも公用語として行はれてゐる。

地勢・氣候・産業 地形上アルプ山地中央高地。ユラ山地の三部に分れてゐる。

アルプ山地 壯年山地で、マッテルホル Alps

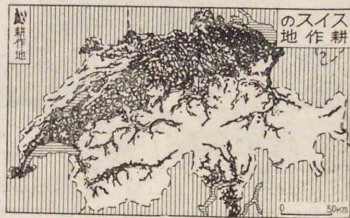


ウラフゲンユ

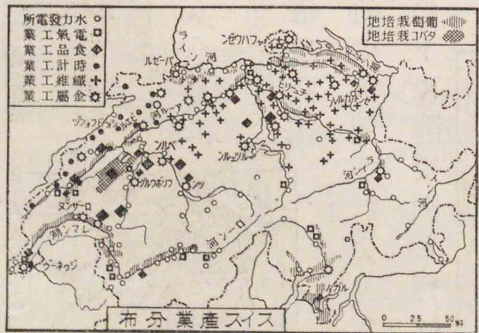


市ンルベ

ン・モンテローザ・ユングフラウ等の高峯があり、四時白雪を戴き、氷河を懸け、水清く湖水(ポームデンの水河湖)・瀑布等の風光が眞に秀麗壯大である。加ふるに、登山設備の周到と待遇の懇切と相俟つて、観光客が甚だ多く、爲に年々一億圓の利益を収めてゐる。

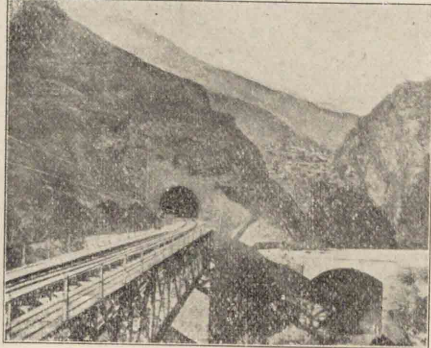


中央高地 當國唯一の農牧地、又水力利用の工業も盛に起り、輸送に便利な織物(レン・リ・ボス)・化學製品(品藥)・金屬製品(計時)・木工品の産が多い。首府ベルン(萬國郵便電信、事務局所在)・世界の首府と誇るジネーヴ(萬國赤十字社、國際聯盟本部所在)・綿工業地のチューリヒ、理化學製品産地のバ





ルゼーバ



道隧大ドルタゴンサ



1ゼルは、皆この地域にある。
ユラ山地 アルプ山脈の一支脈で、石灰岩が多い。幾多の縦谷を挟んで獨逸に入つてゐる。

交通商業 周圍に山脈があるが、鐵道の發達

が著しく、サンゴタルド・シンプロン等の大隧道により、アルプを横斷する。貿易は、鐵道利用の下に隣接國と行は

れ、海外貿易は、ジェノア(リタ)・アントワー

プ(ギル)・ロッテルダム(蘭)・マルセイユ(シラ)

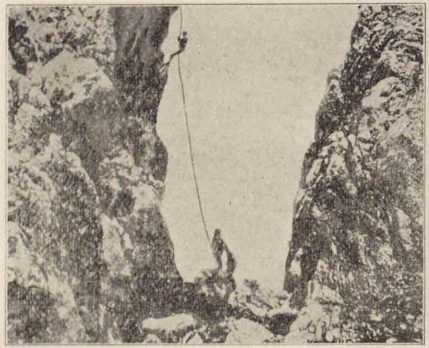
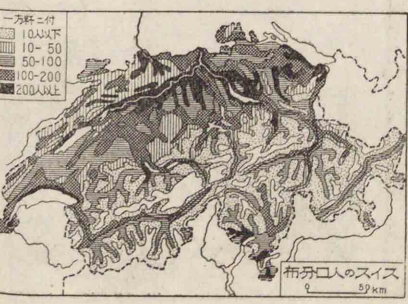
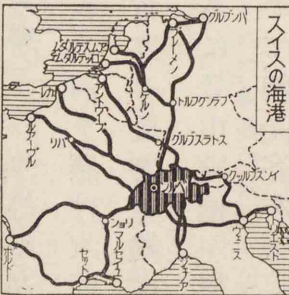
で行ふ。輸出は精

製品(酪製品・時計・織物)で、輸入

は食料品・原料品が

主である。

文化生活 教育が



攀登のブルアツイド



望展の山ギリ

普及し、風紀が正しく、愛國・自由の精神に富み、勤儉・尚武の氣風があり、山國に拘らず、人口密度(收容可能密度六〇人)が極めて大で、現世に於ける樂土を建設してゐる。

第五節

ドイツ(逸) 面積 聖萬方人
人口 六百萬

概説 明治の初年(一八七)ドイツ帝國が創建さ

れて以來、國運隆々たりしも、世界大戰に敗れて、

七萬三千方人の國土

と七百五十萬の人口

と海外に於ける全領

土とを失ひ、共和國と

なつた。然るに最近

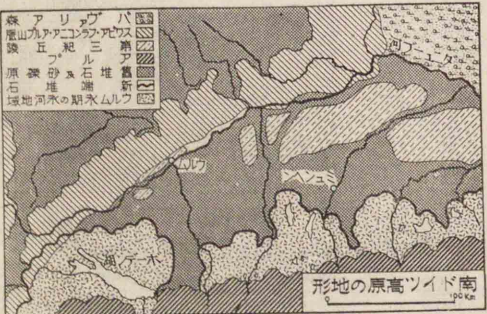
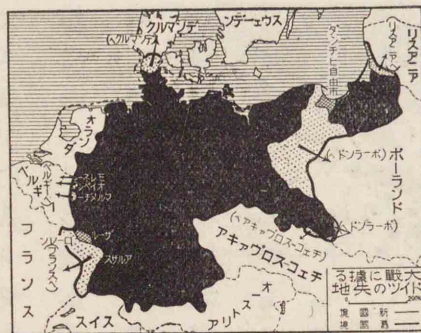
は、着々復興して殆ど

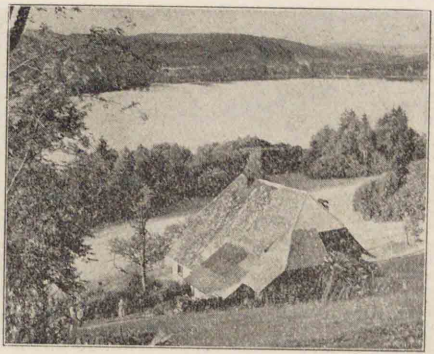
大戦前の地位を回復した。

地勢・氣候・産業

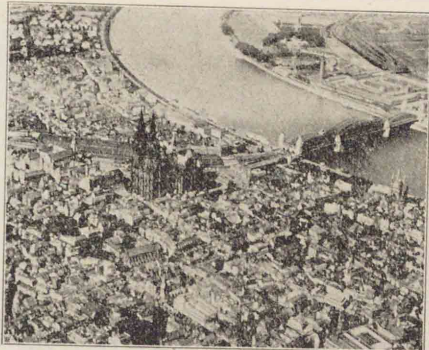
地形上、南獨逸・北獨逸の二部に分けられる。

南獨逸 中帶山脈及びアルプ山脈の



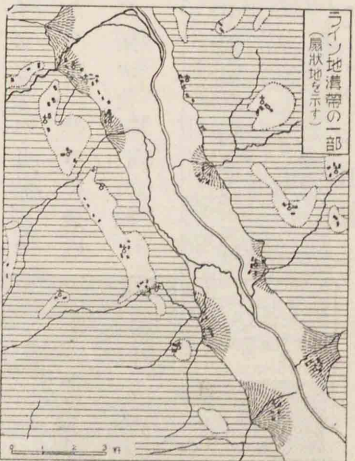


(湖チチ) 風景のドルワツルワユシ



ンルケの畔河ンイラ

最北の地域で、ダニューブ(ドナ)河は、バヴァリア(Bavaria)の盆地を東流して、オーストリアに入り、又西境には、ライン河が南より

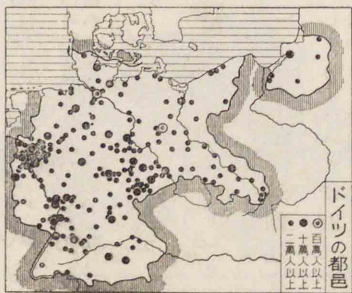


北に流れてゐる。

ライン河は、アルプ山中に發源し、ライン地

溝帯を流れ、獨佛の國境となつて、ラインの峽谷美をなす。

バーゼル以下は、國際河川となり、ケルン以下は、黒煙天を掩へる、ケルンの大工業地を過ぎる。河岸は、氣候良好の生産地域で、古城址の散見す



ドイツの都邑



ルール地方工業地帯

る處、葡萄園・ホブ園が相連り、又美林に掩はれてゐる。獨人はこれを讚美して「父ラインと稱してゐる。 Vater Rhein (Father Rhine) と

南獨逸は、北獨逸よりも稍高濶で、石

炭(シレル・ライン)・鐵(流シア)・岩鹽(加里鹽)・加

の産が多く、ライン地方は、葡萄・葡萄酒を出す。林政が完備して美林が

多く、従つて木材・紙を産し、ライプツヒは、出版業で名高い。

ニールンベルヒは、鉛筆で世界に知られ、又文房具の産も

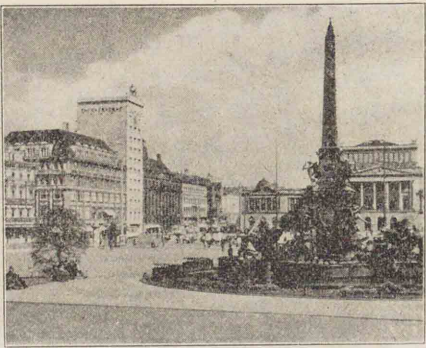
多い。原料の豊富と、科學的研究の精到との爲、新工藝が

勃興し、特にルール河域のエッセンは、製鐵・鐵器・機械、マイ

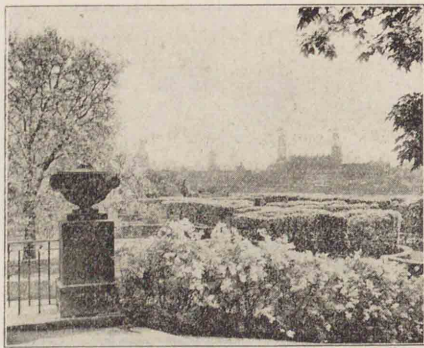
ンは、陶器・硝子、ミュンヘンは、麥酒、ドレスデンは、美術・工

で名高い。

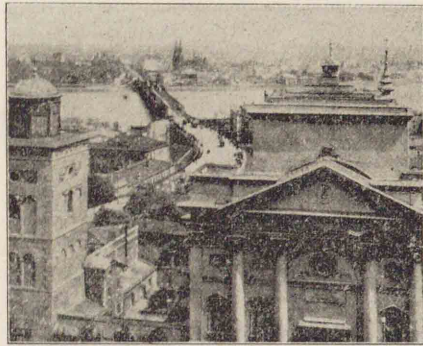
ザール炭田地方(人民投票にて一九三五年獨逸へ復歸)は、ローレンの鐵礦を製鍊する。



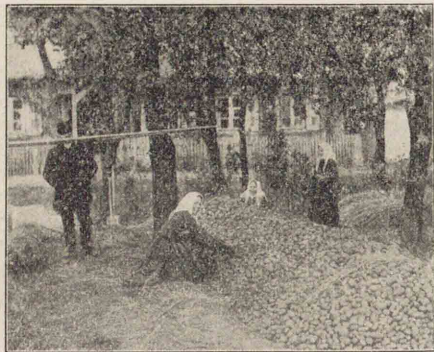
ヒチブイラ



ンデスレド

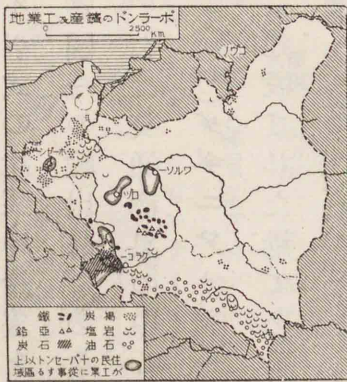


(河ラツスイウは河)ーソルワ

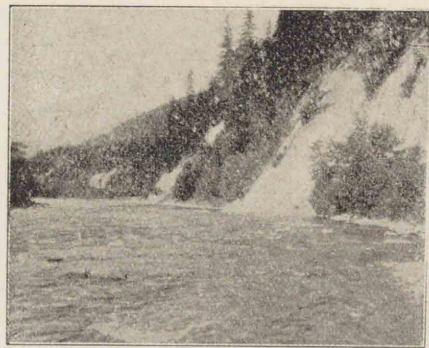
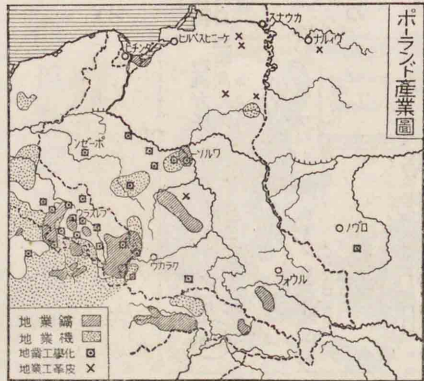


獲收の薯鈴馬

地が広い
がワルソ
低地は
ロシア式
産物(黒麥
燕麥・大麥)



り、河川は、五六ヶ月間も凍結する。
南ポーランド カルパチア山脈
に続く丘陵地は、小麥の産が多く、
レンベルヒは、其の中心である。
Lenberg(Lwow) 三二六
舊都クラカウ地方は、石炭・鐵・鉛
Kraikau(Cracow) 三三六
岩鹽を産して工業が榮え、當國人口の重心で、交通網も密である。
北ポーランド 北ドイツ平原の延長で、東半は不生産濕



觀景の脈山アチバルカ



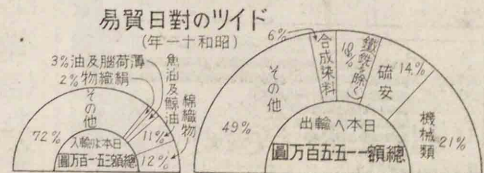
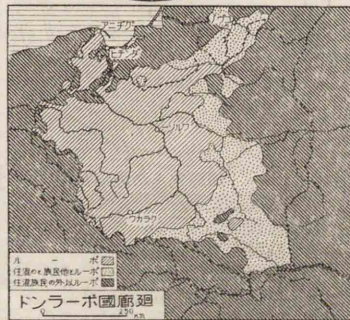
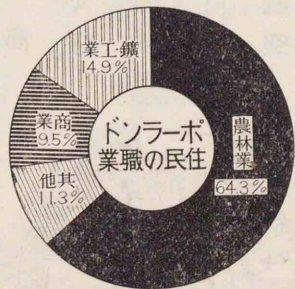
堂講新の學大ソリルマ

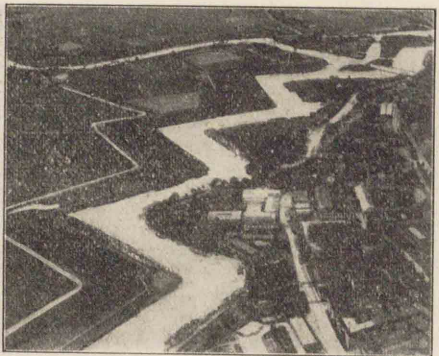
比類なく、ドイツ語は學術語として世に重んぜられ、我が國よりの留學生も多い。人口増殖が著しく、兩米への移住者が多數である。
日本との關係 日本の軍事學術などは、獨逸に負ふ處が多い。世界大戰に一旦干戈を交へ、彼の南洋群島は我が委任統治地となつたが、今は大使を交換し、極めて親善である。我が國へ、機械類・硫安・鐵・染料を輸出し、我が國から綿織物・魚油等を輸入する。

第六節

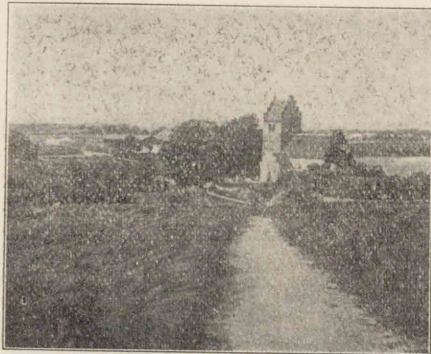
ポーランド(波) 面積 三九萬方呎 附ダンチヒ
Poland 人口 三、四萬人 Danzig

十八世紀に、前後三分割せられたが、大戰の結果再興し、舊領土の大部分を回復した。ポール人(スラヴ族)の共和國である。地形上、南北の二部に分れる。内陸に在るから大陸的氣候となる。





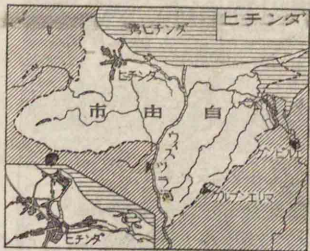
ヒチンダ



クルマンデの沼地帯

の外に、ドイツ式の甜菜・馬鈴薯を産する。一般に森林が廣く、木材は當國一の輸出品である。首府ワルソワ(ワルシャワ)は交通・商業の中心である。ワルソワ(Warsaw) 一、三、三、五。ロジは工業(紡織)グヂニアは唯一の自國出口として建設された港である。Lodz 六、三、九。Czynia 七、五。

ダンチヒ 面積一、五〇〇方軒 人口四、四〇萬人。ドイツ人が多い。ポーランドに海港を與へる爲に、附近の地と共に、國際聯盟の保護の下に建設された自由市である。Free City



第五章 北部ヨーロッパ

第一節

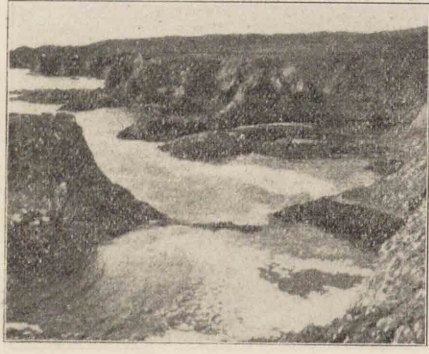
デンマーク(Denmark) 面積四、四〇萬方軒 人口三、三〇萬人 附アイスランド(Iceland) 州(水)

概説 嘗て北歐に雄飛した王國(チユートン族、新教徒)で、今もフェル諸島、グリーンランドを領し、我が近海に海底電信を有してゐる。Faroes Greenland

ユトランド半島と島々とから成り、面積は、略我が九州に Juland



コペンハーゲン



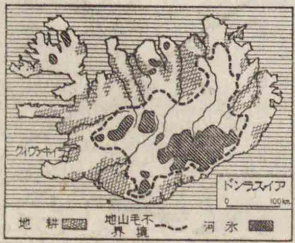
アイスランドの海岸

等しい。西より、砂丘の多い沼澤地、砂礫地、粘土地の三帯に漸移し、鐵石炭・水力はないが、集約的園藝・農法が行はれてゐる。牧畜が盛で、牛酪・家畜卵・皮革を英獨に輸出し、織物・穀物・鐵器を輸入する。Intensive Horticulture



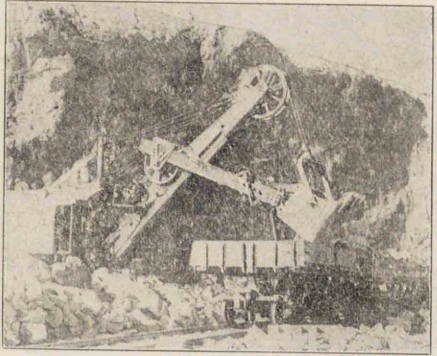
首府コペンハーゲンは、バルト海の門戸を扼する商港である。國民は、勤儉・貯蓄の美風を有し、國民教育がよく普及してゐる。Copenhagen 八、三、一

アイスランド 面積二、二〇萬方軒 人口二、二〇萬人 火山島で、名高い間歇温泉もある。獨立の君主國で、デンマルク王がその國王を兼ねてゐる。首府をレイキヤヴィクといふ。住民は、其の數が少く、牧畜・漁業に従事してゐる。Reykjavik 三、三

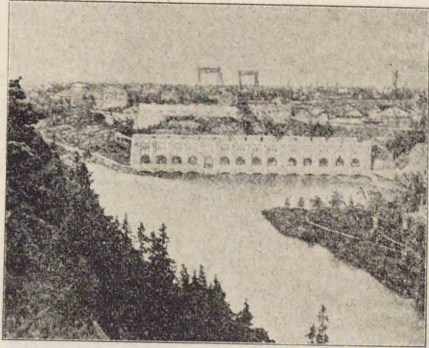


第二節

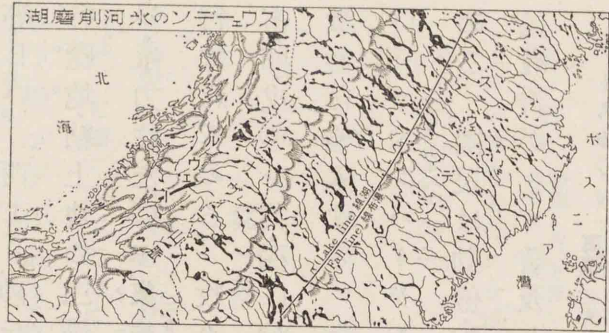
スカンディナヴィア二國 Scandinavian Two States



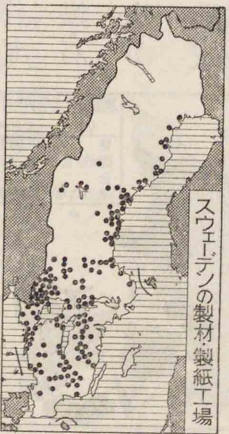
山鐵のンデーウス



業事力電のンデーウス



高臺性で、半島の西部を縦走して其の脊梁をなし、處々に氷河を懸け、原始林に掩はれ、略スウェーデン・ノルウェー二國を境してゐる。



スウェーデンの製材製紙工場



スウェーデンの製材製紙工場

概説 兩國とも、スカンジナビア人(チュートン)の建てた王國で、北部に少數のラップ人(アジ)がある。

地勢・氣候・産業

スカンジナビア山脈は

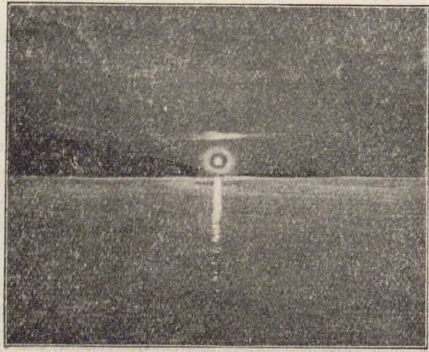
スウェーデン(瑞典)面積 45萬方呎、人口 300萬人、斜面は、山地、高原、海岸平野と漸降し、瀑布線があつて、水力の利用が旺盛である。

陸性氣候で、農産は少いが、鐵産が多く、製鐵・パルプ・マッチ・紙・纖維(綿・羊)の工業が行はれてゐる。

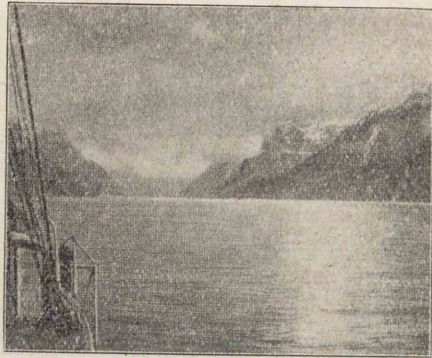
清麗なる首都ストックホルムと、工業地のゲーテボルグとは、それぞれ此の地帯に於ける大中心である。

ノルウェー(諸面積 33萬方呎、人口 260萬人)山地が多く、海岸は概ね斷崖で、峽灣が深く入り込み、多數の島嶼が散在して風光がよい。

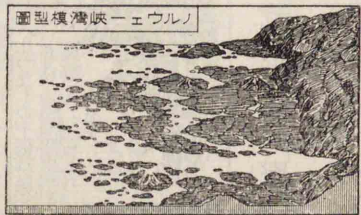
北部では、夜半の太陽、極光の壯觀が賞せられる。水力が豊富で、木材・パルプ・カーバ



陽太の半夜



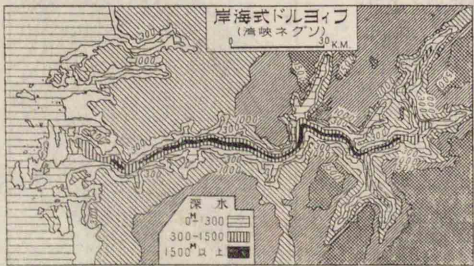
灣峽のーエウルノ



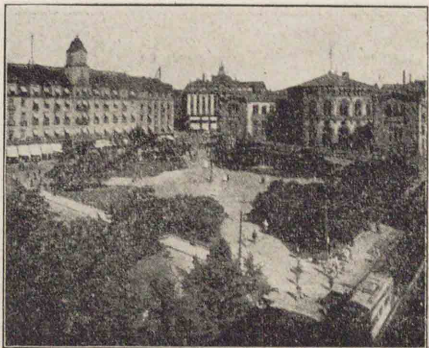
圖型模灣峽ーエウルノ



圖新岸海のーエウルノ



岸海式ドルヨイフ(灣峽ネグ)



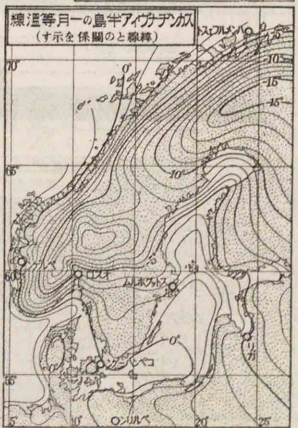
オスロ



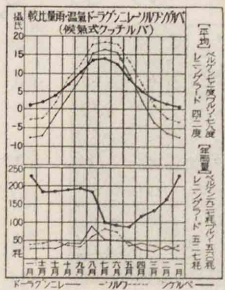
フィンランドのドナル湖地帯



ノルウェーの土地分類



一月平均気温の島半アイランド (示を係國のと線緯)



イトを産し、首府オスロ(クリスチアニア)は之を輸出する。沿岸は、灣流の爲温暖で、鯨・鯨の漁利が多く、ベルゲン・ロフォーデン諸島は、その中心である。

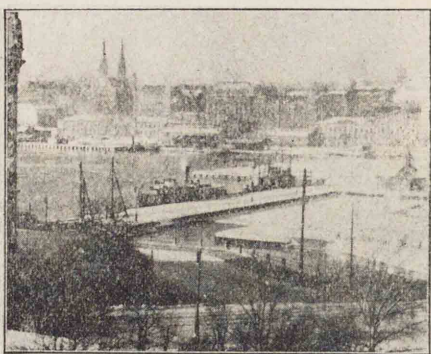
文化生活日本との關係 國民は、ノルマンの子孫で、性格重厚、體格雄偉、運動が盛で、夙に海上に活躍し、船員・探検者が多く、ノルウェー式捕鯨は、世界の模範である。スウェーデンのマッチは、東洋に於て我が國産マッチと競争してゐる。

第三節 フィンランド(芬蘭) 面積 三十九萬方人 人口 三、四萬方人

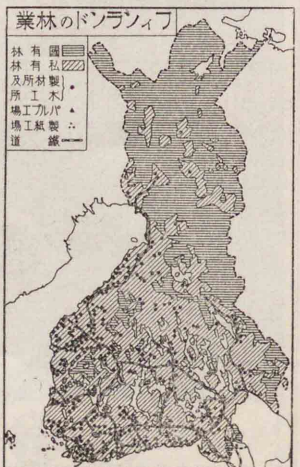
フィン族(アジア人種、新教徒)の新興獨立共和國で、北部以外は臺地をなし、無數の水河湖を湛へて、萬湖の國と稱せられ、舟運が便



エストニアの首都(アニアスリ)ノヴ



ヘルシンキ



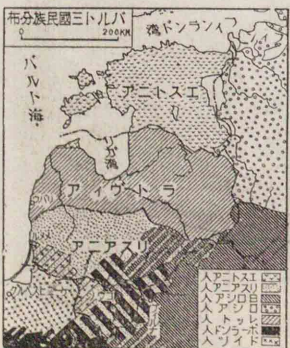
て、また水力を供給する。

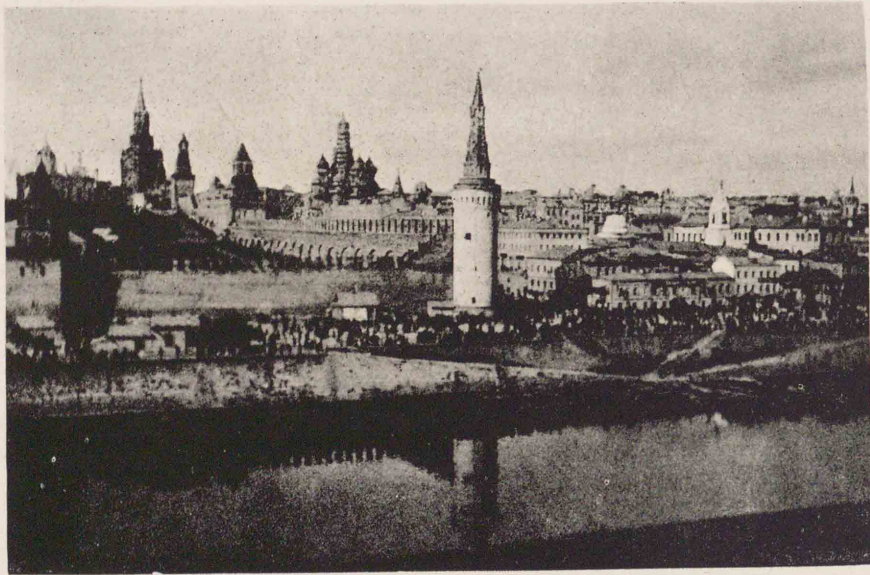
森林が廣く、海岸平野に牧畜が行はれて、酪製品・木材・バルブを出す。首府ヘルシンキ(ヘルシンギ)は、その輸出港である。

第六章 東部ヨーロッパ

第一節 バルト三国

バルト海東岸のエストニア 面積 八萬方人 人口 三萬方人
ラトヴィア 面積 六萬方人 人口 一、五萬方人
リトアニア 面積 五、六萬方人 人口 二、四萬方人

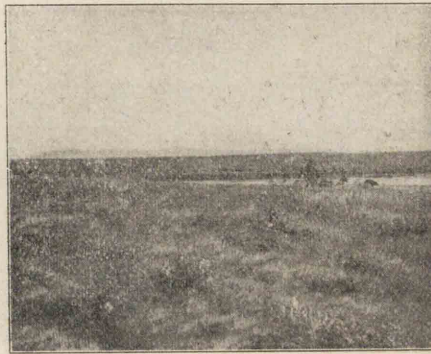




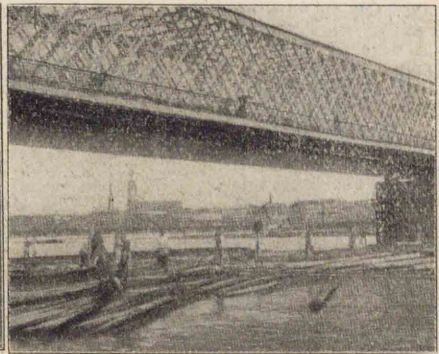
宏の建階二に處其 るあでソリムレクは心都のーコスモ臟心のアシロ 殿宮ソリムレク
スリポロクアのアシロ るわてせた時を頂圓の色金の米〇六さ高が殿宮ソリムレクな壯
るす徴象を化文アシロれさ輯集く盡は品術藝な重貴れはいと



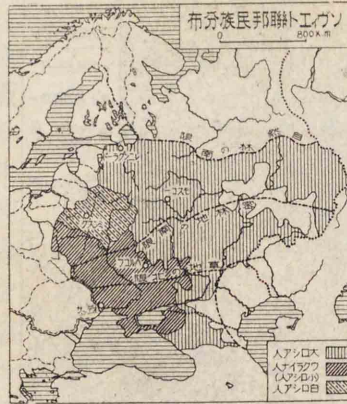
が物建な壯宏大雄爲るす有を地空な潤廣處る至内市で大龍が積面は市 ドーラゲンニレ
ーキスツネ示に圖し併 るあで寧閑寂靜はてしと會都大は景光の頭街すら拘もにい多
車電驅疾の車馬式亞西露 米五三幅道軒五長全の衢街で巷繁な閑熱たえ聞に音が道は街
るあで繁頻が來往の



ラ ド ソ ツ



ガ リ



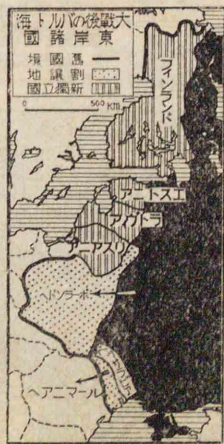
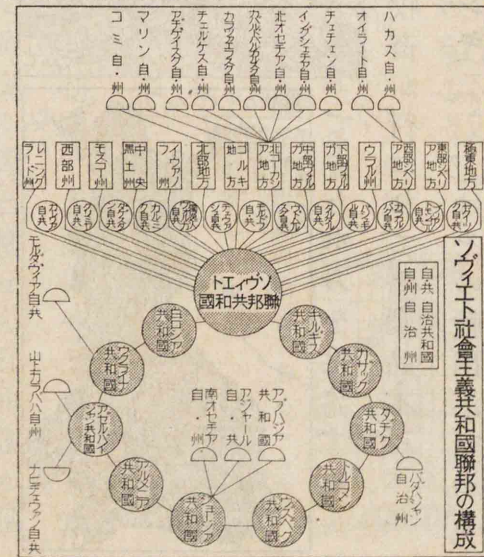
蒙古人を追うて獨立帝國となり、北方の雄として、世界六分の一の地積を領したが大

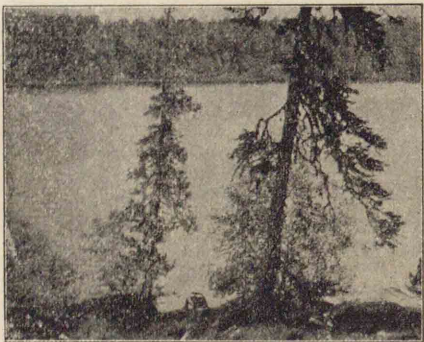
第二節

ソヴィエト聯邦

Union of Socialist Soviet Republics (U. S. S. R.)
面積 六〇〇萬方軒 (ヨーロッパの部のみ)
人口 二六〇〇萬人

の新興三共和國である。土地が平坦で、農業が主業である。リガは、木材の輸出港で、又製粉・紡織の工業地である。





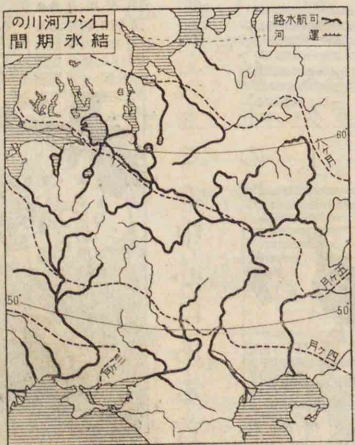
沼湖と林森の露北



結凍の川河



東部の森林分布
北・部 不生産地の凍土帯は、ラップ族
に裏海岸は沙漠となつてゐる。
帯・森林帯である。南は草野帯で、殊
く、且晝夜長短の差が甚しくて、凍土
期が長



戦を機会として、多年の極端なる専制政治への反抗から、一九一七年に革命が起り、今は十一箇の社會主義共和國を以て聯邦を組織し、共產主義を採用して私有財産を禁じ、大商工業は、凡て國營となつてゐる。
地勢・氣候・産業 大部は、廣大な平野で、諸河の分水點たるヴァルダイ丘も、僅かに三百餘米で、唯一の山脈ウラルも、ヨーロッパ側は、極めて緩傾斜である。氣候は、大陸性で雨量が少い。北部は、河川の凍結期が長



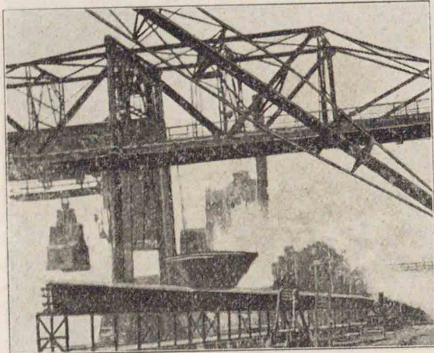
佛蘭西北部海岸 英國と地體構造上連絡があり白聖層で構成されてゐる 英國をアルピオン(白土地の義)とも稱するのはこの爲である 英佛海峡兩側の海岸線は共にこの白聖層が海蝕によつて壯年のに開析され處々に洞窟があり 崖下に僅かの燧石の礫濱がある 圖はセーヌ河口附近



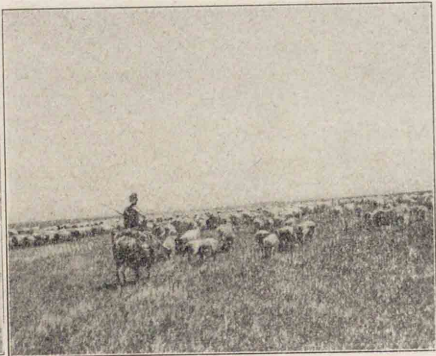
キエフ ドニエプル河に臨むウクライナの首都・ロシア最古の一都市で黒土帯の中心をなし商業も盛である 圖は商業中心のクレシチヤチツク大街で街衢廣く宏壯な大建築は悉く此の街に蒐つてゐる



オリヴ 普通橄欖の文字を當てるが熱帯地方に廣く産する橄欖科の橄欖とは異つてゐる オリヴは木犀科の樹木で南歐を原産地とし地中海岸やカリフォルニアに産し正に地中海式氣候の代表的植物である 果實は鹽漬にして食べ又オリヴ油を採る



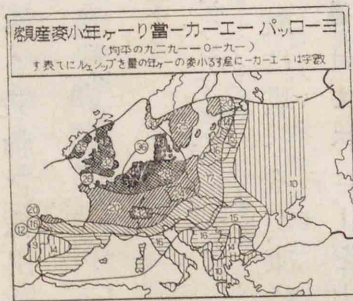
(フゾフ)所鐵製大最の邦聯ソ



プッテス

東部ヨーロッパ(ソヴェエト聯邦)

夏季の定期市は最も有名である。最南部の草野帯は雨量が少なくて牧羊牧馬が行はれる。
ロストフ附近は、石炭、鐵が夾在して製鐵が起つた。當國



国名	生産額 (千石)	世界総生産額 (%)
ソ連	238	16%
イタリヤ	12	12%
フランス	9	9%
スウェーデン	6	6%
オーストリア	5	5%
ポーランド	4	4%
日本	0.3	0.3%

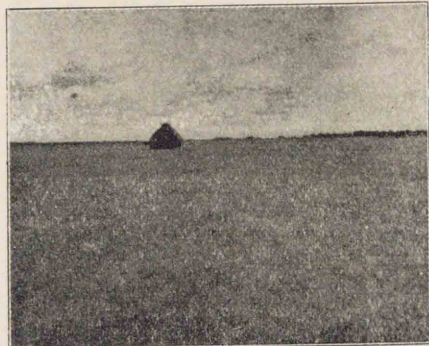
小麥・亞麻・馬鈴薯
燕麦の産が多くて、ヨーロッパの穀倉である。ウクライナの首府たるキエフは、其の地方の中心である。ゴルキ(Nijni Novgorod)は、水陸交通の要點に位して、

国名	生産額 (千石)	世界総生産額 (%)
ソ連	180	18.0%
イタリヤ	82	8.2%
フランス	74	7.4%
オーストリア	69	6.9%
ドイツ	67	6.7%
ポーランド	44	4.4%
日本	4	0.4%

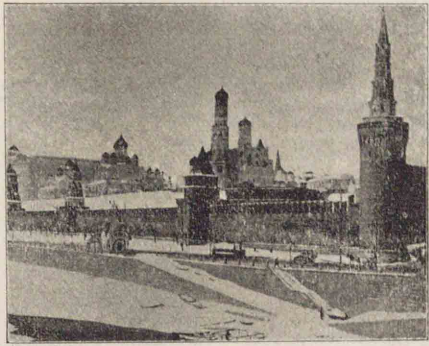
国名	生産額 (千石)	世界総生産額 (%)
ソ連	25	2.5%
イタリヤ	13	1.3%
フランス	8	0.8%
ドイツ	6	0.6%
オーストリア	6	0.6%
ポーランド	4	0.4%
日本	1.2	0.12%

国名	生産額 (千石)	世界総生産額 (%)
ソ連	49	4.9%
イタリヤ	21	2.1%
フランス	14	1.4%
ドイツ	13	1.3%
オーストリア	11	1.1%
ポーランド	6	0.6%
日本	3	0.3%
アメリカ	0.5	0.05%

国名	生産額 (千石)	世界総生産額 (%)
ソ連	45.8	45.8%
イタリヤ	17.2	17.2%
フランス	14.6	14.6%
ドイツ	3.4	3.4%
オーストリア	0.9	0.9%



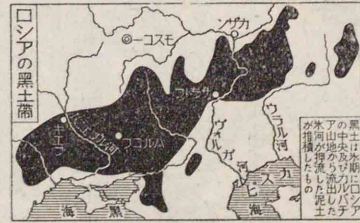
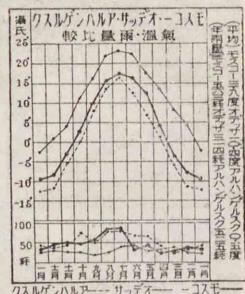
(近附フォルハ)觀景の帶土黒

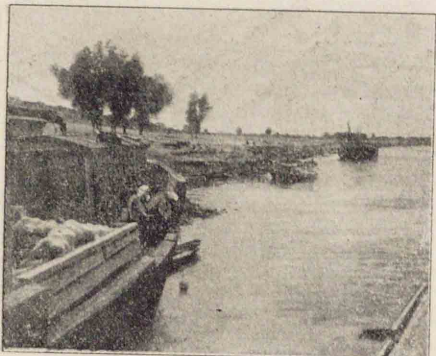


モスクワ

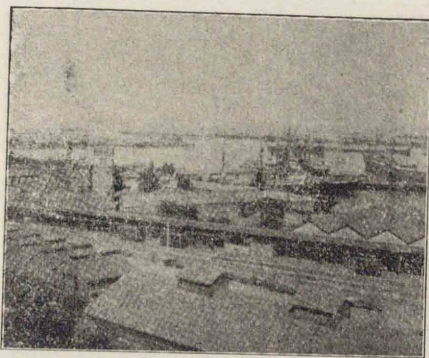
東部ヨーロッパ(ソヴェエト聯邦)

が、馴鹿を放牧してゐるに過ぎない。森林帯は、松、樅、白樺の密林で、之を建築材、汽車工場の燃料とする。西部南部には、今や農耕地が開かれた。この中心にある首府モスコ(モスクワ)は、炭田を控へて、綿毛の機業製革、農具製造等が盛である。スターリン運河一端の舊帝都レニングラド(舊名ペテログラド)は、その門戸で貿易が榮え、前面の外港クロンスタットは、軍港を兼ねてゐる。南部の黒土帯は、土地が豊沃で、黒麥、大





ヴォルガ河の畔の風景



文盲階級の露人



ソ連邦の婦人

第二の貿易港たるオデッサは、多く穀物を輸出する。

ヴォルガ河(歐洲の最長流)の下流地方は、沙漠性草原で低窪地をなしてゐる。カスピ海は、鮭、鱒及び海洋性の鱒魚を産する。

交通・貿易 地形が平坦で、ネヴァ・ヴォルガ・ドニエプル・チューナ等の諸河は、運河を以て連り、舟航に堪へるが、凍結期が長く、屈曲の多い不利がある。鐵道は、モスコウを中心として放射狀に走り、總延長八萬軒に達してゐるが、その密度は、西歐に比して著しく劣る。貿易は、レニングラード・オデッサが二大中心で、大量の農産物を輸出し、熱帯産物(茶)及び工業品を輸入する。

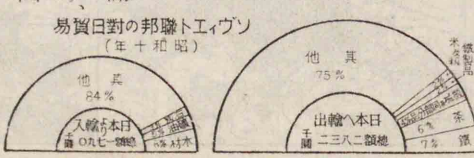
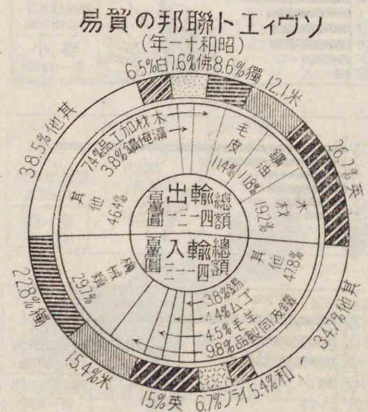
文化生活 東歐内陸に僻在して、開發が遅れ、今も教育が普及せず、文化が劣つてゐる。國民

性は、概ね質朴であるが、革命によりて家庭生活が輕んぜられ、社會道德も廢れてゐる。加ふるに、特殊の氣候と、單調な地形と、多年の壓制とを以てして、獨特の文化と思想とを生み、遂に前古無類の政治組織をなしてゐる。

日本との關係 我が國は、極東に於て、領土が近接し、且盟邦滿洲國の誕生に依つて、長大複雑な摩擦面を接することとなり、政治經濟上密接な關係があり、我が政府は大使を交換して國交の圓滑に努めてゐるが、今や日支事變が起るに及び、ソヴィエト聯邦は、愈々宿望たる東亞への進出を企圖して、支那を援助しつゝ、一方蘇滿國境の軍備を増大しつゝある。故に我が國は最大の關心を持つて萬全の備がなくてはならぬ。

第七章 總括

地勢 海岸は、各大陸中最も水平的肢節に富んでゐる。南部は山岳が多く、アルプ山脈を始め、それに續く數多の





踊舞の族ヤシリギ

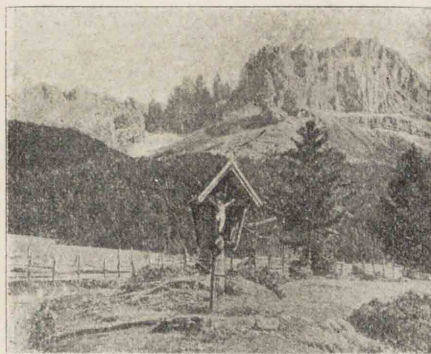
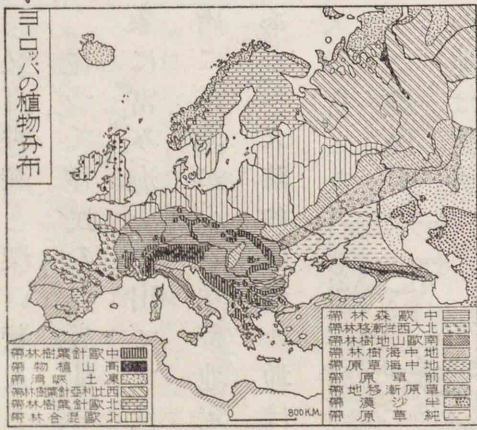


(ンデーユウス)業粉製るす用利を風西越卓

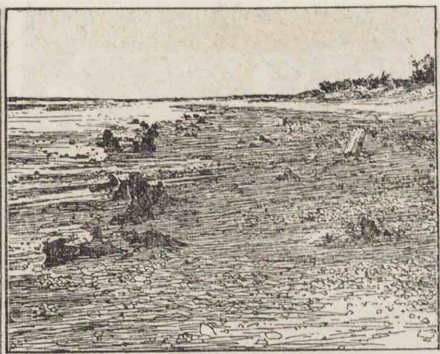
低緯度に位し、アフリカ大陸の影響を受けて地中海式氣候(夏は北東風で寡雨、冬は南西風で雨季)である。西部は、灣流と卓越西風とのため、西歐式氣候(年中西風)である。東部・北部は内陸式氣候(寒暑の較差大)で、其の北部は、寒氣が強、雨量が少いツンドラである。

住民生活 地中海式氣候の地は、快晴の天空と、靜穩な碧海と、翠綠滴る山河とを有し、美麗な草花や、美味な果實に恵まれ、快活明朗にして情熱的なるギリシヤ族(ギリシヤ教徒)及び舊教徒たるラテン族の住地となつてゐる。

西歐式氣候の地は、霧が深く、氷河地形の瘠地が互り、氣候の刺戟が多く、鑛産に富んでゐる。この地を征服し利用するには、



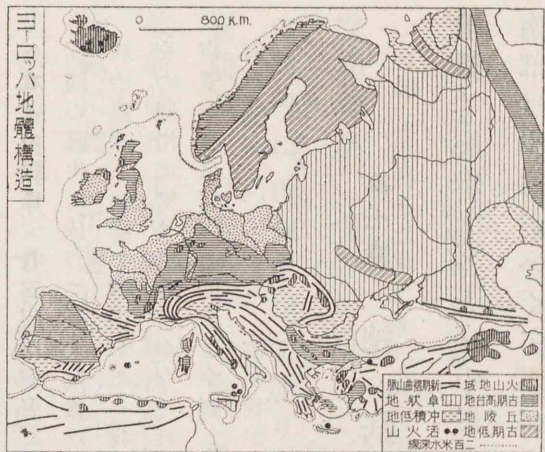
脈山いしら新のパローヨ



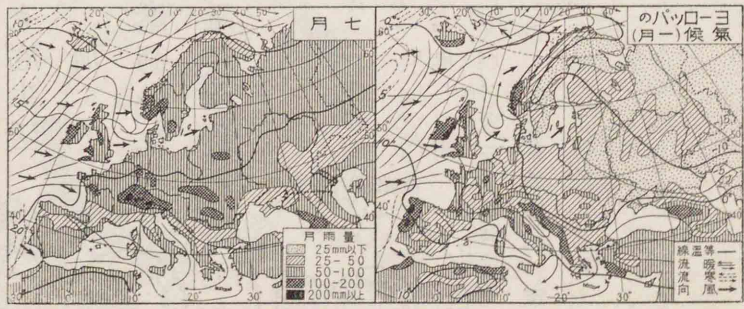
降沈の面方海北

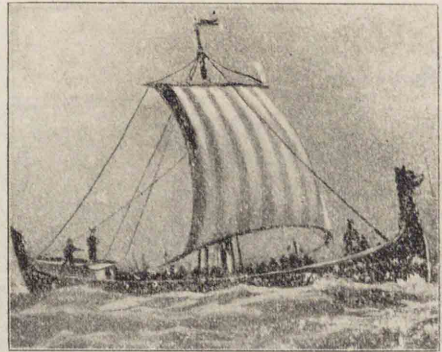
は、廣い大平原がある。東半には、大河が多くてヴァルダイ丘に發源する。西半の諸河は、南部のアルプ山地から出るものが多い。

氣候 アルプ以南は、他の地帯よりも



支脈がある。又イベリア半島・スカンヂナヴィア半島にも山脈があるが、其の他の土地は、一般に平坦で、殊に北部及び東部に





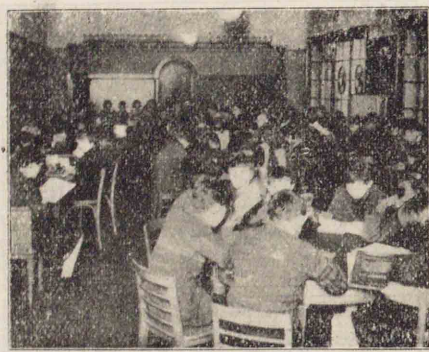
上海に飛躍する人トローチ



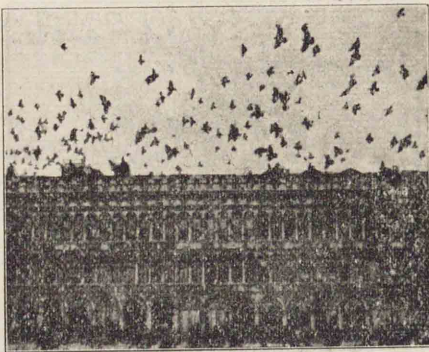
ブラッ人の生活

努力と智能と體力とを要する。又良港灣と深い灣入と、魚族の集まる陸棚とを有する。従つて住民の新教徒チ、トロン族は、剛健・重厚・進取の氣象に富み、海上に出てて世界に飛躍するに至つた。但し皮膚に色素が少く、熱帯地定住の不可能なのは、一大缺點である。大陸的氣候の地は、一望千里の平原で、夏が暑い爲、大穀倉となり、體格が雄大で鈍重執拗なスラヴ農民が住んでゐる。北部のツンドラの地は、經濟的價值が少く、ラップ族(黄色種)が遊牧するのみである。

交通貿易 水平的肢節に富み、良港が多く、垂直的肢節が少い爲、四周の海から、河水路を辿り、内陸深く貿易路が求められ、主要河川は、多く國際河川となつてゐる。その上、



ワイドの児童圖書館(ベルリン)



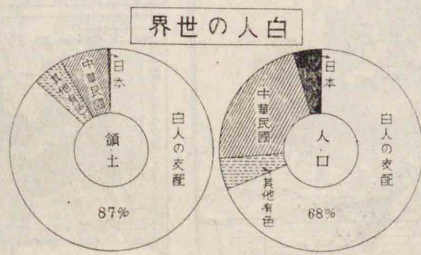
タイーの大圖書館(スウェーデン)

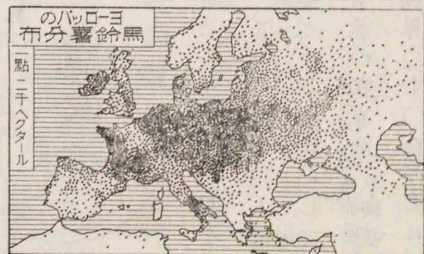
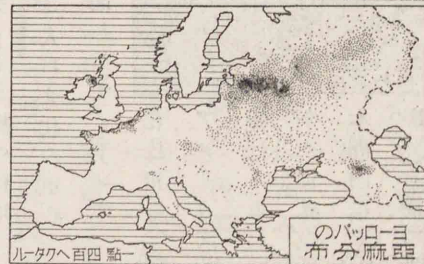
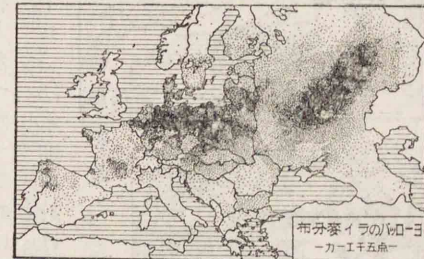
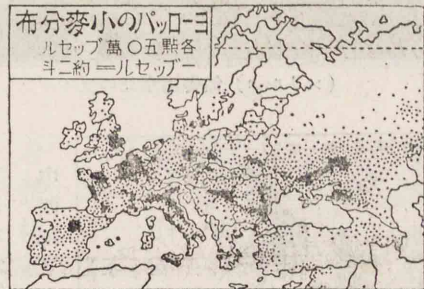
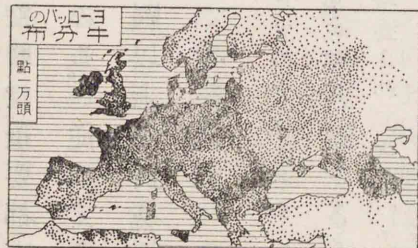
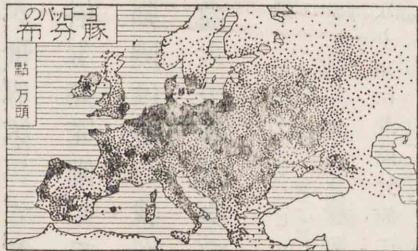
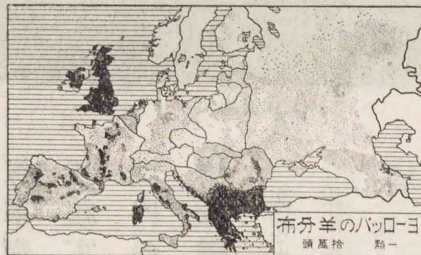
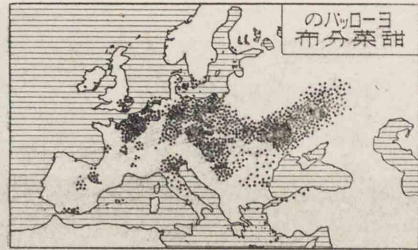
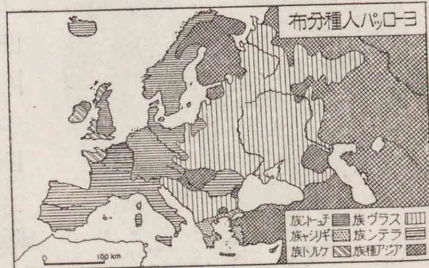
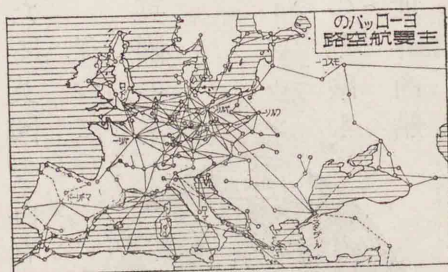
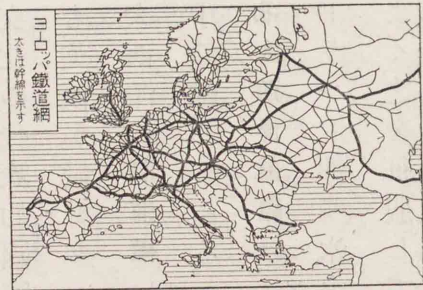
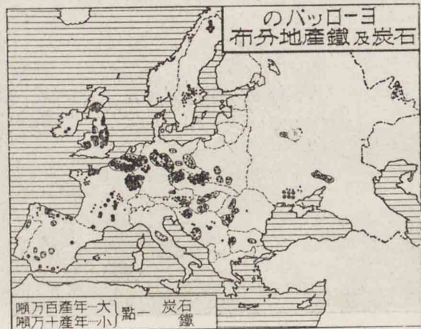
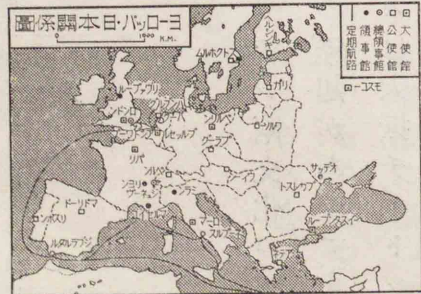
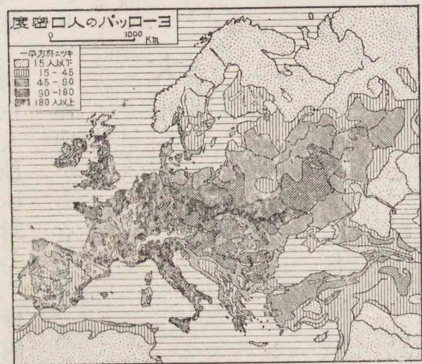


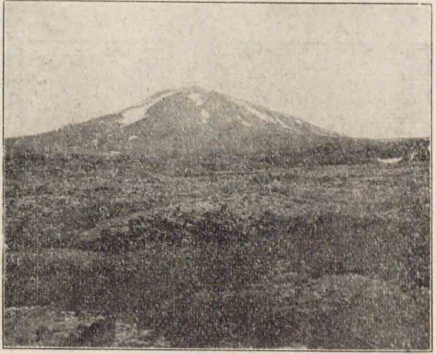
白人の分布

鐵道網が世界第一で、航空路は重要都市を連ね、海底電報、無線電報も亦完備してゐる。従つて商業貿易が活潑で、洲内の強國は、概ね我が國以上の貿易額を有し、世界の經濟金融の大中心となつてゐる。

文化生活 エジプト、バビロニアの文化は、ギリシヤ族に依つて渾一され、之が羅馬に傳はつてラテン文化となり、更に北歐民族に培養されて、現今のチユートン文化となつた。さればチユートン族の住地中、西部ヨーロッパは、本洲に於ける人口文化の重心である。而してチユートン文化は、更に







大西中の一火山 (米州へのラ山)



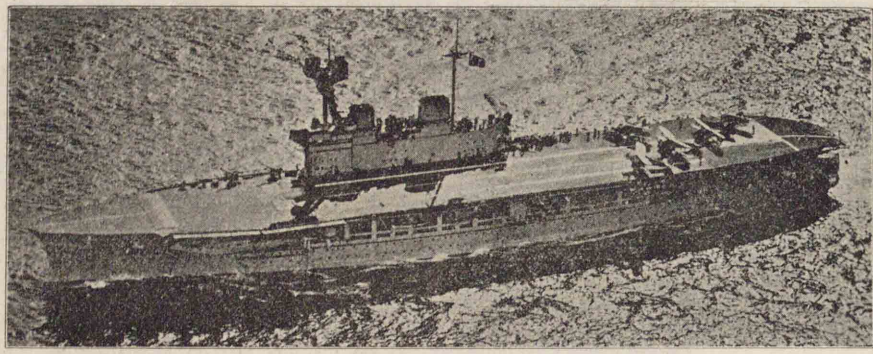
ニュージーランド近海の水山

九〇%の土地を支配し、有色人種に對して優越感が頗る強く、動もすれば有色人種を忌み排斥する傾向がある。

第八章 大西洋 Atlantic Ocean

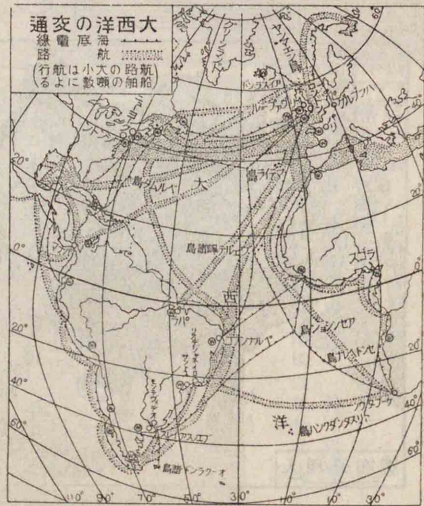
大西洋は、世界第二の海洋で、チユートン・ラテン兩文化の大陸に圍まれてゐる。中央に、S字狀の隆起があつて、火山を伴ひ、火山島が多い。これ等の島々は、大抵チユートン文化の代表的國家たる英國の占有で、又四圍の四大陸にも、英領が最も多い。従つて大西洋の制海權は、英國の掌中に歸してゐる。

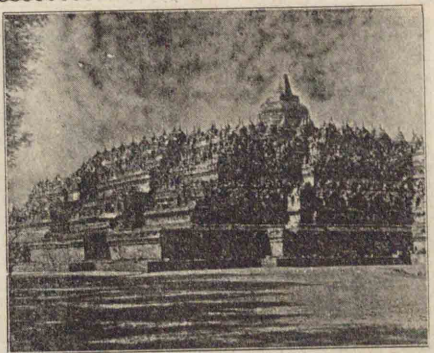
北大西洋航路は、ニューファウン
ドランド沖の氷山の危険も、
よく之を征服して、世界商船



イギリスの航空母艦ルーグ號

の過半を就航せしめ、世界の最大最優の船舶を浮べてゐる。中央大西洋航路も、パナマ運河の開通によつて、重要な度を加へ、今や世界は、大西洋文明の眞只中にある。海底電信、無線電信の如きも、頗る完備してゐる。更に航空機に至つては、この渺茫たる海洋をも、一舉にして翺破するに至つた。斯くてラテン・チユートンの兩文明は、今や大西洋を通じて、世界の動向を決定してゐるの感がある。





(院寺大の島アヴァジ) 跡遺大の教佛

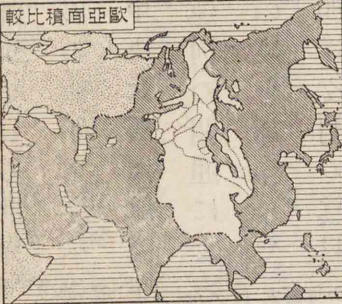


ヤラマヒ脈山大最のアジア (よせ意注に商隊の馬)

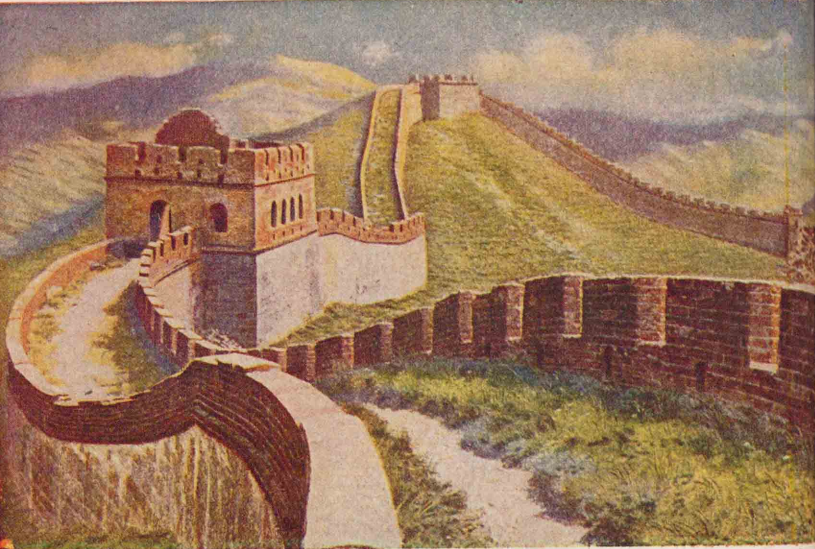
第六編 アジア (亞細) 洲 面積 四八二萬方呎 人口 二四三萬 附 印度洋太平洋 Indian Ocean Pacific Ocean

第一章 序説

世界三分の一の面積と、世界半數の人口とを占めてゐる。主に蒙古族・支那族(教徒以上佛)・土耳其族(教徒)などの黄色人種の本據であるが、スラヴ族(リギ教徒)・印度アリア族(ヒンズ教徒)・イラン族(回教)・セム族(回教)及びその他のヨーロッパ人種が、



黄土の穴居(山西省) 中央の階段のある送り風化を示して如何にも原始的な廢墟を思はせる。黄土は地質時代に中央アジア方面から運ばれた風成土で層理なく陸上動物の化石をふくんでゐる。北支那一帯を蔽ひ産業・居住等に特異な景觀を與へてゐる。



萬里の長城 秦の始皇帝が北狄の侵入に備へる爲に造つた東西古今を通じての大障壁である。山海關から肅州の邊まで約二四五〇軒の間山河に妨げられることなく高さ一米に及び二重三重の所もある。



錢塘江の海嘯 錢塘江は三角河口をなし潮流によつて起る壯大な海嘯で名高い。特に陰曆八月十五日の大潮には壯觀を極め江岸には見物に人山を築く。



落部の人スーゲンツ



(包) 屋家動移の人古蒙

シベリア、南部・西部等に分布し、
 馬來族(回教)は、南東部に住んで
 る。嘗ては世界最古の文明
 や、世界の大宗教を起し、又歐洲
 を戦慄せしめた強國をも起し
 た。併し今は、東亞に巍然たる
 我が大日本帝國及び盟邦滿洲
 國の外は、數個の弱小獨立國があるのみで、概ね歐米の勢
 力下にある。斯くてアジアの覺醒奮起を求め、聲が、本
 洲の各地に起るに至つた。

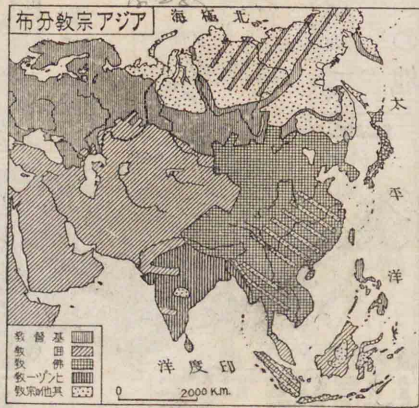
第二章 北部アジア シベリア (西比)

Siberia

面積 三、五〇萬方
人口 一、〇〇萬 人

概説 少數の蒙古ツングース、サモエード族等が、原始生活を営む曠野であ
 つたが、ロシアは、三百年前から此の地方の侵略を始め、更に清國の邊境を

Mongolians Tunguses Samoyeds



現代支那の象徴 傳統と尙古に生きた支那も中華民
 國の生誕國民革命の成功と共に漸く目覺め各方面に
 改革の實を擧げ一面には極端な新人を見るようにな
 つた。圖は廣西省に於ける女學生の軍事教練でしか
 も抗日を目標としたもので、傍に公共戒煙治療所が
 ある。



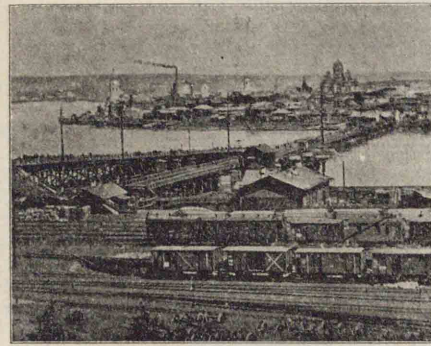
天壇祈年殿 大理石の廻欄に碧瑠璃瓦のドーム 華
 麗な色彩・精巧な彫刻は北京建築藝術の代表である
 祈年祭は年の初めに天子自ら億兆の幸福と五穀の豊
 穰とを祈るもので帝政の頃には年々行はれた

上海 世界の凡ゆる人種と其の利益と慾望との渦巻
 く國際都市上海はよい地理的位置を占め世界的大港
 である。圖は黃浦江岸の殷盛な様で左方の時計塔は
 税關 右方は世界大戰平和記念塔である

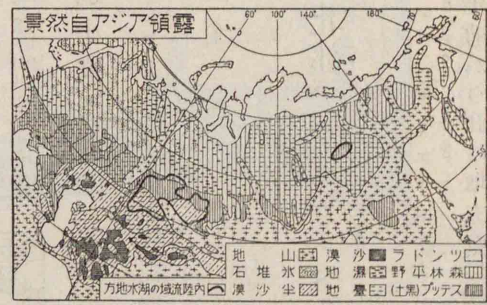
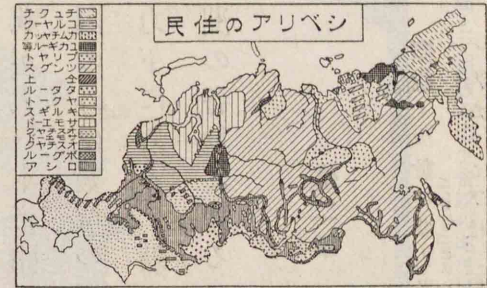




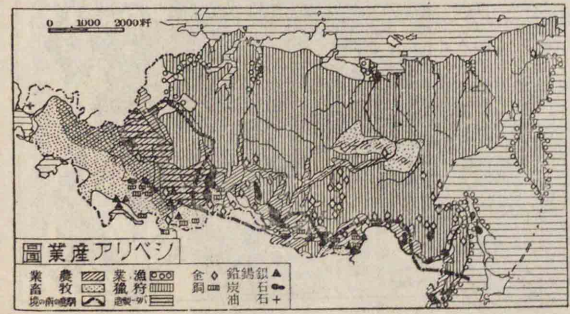
(帶土凍) 觀景のアリベシ部北



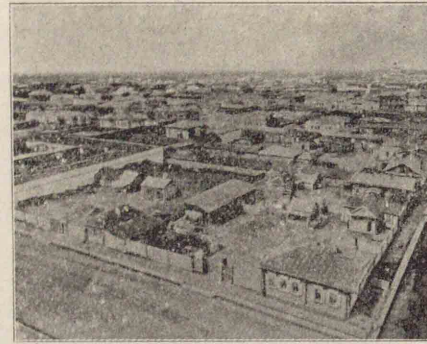
クツクルイ



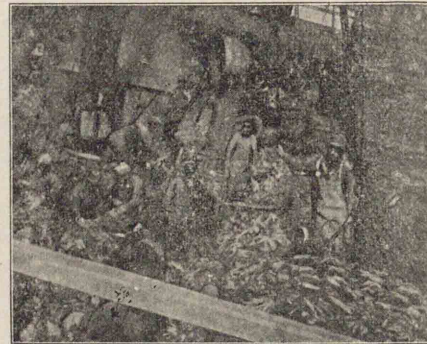
上及び景觀上より高地帯草野帯森林帯及び凍土帯の四帯に分けることが出来る。
高地帯 Sayan Yabknoi Stanovoi
イ等の地壘や、バイカル湖がある。金
(ボ・ゼ・ヤイ) 銀・鐵・石炭(ヤシ)の埋藏が豊かで、
Dudinka, Zeya Sut Han
一部は採掘され、イルクツクは、この地
Irkutsk 一五九



奪ひ遂に現在の領域となつた。今はソヴィエト聯邦本國の直轄領土で、住民は移住ロシア人が、九割を占めてゐる。
地勢氣候産業 地形

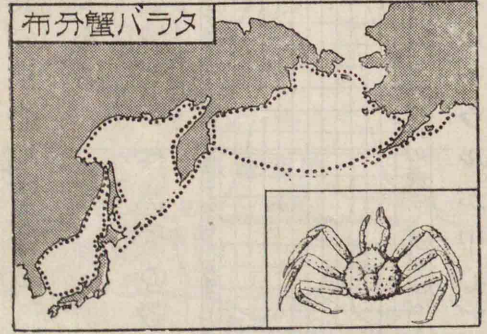
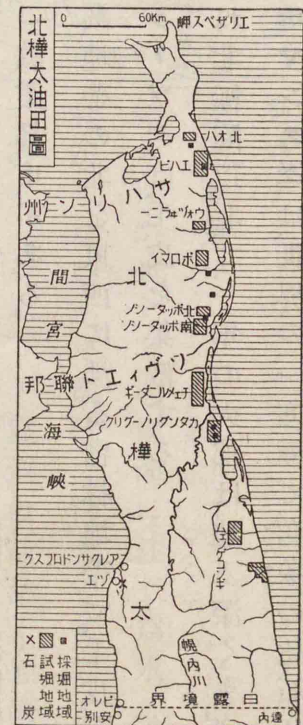
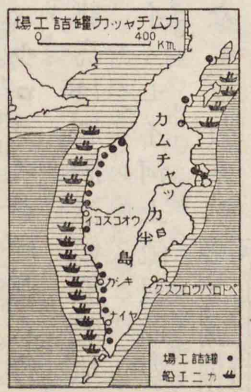


クスフロウパロトベ

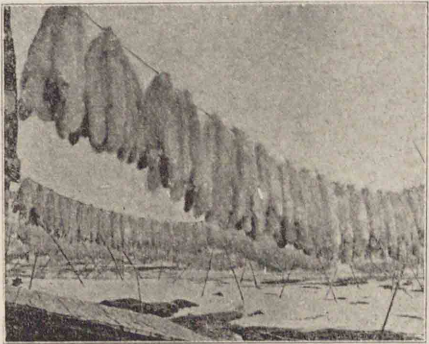


部内の船工蟹の漁出胞同が我

帯の中心である。カム
チャツカ半島 Kamchaka
樺太島は、日本に續く新
褶曲帯で、前者には火山が多い。北樺太のオハ油田・
炭田は、我が國の經營にかゝる。太平洋
森林は、よく茂つてゐる。太平洋
方面の河海は、魚族に富み、我が國
が漁業權を有するので出漁(鱈・鱈・鮭)
蟹)する同胞が多く
ニコライ Nikolayevsk
エフスク



るすに詰籠を雄で蟹バラタは圖切

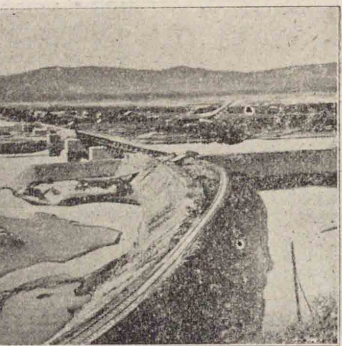
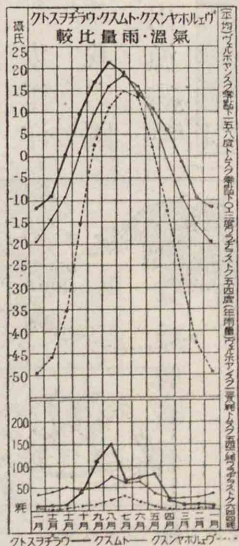


乾燥皮毛のクツークヤ

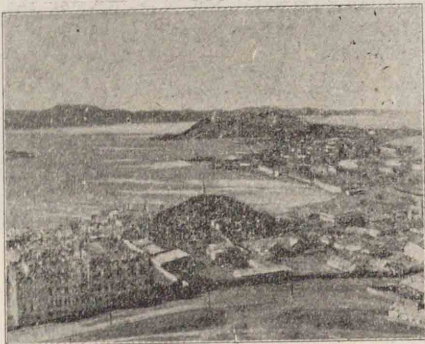


童兒のクスマヤホルエウ

港(尼)ペトロパウロフスクは邦人發展の根據地である。コ
 Mandul 諸島は、臘豚獸の繁殖地である。
 Commander
 草野帯 イニセイ河上流以西の地域で、シベリアの穀倉
 Sengpe Yanisei
 (麥類・玉蜀黍・馬鈴薯)をなし、又牧畜が盛んで牛酪を産する。オ
 ムスク・ノウシビルスク
 Omsk 111.4 Novosibirsk 23.8
 トムスクはその中心で
 Tomsk 11.8
 ある。東の山麓は、金石炭を産し、バルナウルが中心であ
 る。西のウラル山地は、金、白金等を埋藏し、ペルムスウエル
 Barnaul 10.9
 Perm 14.1 Sverdlovsk
 ドロフスクの鑛業都市がある。
 (Ekaterinburg) Eo.1
 森林帯 農業地帯の北を東西に渉る密林地帯で、毛皮獸
 Forest (Taiga)
 (貂)を産し、ヤクーツクは、毛皮を集散する。
 Yakutsk 1.1
 凍土帯 概ね北極圏以北で、一年の大部は、地下深くまで
 Tundra
 凍る。ウエルホヤンスクは、世界の一寒極で、舊象の化石牙
 Verkhoyansk 0.0.5
 を産する。



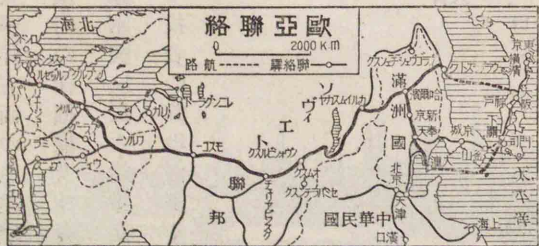
道鐵アリベシ

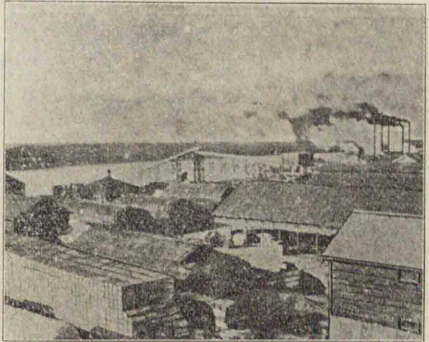


ク ト ス オ ワ チ ラ ウ



シベリア鐵道(チエリアピンスク・ウラヂウオストク間)は、北アジア横斷の世界最長鐵道で之を利用すれば、東京・ロンドン間旅程が十八日(北米經由二五日)である。軍事上の目的で、二ヶ年の日子と十七億圓の國帑とで完成(一九〇九)したが、今や經濟上の價值も多大で、沿邊を開發し、穀倉の産物を歐洲の市場に送る。ウラヂウオストクは、冬季碎氷船で出入する缺點はあるが、ロシアの重要な開港軍港である。對滿貿易地にブラゴウシチエンスク・チタ、對蒙貿易地にキヤフク(トロイコフ)がある。
 Chita 14.11
 Kiakhta (Troikowsky) 0.4





カチムチの邦人職工の場



キルギス草原の牧羊

日本との関係 我が國は、ポーツマス條約によつて、太平洋方面の漁業權を得、大正十四年の日露條約によつて北樺太の油田炭田の採掘權及び森林伐採權を得た。而して盟邦滿洲國の誕生の爲、日露兩國は、長大錯雜な摩。擦面を接する事となつた。尙林産鑛産が無盡藏で投資の餘地が多く、我等日本國民の最大關心を持つべき地である。

第三章 西部アジア

第一節

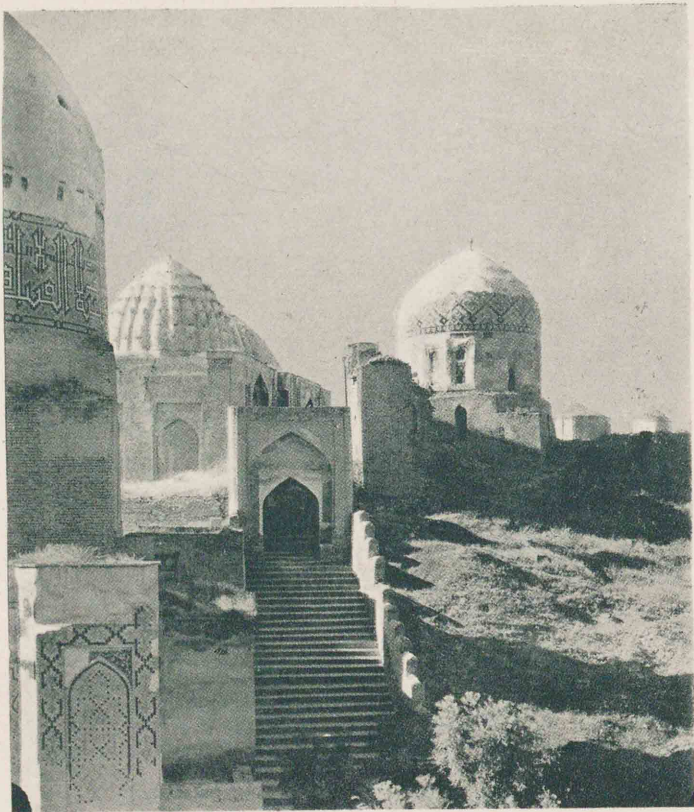
中央アジア
面積 400萬方軒
人口 1000萬人
Central Asia

中央アジアの三共和國	名	首府
トルコメン共和國 Turkmen	アシハバド Ashkhabad	五・二
ウズベク共和國 Uzbek	タシケント Tashkent	四九一
タジク共和國 Tajik	スタリナバード Stalinabad	六〇〇

明治の初年に、ロシアが占領した地域で、大部は、今やソヴェト聯邦本國に屬し、南部に、三共和國がある。内陸にある爲に、雨量が極めて少い。

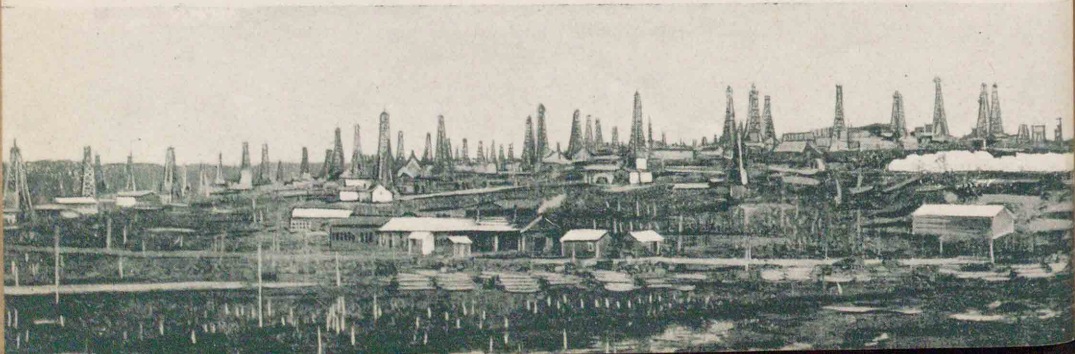
キルギス草原では、キルギス族が遊牧し、ツラン低地のア
Kirghiz Turan Amu

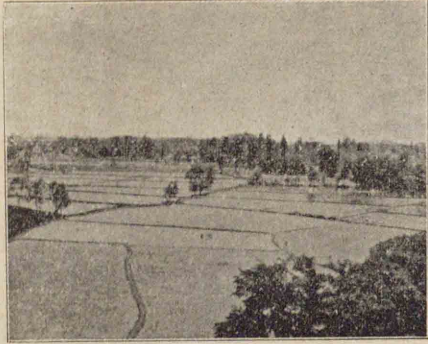
土威炭坑 北樺太亞港の南にある炭坑部落である。元谷間の一寒村であつたが、邦人の經營に移つて以來、一哩に亘る市街となつた。因に土威炭坑の礦域は四百萬坪だといはれる。



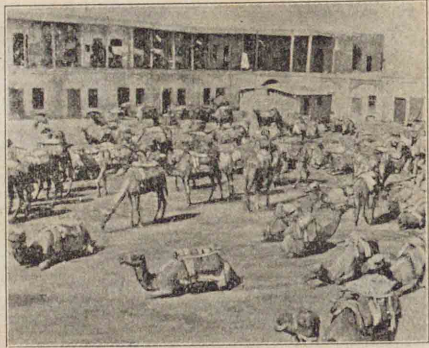
(中) サマルカンド チムールの舊都で今尙其の遺蹟が多く、隊商が往來し商業が盛で絹織物の製作・取引が盛である。又回教の靈地で圖は宏大な回教寺院である。

(下) オハの油田 北樺太の北端に近く樺太油田の中心である。大正十四年日露條約によつて採掘權を獲得したもので日露兩國の樁が隣接してゐる。



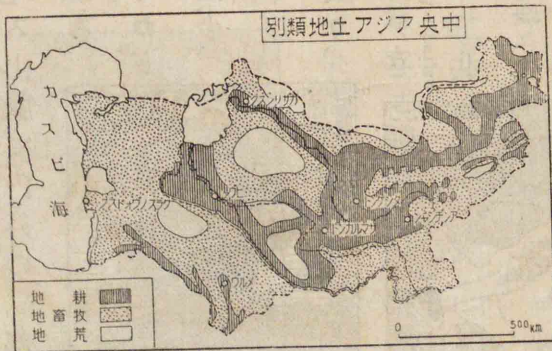
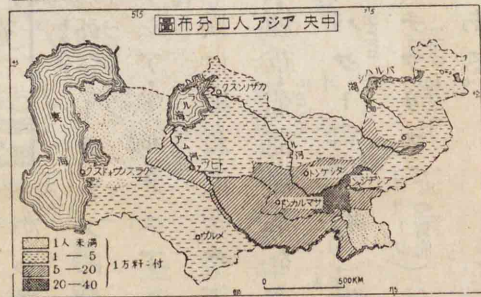
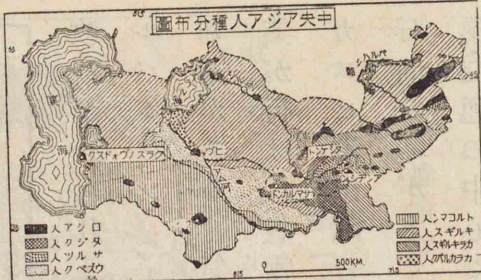


(地泉) 園田の近附ドンカルマサ



場宿商隊のドーバハスア

る。外カスピ 鐵道(クラスノウオドス) 中
 Trans-Caspian (タシケント・サマルカンド) 諸都市
 央アジア鐵道(オレンブルグ) が諸都市
 を結び、又露本國と連絡してゐる。
 タシケント・サマルカンドは、綿織
 物農産物を集散し、隊商取引が盛
 である。



ム・シル 兩河畔及び山
 麓の灌漑の便がある
 ところでは、トルコ族
 が穀物・棉・繭果實を作



ベリリング海 ここは西紀一七四一年二月
 一九日露國の提督ベリリングが探検の犠牲と
 なつて倒れた海で彼の最後の地コマンデル諸
 島は我が海豹島及びアラスカ近海のプリピロ
 フと共に風脚の大繁殖地として知られる
 この海は一年の大半は氷結し航海の出来る期
 間は六月下旬から十月迄で圖は炸裂した結氷
 が波に押し上げられて小山の如くなり海面に
 漂ふ間を縫つて進んでゐる汽船の様である



キルギス人の家屋 キルギス人は遊牧民族で水草を
 逐うて家畜と共に移動する 従つて家屋も移動式に
 出来てゐる



バクー油田従業員の宿舎 バクー油田は世界第二位
 の石油國蘇聯邦の最も大切な油田である 圖は其の
 従業員の大なる寄宿舎である

第二節

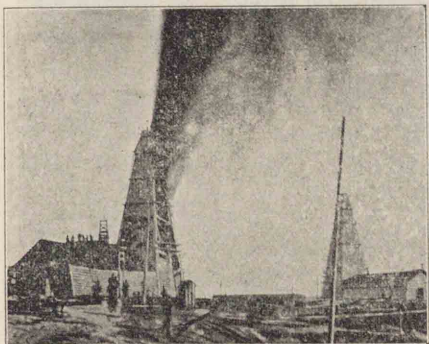
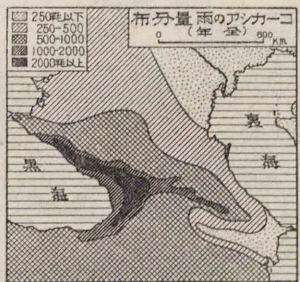
コーカシア(高加) 面積 四七萬方人
Caucasia (Kavkas) 人口 三〇〇萬方人
裏海・黒海間の地で、中央のコーカサス山脈で、内外の二部に分れる。



脈山スサカーコ

外	内
コーカシア	コーカ
の三共	カ
和國	シ
	ア
アゼルバイジャン	バク
Azerbaijan	セー
ジョージア	チ
Georgia	フ
アルメニア	リス
Armenia	エ
	リ
	ヴァ
	ン
	イ
	ラン

シニアは、少
雨で、草原
から成り、



煙噴の田油ークバ

牧畜が行はれる。外コーカシアには、アゼルバイジャン・ジョージア・アルメニアの三共和國がある。氣候は概ね溫暖多雨で、農業が行はれ、穀物・煙草・葡萄・棉茶を産する。カスピ海に臨むバクー(アゼルバイジャンの首府)附近は、石油の産が多く、チフリリス(ジョージアの首府)は、商工業交通の中心である。



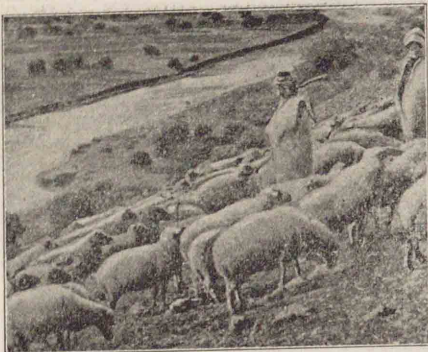
第四章 南西アジア

第一章

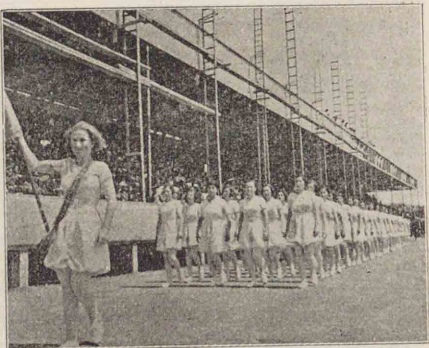
トルコ(土耳) 面積 七六萬方人(ヨーロッパの部を含む)
Turkey 人口 一三〇萬人
住民はトルコ族(回教)で、大戦後共和国となり、都をアンカラ(アン)に移し、國教を廢し、ローマ字を採用する等、變革に餘念がなす。



西岸地方は、地中海式氣候で無花果・葡萄・生絲を産し、内部のア

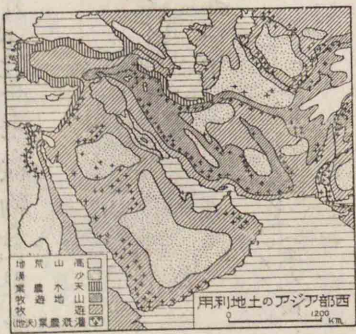


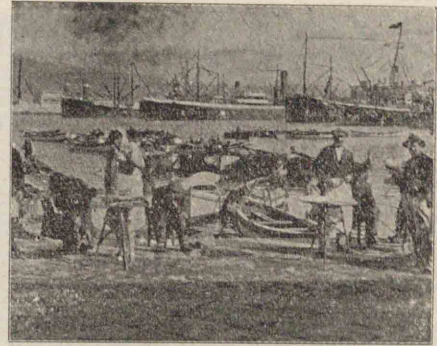
羊牧の原高アリトナア



生學女のコレトの代時新革

ナトリア高原は、牧畜(羊)が榮え、毛へ
ア織物(原料はアン)を出す。交通は、
バグダード鐵道(ドイツの敷設)を主とし、
自動車の利用が著しい。貿易は、





港ナルミス



事工路道の間ムレサレエイ・ズエス

當國一の商港スミルナ(ミズ)で行はれ、皮革・毛織物・乾果を輸出し、綿製品・金屬製品を輸入する。

第二節

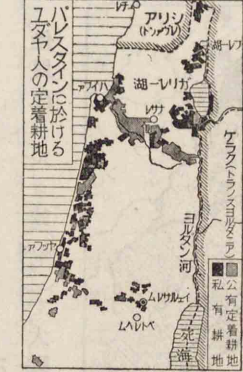
シリア・パレスタイン・トルانسヨルダニア

シリア 面積 二萬方軒 人口 三〇〇萬人 佛國の委任統治地であるが、エタールヴァン(レヴァント)と稱し獨立しようとしてゐる。

泉地中に位するダマスカス(ス・マ)には、隊商が集まる。

パレスタイン 面積 二七萬方軒 人口 一〇〇萬人 猶太人

の再興した國で、ケラク(トルニアスヨ)と共



英國の委任統治地である。首府イェルサレムには、キリストの墳墓

があり、參詣者が多い。

世界の最低窪地ヨルダン河谷の死海(鹽分二に



Jordan Dead Sea

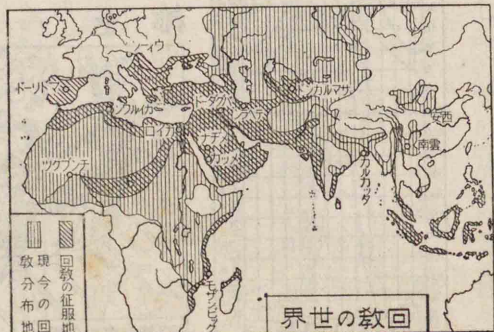
は、鹽分が多くて魚類が棲まない。

第三節

アラビア(亞刺) Arabia

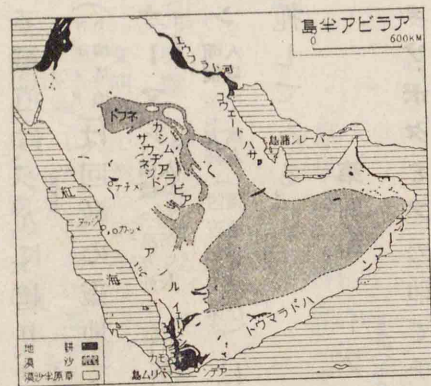
面積 二六〇萬方軒 人口 七〇〇萬人

世界最大の半島で、卓状を呈し東に傾く。乾燥酷熱で大部は沙漠である。海岸・泉地は、棗椰子・珈琲を出す。土人アラブ族は、隊商遊牧に従事する。



界世の教回

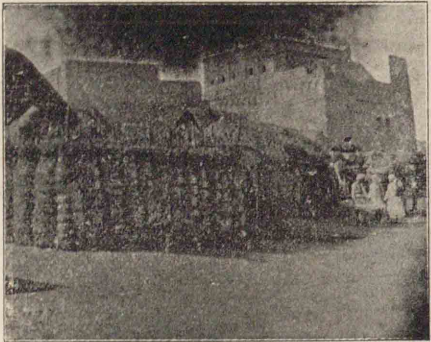
近年、純粹アラブ族のサウヂ Saudi Arabia



國が、半島の大部(元のヘジヤ王國)を統一した。ヘジヤ



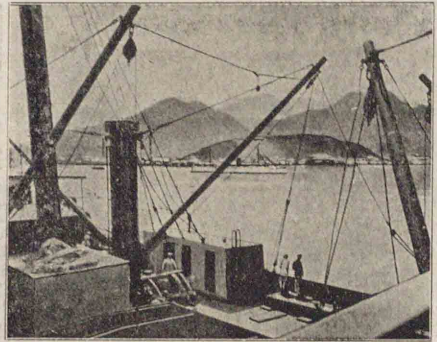
一五一



落部の人ブラア



海 死



望遠のソデア



観景の畔河ステラフウエ

ス 鐵道は、ジッダに起り、メッカ(トホメツ)に通ずる。メッカ・メヂナ(トホメツ)は、回教の靈地である。
オーマン(面積三萬方人)は、英國の保護地である。英領のアデン(面積三萬方人)は、紅海の南門を扼してゐる。

第四節

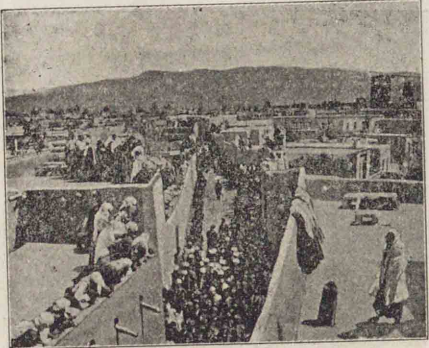
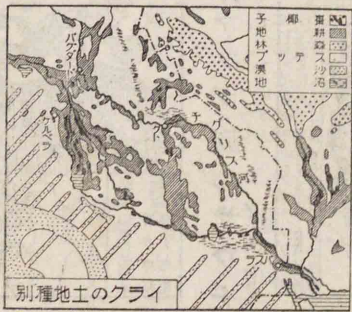
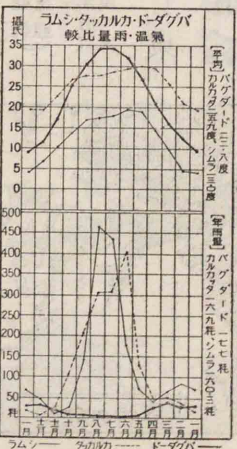
イラク(メソポ)面積三萬方人

メソポタミアの地で、チグリス・エウフラテスの二河が、バビロニア古文明を開いたが、中古以來荒廢した。穀物・棗椰

子・棉を産し、最近獨立王國(九二七年まで英委統治地)となつた。バグ

ダードは首府で、モスルは油田の中心である。

第五節 イラン地方



ンラヘテ



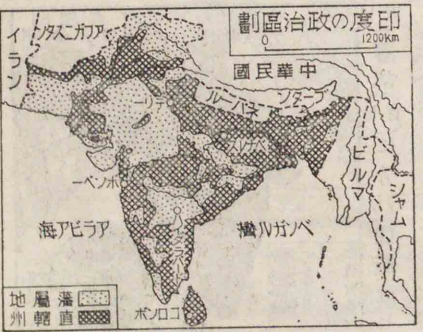
(近附ダッカルカ)院寺の風代近の度印

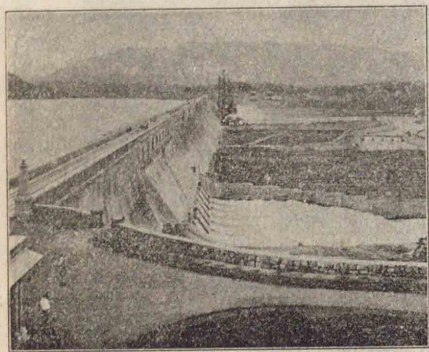
數條の山脈が、パミル高原から西行して、幅の廣い高原を作り、アラビアとの間に、ペルシア灣を挟んでゐる。酷熱・寡雨の不毛地が多く、僅かに阿片・羊毛を産する。カブールを首府とする獨立王國のアフガニスタン(阿富汗)面積六萬方人、テヘランを首府とするイラン(ペル)面積一六萬方人、の二王國は、辛うじて獨立を保ち、イランに、有望な油田がある。ペルチスタンは、印度帝國の一部と英國の保護地とから成つてゐる。

第五章 南部アジア印度

面積四〇〇萬方人

概説 本洲南部の大半島をなし、世界の最古文明地で彼の釋迦は、ブダガヤに佛敎を開始(二五〇年前)した。幾多の王朝が興廢し、十八世紀の半から英國の支配下に立つた。印度帝國



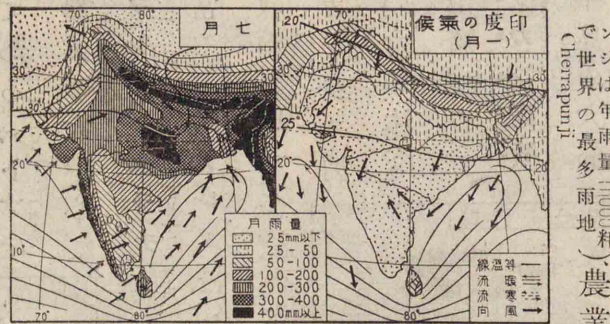


灌溉大工人の度印

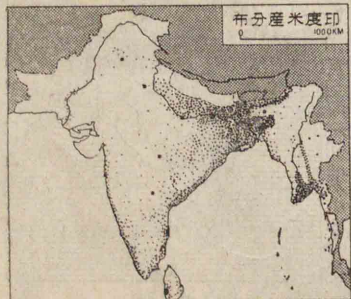


(ムサッパ)園茶の度印

は北東季節風が吹いて乾季となる。寡雨のインダス河上流は、人工灌溉が行はれ、下流は沙漠となつて、駱駝が飼はれる。

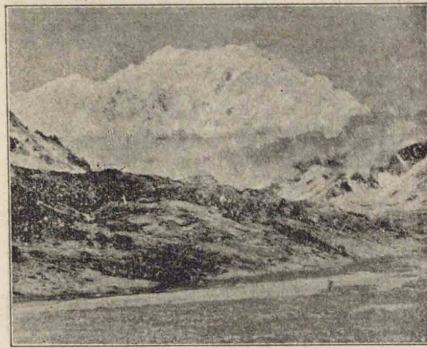
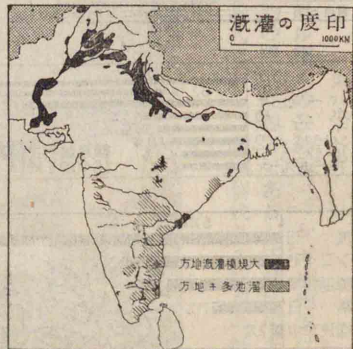


で世界は年雨量1000mm(Cherapunji)農業上極

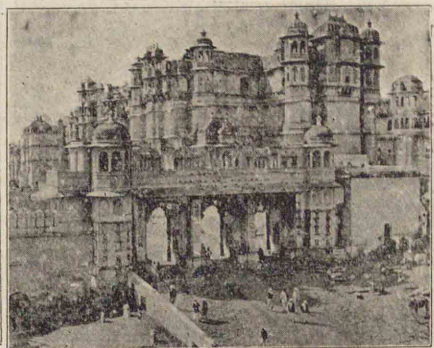


度印	52.9%
度印	16.7%
度印	6%
度印	0.8%
度印	0.7%
度印	5.200万石

遅速の雨の重要で、雨季の遅速に依り、年々の豊凶が決定される。冬



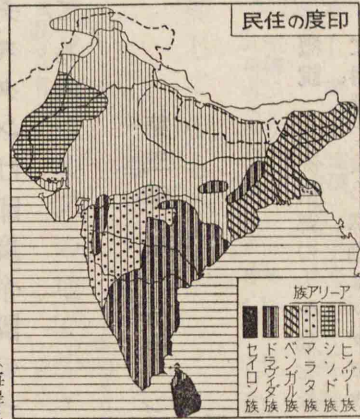
山ガングジュンチンカの脈山ヤママヒ



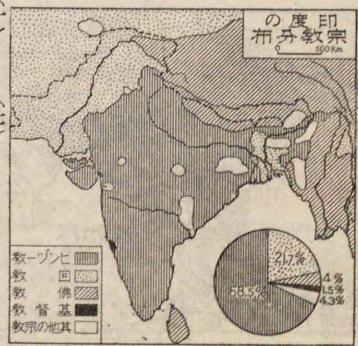
殿宮の王藩

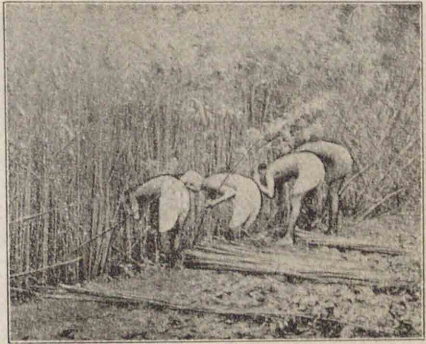
地勢・氣候・産業 サトプラ線によつて、二個の地理區に分れる。
 ヒンド・スタ・平原 カラコルム・ヒマラヤ山脈は、高く北境を限り、世界の最高峯エヴェレスト(ニハハ)を起してゐる。
 この山脈の前淵インダス・ガンジス(Ganges)兩河流に堆積されたのが、ヒンドスタ・平原で、河口は、今も大三角洲を擴張しつゝある。夏は、南西季節風が吹いて雨季となり(チア

を占め、原住民のドラヴィダ族(海岸島嶼住民)は、南部に追はれてゐる。

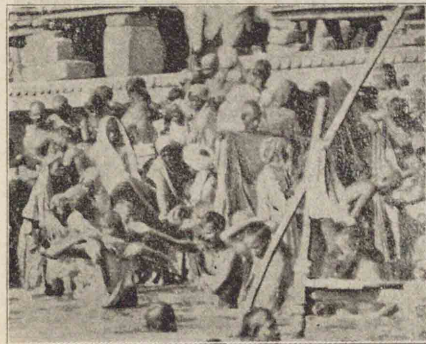


と稱し、英國王は、印度皇帝を兼ね、ムガル帝國の故都デリー(新市舊市に分れ、總督府は新)に總督を置いて統治し、近年、二院制議會が設けられた。域内は直轄州(五)藩部(七)に分れ、住民は、ヒンズー族(ヨーロッパ人種)が人口の大部分



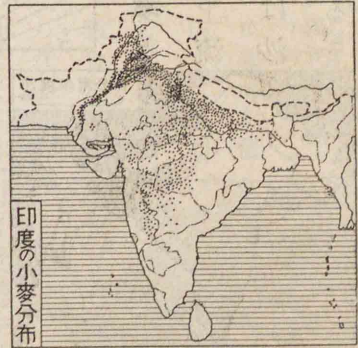


種收の麻黄

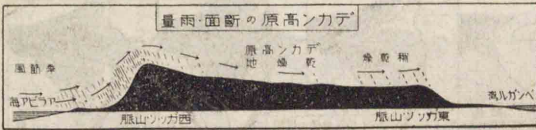


浴沐戒齋の徒教ーツンヒるけにスレナベ

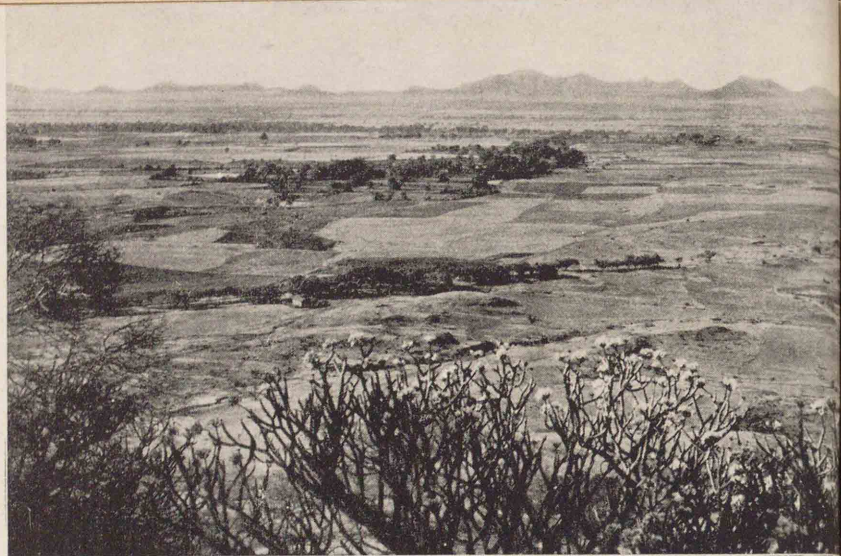
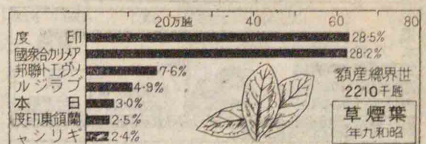
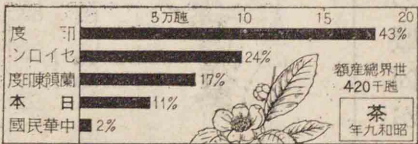
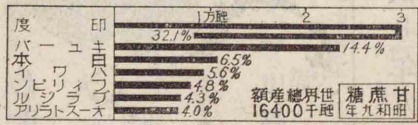
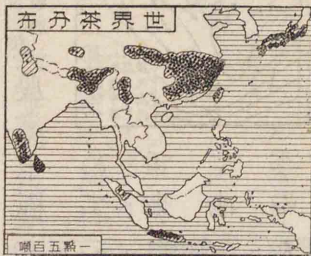
住民の大部は、この大平原で農業を営み、米・棉・小麥・煙草・茶・阿片・甘蔗・黄麻等の産が多く、殊に甘蔗糖の産は世界第一である。パトナは農業の大中心で



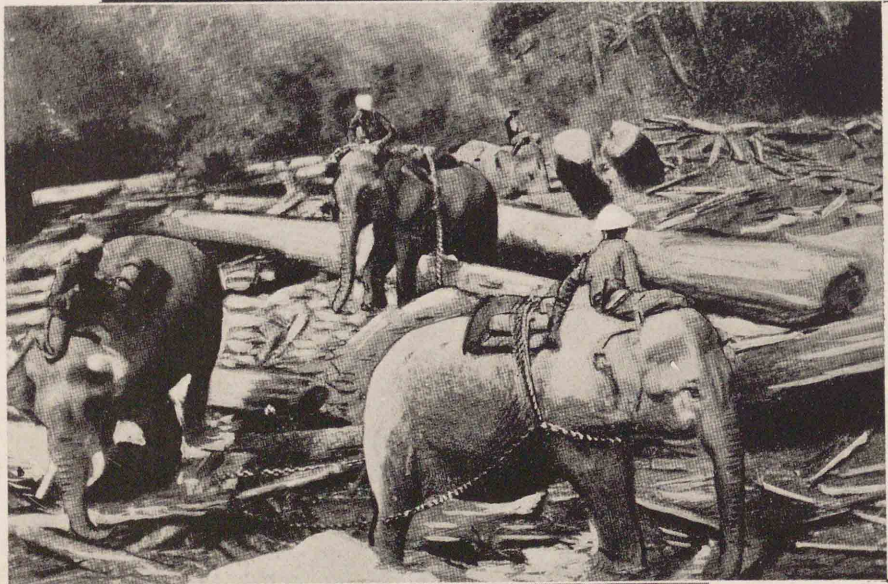
カルカッタ・カラチは大平原の兩門戸に當る。ベナレスは、ヒンヅー



Calcutta 一四八・六 Karachi 二六四
 當る。ベナレスは、ヒンヅー
 Ichnarus 二〇・五
 教の靈地で、多數の巡禮者は、
 ガンジス河
 の水で沐浴
 潔齋する。
 デカン高原
 Decan
 半島の大部



デカン高原 地質時代のゴンドワナ大陸の一断片だと信ぜられる一大高原である。白堊紀以後に数回の玄武岩噴出があり熔岩臺地として名高く表面は黒土となつて印度棉の好適地となつてゐる



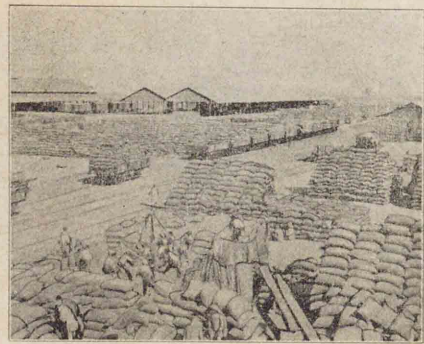
チーク材の搬出 象は山河・溪谷・密林地帯を問はず二噸三噸の大丸太を易々と運搬する。圖はシヤム北方山中の運材光景でこゝでは新文明機關もこの動物王に一步譲るといふところである



ベンガル婦人の糸紡ぎ ベンガル地方は印度で最も農産物の豊富な地方であるが工業は未だ發達せず家内工業式である。圖は舊式な糸紡ぎの様である



市ーベンボン

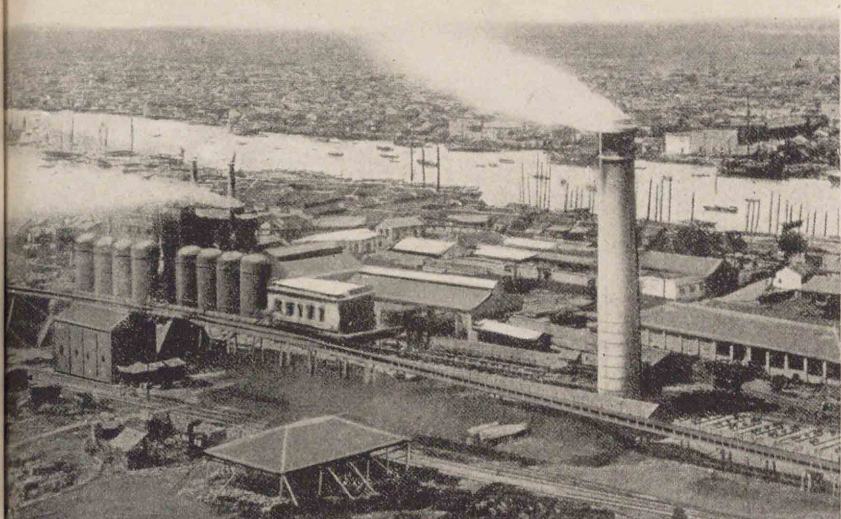
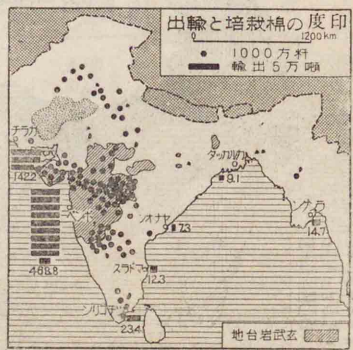
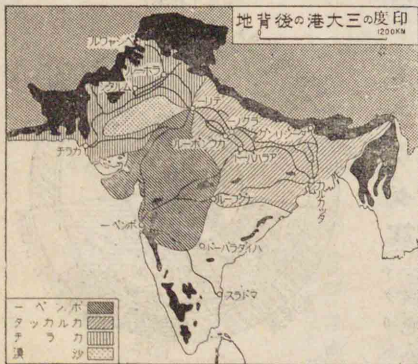
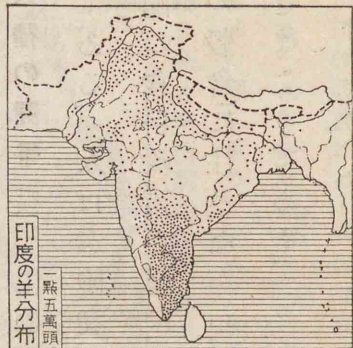


出積麥小の港チラカ

原料品の産出が多い上に三
トラ三大河は、大いに水運を助け
密で、ガンジス・インダス・ブラマプ
交通貿易 鐵道網は、本洲中最も

ボンベイ(孟買)は棉の大輸出港、マド
ラス(人エ)は東岸の商港である。
交通貿易 鐵道網は、本洲中最も
密で、ガンジス・インダス・ブラマプ

を占め、炎熱
の氣候で、夏
季には、西岸
に雨量が多
い。鐵石炭
滿俺を産し、
羊は、寡雨の東斜面に多い。北半は、黒土に掩はれた廣い
熔岩臺地で、棉の大産地である。



漢陽の製鐵所 大冶の鐵鑛・萍郷の石炭を主として
使ふので漢冶萍鐵公司といひ我が借款に負ふ所が
多い 最近休業してゐる



漢口 揚子江と粵漢鐵道の交叉點にある商工業・交
通の要地で中華民國の心臟と言はれる 江口から約
六〇〇哩 増水期には一萬五千噸級の大汽船も埠頭
に横付けになる 圖は汽船の輻輳するバンドである

シンガポール 同名島上に在り印度洋・太平洋諸航
路の要衝に當る 大軍港で英國東洋艦隊の根據地を
なし其の太平洋に於ける地位はパナマ運河に劣らな
い 圖は商港で中央の大建物は廣東ユニオン保險ビ
ルで帝國領事館は其の五階にある





街市のルーパー

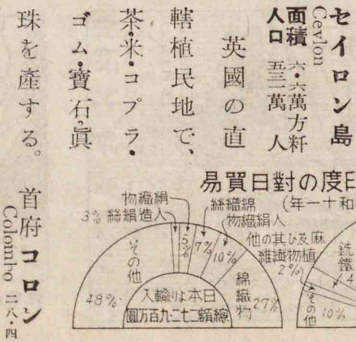
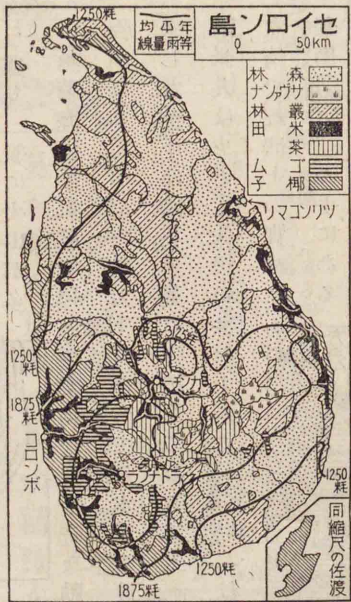


市ボンロコ

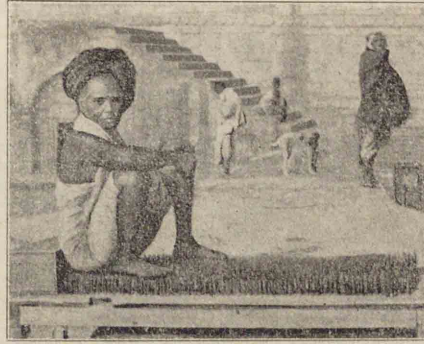
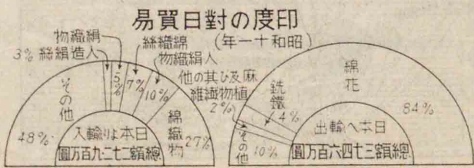
第一章 マレー(馬)諸島
Mainy Archipelago

第六章 南東アジア

ボは、西岸にある商港で交通の要衝に當つてゐる。
ネパール 面積 四萬方軒、人口 五萬方人
ブータン 面積 五萬方軒、人口 五萬方人
Bhutan 面積 五萬方軒、人口 五萬方人
兩國とも、ヒマラヤ山中に位置する小國で、イギリスの勢力下に立ち、各酋長が治めてゐる。



のみ残り、嘗てその恩恵を受けた我が帝國は、却つて佛教の本據地となつた。我が國は、原料品(棉・皮革)を此の國に仰ぎ、多くの工業品を此の國に賣る。我が汽船會社は、カルカッタ・ボンペーに航路を開き、歐洲航路船は、コロンボに寄航する。

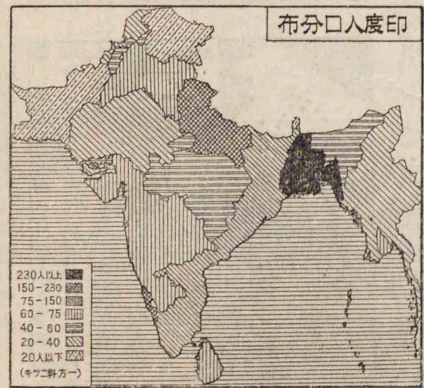


行苦の上山針の徒教佛

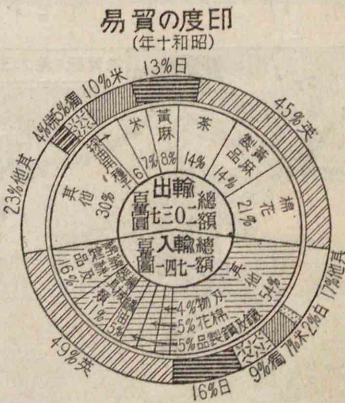


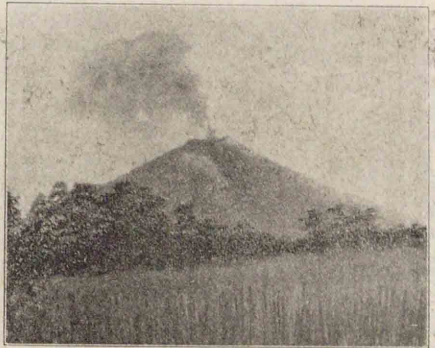
ぎ磨物紡の人婦ーツンヒ

億四千萬の住民があるから、貿易は甚だ盛で、精製品を輸入し、原料品を輸出する。
文化生活 ヒンヅ族は、住民の大部(五分)を占め、階級制度・種姓別(二千四)を嚴守し、言語(十種)・風俗習慣が雜多で、早婚の弊風がある。種姓は、暗愚で自然教を奉ずる。宗教(ヒンヅ)・人種の鬭争は、三ッ巴の大渦を卷いてゐる。人口が飽和度に達し、英國の食料政策の爲に、住民は、印度の穀倉に住みながら、飢餓線上にさまようてゐる。
日本との關係 佛教は、今やセイロン島に

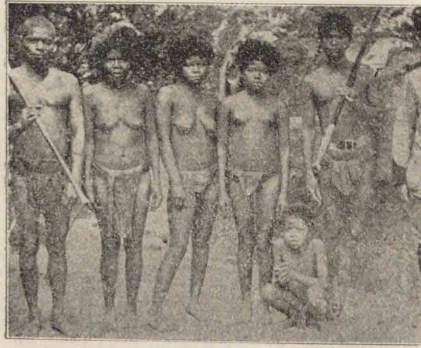


ドラヴィタ族 (ネグリティ人) Dravidians

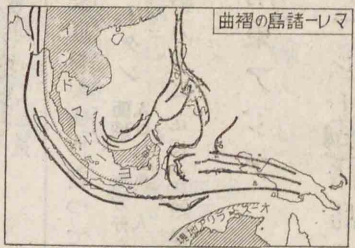




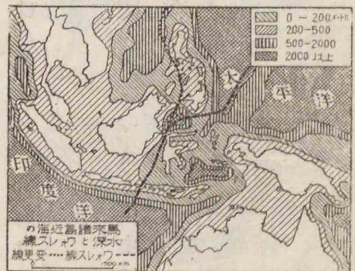
山火ノヨマの島群ンピリフ



人 - レマ



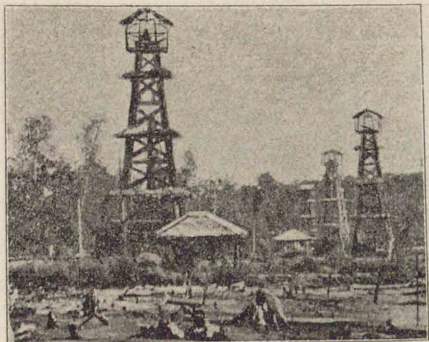
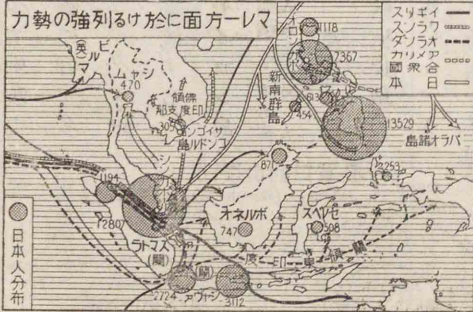
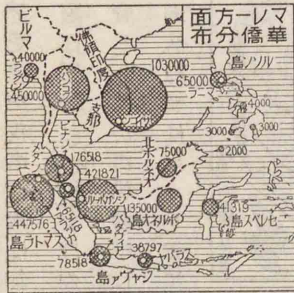
曲裾の島諸レマ



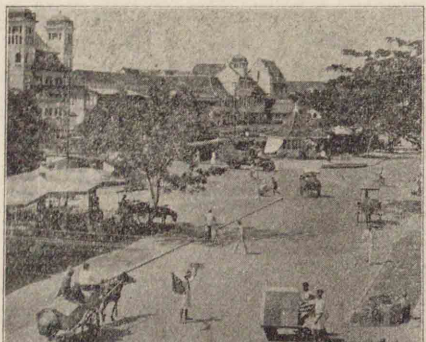
界境いし著の布分物動は線スレオウ

概説 アジアの南東部に位し赤道の南北に広がる大群島で弓形の小スندگان列島及びボルネオ島フィリピン群島等大小無数の島嶼から成り、一般に火山が多い熱帯海洋性気候で種々極楽島など珍奇な動物がある元西葡の勢力下にあつて日本人も渡來したが今は蘭英米葡に分屬してゐる風土上歐米人は少い住民のマレー人(海岸島嶼住)は怠惰で、經濟上の實權は華僑(移住支)の手にある。

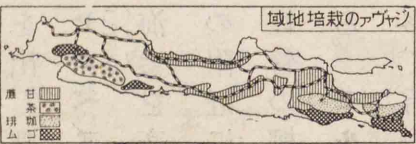
蘭領東印度 (蘭領ニユーギニアを含む)
面積 一七〇萬方呎
人口 一〇〇萬
Dutch East Indies
スマト
Samarra
ラ島は、煙草・ゴム・石



田油の島ラトマス



アイヴタバ



域地培栽のアヴヤン



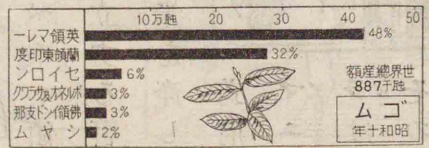
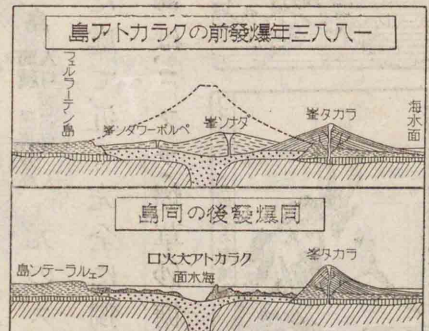
(ふ、用に理料那支)高燕



(取採米ゴサ)子椰ゴサ

油を産し、バンカ・ピリトン二島は、錫の産出が多い。クラカトア島は、火山の爆裂で名高い。

シヤヴァ(哇)島 面積 三萬方呎
人口 四〇萬
Java 人は、よく開けて砂糖・キナ・珈琲・ゴム・煙草茶の産が多い。



タヴァは、總督府の所在地で、スラバヤと共に、貿易が榮え、日本商人の活躍が目覺しい。

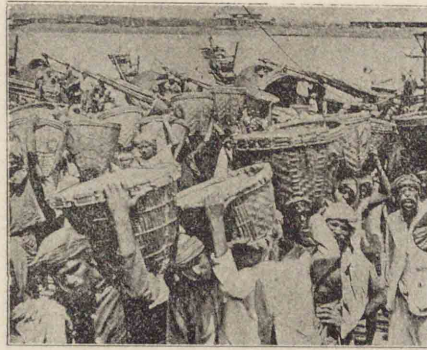
ボルネオ島(北部は英領)は、燕窩・サゴ米椰子・石油(島附近)

第二節 印度支那

Indo-China



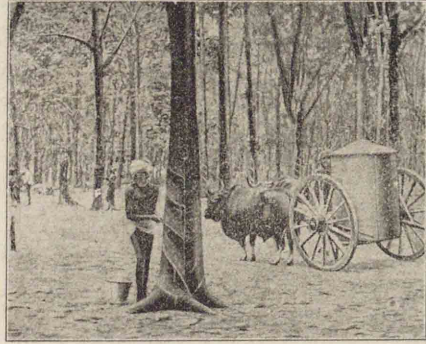
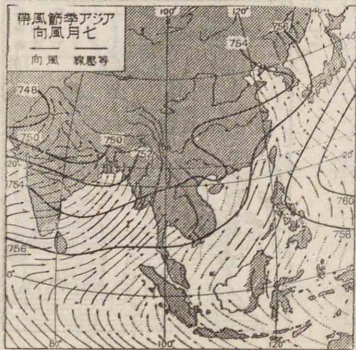
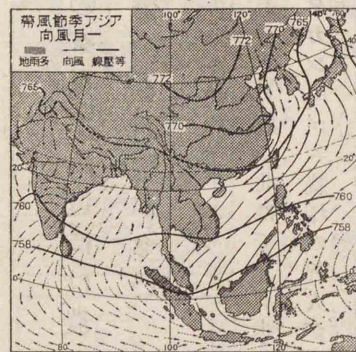
林樹クーチ



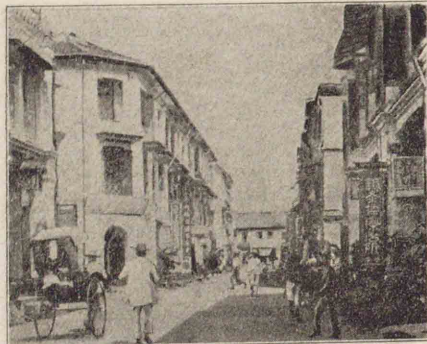
搬運木のソーグンラ

概説 ヒマラヤ山系の印度支那山脈は、扇状に分岐し、その間にイラワヂ、メナム、メコン、ソンコイの谿谷が開けてゐる。Songkoi 季節風帯に屬して、季節が乾季雨季に分れてゐる。人文は、支那と印度との中間性である。華僑が多くて、經濟上の實權を握つてゐる。印度支那は嘗ては我が國に對する米の重要な供給地帯であつた。

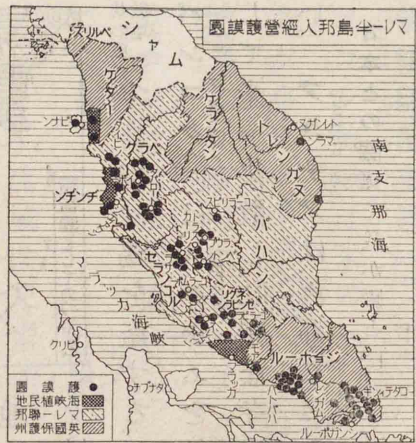
ビルマ(緬甸)面積 60萬方km² 人口 1,700萬人 英國の屬地で、米産が多く、チーク、石油、紅玉をも産する。イラワヂ河口のラングーンは首府で、マンダレーは舊都である。



收採ムゴのーレマ



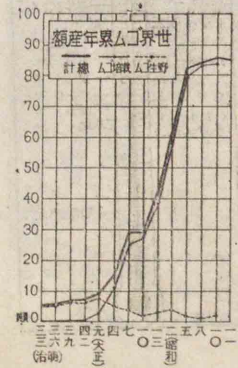
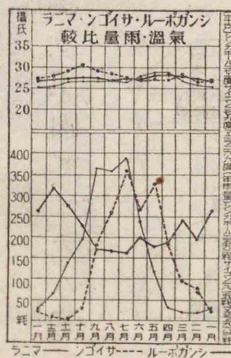
街本日のルーボガンシ



ーレマ領英	10%	20%	30%	40%
度印東領英	39%			18%
アグリボン				14%
ムヤリ				7%
アリゼジ				6%
本				1%

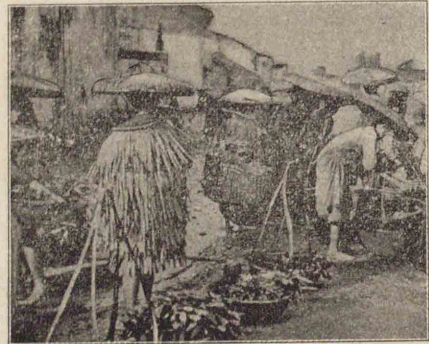
錫 1737千担
年一十和昭

英領マレー半島
面積 40萬方km² 人口 4,000萬人
海峽植民地、マレー聯邦、英領保護州の三つに分れる。鐵(我が國に來る)錫、マンガンの産が多

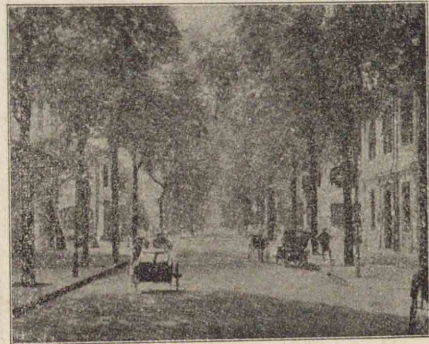


く、ゴムは、世界需要の過半を充してゐる。シンガポール(新嘉坡)は、自由港市で、東西交通の要衝に當り、中繼貿易が頗る盛で、大軍港の築造中である。

日本との關係 我が



(用者防は袋び及笠)場市のイノハ



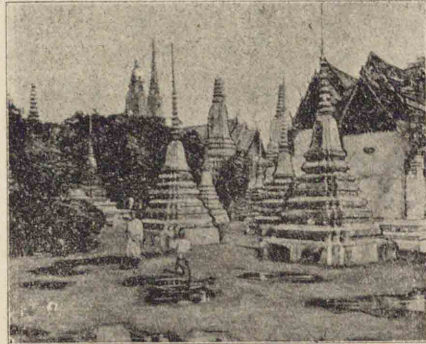
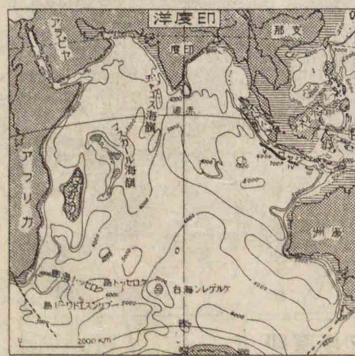
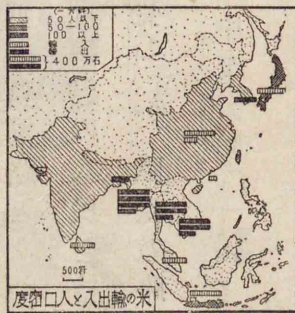
街市のンゴイサ

主にゴンドワナランドの陥没で造られ、マダガスカル島は、その名残である。南北の赤道海流は、東

第七章 印度洋

産出で有名である。(河)の前港ハイフォン(防)から輸出する。ホンゲイは、石炭の

佛領印度支那 French Indo-China 面積 七百萬方呎 人口 三百万人 十九世紀末に佛領となった。メコン流域は、米の産が多く、サイゴン Saigon 一〇九萬(貢)西(海軍根)より輸出する。シロン Ceylon は、精米が盛である。



寺羅暹のクコンバ



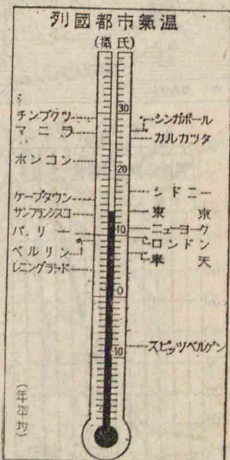
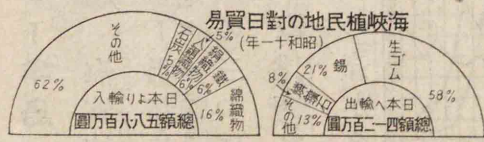
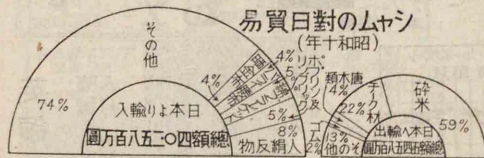
(域流ムナム) 神護守の田米

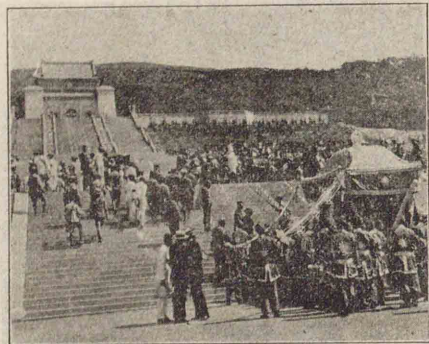
國と本半島との取引は、急増の機運にあり、ゴム園經營の邦人が多し。シヤム(暹)面積 五、五萬方呎 人口 二、七百万人 英佛兩植民地間の緩衝國として存在し、富裕であるが國勢は振はない。



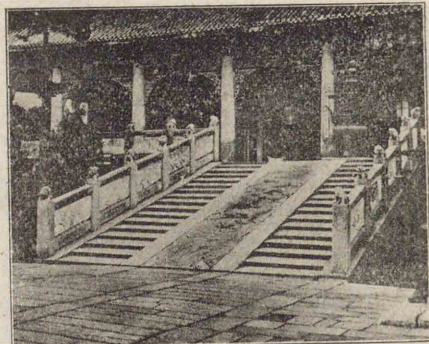
其の集(散地)半島部は錫を産する。首府バンコク(谷)盤)は、バクナムを外港として米を集散し、壯麗な寺院が多い。アユチアは、舊都である。日本との關係 我が國とは、近年國交が特に親善で、帝國の有望な通商相手國である。

富裕虚弱な獨立王國で、メナム流域は米山地はチーク材(シエンマイ)は





(京南) 墓の文孫者設建の國民華中



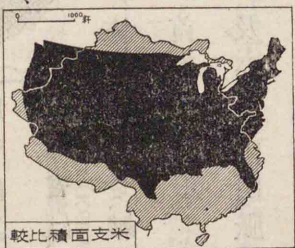
(阜曲) 廟の子孔儒碩の那支

西部高地。大陸的氣候で、雨が少く荒地が多い。西藏は、世界一の高原

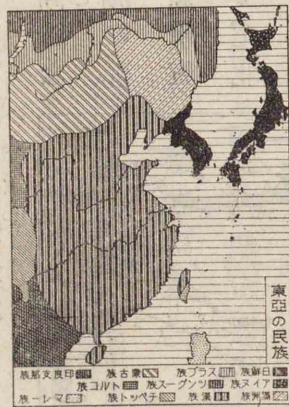
Thiet

地勢・氣候・産業

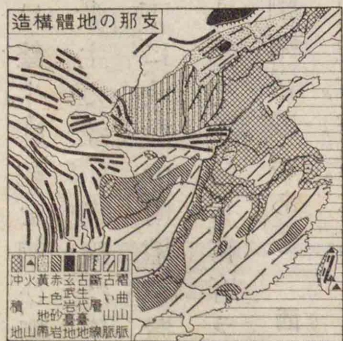
諸山脈が、パミル高原から東に延び、西部高地、東部低地(概ね支那本部の地)に大別される。



較比積面支米



東亞の民族



造構體地の那支

沖火黃赤玄古斷古嶺 積土色代臺山山 地的露臺山山 地山帶岩地地線脈部

第八章 東部アジア

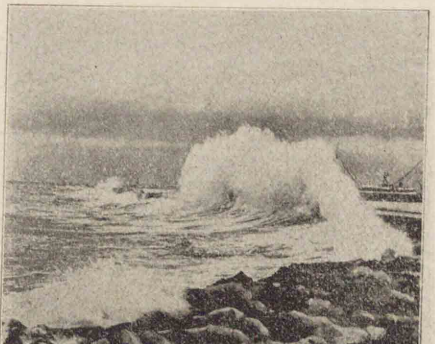
第一節 中華民國(支)

面積 九百九十九萬方軒 人口 四億五千萬人 中華民国(支) Chung-Hua Min-Kuo (China)

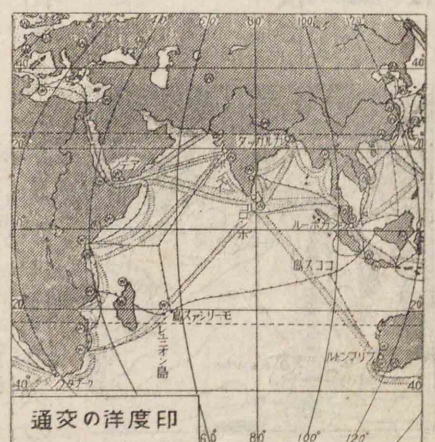
本洲の中部から東部に及び面積人口共に全歐に匹敵し、我が國の面積の十四倍に當る。本域は、夙に高度の文明を開き、幾多の王朝が興廢し、今は共和制であるが國情が安定しない地方は、二十四省と外蒙古、西藏とに分れてゐる。



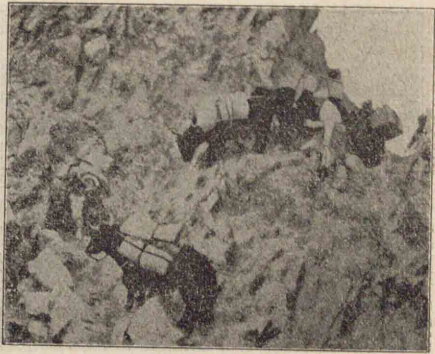
(燥乾ラブコ)島スココ



よに風節季西南)港ボンロコ (圖るけ碎に堤波防が浪激る)



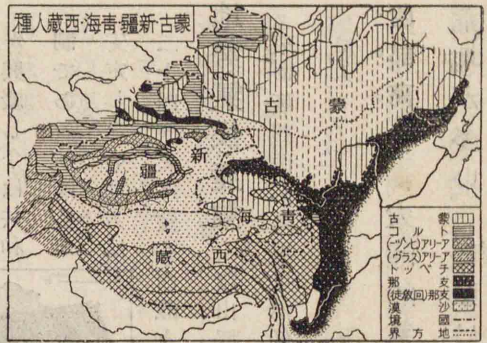
通交の洋度印



牛犛の原高藏西



(漠沙ンカマラクタ)拜禮の朝の徒教回

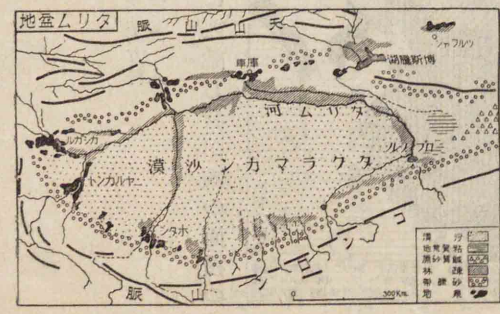


(平均高度)で、住民は犛牛、駱駝を飼ひ、喇嘛教を信ずる。教主の達賴喇嘛は、イギリス支援の下に、政教の兩權を握り、西康・青海にも勢力がある。首府ラサ(薩拉)に、壯麗な喇嘛宮殿がある。西康省に、對西藏要地打箭爐がある。

青海省は、高峻な山地で、鹹湖の青海湖(Chinghai(Kokonor))がある。

新疆省は、露國の勢力が及び、天山山脈で南北に分けられる。天山南路には、タリム盆地(タクラマカン)があり、放牧が、溪流地で行はれる。天山北路は、農業がイリ流域で行はれ、迪化(ウルムチ)が首都である。

蒙古



豚養



族王の古蒙



南部は南嶺以南、閩江・珠江流域五省の地で、亞熱帶季節風域を占め、米・茶・大麻・甘蔗・柑橘・生絲を産し、水牛・豚・鶏が多い。福州は、砂糖茶



國民華中	1203.6	豚養
ソビエト	704.4	
日本	140.1	

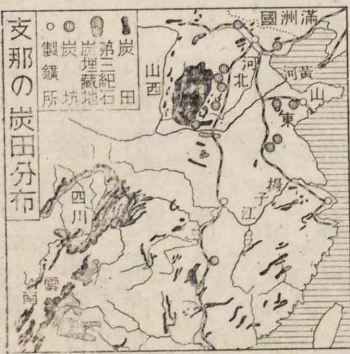
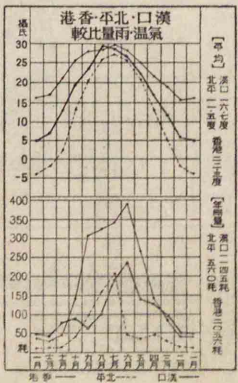


(よせ意注に街上水)東廣の岸江球

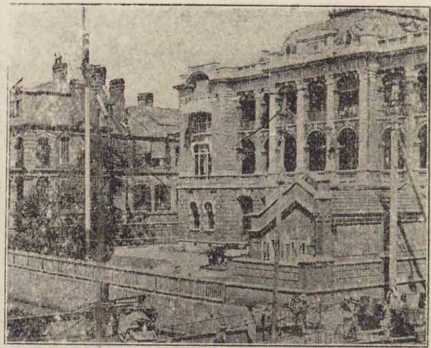


(島半龍九は岸對)港アリトクイヴの島港香

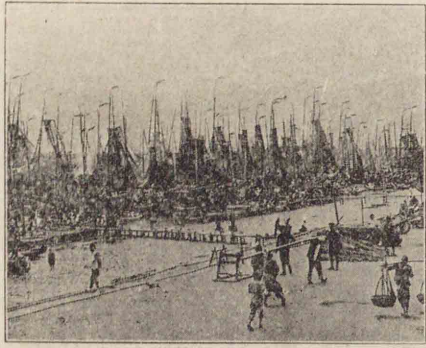
を輸出する。寧波・廈門・汕頭の港市
 是、南洋方面への移民を送り出す。
 又臺灣に近くて、通商その他に於
 て、我が國と密接な關係がある。
 珠江三角洲上の廣東(廣州)は、生絲・絹織物・花筵茶を輸出し、南
 支の最大都市である。英領香港
 リアといひ、東洋有数の良港で、軍港・商港を兼ね通過貿易
 工業(造船・製糖)が盛である(對岸の九龍は英領、
 接續地は英租借地)。
 澳門は葡領、廣州灣は佛國租借地
 である。廣西・雲南二省は、鑛物が
 多く、滇越鐵道で佛領安南に通じ、
 佛國の勢力が強い。
 中部は、揚子江を大動脈とする四
 川・湖廣の兩盆地と江浙平野とを



支那の炭田分布

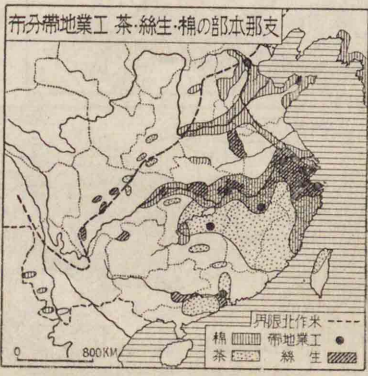


館事領總國帝の海上



(集群クン+ジ)港淞吳

占め、支那の最主要部で、鑛物の埋
 藏も多く、大冶・桃中・鳳凰山の鐵萍
 郷の石炭が名高い。氣候が溫暖
 で米産が多く、江浙(江蘇・浙江)實らば天
 下飢えず、湖廣(湖南・湖北)熟すれば天下
 足ると謂はれ、又生絲・棉茶の産額
 も莫大で、支那の最大文化地帯となつてゐる。
 従つて多
 くの大都市が、諸所に分布してゐる。

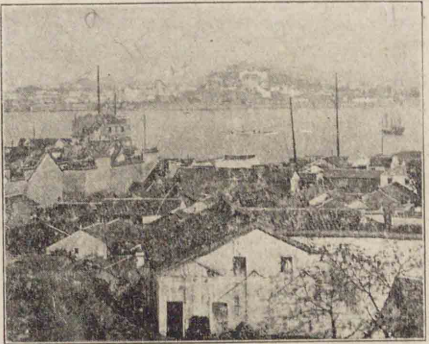


支那の部本棉・生絲・茶・工業地帯分布

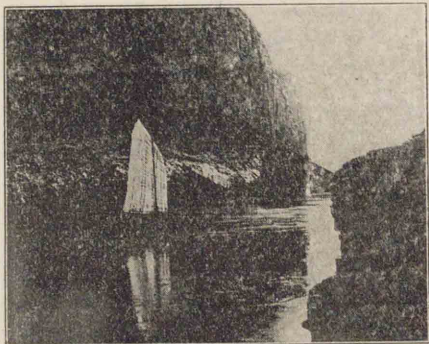
上海は、吳淞を外港とする大貿易港で、生絲・茶・絹織物・棉を
 輸出し、工業(紡績・製粉)も盛大である。又
 邦人の綿布紡績工場が多い。杭州・蘇
 州は、名勝古蹟に富み、絹織物を産する。
 首府南京(江寧)は、屢帝都となつた處で、史
 蹟が多い。九江は、陶器・茶を集散する。



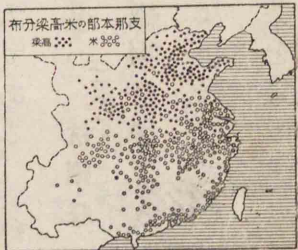
近附海上



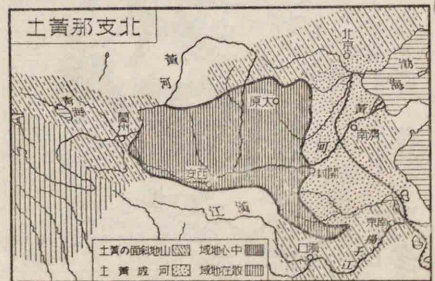
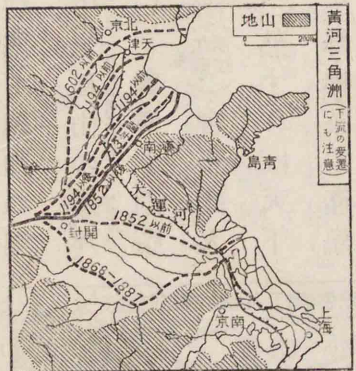
武昌の遠望



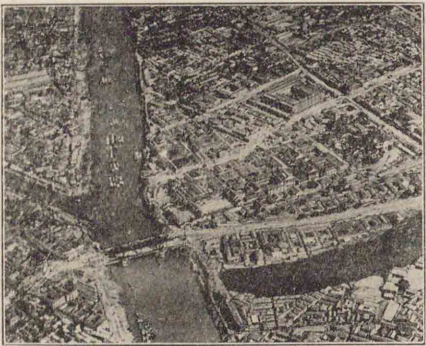
揚子江上流の風景



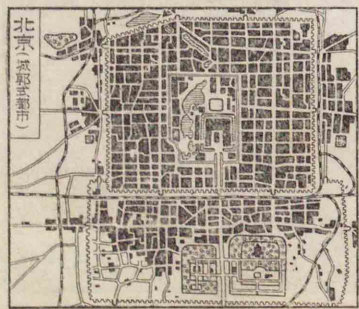
は漢陽(製鐵所がある)武昌を控へて水陸交通の中心に當り、茶・棉・麻の集散、紡績製粉が行はれ、之より上流に沙市宜昌がある。四川省は、巴蜀の別天地で、人口天産が多く、面積は我が内地よりも大で、優に一國たるの實力がある。重慶(小汽船が江に)は、その門戸で、成都は、絹織物の産で名高い。北部は、黄土層に掩はれ、高粱の産が多い。黄河は、青海に發し、山西盆地、太行山脈、北支平原を過ぎ、大



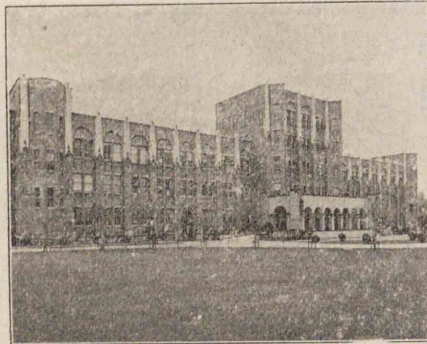
青島市街



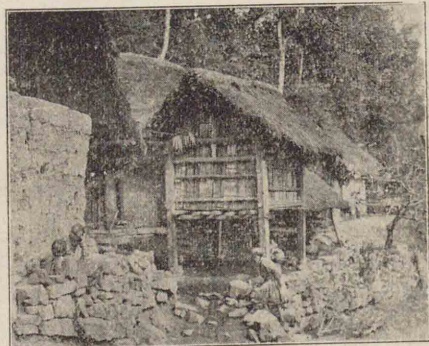
天津市街(日本租界附近)



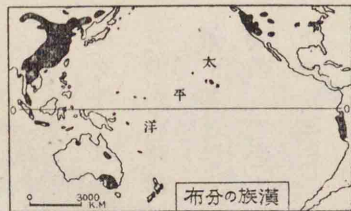
三角洲を作つて渤海にそゞ。流域は、支那文化の中樞であつた處で、開封(元の金梁)・洛陽(南河)・西安(長安)等、悠久幾千年の歴史を物語る。山西省は、石炭鐵に恵まれ、有望な將來を有する。青島は、我が國が支那に還した處で、農産物・牛・雞卵を輸出し、綿絲・麥酒を産する。山東鐵道の西端に商工市濟南がある。天津は、大沽を前港とし、京綏鐵道の開通によつて後背地を擴張した。舊都北京(平北)は、城郭都市で、内城に舊皇城があり、外城は商業區である。秦皇島は、不凍港で、開平炭(合辦英文)を積出す。山海關は、萬里長城の起點に當り、對滿の要地である。



(資出の本日)所究研學科然自の海上



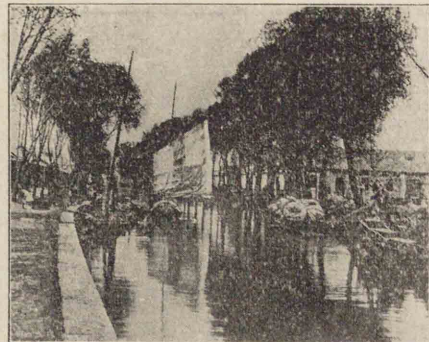
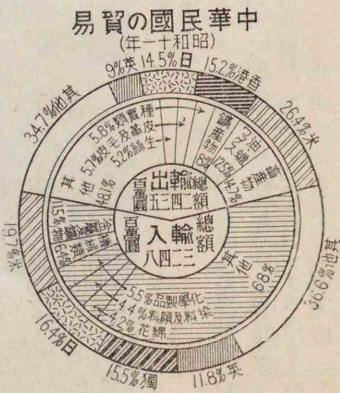
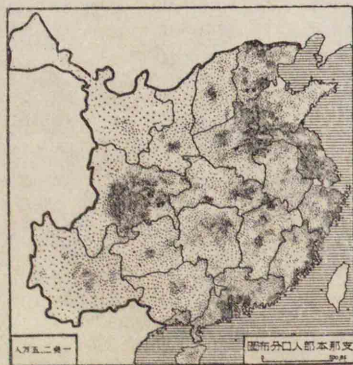
藩部の族苗



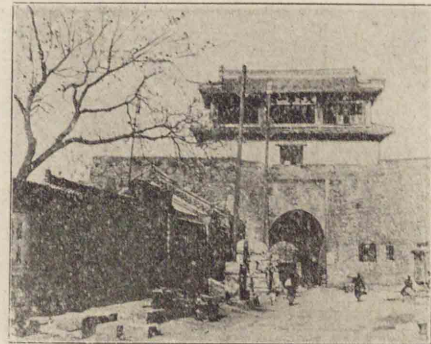
位置資源勞力等の好條件は、政府の施設國民の奮起と相俟つて、將來支那は一大富強を致すであらう。

て原料品を輸出し、精製品を輸入する。内陸には、他國との接壤地帯に開市がある。

文化生活 苗族蒙古族(蒙古天山路)トルコ族(南路)・西藏族は、語るほどの文化を有しない。漢族は全人口の九割を占め、徒に自尊心が高く、尙古保守的で形式に囚はれ、且政情が不安定で國民的訓練を缺き、常に阿片を喫し、利己貨殖の外に理想がない。しかし人口の増殖率が多めで、海外移住者も多い。近年教育の進歩、國民の自覺につれて、各種の文化運動が起り、往々、極端な新人さへ見るに至つた。

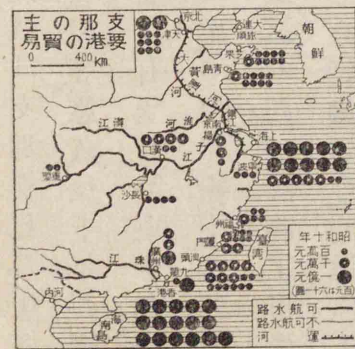


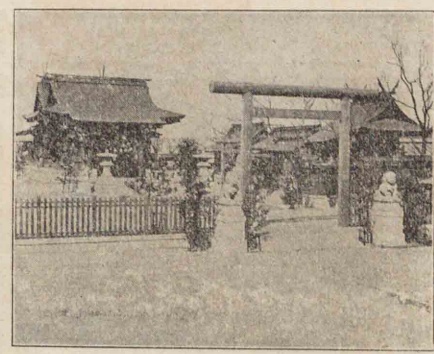
(省東山)河運大



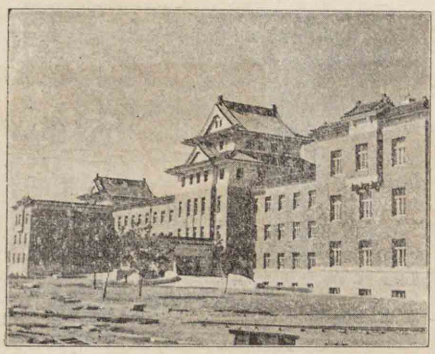
(關海山)門樓の城長里萬

交通商業 黄河は、水が少く急湍がある。揚子江、珠江、大運河の舟運は、陸運の缺を補ふに足りる。近年、外資で北寧(北京)、京漢(漢口)、津浦(天津)、粵漢(武昌)の縦貫線と、京綏(北京)、膠濟(濟南)、海蘭(海州、蘭州)、京滬(上海)、滇越(雲南)の横断線が通じた。藩部には、近代交通機關がなく、本部との政治的連絡が不利である。海運は、日英船が優勢で、通信網は、外資によつて稍備はつた。國內商業は、通貨の不統一や釐金(省境通過税)等の爲に、發達が後れた。貿易は、廣東、香港、上海、天津、漢口を中心とし、主として





社神海上る祀を士勇が我



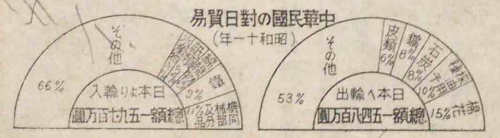
部令司軍東關の築新

日本との關係 兩國は、東亞に於て隣接し、人種的に「黄色兄弟」であり、文化的に同一民族である。又我が國は、山東其の他の嶺山、青島、上海等の工業に、多額の投資をなし、揚子江水運の實權を握り、支那を商品の大需要地としてゐる。故に支那の安危は、直に我が國の興廢に關する。福建、山東の不割讓を約せしめたのも、この爲である。然るに、支那の爲政者は、歐米依存主義によつて、抗日排日策をとり、我が在支權益を侵害し、剩へ在留邦人の生命財産さへ危殆に頻するに至つた。こゝに於て我が國は斷乎自衛權を發動して、遂に日支事變が勃發し、今や我が忠勇なる皇軍のため、北支の諸地方や揚子江下流の要地が攻略せらるゝに至つたのである。支那は速かに反省悔悟して、東亞和平のため、日支共存共榮の爲に、我と和協親善の道を講すべきである。

概説 朝鮮と接壤し、清朝の發祥地である。もと支那の領土で、夙に強露の侵略重壓を受けたが我が國の義戰によつて保全が出来た。爾來我が

第二節

滿洲國 面積 二千萬方呎 人口 三千万人



山東移民 滿洲國民の大部分を占めるものは支那本部からの移民で殊に山東省出身者が多く大連に上陸するものが多い 滿洲國獨立後其の流入が漸減してゐる



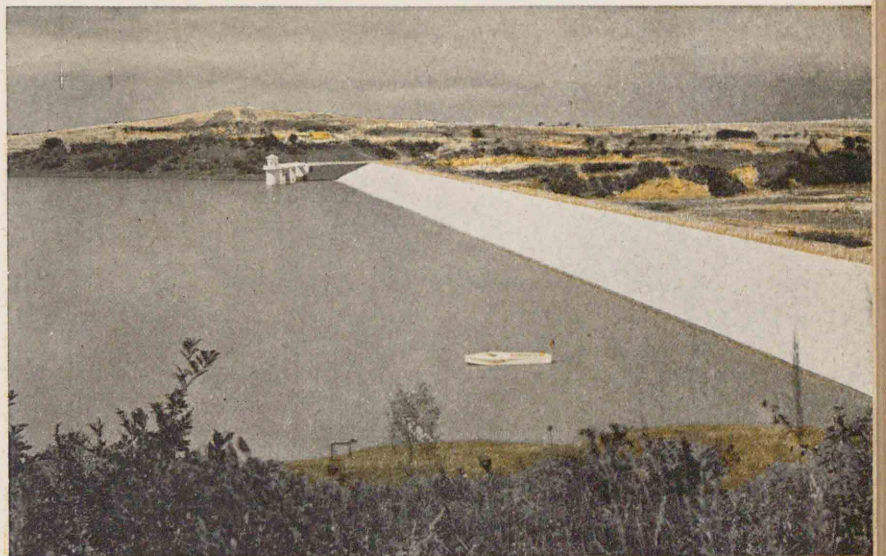
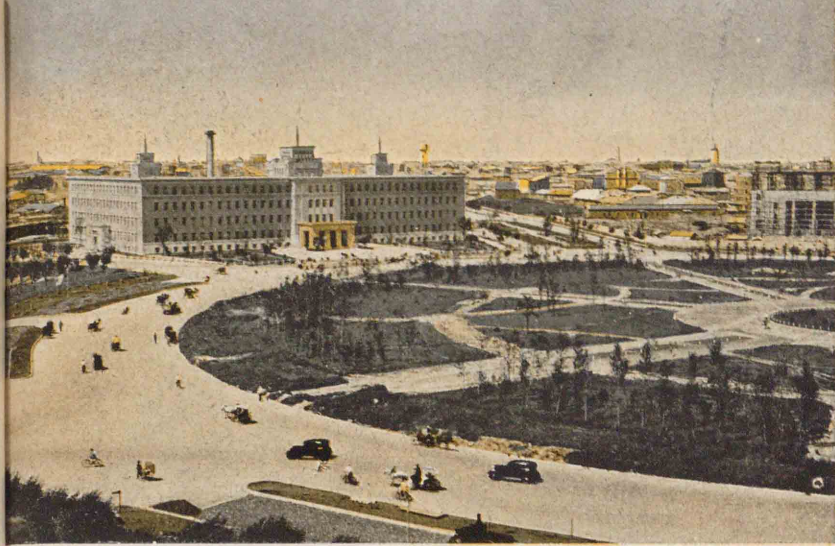
北陵 奉天城北に在り清朝第二代太宗と其の皇后との陵墓で滿洲國の一名所である 圖は其の牌亭で中に太宗の功徳を讃へた聖徳神功碑があり亭の前庭の兩側には石獸が並立し古松鬱蒼として壯嚴である



ハルビン驛 嘗ては鎌と鎚とを組合せた勞農の旗が翻つてゐたが今は滿洲國の五色旗が掲げられてゐる 伊藤博文公遭難の處として餘りにも有名で今も歐亞兩民族接觸點として特別な意義ある停車場である

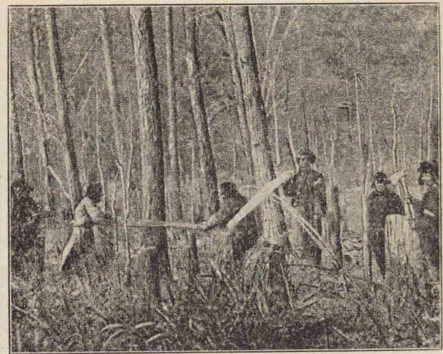


新京大同廣場 僅か一世紀前は羊群の遊ぶ處であつたがロシアの鐵道敷設・日本の經營・滿洲國の誕生を経て躍進した 大同廣場は新京都市計畫の中心で直徑三〇〇米の圓形廣場に環狀道路が繞らしてある

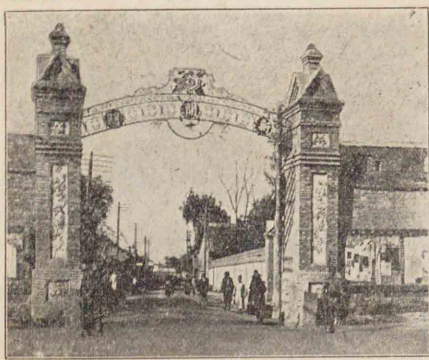


淨月潭貯水池 躍進新京市民の用水貯水池 花崗岩の長堤五五五米満水量四三一萬立方米 宛然一大湖水の觀がある 周圍には公園設備を施し都人士の杖を曳くものが多い

新京 新京は帝都となつて以來其の躍進は著しく帝都としての計畫も次第に完成されて行く 圖は最も股盛な吉野町である



森の林伐の採



吉林市の街

アジア洲 東部アジア(滿洲國)

地勢氣候産業 概觀上よりすれば日字状の地帯であつて之を地形上より見れば、東部山地、西部山地と、此の兩山地間にある中央低地との三部に分ける。東部山地 長白・本幹等の山脈が縦走して

國は、鐵道・鑛山・森林等に投資し、土地商租權を得て、其の開發に努力した。軍閥張氏の毎日排日の爲に滿洲事變が勃發したが、多年彼の誅求を恨んでゐた當國人は、支那から獨立して、日本に倚つて、滿(通古)漢・蒙・日・鮮露五族協和の王道國家を建設し、次いで清朝最後の宣統帝を推戴して帝國とした。中央政府は新京にあり、地方は十六省(奉天・錦州・安東・間島・吉林・濱江・三江・龍江・黑龍河・熱河・興安・東興・安西・興安・南興・牡丹江)に分れてゐる。



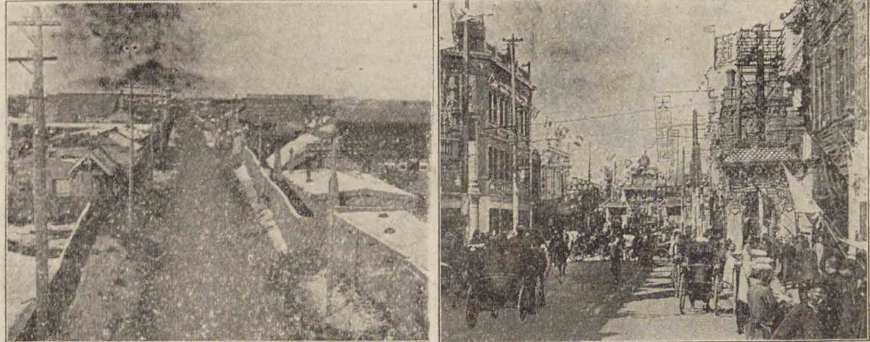
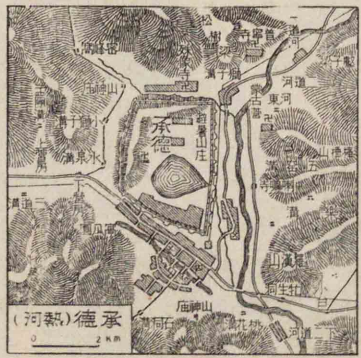


畜牧のルイバンロハ

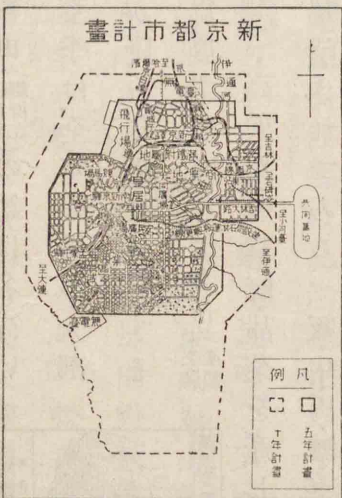


德承の省河熱

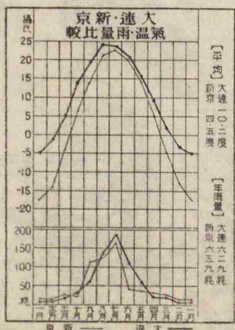
ある。夾皮溝の金、天寶山の銅、廟兒溝の鐵等、礦物の埋藏が多く、又森林が深く、鴨綠江、牡丹江の沿岸で伐採され、吉林は、林業の中心である。
 谿谷では、農業が行はれ、殊に間島は、移住朝鮮人による開拓地域で米、麥、粟を産する。龍井・頭道溝・延吉(街子)等は、その中心で、綏芬河は、國境附近の要地である。
 西部山地 興安嶺が縦走し、其の脈中には、金産がある。北部の呼倫貝爾盆地は、牧畜が行はれ、海拉爾は、家畜の取引が多い。滿洲里は、國境附近の要地である。中部は、蒙古族の遊牧地であるが、近年、來住漢族が開拓し、洮南・通遼(白音)等は中心地である。南部は、石炭の埋藏が多く、新邱、北票で探掘され、中心に、承德(熱河)赤峰などの



ルハチチ シンビルハ

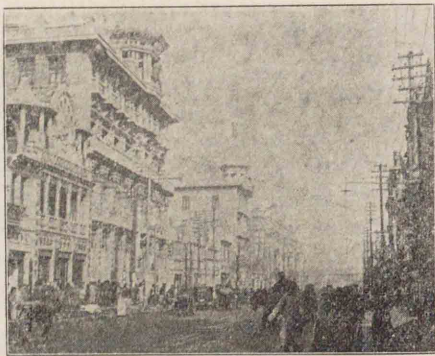


産する。撫順(埋藏量十億噸、外層の油母頁岩から重油採取、石炭液化の業も起る) Fushun 10.7

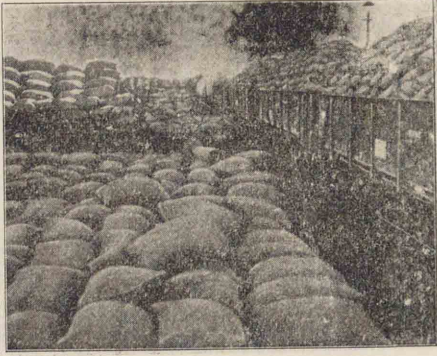


名邑がある。
 中央低地 低い中央の分水嶺により、二平野に分れる。北滿平野は、嫩江、松花江の流域で、雨量が少く、小麥、大豆の大産地で、牧畜も盛である。中心地ハ爾濱は、露西亞式市街で、麥粉、木材、獸皮の市場である。嫩江流域の中心齊齊哈爾及び依蘭(姓)扶餘(伯都)は、農産物の市場である。黑河は、國境の要地である。新京(春長)は、全滿の中心で、大計畫の

新都建設中である。南滿平野は、山地との漸移部に、鑛産が多く、石炭、鐵、マ

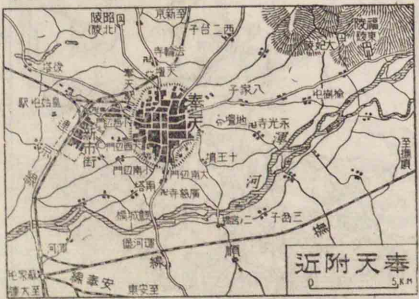


奉天

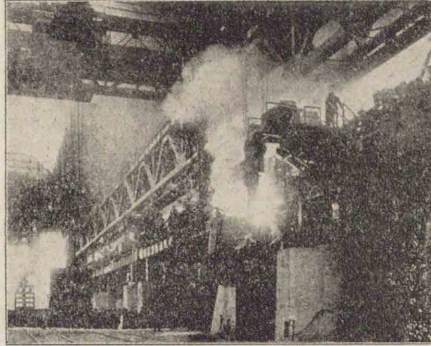
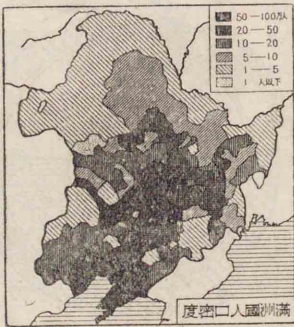


大豆の輸送

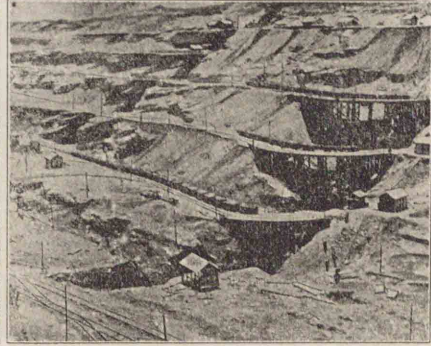
花江・嫩江等は北滿、遼河は南滿の動脈である。我が連京線(大連・奉天)は、北滿の諸線(北滿、京濱)並に奉山線(奉天)と共に、その經營は我が南滿洲鐵道會社の手で行はれてゐる。營口・安東の海港があるが、全滿の大玄關は大連である。併し京圖線・拉濱線の全通の爲、朝



場で、開原・鐵嶺は大豆の集散地である。奉天は、城内・商埠地・新市街に分れ、交通・經濟の大中心で、農産物の取引、製油・製粉・醸造が盛に行れ、滿洲醫科大學や清朝の宗廟がある。古都遼陽は白塔、營口は大豆・豆粕輸出、搾油で名高い。商業交通 交通に、今も家畜・馬車を使用する。黑龍江・松

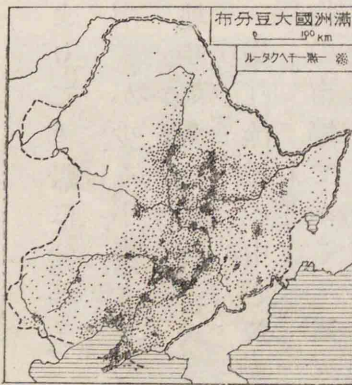


鞍山昭和製鋼所

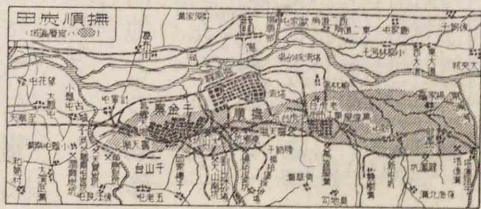
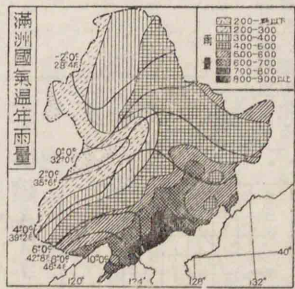


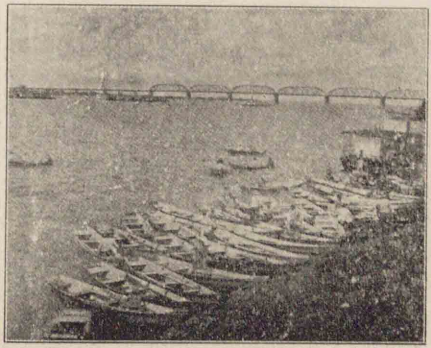
撫順炭田

南滿平野は、資源が豊富で、人口の過半を抱擁し、勞銀が低廉な爲に、近代的工業が起つて、滿洲の代表的地帯をなし、殷盛なる都市が多い。遼源(屯)は、西部山地との交易

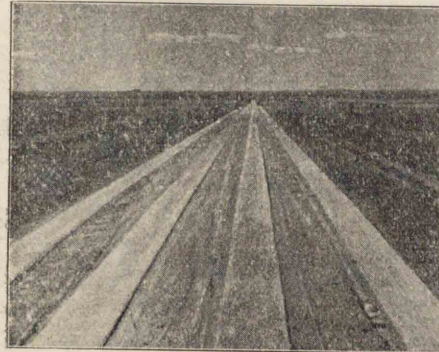


西安・煙臺・本溪湖の石炭、鞍山(昭和製鋼所)の鐵は名高い。夏季は、全年雨量の大部分が降り、氣温も上昇する爲、農業に適して大豆(全滿産額%)・高粱・粟・煙草・麻・甜菜を産し、棉作・米作も囑望されてゐる。豚・牛・馬・驢・羊は、副業的に飼はれ、遼東半島方面の丘陵地は、柞蠶絲を産する。





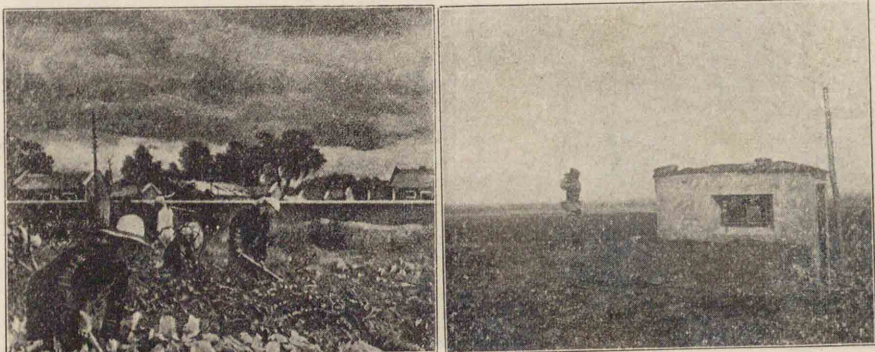
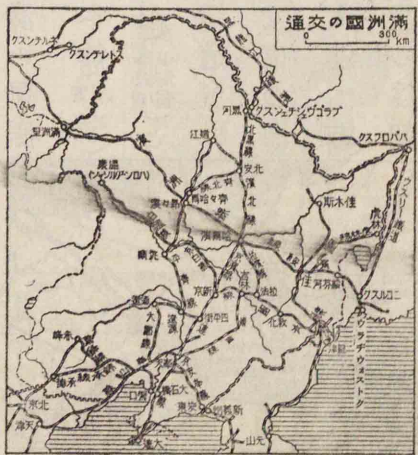
北満の水路(松花江)



新京・吉林間のスバ道路

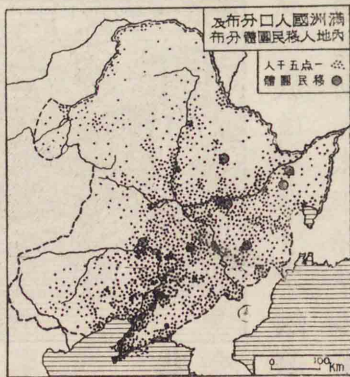
鮮の羅津港が大連の競争港となつた。自動車も次第に多く利用されてゐる。又日満合辦による航空事業も起り、日満連絡の定期航空路が開設された。商業は、隊商祭市で行はれ、交通の發達につれて次第に組織的になつて來た。

文化生活 日露支の接壤地域で、滿漢蒙日鮮露五族が雜居してゐる。新國家は、軍閥張氏に代つて、政情の安定、民族の協和、安寧の維持に努め、國民生活が、急速に向上しつゝある。

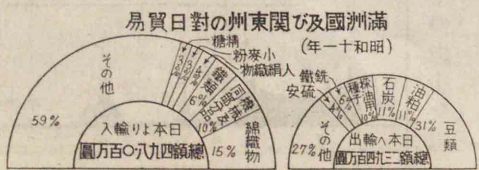


我が移民の共同作業(奉天沿線)

滿・蘇國境の望台

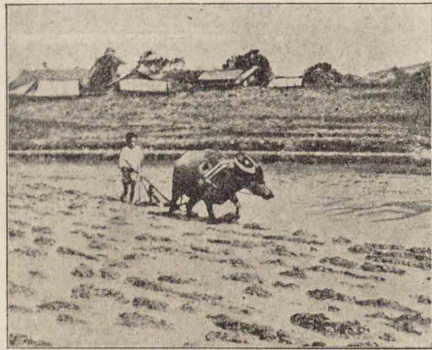


日本との關係 我が國の投資額は二十數億圓に及び、滿洲の開發に貢獻してゐる。實に滿洲は、我が文明と武力と、工業とに依存し、我が國は、過剩の資本、製品、人口の捌け口、原料大供給地として滿洲を生命線としてゐる。されば我が國は、此の國と防禦同盟を結び、且全權大使を派遣してゐる。最近日滿兩國間の條約により、滿洲國內に於ける治外法權を撤廢し、且滿鐵附屬地の行政權も滿洲國に返還された。かくて邦人は滿洲國の法權に服すると同時に、滿洲國內に於て自由に居住往來し、土地を所有して農工商を營み得るに至つた。又貿易生産の統制を行ひ、彼我合して一經濟ブロックを作り、以て共存共榮の實を擧げてゐる。



第九章 總括

地勢 天山・ヤブロンイスタノヴィイ・崑崙山・北嶺・南嶺・興安嶺の古い山脈や、コ

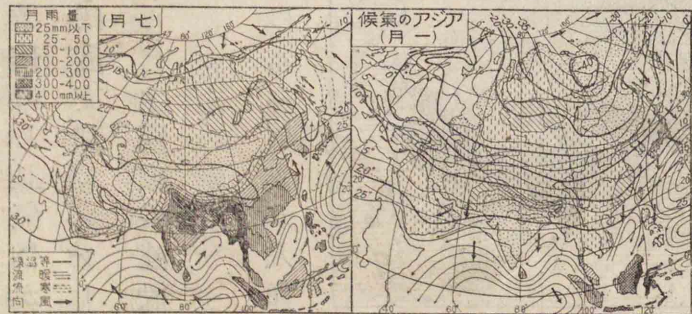
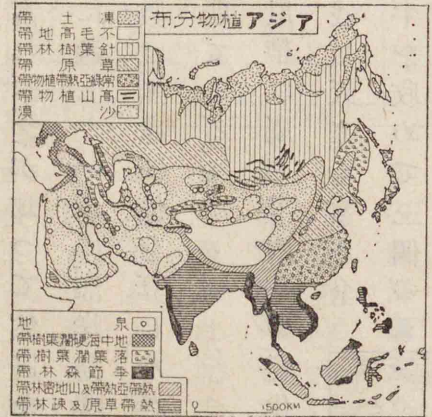


(牛水) 作耕の支南



車馬の古蒙

ら取り残されてゐる。南部南東部季節風地域で米産が多く、熱帯性の珍奇な動植物



西部南西部中央高原 一般に雨が少く、不毛の内陸灌域及び沙漠性地域で、セム・イラン・トルコ・蒙古・西藏の諸族が住み、産業が開けない。交通は、多く駱駝・犛牛・馬等の駄獸に依り、現代文明から取り残されてゐる。

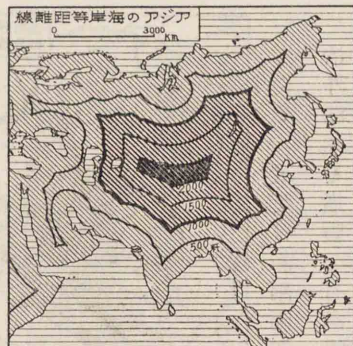


(頃月一十) 観景のアリベシ地寒



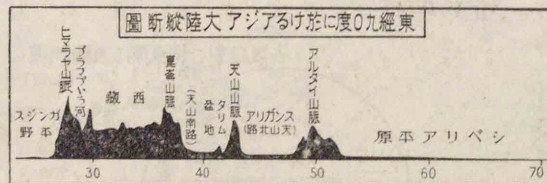
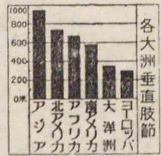
麓東の嶺安興

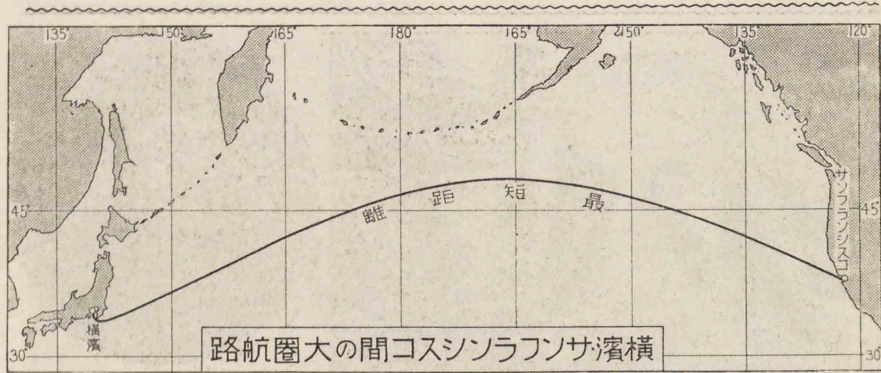
ラヴ族は、シベリア鐵道を敷設し、沿邊の林・鑛産を開き、草野を耕し、太平洋岸にも手を伸ばしてゐる。



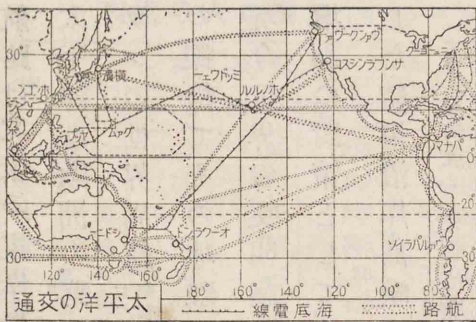
北部 極寒地でシベリア諸族、ツングース族の故地であつたが、今やスラヴ族は、シベリア鐵道を敷設し、沿邊の林・鑛産を開き、草野を耕し、太平洋岸にも手を伸ばしてゐる。

「世界の屋根」と言はれる。古い山脈の間に、南北滿洲平野、渤海北支那平原の大低地があり、新しい山脈の兩側に、オホーツク日本東支那南支那の縁海及び裏海、黒海、マニチ溪谷の低地、タスカローラ、フイビンの海淵、ヒンドスタン、メソポタミアの平原、ペルシア灣等がある。





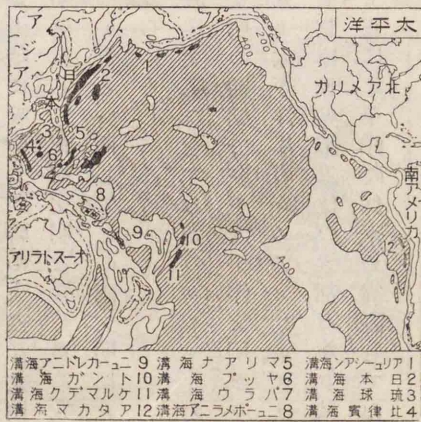
地球の中心を通る平面の地球表面と交る最大の圏と地球の最短距離にあつて



第十章 太平洋 Pacific Ocean

太平洋は、地表の三分の一を占め、海洋中最も大で、周囲に大陸がある。四大大陸の縁邊には、長大な新褶曲山脈が走り、其の外帯に、數多の深海溝がある。中にもフィリピン海溝中のエムデン海淵は、世界最深所(一〇七)である。

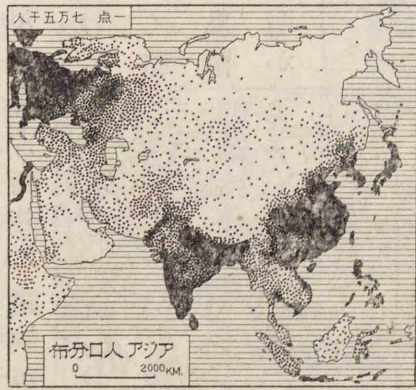
日本海流は、北赤道海流の續きで、その北米に赴く経路は、日米間の大航路と一致し、日米等の汽船の就航が多く、パナマ運河開通の結果、其の

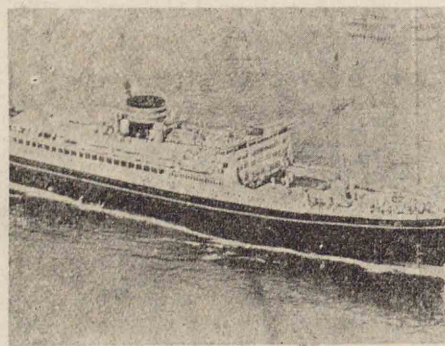


滿洲國の佳木斯に於ける我が自警移民の團の開拓

物や天産に富むが、之が却つて住民を遊惰にし、且氣候が人類の活動に適しない爲に、海岸島嶼・印度支那・ヒンヅー諸民族の總數は、無慮四億を算しながら、自主國家の建設も出來ぬ状態である。

東部 季節風帯に屬して四季の變化に富み、氣候が人類を適度に刺戟し、天産も多く、全洲住民の過半を收めて、三個の獨立國が出來、黄色人種の代表的地帯である。特に我が國は、地理的位置の良好と、民族素質の優秀とが相俟つて、世界三大強國の一として、國際間に重きをなし、アジア民族の先導者となつてゐる。





丸 父 秩 船 郵



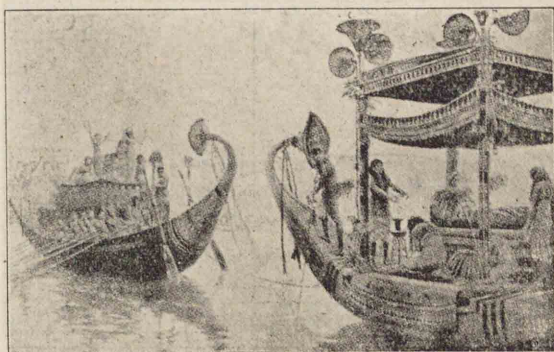
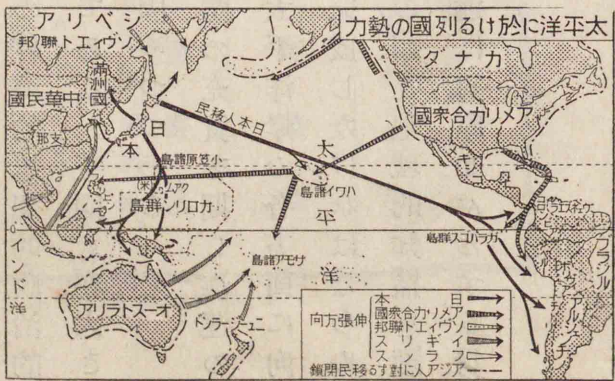
ル テ ッ リ ル ー カ

列國の人口増加 (昭和 5-9 年平均)

國 別	實 數 (千 人)			比 率 (人口千人當り)		
	出 生	死 亡	差 増	出 生	死 亡	差 増
日本(内地)	2,114	1,195	919	32.3	18.5	13.8
英 吉 利	731	563	168	15.8	12.2	3.6
米 國	2,125	1,329	796	17.9	11.1	6.7
獨 逸	1,055	717	338	16.2	11.0	5.2
佛 蘭 西	713	657	56	17.0	15.7	1.3
伊 太 利	1,018	586	432	24.4	14.0	10.2
和 蘭	176	73	103	21.7	8.9	12.7
印 度	9,025	6,254	2,771	33.8	24.4	9.4
濠 洲	116	58	58	17.6	8.8	8.8

太平洋の覇者は、則ち世界の覇者で、之を目ざす選手は、日・露・米・英・四國である。我が國は、狭小な島上

に、一億近い人口を擁し、年々百萬の人口が増加する故に、若しも此の争覇に敗れたならば、民族の移植物資供給の道が絶えて、忽ち自滅せざる



(儀葬のシメーカントツ)明文のルイナ

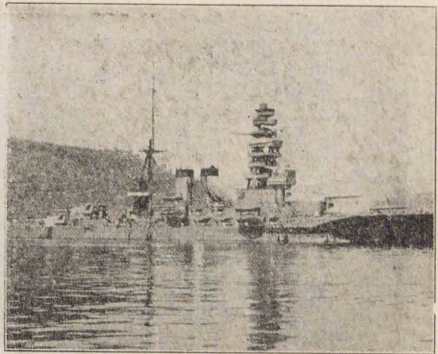


ン ラ エ ジ

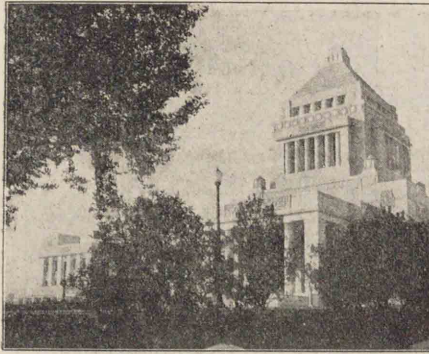
航路は北米の東岸にまで延長されるに至つた。太平洋は、歐洲の對蹠點にある爲に、開發が遅れたが、マジランの世界周航(紀初十六世)以來、世の注目を引き、タスマン・クックの探検で、その地理も明になつた。

現今、世界の文明諸國は、原料不足生産過多・資本過剰・人口増加の對策として、太平洋方面を重視し、領土の争奪をなした結果、沿岸・島嶼は、露・英・佛・米・蘭・日に分屬した。

ナイル河畔の文化は、順次地中海西歐新大陸に咲いて、現時の大西洋文明時代を現出した。ガンジス河畔の文明は、東して黄河文明と合し、更に我が國に渡來して、東洋文明が完成されつゝある。而してこの兩文明は、太平洋に於て融合し、最高絶後の文明とならんとしてゐる。文化は、河川文明から内海文明に、更に海洋文明に達するとのカールリッテルの言が適中して、大西洋文明は、海洋文明の前期で、今や太平洋文明が、その後期として大發展の道程にある。見よ、太平洋岸のロスアンゼルスは、三十五年間に百萬の人口を増加し、大東京は、世界第二位の大都となり、又大阪・上海の人口は、二百五十萬を超えて、正に太平洋時代來を立證してゐるではないか。



我が艦隊長の雄姿



我が國會新議事堂

を得ない。即ち我が國は、進んで太平洋の覇者となるか、退いて自滅するかの外に途がないのである。

然るに對岸の米國は、絶大な富力を擁し、モンロー主義を擴張して、既に太平洋の東半を制してゐる。露國は、數次の産業五ヶ年計畫を完成して、その經濟的思想的、政治的壓力が、東亞方面への脅威となつてゐる。英國も亦、大きな既得權を確保して、着々軍備を固めつつある。

故に吾等日本國民たるものは、國防の充實を期し、海運の隆盛を圖り、國力の富強に努めて、太平洋岸の各方面に向ひ、民族的、經濟的、政治的の進出を完成しなければならぬ。要するに、外國地理の研究は、上述の如き地理的知識を獲得し、耳目を開いて、以て國家の進運に貢獻せんとする爲に外ならない。

昭和十二年六月十七日印刷
 昭和十二年六月二十一日發行
 昭和十三年一月十三日訂正再版印刷
 昭和十三年一月十七日訂正再版發行

新令子女
 準據
 新選地理 外國篇
 定價 金壹圓五錢

著作權所有
 不許複製

著者 守屋 荒美 雄

發行者 株式會社 帝國書院
 代表者 守屋 紀美 雄

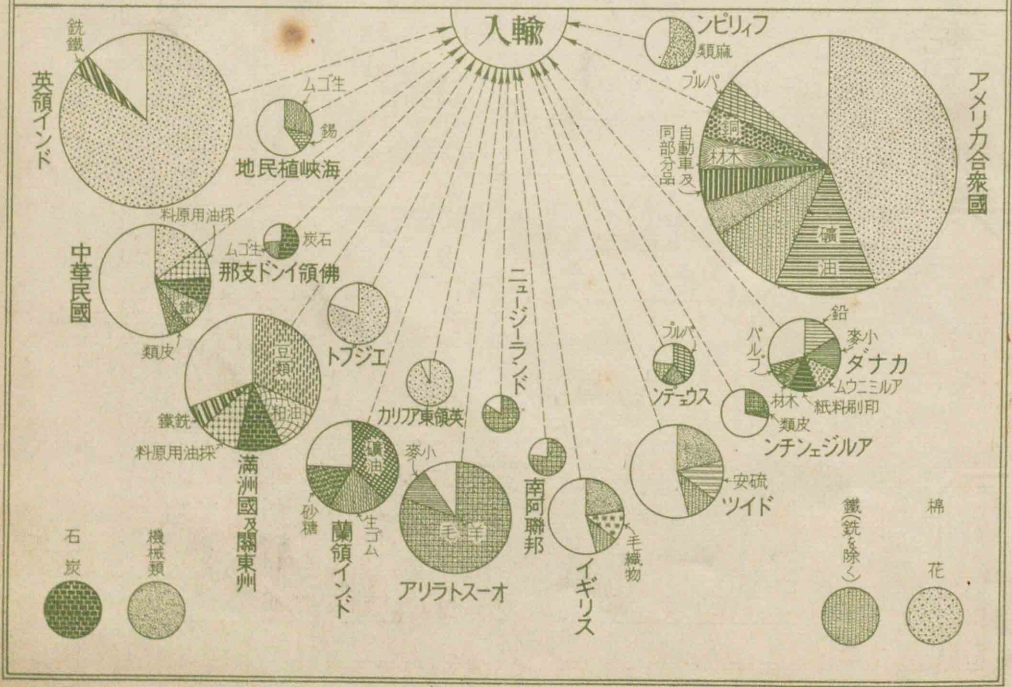
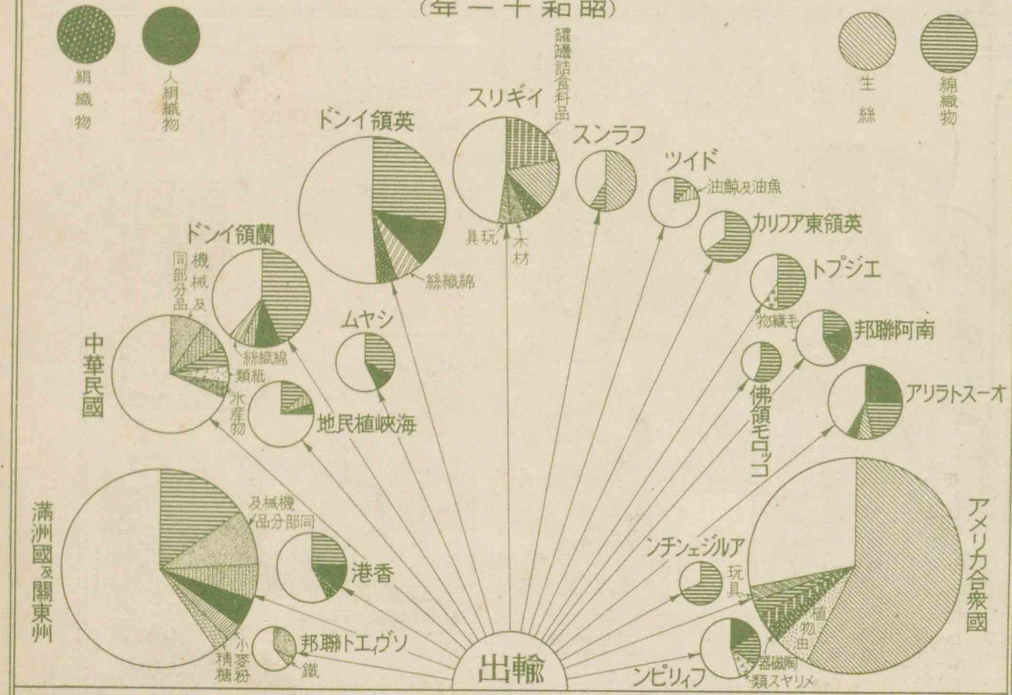
印刷者 高橋 郁
 東京市京橋區銀座西二丁目三番地

發賣所 株式會社 帝國書院
 東京市神田區西神田一丁目三番地
 振替口座東京六七〇四番
 電話九段(33)四二八四、二二九

關西販賣所 三宅 莊藏 書店
 大阪市東區橫堀四丁目三番地
 振替口座大阪六九番

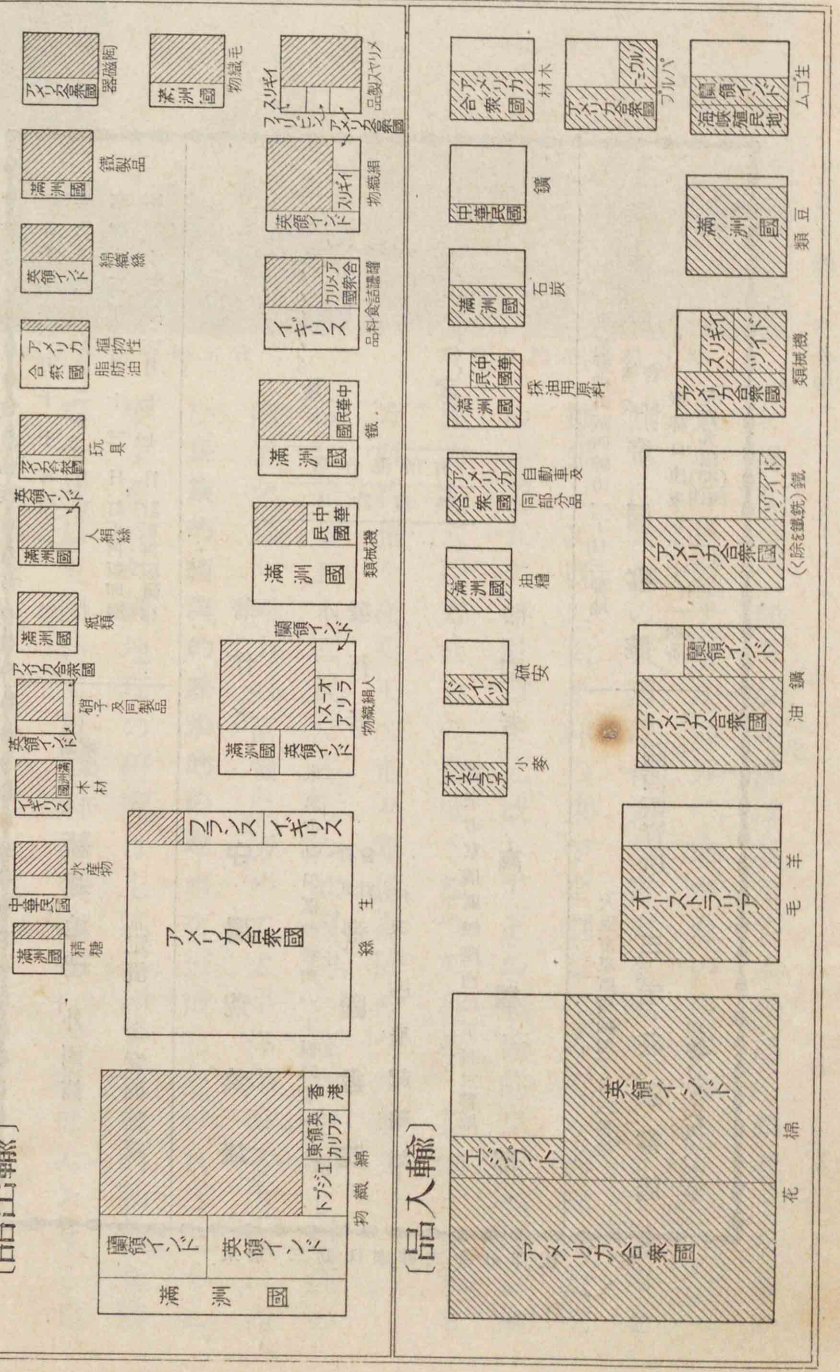
別種品及別國手相入輸出邦本

(年一十和昭)



別國手相品貿易要主邦本

(年一十和昭)





熊白



鹿洲歐



駝駱のカリフア



羊山ラゴニア



獅子



駝駱のアジア



鹿馴



熊



アイコセ



ノモケマナ



牛野



鶴リムンカ



ラプコ



象



鳥樂極大



樹投林



龜大のスゴバラガ



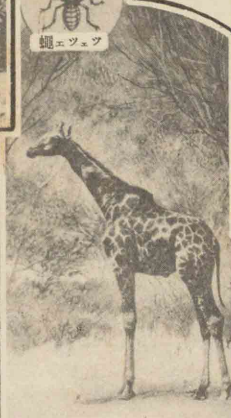
カバルア



ルドンコ



ージンパンチ



駝 駝



ンアリド



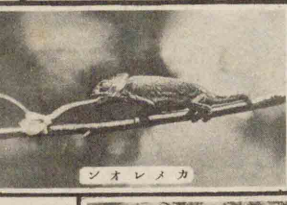
樹 乳 樹



椰子椰



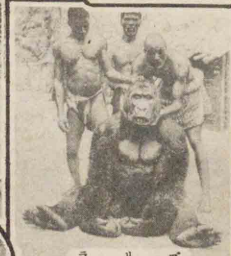
鳥 鷄



ンオレメカ



樹 プバオハ



ラ リ ゴ



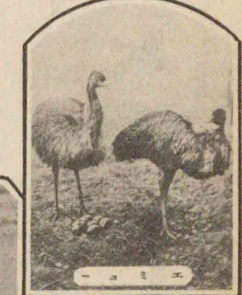
犀



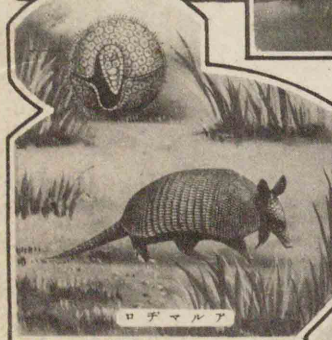
馬 河



雞 火 食



ー コ ミ エ



ロヂマルア



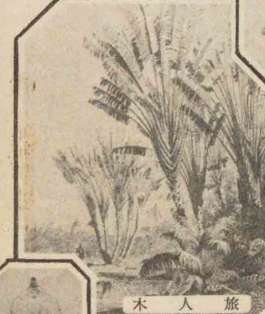
遠 鬼 大



鳥 駝



馬 縞



木 人 旅



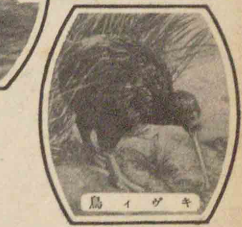
ンゴユジ



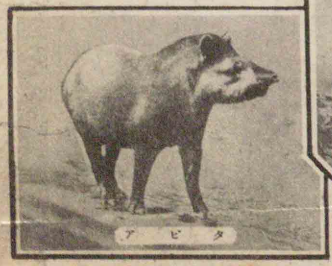
シハノモカ



ー ル ガ ン カ



鳥 イ ギ キ



ア ビ タ



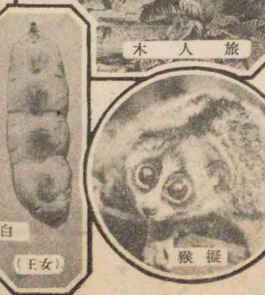
喰 蟻



樹 血 龍 の 島 - リ ナ カ



蜂 白 (F女)



猴 擬



樹 リ カ ー ユ



シ ギ ソ ベ



鱉 鱉 蘭 西 新

庫
8
12

広島大学図書
2000040712
